

田子町国民健康保険
第3期データヘルス計画及び
第4期特定健康診査等実施計画

令和6年4月
田子町

| | |
|---------------------------------|----|
| はじめに | 4 |
| 第1部 第3期データヘルス計画 | |
| 第1章 計画策定について | |
| 1. 計画の趣旨 | 6 |
| 2. 計画期間 | 7 |
| 3. 実施体制・関係者連携 | 7 |
| 4. データ分析期間 | 7 |
| 第2章 地域の概況 | |
| 1. 地域の特性 | 8 |
| 2. 人口構成 | 9 |
| 3. 平均余命と平均自立期間 | 12 |
| 4. 介護保険の状況 | 14 |
| 5. 要介護認定状況に係る分析 | 15 |
| 6. 死亡の状況 | 23 |
| 第3章 健康・医療情報等の分析 | |
| 1. 医療費の基礎集計 | 25 |
| 第4章 過去の取組みの考察 | |
| 1. 第2期 データヘルス計画全体の評価 | 33 |
| 2. 第2期 データヘルス計画の重点目標 | 34 |
| 3. 各事業の達成状況 | 35 |
| 第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容 | |
| 1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策 | 39 |
| 2. 健康課題を解決するための個別の保健事業 | 41 |
| 第6章 その他 | |
| 1. 計画の評価及び見直し | 48 |
| 2. 計画の公表・周知 | 48 |
| 3. 個人情報の取扱い | 48 |
| 4. 地域包括ケアに係る取り組み及びその他の留意事項 | 49 |
| 第2部 第4期特定健康診査等実施計画 | |
| 第1章 特定健康診査等実施計画について | |
| 1. 計画策定の趣旨 | 51 |
| 2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ | 51 |
| 3. 計画期間 | 51 |
| 4. データ分析期間 | 51 |
| 第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価 | |
| 1. 取り組みの実施内容 | 52 |
| 2. 第3期計画の評価と考察 | 53 |
| 3. 特定健康診査の受診状況 | 54 |
| 4. 特定保健指導の実施状況 | 58 |

| | | |
|-----------------|-------------------------------|-----|
| 第3章 | 特定健康診査に係る詳細分析 | |
| | 1. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況 | 60 |
| | 2. 特定保健指導対象者に係る分析 | 61 |
| 第4章 | 特定健康診査等実施計画 | |
| | 1. 目標 | 63 |
| | 2. 対象者数推計 | 63 |
| | 3. 各事業の実施内容と評価方法 | 65 |
| | 4. 目標達成に向けての取り組み | 67 |
| 第5章 | その他 | |
| | 1. 個人情報の保護 | 68 |
| | 2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知 | 68 |
| | 3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し | 68 |
| | 4. 他の健診との連携 | 69 |
| | 5. 実施体制の確保及び実施方法の改善 | 69 |
| 参考資料 | | |
| 医療費等統計 | | |
| | 1. 基礎統計 | 71 |
| | 2. 高額レセプトに係る分析 | 79 |
| | 3. 疾病別医療費 | 85 |
| | 4. 生活習慣病に係る医療費等の状況 | 99 |
| | 5. 特定健康診査に係る分析結果 | 106 |
| | 6. 健康診査データによる分析 | 111 |
| | 7. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析 | 116 |
| 保健事業に係る分析 | | |
| | 1. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析 | 123 |
| | 2. 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析 | 128 |
| | 3. 受診行動適正化指導対象者に係る分析 | 133 |
| | 4. ジェネリック医薬品普及率に係る分析 | 136 |
| | 5. 薬剤併用禁忌に係る分析 | 139 |
| | 6. 長期多剤服薬者に係る分析 | 141 |
| | 「医療費等統計」と「保健事業に係る分析」の分析結果まとめ | 143 |
| 年度別 特定健康診査結果等分析 | | |
| | 1. 有所見者割合 | 150 |
| | 2. 質問別回答状況 | 159 |
| 巻末資料 | | |
| | 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方 | 176 |
| | 2. 用語解説集 | 177 |
| | 3. 疾病分類 | 179 |
| | 4. 分析方法 | 183 |

はじめに

厚生労働省が令和元年に策定した「健康寿命延伸プラン」においては、令和22年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し(平成28年比)、75歳以上とすることを目指すとしています。またそのためには、「次世代を含めた全ての人の健やかな生活習慣形成」、「疾病予防・重症化予防」、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」の3分野を中心に取り組みを推進することとあります。健康寿命の延伸は社会全体の課題ですが、目標達成に向けては地域の特性や現状を踏まえた健康施策の検討・推進が必要不可欠であり、地方自治体が担う役割は大きくなっています。

また、令和2年から世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症は、国内でも感染が拡大し、価値観や生活様式等が大きく変化しました。健康・医療分野においては、コロナ禍の中で全国的に健(検)診や医療機関の受診控えがみられ、健(検)診受診率、医療費の動向及び疾病構造等に影響が出ました。一方、コロナ禍をきっかけとして、オンライン診療やオンライン服薬指導、ICTを活用した保健指導等の支援サービスの普及が加速度的に進むなど、現在は大きな転換期にあります。

田子町国民健康保険においては、「データヘルス計画」(第1期～第2期)及び「特定健康診査等実施計画」(第1期～第3期)を策定し、計画に定める保健事業を推進してきました。「データヘルス計画」はデータ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を、「特定健康診査実施計画」は保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の実施方法や目標等をそれぞれ定めたもので、いずれも、被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的としています。このたび令和5年度に両計画が最終年度を迎えることから、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定します。

計画書の構成

| | | 目的 | 根拠法令 |
|-----|----------------|---|------------------------------------|
| 第1部 | 第3期データヘルス計画 | 健康・医療情報等を活用したデータ分析に基づき、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施計画を定め、実施及び評価を行う。 | 国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(厚生労働省告示) |
| 第2部 | 第4期特定健康診査等実施計画 | 特定健康診査等基本指針(厚生労働省告示)に基づき、特定健康診査及び特定保健指導の実施方法や目標等、基本的な事項を定める。 | 高齢者の医療の確保に関する法律第19条 |

第1部
第3期データヘルス計画

第1章 計画策定について

1. 計画の趣旨

(1) 背景

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられました。またこれを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと。」と定められました。その後、平成30年4月から都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、データヘルス計画の標準化等の取り組みの推進が掲げられ、令和4年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画 改革工程表2022」においては、データヘルス計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPI*の設定を推進するとの方針が示されました。このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取り組みの推進や評価指標の設定の推進が進められています。

市町村国保においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資すると考えられます。本計画は、第1期及び第2期計画における実施結果等を踏まえ、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開、達成すべき目標やその指標等を定めたものです。計画の推進に当たっては、医療介護分野における連携を強化し、地域の実情に根差したきめ細かな支援の実現を目指し、地域で一体となって被保険者を支える地域包括ケアの充実・強化に努めるものとします。

※KPI…Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標。

(2) 計画の位置づけ

保健事業の実施計画(データヘルス計画)とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査・特定保健指導の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するものです。

データヘルス計画の策定に当たっては、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえ、健康寿命の延伸と健康格差の縮小等を基本的な方向とするとともに、関連する他計画(健康増進計画、医療費適正化計画、介護保険事業計画、高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)、国民健康保険運営方針、特定健康診査等実施計画)と調和のとれた内容とします。本計画において推進・強化する取り組み等については他計画の関連事項・関連目標を踏まえて検討し、関係者等に共有し、理解を図るものとします。

2. 計画期間

計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

3. 実施体制・関係者連携

(1) 保険者内の連携体制の確保

田子町国民健康保険における健康課題の分析や計画の策定、保健事業の実施、評価等は、保健衛生部局等の関係部局や県、保健所、国民健康保険団体連合会等の関係機関の協力を得て、国保部局が主体となって行います。国民健康保険には幅広い年代の被保険者が属し、その健康課題もさまざまであることから、後期高齢者医療部局や介護保険部局、生活保護部局(福祉事務所等)等と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者や生活保護受給者の健康課題も踏まえて保健事業を展開します。

国保部局は、研修等による職員の資質向上に努め、計画期間を通じてPDCAサイクルに沿った計画運用ができるよう、体制を確保します。

(2) 関係機関との連携

計画の実効性を高めるためには、関係機関との連携・協力が重要となります。共同保険者である青森県のほか、国民健康保険団体連合会や連合会内に設置される支援・評価委員会、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健医療関係者等、保険者協議会、後期高齢者医療広域連合、健康保険組合等の他の医療保険者、地域の医療機関や大学等の社会資源等と健康課題を共有し、連携強化に努めます。

4. データ分析期間

- 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
- 健康診査データ
- 介護データ(KDB「要介護(支援)者突合状況」を使用)

単年分析

令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)

年度分析

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月健診分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

- 国保データベース(KDB)システムデータ

平成30年度～令和4年度(5年分)

第2章 地域の概況

1. 地域の特性

(1) 地理的・社会的背景

青森県の最南端位置し、南に岩手県二戸市・八幡平市、西は秋田県の鹿角市に隣接する県境の町です。総面積241.98km²の広がりを持ち、東西に19.6km、南北に17.0kmの扇形をなしています。

三県の接点となる四角岳（標高1,003m）から東方及び北方に山岳が連なり、西部一帯が高い山で700m級の比較的緩やかな山なみをなし、その山麓の伸びたところが広大な採草放牧地として利用され、古くから夏山冬里方式の畜産形態が定着しています。

本町の主要道路は、八戸市と秋田県大館市を結ぶ国道104号が、町の中央部を東西に流れる1級河川の熊原川に沿って走り、これに主要地方道2路線が南北に連結しています。

各主要都市部との距離的条件は、本町から中枢都市の八戸までは、約40kmの距離にあり、自動車では約1時間、県庁所在地の青森市までは110kmの距離にあり、自動車では約2時間30分の所要時間となっています。

(2) 医療アクセスの状況

令和4年度における、医療提供体制を示したものです。

医療提供体制(令和4年度)

| 医療項目 | 田子町 | 県 | 同規模 | 国 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 千人当たり | | | | |
| 病院数 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 0.3 |
| 診療所数 | 2.1 | 3.1 | 2.7 | 4.2 |
| 病床数 | 0.0 | 61.7 | 37.4 | 61.1 |
| 医師数 | 2.9 | 10.1 | 4.2 | 13.8 |
| 外来患者数 | 646.8 | 725.8 | 692.2 | 709.6 |
| 入院患者数 | 18.4 | 17.9 | 22.7 | 18.8 |

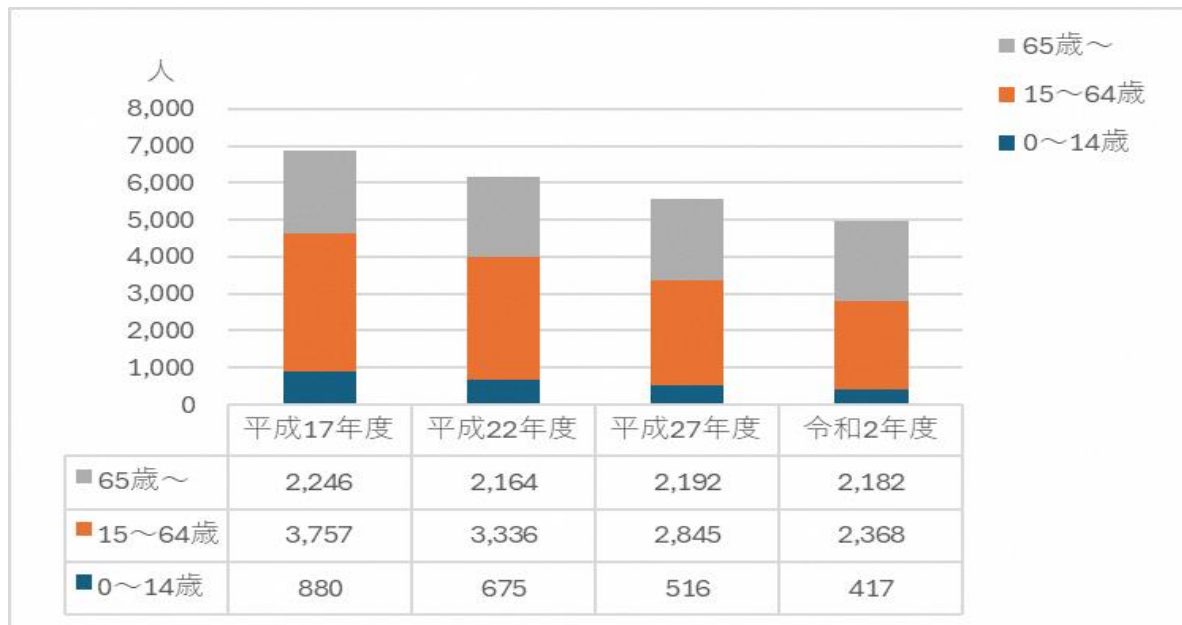
出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 人口構成

(1) 田子町の現状

1. 人口の推移

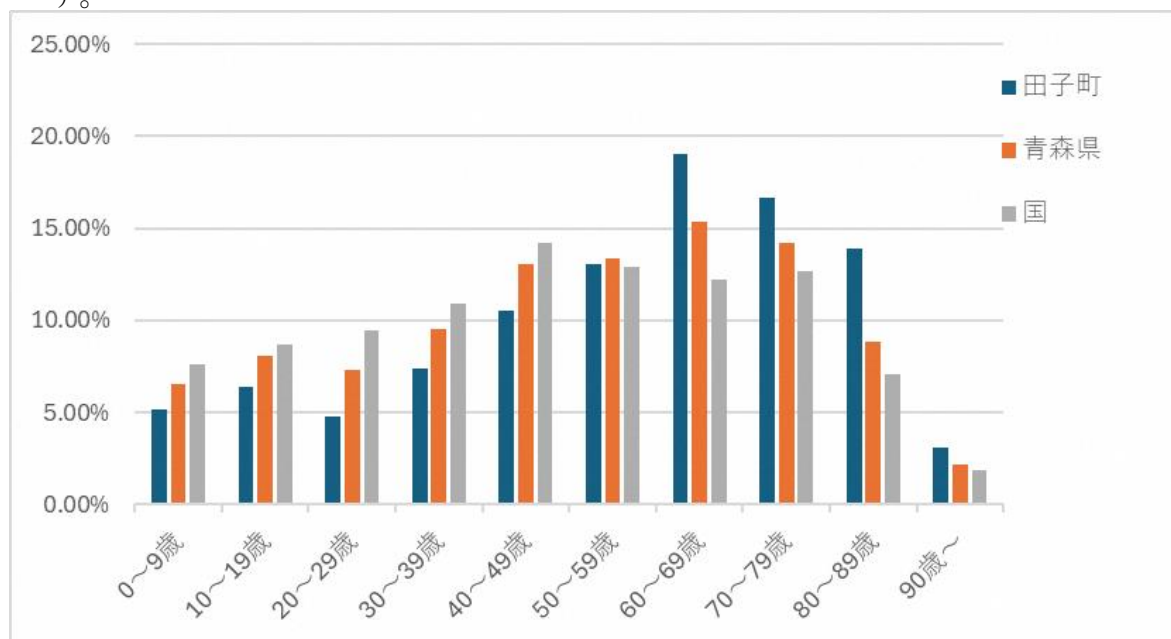
人口は急速に減少し、とくに0～14歳の年少人口の減少率が大きく、高齢化の加速に拍車をかけています。



人口の推移（平成17年～令和2年国勢調査）

2. 高齢化率の推移

年代別の人口構成パターンは、国及び青森県と比較し、40歳代までの人口が少なく、50歳代以降の割合が徐々に高くなっており、高齢化率の高さが表れています。



年代別人口構成（令和2年国勢調査）

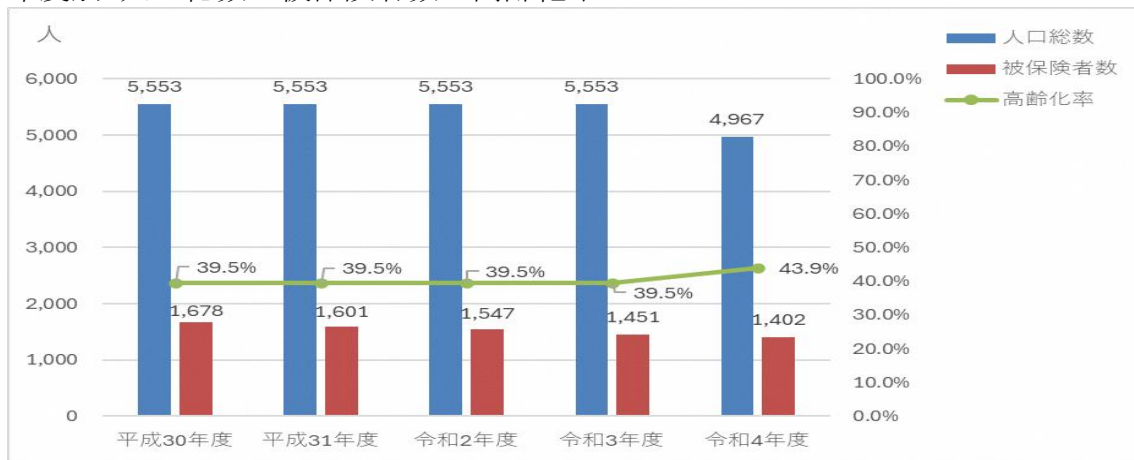
第2期計画の平成30年度から令和4年度における、人口構成概要を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、国民健康保険被保険者数1,402人は平成30年度1,678人より276人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢56.3歳は平成30年度54.1歳より2.2歳上昇しています。

年度別 人口構成概要

| 区分 | | 人口総数 (人) | 高齢化率 (65歳以上) | 国保被保険者数 (人) | 国保加入率 | 国保被保険者 平均年齢(歳) | 出生率 | 死亡率 |
|-----|--------|-------------|-----------------|----------------|-------|-------------------|-----|------|
| 田子町 | 平成30年度 | 5,553 | 39.5% | 1,678 | 30.2% | 54.1 | 4.1 | 20.3 |
| | 平成31年度 | 5,553 | 39.5% | 1,601 | 28.8% | 54.9 | 4.1 | 20.3 |
| | 令和2年度 | 5,553 | 39.5% | 1,547 | 27.9% | 55.7 | 4.1 | 20.3 |
| | 令和3年度 | 5,553 | 39.5% | 1,451 | 26.1% | 56.5 | 4.1 | 20.3 |
| | 令和4年度 | 4,967 | 43.9% | 1,402 | 28.2% | 56.3 | 4.4 | 18.3 |
| 県 | 平成30年度 | 1,297,015 | 30.1% | 316,960 | 24.4% | 54.2 | 6.6 | 13.2 |
| | 平成31年度 | 1,297,015 | 30.1% | 298,000 | 23.0% | 54.7 | 6.6 | 13.2 |
| | 令和2年度 | 1,297,015 | 30.1% | 299,480 | 23.1% | 55.3 | 6.6 | 13.2 |
| | 令和3年度 | 1,297,015 | 30.1% | 288,916 | 22.3% | 55.7 | 6.6 | 13.2 |
| | 令和4年度 | 1,218,222 | 33.9% | 275,215 | 22.6% | 55.8 | 5.6 | 14.7 |
| 同規模 | 平成30年度 | 6,978 | 35.6% | 1,955 | 27.3% | 54.1 | 6.1 | 16.1 |
| | 平成31年度 | 7,076 | 35.6% | 1,915 | 26.4% | 54.6 | 6.1 | 16.1 |
| | 令和2年度 | 7,108 | 35.6% | 1,881 | 25.8% | 55.2 | 6.1 | 16.1 |
| | 令和3年度 | 7,237 | 35.7% | 1,850 | 24.9% | 55.7 | 6.1 | 16.2 |
| | 令和4年度 | 6,774 | 39.4% | 1,780 | 25.6% | 55.7 | 4.9 | 17.2 |
| 国 | 平成30年度 | 125,640,987 | 26.6% | 28,039,851 | 22.3% | 52.5 | 8.0 | 10.3 |
| | 平成31年度 | 125,640,987 | 26.6% | 27,083,475 | 21.6% | 52.9 | 8.0 | 10.3 |
| | 令和2年度 | 125,640,987 | 26.6% | 26,647,825 | 21.2% | 53.4 | 8.0 | 10.3 |
| | 令和3年度 | 125,640,987 | 26.6% | 25,855,400 | 20.6% | 53.7 | 8.0 | 10.3 |
| | 令和4年度 | 123,214,261 | 28.7% | 24,660,500 | 20.0% | 53.4 | 6.8 | 11.1 |

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 人口総数・被保険者数・高齢化率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
人口総数、高齢化率は国勢調査の数値の為、5年に一度の見直し

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものです。

0歳～14歳、15歳～39歳、40歳～64歳の男女合計は令和30年度から減少を続けており、65歳～74歳の層は平成30年度から微増、微減を繰り返していることが見られます。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

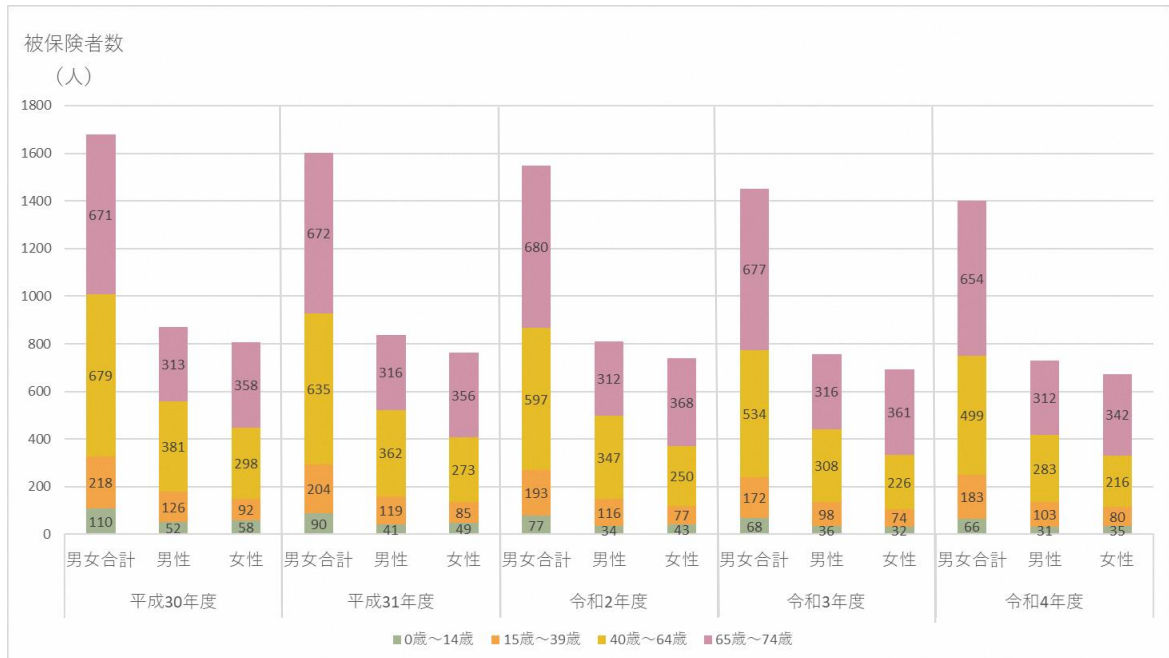
単位：人

| 年齢階層 | 平成30年度 | | | 平成31年度 | | | 令和2年度 | | |
|---------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 男女合計 | 男性 | 女性 | 男女合計 | 男性 | 女性 | 男女合計 | 男性 | 女性 |
| 0歳～14歳 | 110 | 52 | 58 | 90 | 41 | 49 | 77 | 34 | 43 |
| 15歳～39歳 | 218 | 126 | 92 | 204 | 119 | 85 | 193 | 116 | 77 |
| 40歳～64歳 | 679 | 381 | 298 | 635 | 362 | 273 | 597 | 347 | 250 |
| 65歳～74歳 | 671 | 313 | 358 | 672 | 316 | 356 | 680 | 312 | 368 |
| 合計 | 1,678 | 872 | 806 | 1,601 | 838 | 763 | 1,547 | 809 | 738 |

| 年齢階層 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | |
|---------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 男女合計 | 男性 | 女性 | 男女合計 | 男性 | 女性 |
| 0歳～14歳 | 68 | 36 | 32 | 66 | 31 | 35 |
| 15歳～39歳 | 172 | 98 | 74 | 183 | 103 | 80 |
| 40歳～64歳 | 534 | 308 | 226 | 499 | 283 | 216 |
| 65歳～74歳 | 677 | 316 | 361 | 654 | 312 | 342 |
| 合計 | 1,451 | 758 | 693 | 1,402 | 729 | 673 |

出典：国保データベース (KDB) システム 「人口及び被保険者の状況」

年度・男女別国民健康保険被保険者数



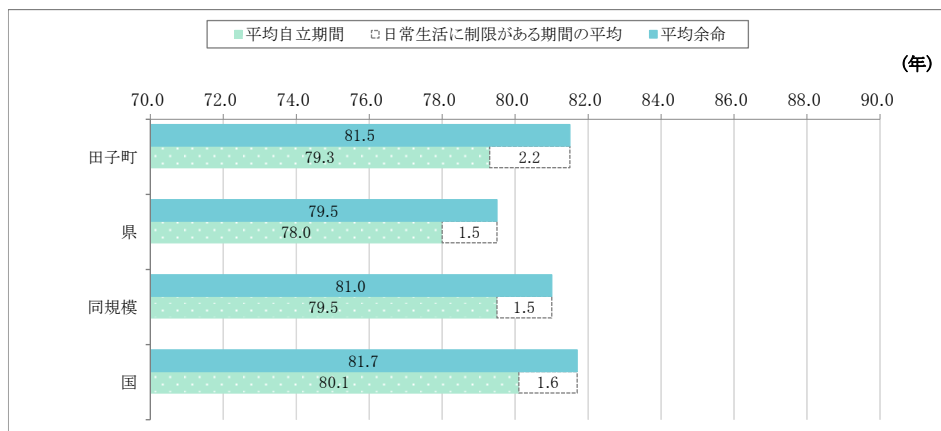
出典：国保データベース (KDB) システム 「人口及び被保険者の状況」

3. 平均余命と平均自立期間

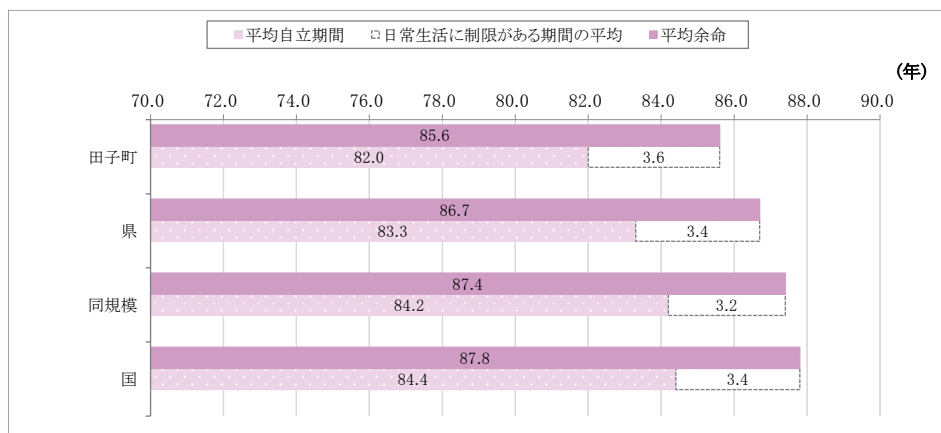
令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものです。平均余命は、ある年齢の人々がその後何年生きられるかという期待値を指し、ここでは0歳時点の平均余命を示しています。また、平均自立期間は、要介護2以上になるまでの期間を「日常生活動作が自立している期間」としてその平均を算出したもので、健康寿命の指標の一つです。平均余命と平均自立期間の差は、日常生活に制限がある期間を意味しています。

男性の平均余命は81.5年、平均自立期間は79.3年です。日常生活に制限がある期間の平均は2.2年で、国の1.6年よりも長い傾向にあります。本町の女性の平均余命は85.6年、平均自立期間は82.0年です。日常生活に制限がある期間の平均は3.6年で、国の3.4年よりも長い傾向にあります。

(男性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)

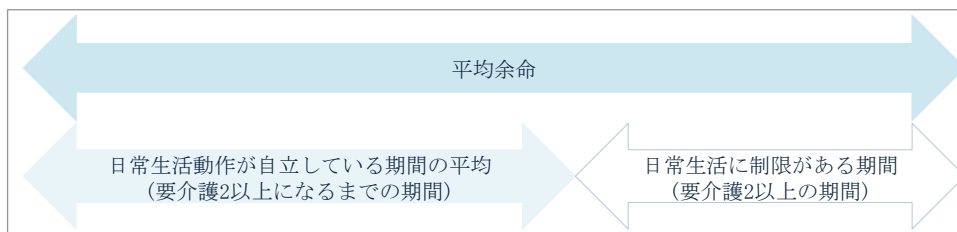


(女性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

【参考】平均余命と平均自立期間について



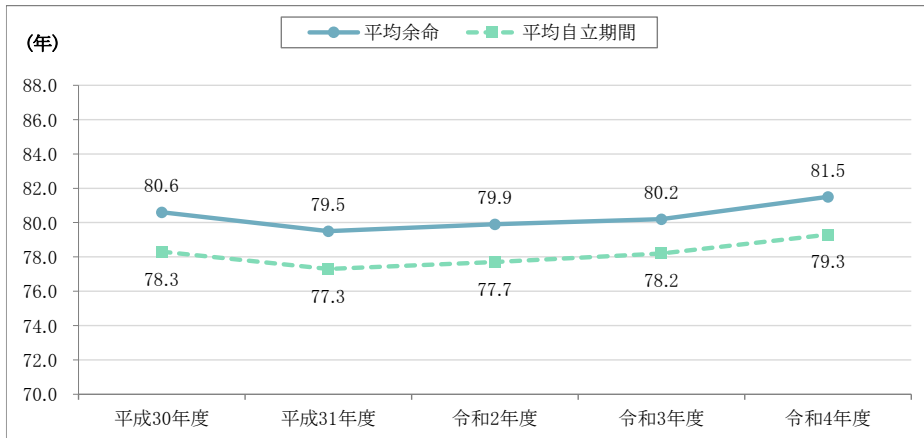
平成30年度から令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものです。男性における令和4年度の平均自立期間79.3年は平成30年度78.3年から1年延伸しています。女性における令和4年度の平均自立期間82.0年は平成30年度80.8年から1.2年延伸しています。

年度・男女別 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均

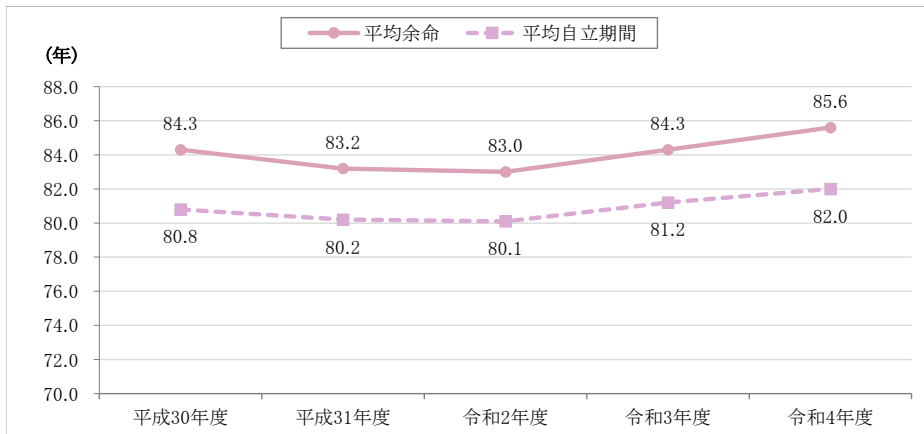
| 年度 | 男性 | | | 女性 | | |
|--------|---------|-----------|--------------------|---------|-----------|--------------------|
| | 平均余命(年) | 平均自立期間(年) | 日常生活に制限がある期間の平均(年) | 平均余命(年) | 平均自立期間(年) | 日常生活に制限がある期間の平均(年) |
| 平成30年度 | 80.6 | 78.3 | 2.3 | 84.3 | 80.8 | 3.5 |
| 平成31年度 | 79.5 | 77.3 | 2.2 | 83.2 | 80.2 | 3.0 |
| 令和2年度 | 79.9 | 77.7 | 2.2 | 83.0 | 80.1 | 2.9 |
| 令和3年度 | 80.2 | 78.2 | 2.0 | 84.3 | 81.2 | 3.1 |
| 令和4年度 | 81.5 | 79.3 | 2.2 | 85.6 | 82.0 | 3.6 |

出典：国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

(男性)年度別 平均余命と平均自立期間



(女性)年度別 平均余命と平均自立期間



出典：国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

4. 介護保険の状況

(1) 要介護(支援)認定状況

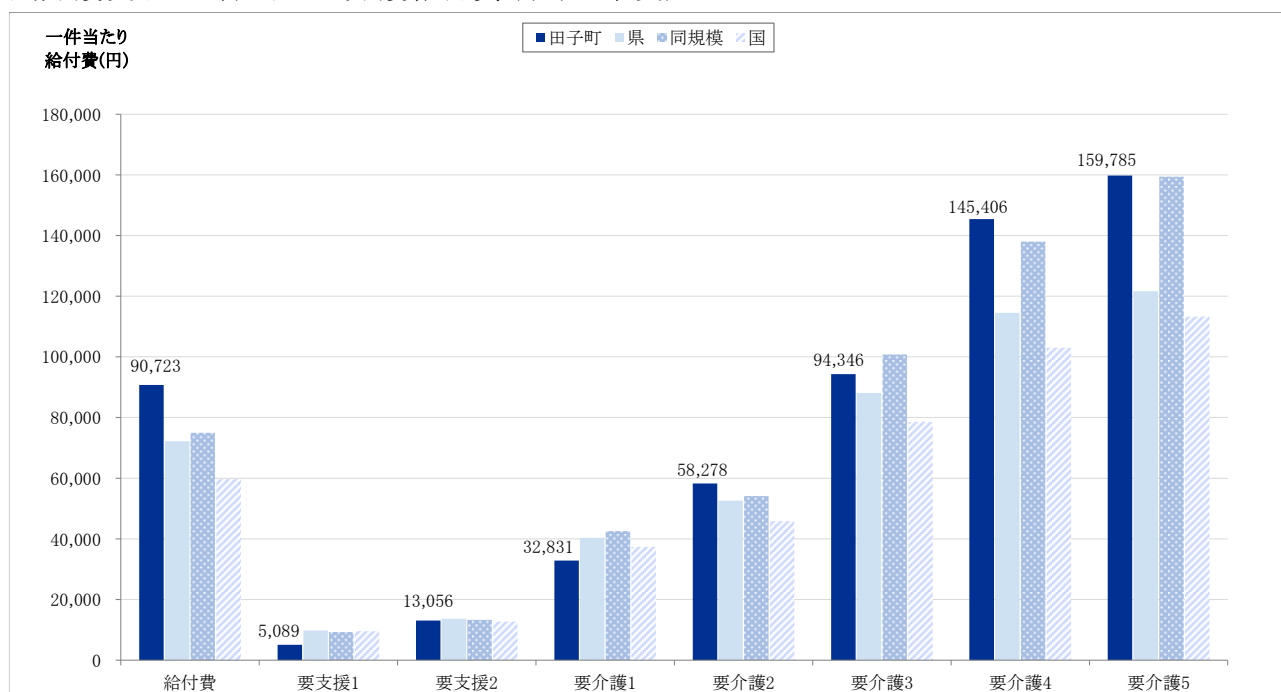
令和4年度における、要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況を示したものです。

要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況(令和4年度)

| 区分 | 田子町 | 県 | 同規模 | 国 |
|-------------|----------------|---------|---------|-----------|
| 認定率 | 18.8% | 18.5% | 19.4% | 19.4% |
| 認定者数(人) | 409 | 78,134 | 129,234 | 6,880,137 |
| 第1号(65歳以上) | 400 | 76,189 | 127,161 | 6,724,030 |
| 第2号(40～64歳) | 9 | 1,945 | 2,073 | 156,107 |
| 一件当たり給付費(円) | | | | |
| 給付費 | 90,723 | 72,200 | 74,986 | 59,662 |
| 要支援1 | 5,089 | 9,794 | 9,282 | 9,568 |
| 要支援2 | 13,056 | 13,592 | 13,272 | 12,723 |
| 要介護1 | 32,831 | 40,360 | 42,564 | 37,331 |
| 要介護2 | 58,278 | 52,617 | 54,114 | 45,837 |
| 要介護3 | 94,346 | 88,126 | 100,788 | 78,504 |
| 要介護4 | 145,406 | 114,488 | 137,990 | 103,025 |
| 要介護5 | 159,785 | 121,631 | 159,430 | 113,314 |

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

要介護度別 一件当たり介護給付費(令和4年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

5. 要介護認定状況に係る分析

(1) 要介護度別被保険者数

田子町国民健康保険における、要介護度別被保険者数を示したものです。要介護認定者数は男性20名、女性11名の合計31人で、要介護認定状況が確認できた40歳以上の被保険者の2.5%を占めています。

年齢階層別 要介護度別被保険者数

単位:人

| 年齢階層 | 非該当 | | 要介護認定 | | 要介護 | | | | | 合計 | |
|---------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|
| | 非該当 | 要介護認定 | 要支援 | | 要介護 | | | | | | |
| | | | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | | |
| 40歳～44歳 | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 54 |
| 45歳～49歳 | 81 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 81 |
| 50歳～54歳 | 111 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 111 |
| 55歳～59歳 | 99 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 103 | |
| 60歳～64歳 | 184 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 188 | |
| 65歳～69歳 | 282 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 286 | |
| 70歳～74歳 | 408 | 19 | 1 | 3 | 1 | 7 | 0 | 4 | 3 | 427 | |
| 合計 | 1,219 | 31 | 1 | 3 | 2 | 10 | 2 | 7 | 6 | 1,250 | |

年齢階層別 要介護度別被保険者数(男性)

単位:人

| 年齢階層 | 非該当 | | 要介護認定 | | 要介護 | | | | | 合計 | |
|---------|-----|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|----|
| | 非該当 | 要介護認定 | 要支援 | | 要介護 | | | | | | |
| | | | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | | |
| 40歳～44歳 | 36 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 |
| 45歳～49歳 | 57 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 57 |
| 50歳～54歳 | 62 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 62 |
| 55歳～59歳 | 52 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 54 | |
| 60歳～64歳 | 96 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 98 | |
| 65歳～69歳 | 136 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 140 | |
| 70歳～74歳 | 179 | 12 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 4 | 2 | 191 | |
| 合計 | 618 | 20 | 1 | 1 | 0 | 6 | 2 | 7 | 3 | 638 | |

年齢階層別 要介護度別被保険者数(女性)

単位:人

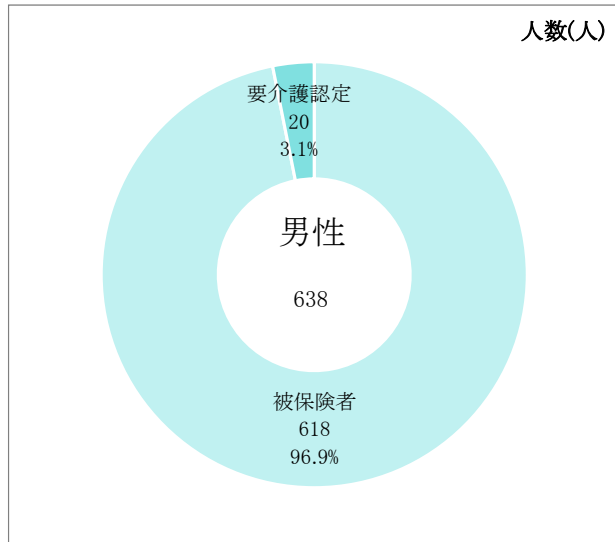
| 年齢階層 | 非該当 | | 要介護認定 | | 要介護 | | | | | 合計 | |
|---------|-----|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|----|
| | 非該当 | 要介護認定 | 要支援 | | 要介護 | | | | | | |
| | | | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | | |
| 40歳～44歳 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| 45歳～49歳 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| 50歳～54歳 | 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49 |
| 55歳～59歳 | 47 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 49 | |
| 60歳～64歳 | 88 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 90 | |
| 65歳～69歳 | 146 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 146 | |
| 70歳～74歳 | 229 | 7 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 236 | |
| 合計 | 601 | 11 | 0 | 2 | 2 | 4 | 0 | 0 | 3 | 612 | |

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

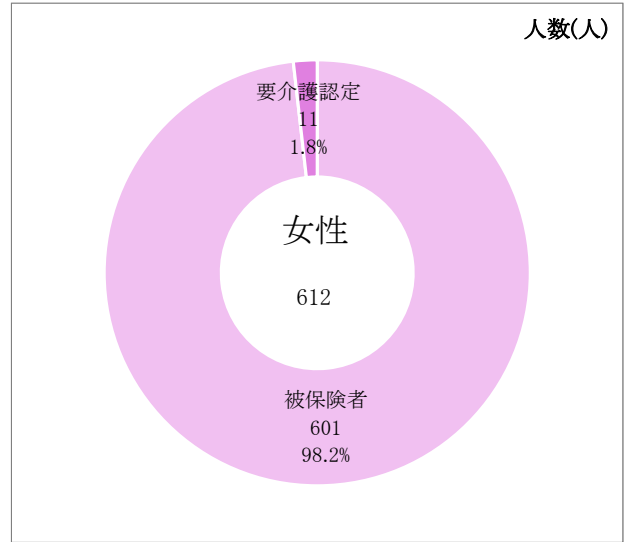
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

要介護認定率(男性)

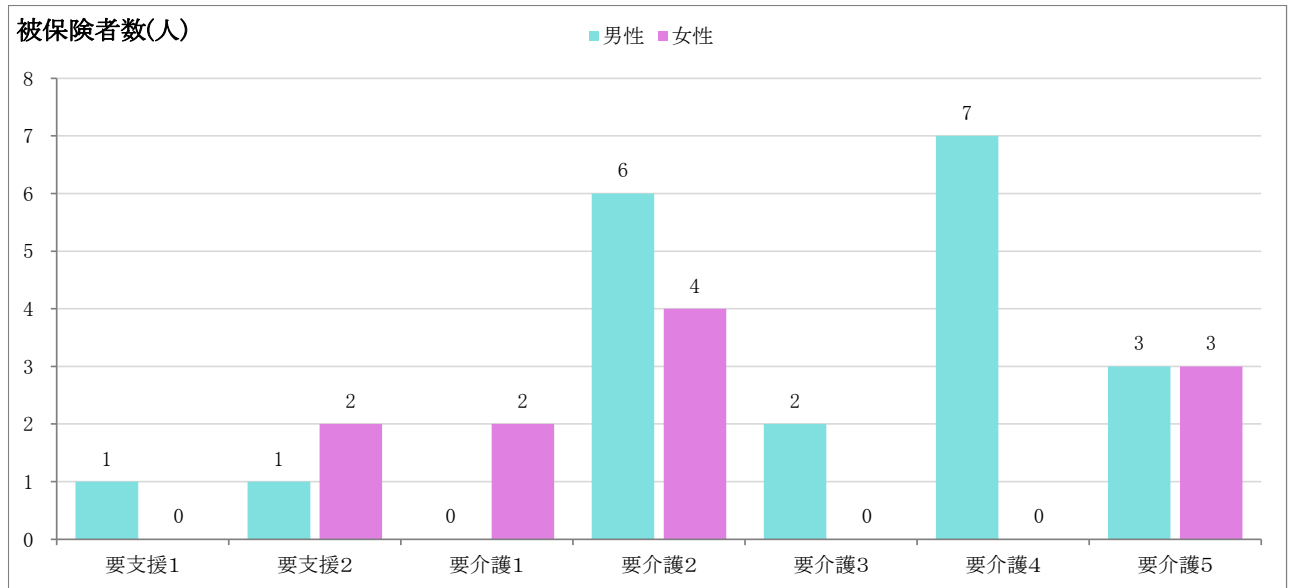


要介護認定率(女性)



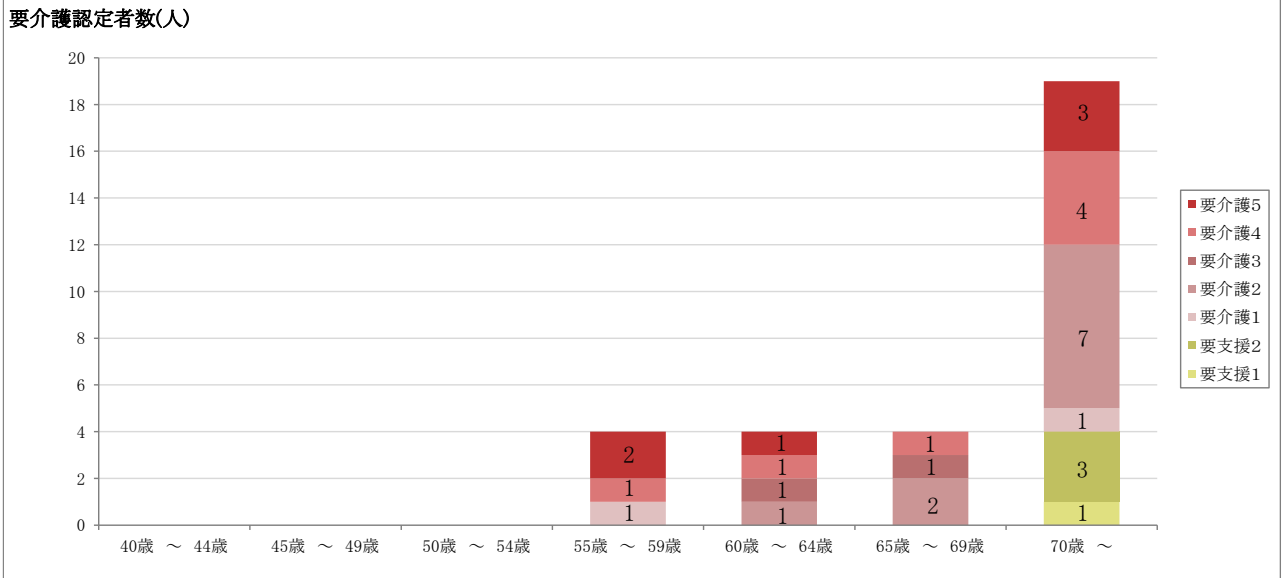
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
 被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
 被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

年齢階層別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

令和2年度から令和4年度における、要介護度別被保険者数を年度別に示したものです。

年度別 要介護度別被保険者数

単位:人

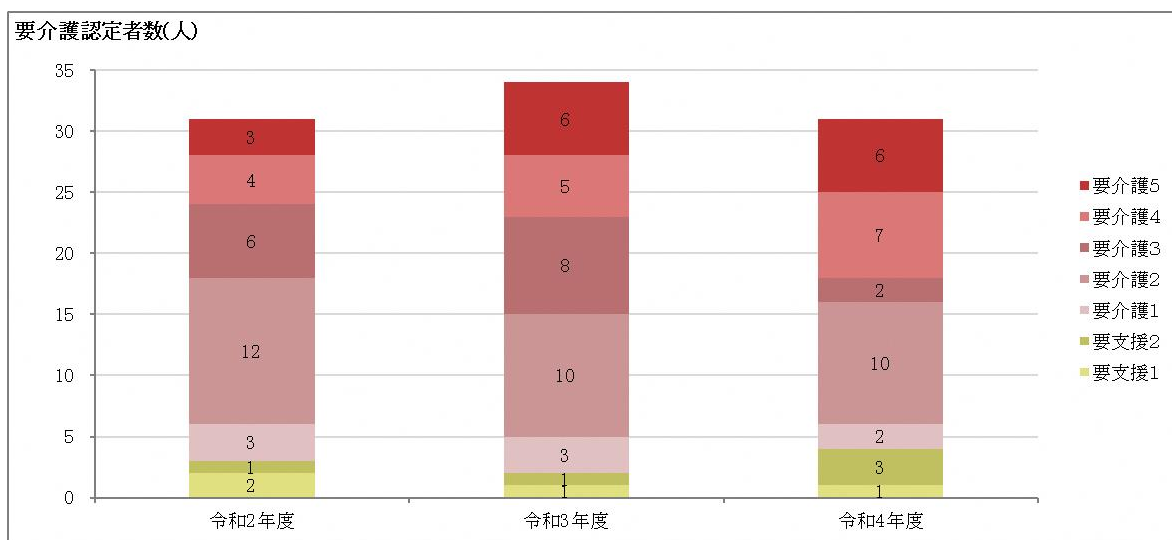
| 要介護度 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|------|-------|-------|-------|
| 被保険者 | | 1,279 | 1,258 | 1,219 |
| | | 31 | 34 | 31 |
| 要支援 | 要支援1 | 2 | 1 | 1 |
| | 要支援2 | 1 | 1 | 3 |
| 要介護 | 要介護1 | 3 | 3 | 2 |
| | 要介護2 | 12 | 10 | 10 |
| | 要介護3 | 6 | 8 | 2 |
| | 要介護4 | 4 | 5 | 7 |
| | 要介護5 | 3 | 6 | 6 |
| 合計 | | 1,310 | 1,292 | 1,250 |

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。

被保険者の資格情報は令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年度別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。

被保険者の資格情報は令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(2) 要介護度別医療費の状況

要介護度別医療費の状況について示したものです。

介護度別の医療費を見ると要介護度2の一人当たり医療費が高くなっている。

疾病別に見ると、「気管、気管支及び肺の悪性新生物〈腫瘍〉」の医療費が非常に高くなっている。

要介護度別 医療費統計

| 要介護度 | 被保険者数(人) | 医療費(円) | 患者数(人) ※ | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 患者一人当たりの医療費(円) |
|------|----------|-------------|----------|------------------|----------------|
| 非該当 | 1,225 | 412,876,270 | 1,021 | 337,042 | 404,384 |
| 該当 | 31 | 43,642,010 | 30 | 1,407,807 | 1,454,734 |
| 要支援 | 要支援1 | 674,990 | 1 | 674,990 | 674,990 |
| | 要支援2 | 424,530 | 3 | 141,510 | 141,510 |
| 要介護 | 要介護1 | 899,160 | 4 | 224,790 | 224,790 |
| | 要介護2 | 16,999,150 | 10 | 1,699,915 | 1,699,915 |
| | 要介護3 | 5,493,790 | 6 | 784,827 | 915,632 |
| | 要介護4 | 11,347,460 | 8 | 1,418,433 | 1,418,433 |
| | 要介護5 | 7,802,930 | 6 | 1,300,488 | 1,300,488 |
| 不明 | | 0 | 0 | | |
| 合計 | 1,250 | 456,518,280 | 1,045 | 365,215 | 436,860 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

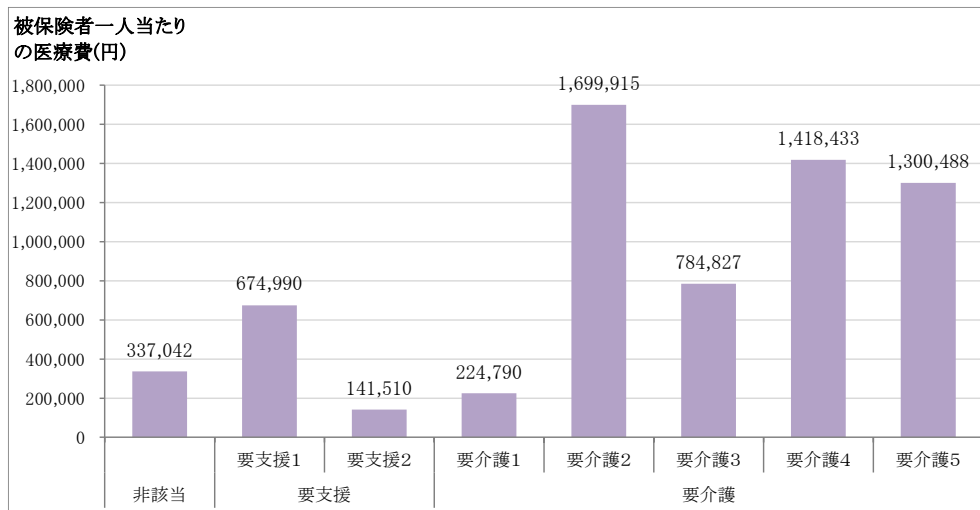
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…診療年月時点の要介護度で集計している。要介護度の変更により、一人の患者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の患者数の和は、患者数合計とは必ずしも一致しない。

要介護度別 被保険者一人当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。

(3) 要介護度と疾病有病状況

① 要介護度別上位10疾病

要介護度別の医療費上位10疾病を示したものです。

要介護度別 医療費上位10疾病

単位:円

| 要介護度 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|------|--|---|--|---------------------------------------|--|
| 非該当 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 30,879,710 | 0402 糖尿病 29,706,686 | 0606 その他の神経系の疾患 28,060,971 | 0903 その他の心疾患 25,070,421 | 1402 腎不全 24,314,416 |
| 要支援 | 要支援1 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 193,824 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 180,415 | 0903 その他の心疾患 102,230 | 1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 64,439 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 47,733 |
| | 要支援2 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 108,268 | 1309 骨の密度及び構造の障害 90,104 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 48,175 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 20,840 | 1404 その他の腎尿路系の疾患 20,244 |
| 要介護 | 要介護1 0402 糖尿病 144,826 | 0906 脳梗塞 84,536 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 79,043 | 0403 脂質異常症 76,332 | 1113 その他の消化器系の疾患 74,312 |
| | 要介護2 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 11,264,370 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 1,357,810 | 0601 パーキンソン病 981,548 | 0903 その他の心疾患 607,274 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 261,812 |
| | 要介護3 0602 アルツハイマー病 3,524,934 | 0601 パーキンソン病 729,972 | 0606 その他の神経系の疾患 418,235 | 0903 その他の心疾患 187,591 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 174,245 |
| | 要介護4 0906 脳梗塞 2,194,560 | 0501 血管性及び詳細不明の認知症 2,114,852 | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 1,656,827 | 0602 アルツハイマー病 1,648,104 | 0903 その他の心疾患 1,184,736 |
| | 要介護5 0602 アルツハイマー病 2,805,698 | 0601 パーキンソン病 1,040,784 | 0605 自律神経系の障害 1,040,700 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 874,339 | 0606 その他の神経系の疾患 564,233 |
| 全体 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 32,559,631 | 0402 糖尿病 30,399,848 | 0606 その他の神経系の疾患 29,437,807 | 0903 その他の心疾患 27,161,369 | 1402 腎不全 24,426,849 |

| 要介護度 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
|------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|---|--|
| 非該当 | 0901 高血圧性疾患 22,955,560 | 1302 関節症 17,551,685 | 1113 その他の消化器系の疾患 16,341,759 | 0403 脂質異常症 11,990,306 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 10,696,573 |
| 要支援 | 要支援1 1113 その他の消化器系の疾患 21,468 | 0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 20,909 | 0402 糖尿病 13,393 | 0902 虚血性心疾患 10,131 | 0301 貧血 7,141 |
| | 要支援2 1105 胃炎及び十二指腸炎 19,459 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) 14,195 | 1302 関節症 12,634 | 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 12,634 | 1305 頸腕症候群 12,631 |
| 要介護 | 要介護1 0206 乳房の悪性新生物<腫瘍> 62,711 | 0107 真菌症 43,111 | 0602 アルツハイマー病 40,501 | 0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> 31,090 | 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 26,080 |
| | 要介護2 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 257,364 | 0606 その他の神経系の疾患 214,825 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 198,977 | 1113 その他の消化器系の疾患 192,610 | 0402 糖尿病 157,674 |
| | 要介護3 0402 糖尿病 74,282 | 0906 脳梗塞 60,925 | 0403 脂質異常症 53,920 | 1404 その他の腎尿路系の疾患 40,309 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 35,156 |
| | 要介護4 1004 肺炎 397,704 | 1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 375,137 | 1011 その他の呼吸器系の疾患 344,042 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 198,053 | 0606 その他の神経系の疾患 155,936 |
| | 要介護5 0507 その他の精神及び行動の障害 242,054 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 198,532 | 0402 糖尿病 184,986 | 1113 その他の消化器系の疾患 168,096 | 0901 高血圧性疾患 106,266 |
| 全体 | 0901 高血圧性疾患 23,281,583 | 1302 関節症 17,591,569 | 1113 その他の消化器系の疾患 16,902,516 | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 15,018,999 | 0403 脂質異常症 12,257,692 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

要介護度別の患者数上位10疾病を示したものです。

要介護度別 患者数上位10疾病

単位:人

| 要介護度 | | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|------|------|---|---|-------------------------|---|------------------------------------|
| 非該当 | | 0901 高血圧性疾患 577 | 0403 脂質異常症 411 | 1113 その他の消化器系の疾患 403 | 0402 糖尿病 402 | 0703 屈折及び調節の障害 326 |
| 要支援 | 要支援1 | 0202 結腸の悪性新生物<腫瘍> 1 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 1 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 1 | 0301 貧血 1 | 0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 1 |
| | 要支援2 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 3 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) 2 | 1309 骨の密度及び構造の障害 2 | 1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 2 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 1 |
| 要介護 | 要介護1 | 0906 脳梗塞 3 | 1113 その他の消化器系の疾患 2 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) 2 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 2 | 1901 骨折 2 |
| | 要介護2 | 1113 その他の消化器系の疾患 8 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 7 | 0107 真菌症 5 | 0402 糖尿病 5 | 1110 その他の肝疾患 5 |
| | 要介護3 | 0606 その他の神経系の疾患 5 | 0402 糖尿病 4 | 0903 その他の心疾患 4 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 4 | 0403 脂質異常症 3 |
| | 要介護4 | 0606 その他の神経系の疾患 5 | 0903 その他の心疾患 5 | 1113 その他の消化器系の疾患 5 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 5 | 0109 その他の感染症及び寄生虫症 4 |
| | 要介護5 | 1113 その他の消化器系の疾患 6 | 0402 糖尿病 4 | 0606 その他の神経系の疾患 4 | 0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 3 | 1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患 3 |
| | 全体 | 0901 高血圧性疾患 586 | 1113 その他の消化器系の疾患 421 | 0402 糖尿病 416 | 0403 脂質異常症 416 | 0703 屈折及び調節の障害 328 |

| 要介護度 | | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
|------|---|---|---|----------------------------------|-------------------------|------------------------------------|
| 非該当 | | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 299 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 291 | 0606 その他の神経系の疾患 267 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 264 | 0903 その他の心疾患 251 |
| 要支援 | 要支援1 | 0402 糖尿病 1 | 0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 1 | 0606 その他の神経系の疾患 1 | 0902 虚血性心疾患 1 | 0903 その他の心疾患 1 |
| | 要支援2 | 0606 その他の神経系の疾患 1 | 0702 白内障 1 | 0703 屈折及び調節の障害 1 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 1 | 0912 その他の循環器系の疾患 1 |
| 要介護 | 要介護1 | 0107 真菌症 1 | 0206 乳房の悪性新生物<腫瘍> 1 | 0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> 1 | 0301 貧血 1 | 0402 糖尿病 1 |
| | 要介護2 | 1202 皮膚炎及び湿疹 5 | 0606 その他の神経系の疾患 4 | 0901 高血圧性疾患 4 | 0903 その他の心疾患 4 | 1011 その他の呼吸器系の疾患 4 |
| | 要介護3 | 0602 アルツハイマー病 3 | 0901 高血圧性疾患 3 | 0906 脳梗塞 3 | 1113 その他の消化器系の疾患 3 | 0107 真菌症 2 |
| | 要介護4 | 0402 糖尿病 4 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 4 | 0901 高血圧性疾患 4 | 0906 脳梗塞 4 | 1011 その他の呼吸器系の疾患 4 |
| | 要介護5 | 1404 その他の腎尿路系の疾患 3 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 3 | 0107 真菌症 2 | 0301 貧血 2 | 0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 2 |
| 全体 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 315 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 293 | 0606 その他の神経系の疾患 281 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 269 | 0903 その他の心疾患 262 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

要介護度別の患者一人当たりの医療費上位10疾病を示したものです。

要介護度別 患者一人当たりの医療費上位10疾病

単位:円

| 要介護度 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|------|----------------------------|------------------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--------------|
| 非該当 | 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 0501 血管性及び詳細不明の認知症 | 1402 腎不全 | 0209 白血病 | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | |
| | 941,265 | 679,606 | 578,915 | 447,482 | 357,311 | |
| 要支援 | 要支援1 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 0903 その他の心疾患 | 1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | |
| | 193,824 | 180,415 | 102,230 | 64,439 | 47,733 | |
| 要支援2 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 1309 骨の密度及び構造の障害 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 | 1404 その他の腎尿路系の疾患 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 | |
| | 108,268 | 45,052 | 20,840 | 20,244 | 19,459 | |
| 要介護 | 要介護1 | 0402 糖尿病 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 0403 脂質異常症 | 0206 乳房の悪性新生物<腫瘍> | 0107 真菌症 |
| | | 144,826 | 79,043 | 76,332 | 62,711 | 43,111 |
| | 要介護2 | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 0601 パーキンソン病 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 0903 その他の心疾患 |
| | | 5,632,185 | 981,548 | 452,603 | 261,812 | 151,819 |
| | 要介護3 | 0602 アルツハイマー病 | 0601 パーキンソン病 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 0606 その他の神経系の疾患 | 0903 その他の心疾患 |
| | | 1,174,978 | 729,972 | 174,245 | 83,647 | 46,898 |
| 要介護4 | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 0501 血管性及び詳細不明の認知症 | 0602 アルツハイマー病 | 0906 脳梗塞 | 1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | |
| | 1,656,827 | 1,057,426 | 549,368 | 548,640 | 375,137 | |
| 要介護5 | 0602 アルツハイマー病 | 0601 パーキンソン病 | 0605 自律神経系の障害 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 0507 その他の精神及び行動の障害 | |
| | 1,402,849 | 1,040,784 | 1,040,700 | 437,170 | 242,054 | |
| 全体 | 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 0501 血管性及び詳細不明の認知症 | 1402 腎不全 | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 0602 アルツハイマー病 | |
| | 941,265 | 823,326 | 555,156 | 517,897 | 486,831 | |

| 要介護度 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | |
|------|--------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 非該当 | 0208 悪性リンパ腫 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 0601 パーキンソン病 | |
| | 308,453 | 277,178 | 208,647 | 205,703 | 175,411 | |
| 要支援 | 要支援1 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 | 0402 糖尿病 | 0902 虚血性心疾患 | 0301 貧血 |
| | 21,468 | 20,909 | 13,393 | 10,131 | 7,141 | |
| 要支援2 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 1302 関節症 | 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 | 1305 頸腕症候群 | 1202 皮膚炎及び湿疹 | |
| | 16,058 | 12,634 | 12,634 | 12,631 | 11,410 | |
| 要介護 | 要介護1 | 0602 アルツハイマー病 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> | 0906 脳梗塞 | 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 |
| | | 40,501 | 37,156 | 31,090 | 28,179 | 26,080 |
| | 要介護2 | 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 1402 腎不全 | 1009 慢性閉塞性肺疾患 | 0606 その他の神経系の疾患 |
| | | 133,714 | 99,489 | 56,217 | 54,446 | 53,706 |
| | 要介護3 | 0906 脳梗塞 | 1404 その他の腎尿路系の疾患 | 0402 糖尿病 | 0403 脂質異常症 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) |
| | 20,308 | 20,155 | 18,571 | 17,973 | 15,183 | |
| 要介護4 | 0903 その他の心疾患 | 1004 肺炎 | 1011 その他の呼吸器系の疾患 | 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | |
| | 236,947 | 198,852 | 86,011 | 47,103 | 46,503 | |
| 要介護5 | 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 0606 その他の神経系の疾患 | 0603 てんかん | 0403 脂質異常症 | 0901 高血圧性疾患 | |
| | 198,532 | 141,058 | 102,183 | 68,749 | 53,133 | |
| 全体 | 0209 白血病 | 0601 パーキンソン病 | 0208 悪性リンパ腫 | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | |
| | 447,482 | 333,927 | 308,453 | 279,609 | 263,355 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計を含む。

6. 死亡の状況

令和4年度における、死亡の状況を示したものです。

令和4年度における田子町国民健康保険の死亡状況を国を100として比較（標準化死亡率）すると、田子町は100以上であるため死亡数が国と比較して高いことを示しています。

男女別 標準化死亡比(令和4年度)

| | 田子町 | 県 | 同規模 | 国 |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 117.4 | 119.1 | 103.1 | 100.0 |
| 女性 | 123.6 | 110.8 | 101.3 | 100.0 |

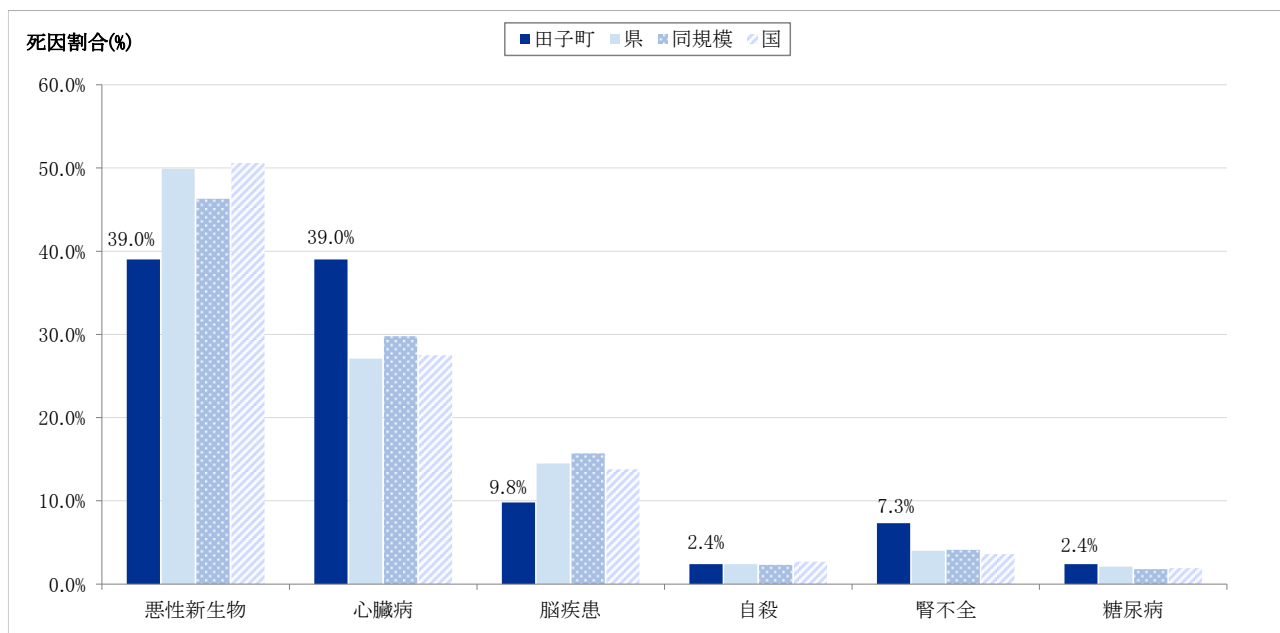
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の状況(令和4年度)

| 疾病項目 | 田子町 | | 県 | 同規模 | 国 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数(人) | 割合(%) | | | |
| 悪性新生物 | 16 | 39.0% | 49.9% | 46.3% | 50.6% |
| 心臓病 | 16 | 39.0% | 27.1% | 29.8% | 27.5% |
| 脳疾患 | 4 | 9.8% | 14.5% | 15.7% | 13.8% |
| 自殺 | 1 | 2.4% | 2.4% | 2.3% | 2.7% |
| 腎不全 | 3 | 7.3% | 4.0% | 4.1% | 3.6% |
| 糖尿病 | 1 | 2.4% | 2.1% | 1.8% | 1.9% |
| 合計 | 41 | | | | |

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

平成30年度から令和4年度における、死亡の状況を年度別に示したものです。

年度・男女別 標準化死亡比

| 区分 | 男性 | | | | | 女性 | | | | |
|-----|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 田子町 | 130.5 | 130.5 | 130.5 | 117.4 | 117.4 | 100.3 | 100.3 | 100.3 | 123.6 | 123.6 |
| 県 | 119.8 | 119.8 | 119.8 | 119.1 | 119.1 | 109.6 | 109.6 | 109.6 | 110.8 | 110.8 |
| 同規模 | 104.5 | 104.5 | 104.5 | 103.2 | 103.1 | 100.7 | 100.6 | 100.6 | 101.4 | 101.3 |
| 国 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

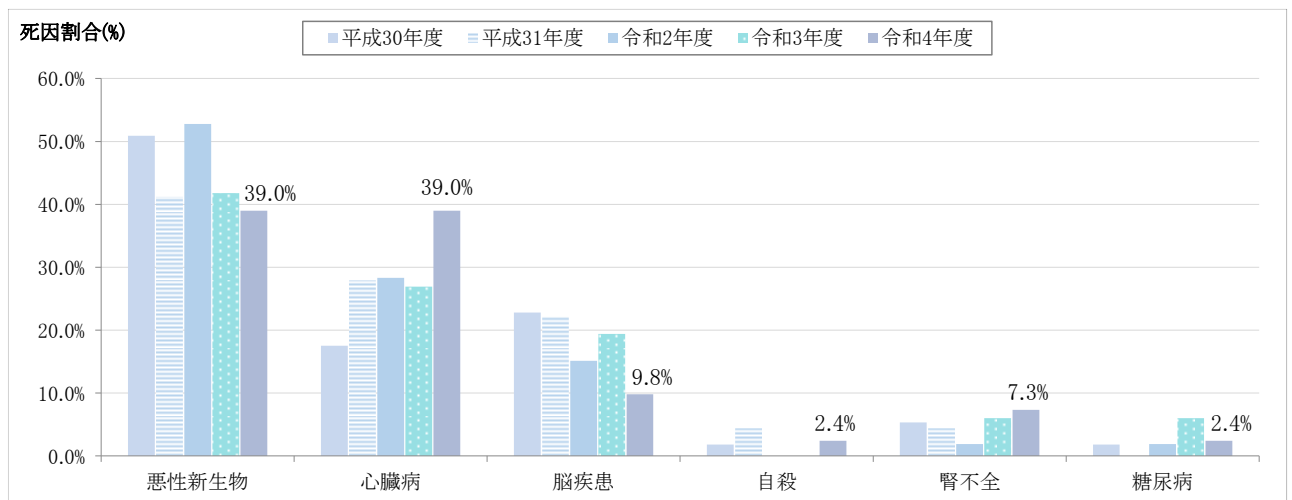
主たる死因の状況について、令和4年度と平成30年度を比較すると、悪性新生物を死因とする人数16人は平成30年度29人より13人減少しており、心臓病を死因とする人数16人は平成30年度10人より6人増加しています。また、脳疾患を死因とする人数4人は平成30年度13人より9人減少しています。

年度別 主たる死因の状況

| 疾病項目 | 田子町 | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | 人数(人) | | | | | 割合(%) | | | | |
| | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 悪性新生物 | 29 | 28 | 28 | 28 | 16 | 50.9% | 41.2% | 52.8% | 41.8% | 39.0% |
| 心臓病 | 10 | 19 | 15 | 18 | 16 | 17.5% | 27.9% | 28.3% | 26.9% | 39.0% |
| 脳疾患 | 13 | 15 | 8 | 13 | 4 | 22.8% | 22.1% | 15.1% | 19.4% | 9.8% |
| 自殺 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1.8% | 4.4% | 0.0% | 0.0% | 2.4% |
| 腎不全 | 3 | 3 | 1 | 4 | 3 | 5.3% | 4.4% | 1.9% | 6.0% | 7.3% |
| 糖尿病 | 1 | 0 | 1 | 4 | 1 | 1.8% | 0.0% | 1.9% | 6.0% | 2.4% |
| 合計 | 57 | 68 | 53 | 67 | 41 | | | | | |

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

第3章 健康・医療情報等の分析

1. 医療費の基礎集計

(1) 医療費の状況

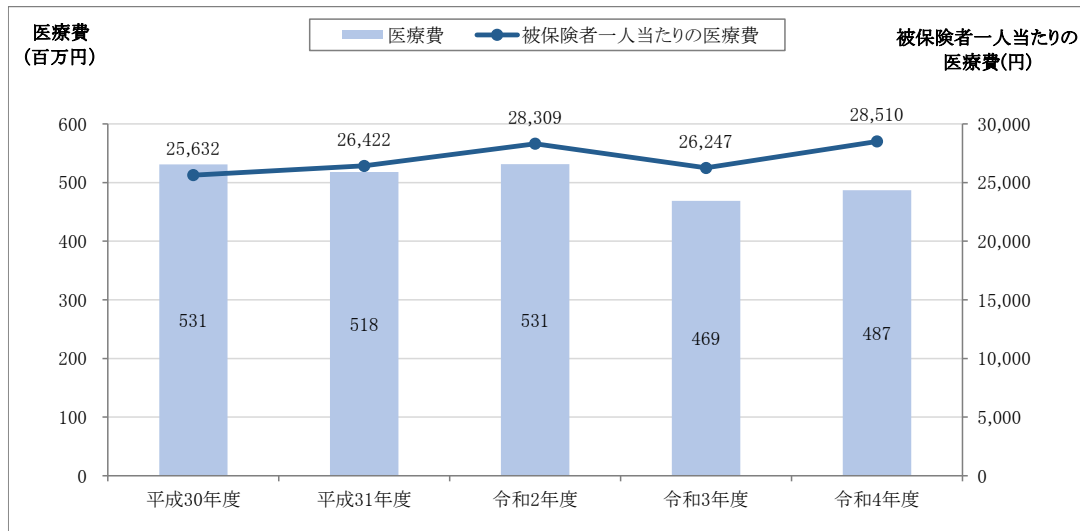
医療費の状況を示したものです。

1人当たり医療費はほぼ横ばいであるものの、総医療費は減少しています。

後の資料「医療費の三要素」から全体に対する一件当たりの日数が減少している事が確認出来ます。

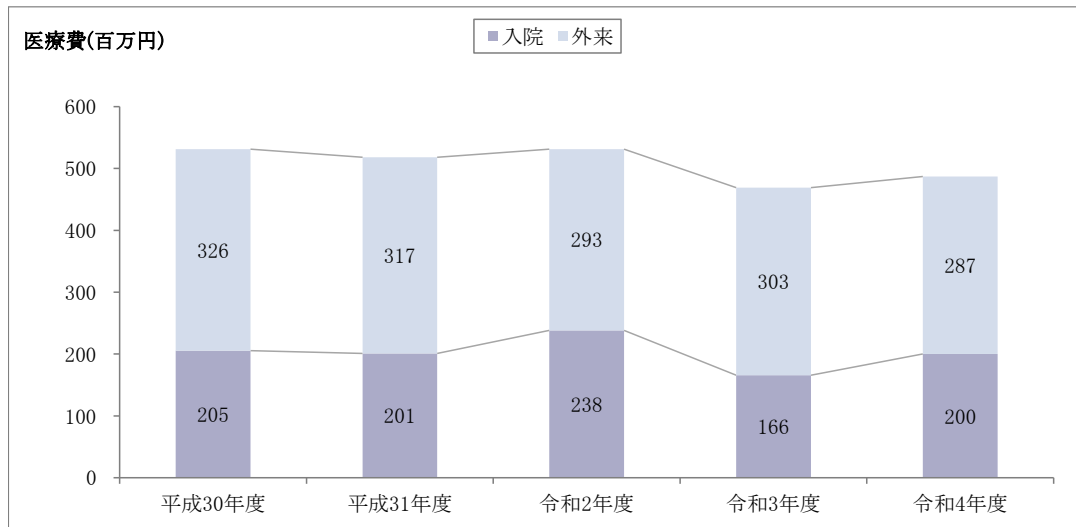
また、被保険者数の減少が影響していることが推測されます。

年度別 医療費の状況



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

年度別 入院・外来別医療費



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別の被保険者一人当たりの医療費を示したものです。

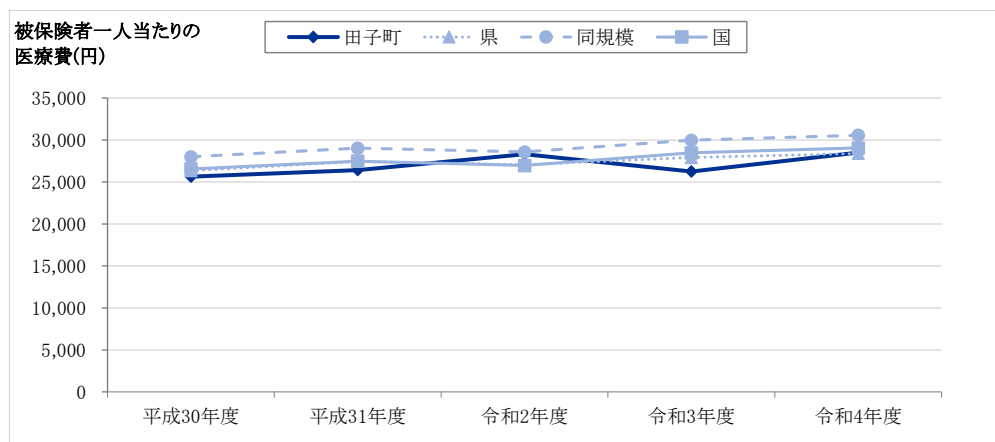
年度別 被保険者一人当たりの医療費

単位：円

| 年度 | 田子町 | 県 | 同規模 | 国 |
|--------|---------------|--------|--------|--------|
| 平成30年度 | 25,632 | 26,329 | 27,986 | 26,555 |
| 平成31年度 | 26,422 | 27,454 | 29,020 | 27,475 |
| 令和2年度 | 28,309 | 27,043 | 28,570 | 26,961 |
| 令和3年度 | 26,247 | 27,903 | 29,970 | 28,469 |
| 令和4年度 | 28,510 | 28,395 | 30,571 | 29,043 |

出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

年度別 被保険者一人当たりの医療費



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

(2) 医療費の三要素

年度別の被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費について入院・入院外別に示したものです。

年度別 被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

| 年度 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | |
|-----|------------------|----------------|---------|---------|--------|
| 入院 | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 145,024 | 103,349 | 129,486 | |
| | 三要素 | 受診率(件/人) ※ | 0.25 | 0.20 | 0.20 |
| | | 一件当たりの日数(日) ※ | 16.32 | 15.58 | 16.69 |
| | | 一日当たりの医療費(円) ※ | 35,896 | 33,835 | 38,724 |
| 入院外 | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 177,880 | 189,227 | 187,585 | |
| | 三要素 | 受診率(件/人) ※ | 6.96 | 7.05 | 7.23 |
| | | 一件当たりの日数(日) ※ | 1.40 | 1.35 | 1.34 |
| | | 一日当たりの医療費(円) ※ | 18,232 | 19,935 | 19,303 |
| 全体 | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 322,904 | 292,576 | 317,071 | |
| | 三要素 | 受診率(件/人) ※ | 7.21 | 7.25 | 7.43 |
| | | 一件当たりの日数(日) ※ | 1.91 | 1.73 | 1.76 |
| | | 一日当たりの医療費(円) ※ | 23,404 | 23,319 | 24,275 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

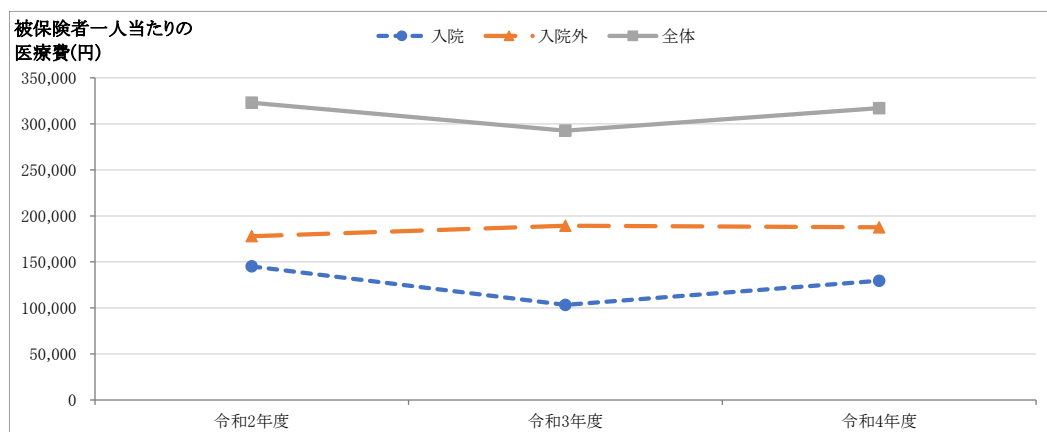
本分析における被保険者一人当たりの医療費は、各年度内の被保険者数を用いて算出している。年度別基礎統計の被保険者一人当たりの医療費は、各年度の一カ月平均の被保険者数を用いて算出しているため、本分析とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 被保険者一人当たりの医療費

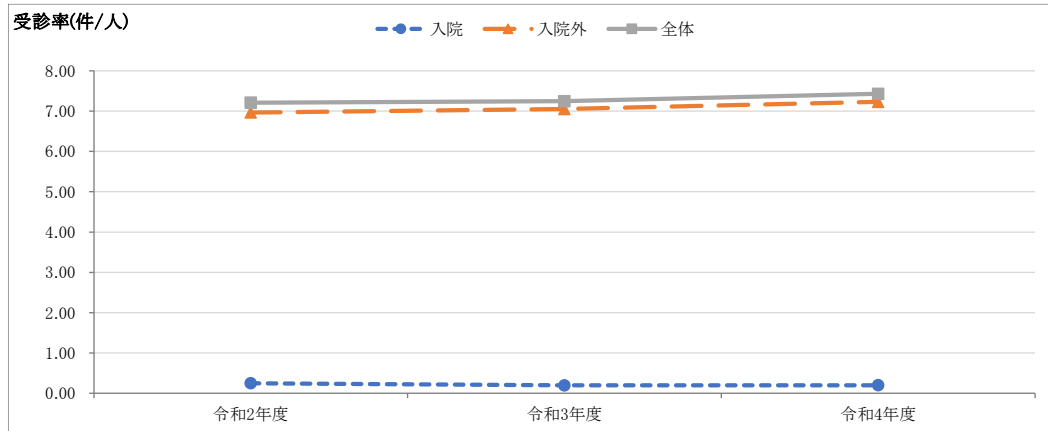


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

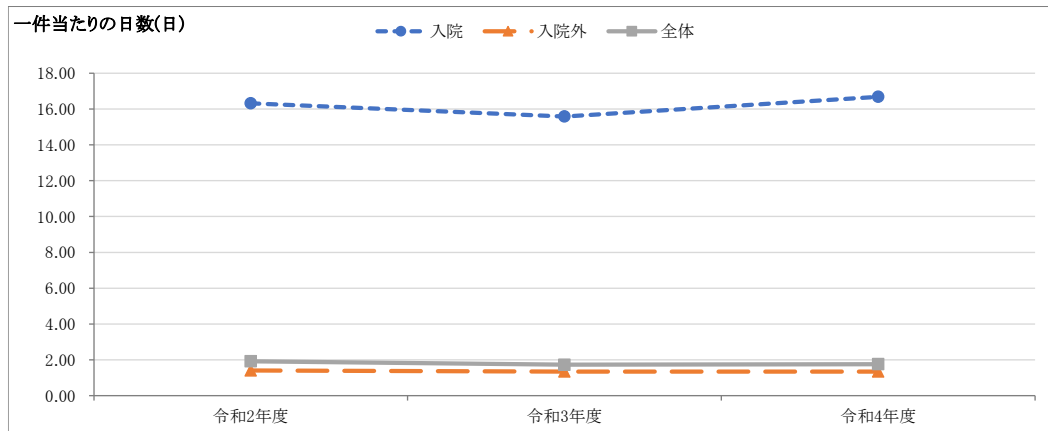
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年度別 受診率



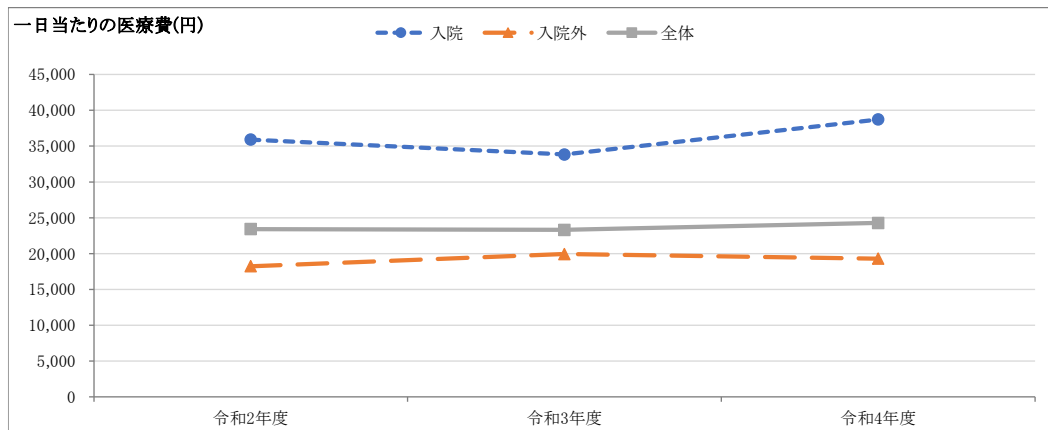
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一件当たりの日数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一日当たりの医療費

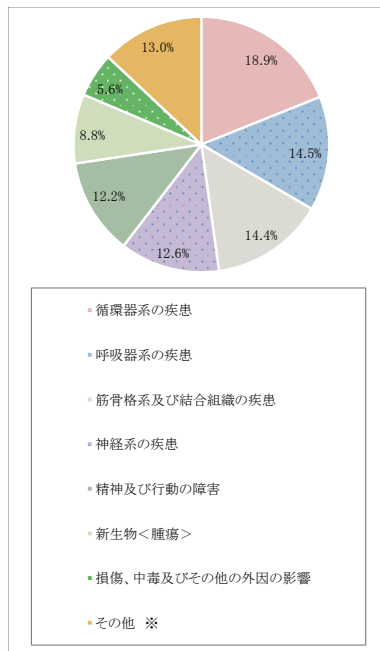


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

(3) 疾病別医療費

令和4年度の入院医療費では、「循環器系の疾患」が最も高く、18.9%を占めています。

大分類別医療費構成比
(入院) (令和4年度)



※その他…入院医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

大・中・細小分類別分析
(入院) (令和4年度)

| 順位 | 大分類別分析 | 中分類別分析 | | 細小分類分析 | | |
|----|---------------|--------|-------------------|--------|---------|------|
| 1 | 循環器系の疾患 | 18.9% | その他の心疾患 | 8.8% | 不整脈 | 4.8% |
| | | | 脳梗塞 | 4.7% | 心臓弁膜症 | 2.2% |
| | | | 虚血性心疾患 | 3.1% | 脳梗塞 | 4.7% |
| | | | | | 心筋梗塞 | 1.9% |
| 2 | 呼吸器系の疾患 | 14.5% | その他の呼吸器系の疾患 | 12.3% | 間質性肺炎 | 0.2% |
| | | | 肺炎 | 1.4% | | |
| | | | 慢性副鼻腔炎 | 0.5% | 肺炎 | 1.4% |
| 3 | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 14.4% | 関節症 | 7.5% | 関節疾患 | 7.5% |
| | | | 脊椎障害(脊椎症を含む) | 2.1% | | |
| | | | その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 2.0% | | |
| 4 | 神経系の疾患 | 12.6% | その他の神経系の疾患 | 6.1% | | |
| | | | アルツハイマー病 | 4.6% | | |
| | | | パーキンソン病 | 1.5% | パーキンソン病 | 1.5% |

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

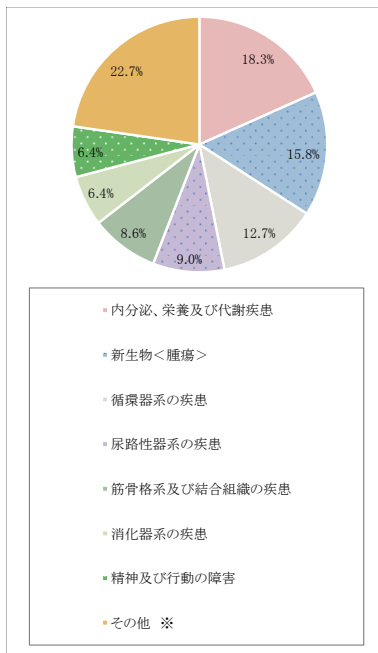
※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

細小分類による入院医療費における割合の多い疾病

- 1位 関節疾患 7.5%
- 2位 不整脈 4.8%
- 3位 脳梗塞 4.7%

令和4年度の外来医療費では、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が最も高く、18.3%を占めており、細小分類では糖尿病が13.9%を示しています。

大分類別医療費構成比
(外来) (令和4年度)



※その他…外来医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

大・中・細小分類別分析
(外来) (令和4年度)

| 順位 | 大分類別分析 | 中分類別分析 | 細小分類分析 | |
|----|-----------------------|---------------------|--------|---------------------|
| 1 | 内分泌、栄養及び代謝疾患 18.3% | 糖尿病 | 14.1% | 糖尿病 13.9% |
| | | 脂質異常症 | 3.6% | 糖尿病網膜症 0.2% |
| | | 甲状腺障害 | 0.4% | 脂質異常症 3.6% |
| | | | | 甲状腺機能亢進症 0.1% |
| 2 | 新生物<腫瘍> 15.8% | その他の悪性新生物<腫瘍> | 8.9% | 前立腺がん 0.4% |
| | | 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 4.3% | 膀胱がん 0.1% |
| | | 結腸の悪性新生物<腫瘍> | 0.8% | 膵臓がん 0.1% |
| | | | | 肺がん 4.3% |
| 3 | 循環器系の疾患 12.7% | 高血圧性疾患 | 6.4% | 大腸がん 0.8% |
| | | その他の心疾患 | 5.1% | 高血圧症 6.4% |
| | | 脳梗塞 | 0.4% | 不整脈 4.5% |
| | | | | 脳梗塞 0.4% |
| 4 | 泌尿器系の疾患 9.0% | 腎不全 | 7.5% | 慢性腎臓病(透析あり) 5.3% |
| | | その他の腎尿路系の疾患 | 0.6% | 慢性腎臓病(透析なし) 0.2% |
| | | 前立腺肥大(症) | 0.4% | 前立腺肥大 0.4% |

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

細小分類による外来医療費における割合の多い疾病

- 1位 糖尿病 13.9%
- 2位 高血圧症 6.4%
- 3位 慢性腎臓病(透析あり) 5.3%

令和4年度の医療費を細小分類別にみると、医療費上位第1位は「糖尿病」で、8.3%を占めています。

細小分類による医療費上位10疾病(令和4年度)

| 順位 | 細小分類別疾患 | 医療費(円) | 割合(%) ※ |
|----|-------------|------------|---------|
| 1 | 糖尿病 | 40,445,110 | 8.3% |
| 2 | 関節疾患 | 26,525,000 | 5.5% |
| 3 | 不整脈 | 22,595,640 | 4.7% |
| 4 | 統合失調症 | 20,743,000 | 4.3% |
| 5 | 高血圧症 | 18,667,750 | 3.8% |
| 6 | 肺がん | 16,525,290 | 3.4% |
| 7 | 慢性腎臓病(透析あり) | 16,475,500 | 3.4% |
| 8 | 脳梗塞 | 10,502,650 | 2.2% |
| 9 | 脂質異常症 | 10,382,460 | 2.1% |
| 10 | 骨粗しょう症 | 10,232,820 | 2.1% |

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※割合…総医療費に占める割合。

※細小分類のうち、「その他」及び「小児科」については上位10疾病の対象外としている。

(4) 透析患者の状況

透析患者の状況について分析を行いました。以下は、令和4年度における、透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合を示したものです。

透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合(令和4年度)

| 区分 | 被保険者数(人) | 透析患者数(人) | 被保険者に占める透析患者の割合(%) |
|-----|------------|----------|--------------------|
| 田子町 | 1,402 | 4 | 0.29% |
| 県 | 275,215 | 751 | 0.27% |
| 同規模 | 427,153 | 1,486 | 0.35% |
| 国 | 24,660,500 | 86,890 | 0.35% |

出典: 国保データベース (KDB) システム「医療費分析(1)細小分類」

以下は、本町の年度別の透析患者数及び医療費の状況等について示したものです。

年度別 透析患者数及び医療費

| 年度 | 透析患者数(人) | 透析医療費(円)※ | 患者一人当たりの透析医療費(円) |
|--------|----------|------------|------------------|
| 平成30年度 | 7 | 34,257,310 | 4,893,901 |
| 平成31年度 | 5 | 33,238,210 | 6,647,642 |
| 令和2年度 | 6 | 41,849,500 | 6,974,917 |
| 令和3年度 | 5 | 26,705,750 | 5,341,150 |
| 令和4年度 | 4 | 27,414,780 | 6,853,695 |

出典: 国保データベース (KDB) システム「医療費分析(1)細小分類」

※透析医療費…人工透析を行っているレセプトの総点数を医療費換算したものの。

第4章 過去の取り組みの考察

1. 第2期 データヘルス計画全体の評価

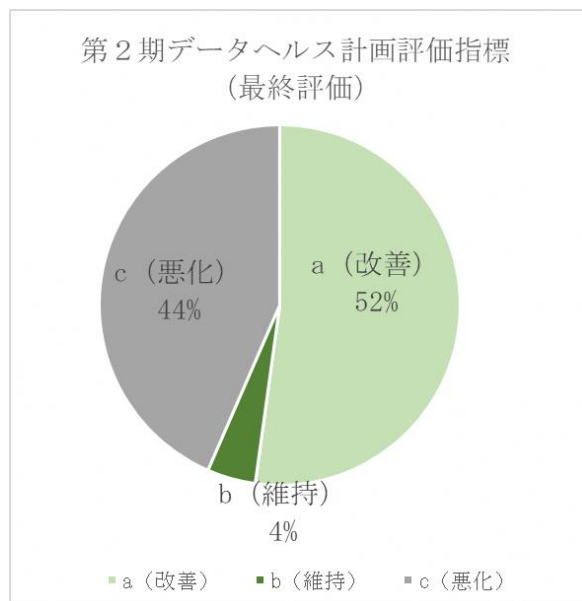
(評価：a改善、b維持、c悪化)

○重点評価指標 (KPI)

| 評価指標 | 平成29年度 | | 令和2年度 | 評価 | 令和4年度 | 評価 | |
|------------------|----------------|----------|----------|---------|----------|---------|---|
| 健康寿命 | 男性 | 77.2歳 | 77.7歳 | a | 79.3歳 | a | |
| | 女性 | 86歳 | 80.1歳 | c | 82.0 | a | |
| 主な死因の 死亡率割合 | がん | 42.6% | 52.8% | c | 39.0% | a | |
| | 心臓病 | 27.9% | 28.3% | c | 39.0% | c | |
| | 脳疾患 | 19.1% | 15.1% | a | 9.8% | a | |
| | 糖尿病 | 4.4% | 1.9% | a | 2.4% | c | |
| | 腎不全 | 1.5% | 1.9% | c | 7.3% | c | |
| | 自殺 | 4.4% | 0.0% | a | 2.4% | c | |
| | 1人当たりの医療費 | 入院 | 10,510円 | 12,690円 | c | 11,710円 | a |
| 外来 | | 14,970円 | 15,620円 | c | 16,800円 | c | |
| 入院医療費 | 骨折 | 19,147千円 | 19,074千円 | a | 5,998千円 | a | |
| | 統合失調症 | 19,003千円 | 14,961千円 | a | 10,167千円 | a | |
| 外来医療費 | 糖尿病 | 40,085千円 | 39,512千円 | a | 39,690千円 | b | |
| | 高血圧 | 35,076千円 | 22,519千円 | a | 18,302千円 | a | |
| | 腎不全 (透析あり) | 25,650千円 | 27,285千円 | c | 15,018千円 | a | |
| 特定健診 有所見者割合 | HbA1c | 男性 | 44.3% | 56.9% | c | 40.4% | a |
| | | 女性 | 52.5% | 56.4% | c | 50.5% | a |
| | 収縮期血圧 | 男性 | 51.8% | 49.7% | a | 57.0% | c |
| | | 女性 | 48.9% | 48.4% | a | 50.2% | c |
| | LDL コレステロール | 男性 | 47.7% | 47.0% | a | 50.2% | c |
| | | 女性 | 56.5% | 52.7% | a | 54.1% | c |
| メタボリック シンドローム | 予備軍 | 12.9% | 16.4% | c | 14.7% | a | |
| | 該当者 | 19.2% | 19.8% | c | 23.1% | c | |

※ (データ：国保データベースシステム)

健康スコアリング、地域の全体像、市町村データ、(様式5-2) 健診有所見者状況、令和4年度法定報告



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う全国的な受診控えもあり、令和4年度の一人当たり医療費は低下しました。特に、入院医療費で上位の骨折の医療費が大幅に減少しました。外来医療費ではすべての指標で医療費の減少がみられております。また、感染対策を行いながら「自分の健康は自分で守る」ことを実行できるように、健診診断の受診を促し、保健事業の実施を進めました。

特定健診有所見割合は糖尿病の改善が得られたものの、それ以外の項目は増加に転じ、高血圧対策、メタボリック症候群の対策を見直す必要があります。改善項目は半数を超えましたが、より一層の取り組みを目指します。

2. 第2期 データヘルス計画の重点目標

第2期データヘルス計画全般に係る評価として、全体目標及びその達成状況について示したものです。

| | |
|------|--|
| 全体目標 | 被保険者一人ひとりが、自分自身の健康課題を正しく理解し、自主的に健康増進及び疾病予防に取り組むことで、生涯にわたり生活の質を維持・向上できるよう保健事業を推進する。 |
|------|--|

| 評価指標 | 計画策定時実績 2016年度 (H28) | 実績 | | 評価・考察 (成功・未達要因) |
|--|---------------------------------------|--------------------------|-----------------------|--|
| | | 中間評価時点 2020年度 (R2) | 現状値 2022年度 (R4) | |
| 生活習慣病対策を充実させ、メタボリックシンドローム予備群及び該当者を減少させる。 | 特定健診受診率 57.7% | 59.0% | 60.1% | 年度ごとに微増・減少するものの、最終到達ではH28の目標を達成できている。健診体制は変更なく実施し、受けやすい体制を維持していく。 |
| | 保健指導実施率 71.6% | 55.9% | 66.3% | 特定保健指導の実施状況は目標達成できたが、減少率は目標を下回っている。今後も保健指導を継続し、自分で生活習慣の改善に取り組み病気の発症を防ぐことができる支援に取り組む。 |
| 生活習慣病、特に高血圧、糖尿病の重症化を予防する。 | 特定健診有所見者割合 | | | 高血圧・糖尿病予防教室を実施し、健康課題を正しく理解してもらう機会をとおして、疾病予防に取り組んできた。測定や食事量・内容など体験を踏まえた保健指導が効果的である。今後も保健事業をとおして適切な治療継続・生活習慣を続けて、重症化予防ができる支援を行う。 |
| | ・HbA1c (5.6以上) 男44.3% 女52.5% | 男性 45.4% | 男性 40.4% | |
| | | 女性 56.4% | 女性 50.5% | |
| | ・収縮期血圧 (130以上) 男51.8% 女48.9% | 男性 45.4% | 男性 57.0% | |
| 女性 45.4% | | 女性 50.2% | | |

3. 各事業の達成状況

第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を示したものです。
全13事業のうち、目標達成している事業は8事業です。

| 事業名 | 実施年度 | 事業目的 | 実施内容 |
|----------------|------------------|---|--|
| ジェネリック 差額通知 | 平成30年度～ 令和5年度 | 年々増え続ける医療費の節減を図る。 | ジェネリック医薬品差額通知やジェネリック医薬品希望カードを送付する。 |
| 広報事業 | 平成30年度～ 令和5年度 | 特定健診・がん検診の受診率向上を図る。 | 健診期間16日間のケーブルテレビでの日程・会場の周知。10月～11月末の2ヶ月間、啓発活動でぼり旗を町内主要カ所へ設置。 |
| 特定健診 | 平成30年度～ 令和5年度 | 初めて健診の対象となる40歳に健診の重要性について周知し、新規受診者の増加を図る。 | 40歳41歳の被保険者に受診勧奨通知 |
| | 平成30年度～ 令和5年度 | 特定健診を毎年受診することの大切さを周知し、受診率の増加を図る。 | 保健推進員が受診勧奨する。未受診者通知を手渡ししながら再度受診勧奨する。 |
| 健診結果説明 | 平成30年度～ 令和5年度 | 健診結果と生活習慣を関連づけて理解でき、生活習慣改善の取組ができるよう個別に支援する。 | 健診会場毎に結果説明会を実施する。 |
| 特定保健指導 | 平成30年度～ 令和5年度 | 特定保健指導者が取り組みやすい支援を行う。 | 動機付け支援者：受診者本人が目標を設定し、原則1回の支援をする。 積極的支援者：受診者本人が目標を設定し、3ヶ月以上の継続支援をする。 |
| 地区健康教室 | 平成30年度～ 令和5年度 | 地域で減塩を目的とした健康教室を開催し、町民全体の塩分摂取量の減少をはかる。 | 栄養士と保健師の講話。みそ汁を試飲してもらい、薄味の普及啓発を実施。 |

A:80%以上目標達成
 B:50%以上達成・現状維持
 C:50%以下・未達成
 D:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

| 評価指標 (上段：アウトプット、下段：アウトカム) | 計画策定時実績 2016年度(H28) | 目標値 2023年度(R5) | 達成状況 2022年度(R4) | 評価 |
|--------------------------------------|------------------------|-------------------|--------------------|----|
| ジェネリック医薬品差額通知を送付する。(4回/年) | 年2回 | 年2回以上 | 年2回 | A |
| 使用割合 数量ベース：70% | | 85.0% | 85.60% | |
| 町内放送や広報車、ケーブルテレビを活用し健診のPRを行う。 | 実施 | 実施 | 実施 | A |
| | 実施 | 実施 | 実施 | |
| 40歳41歳の被保険者に受診勧奨通知 | 全員 | 全員/年1回 | 全員/年1回 | C |
| 40代健診受診率：37%以上 | 33.20% | 41.00% | 27.9% | |
| 保健推進員が受診勧奨する。未受診者通知を手渡ししながら再度受診勧奨する。 | 実施 | 実施 | 実施 | A |
| 健診受診率：66% | 57.70% | 67% | 60.10% | |
| 健診会場毎に結果説明会を実施する。 | 実施 | 実施 | 実施 | A |
| 健診結果参加率：100% | 97.70% | 100% | 99.30% | |
| 保健指導実施率：72% | 71.60% | 75% | 66.30% | C |
| 内臓脂肪症候群該当者の減少率：40% | 21.70% | 40%以上 | 20.80% | |
| 対象地区で実施：3地区以上 | 4地区 | 3地区以上 | 4地区 | B |
| 塩分摂取量：10g | 12.04g | 10g | 12.95g | |

| 事業名 | 実施年度 | 事業目的 | 実施内容 |
|----------|--------------|---|--|
| 高血圧予防教室 | 平成30年度～令和5年度 | 高血圧の予防や悪化防止を支援する。 | 血圧を下げるための保健師・栄養士による講話。試食。 |
| 糖尿病予防教室 | 平成30年度～令和5年度 | 糖尿病の予防や悪化防止を支援する。 | 血糖値を上げないための保健師栄養士による講話。試食。 |
| 運動の教室 | 平成30年度～令和5年度 | 筋力低下・生活習慣病予防のため、運動習慣の定着をめざした運動実技を行う。 | 体操講師による筋トレ、有酸素運動の実施。 |
| がん検診 | 平成30年度～令和5年度 | がんの早期発見・早期治療を推進するために、受診勧奨を強化する。 | 胸部レントゲン撮影、胃部レントゲン検査、便潜血検査、細胞診、マンモグラフィー |
| 歯周疾患検診 | 平成30年度～令和5年度 | 歯周疾患を予防し、8020の推進を図る。 | 歯科医師による歯周組織のプローブを用いた測定と歯科保健指導 |
| 健康ポイント事業 | 平成30年度～令和5年度 | インセンティブを置くことで、健康づくりや介護予防の意識を高め、行動できる町民を増やす。 | 19歳以上の町民に健康ポイントカードを発行し、健康づくり事業に参加したらポイントを進呈する。ポイントが満点になったら、景品と交換できる。 |
| 健康まつり | 平成30年度～令和5年度 | 健康なからだ、介護予防に興味をもつ人を増やす。 | 各種健康チェック。 健康ポイントカードの抽選会を実施。 |

A:80%以上目標達成
 B:50%以上達成・現状維持
 C:50%以下・未達成
 D:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

| 評価指標 (上段：アウトプット、下段：アウトカム) | 計画策定時実績 2016年度(H28) | 目標値 2023年度(R5) | 達成状況 2022年度(R4) | 評価 |
|-------------------------------|--|--|--|----|
| 年間開催回数：5回以上 | 7回 | 5回以上 | 5回 | C |
| 延べ参加者数：50人以上 | 71人 | 25人以上 | 12人 | |
| KDBでの血圧異常者の教室参加割合 | | 10% | 0.80% | |
| 年間開催回数：5回以上 | 22回 | 5回以上 | 5回 | A |
| 延べ参加者数：50人以上 | 21人 | 25人以上 | 25人 | |
| KDBでのHbA1c異常者の教室参加割合 | | 3人以上 | 2人 | |
| 実施回数：10回以上 | 12回 | 10回以上 | 12回 | A |
| 延べ参加者数：150人以上 | 245人 | 150人以上 | 245人 | |
| 教室の国保参加者の増加：20人以上 | 23人 | 20人以上 | 192人 | |
| がん検診の必要性についての周知活動を実施 | 実施 | 実施 | 実施 | B |
| 精密検診受診率：100% | 肺がん：38.7% 胃がん：71.9% 大腸がん：70.7% 子宮がん：66.7% 乳がん：100% | 肺がん：100% 胃がん：85% 大腸がん：85% 子宮がん：100% 乳がん：100% | 肺がん：95.8% 胃がん：84.6% 大腸がん：78.0% 子宮がん：100% 乳がん：80% | |
| 40・50・60・70歳を対象に実施 | 実施 | 実施 | 実施 | A |
| 歯周疾患検診受診率：10.0% | 8.60% | 20.00% | 26.30% | |
| 抽選会等の実施 | 実施 | 実施 | 実施 | B |
| カード発行枚数：2,000枚以上 | 2,217枚 | 2,100枚 | 1,186枚 | |
| 満点カード交換者数：100人以上 | 70人 | 100人以上 | 135人 | |
| 健康づくりへの関心を高めるために、様々な健康チェックを実施 | 2日間実施 | 実施 | 実施 | A |
| 健康チェック来場者数：300人 | 230人 | 200人以上 | 191人 | |

第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容

1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策

分析結果から明らかとなった健康課題と、健康課題に対して本計画で目指す姿(目的)、その目的を達成するための目標を示したものです。

| 項目 | 健康課題 | 優先する健康課題 | 対応する保健事業番号 | データヘルス計画全体における目的 |
|----|--|----------|------------|--|
| A | 生活習慣病 ・健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目において、有所見者割合が高い項目がある。 ・医療費及び患者数上位において、生活習慣に関係する疾病が多くを占めている。一方で、生活習慣病の重症化リスクがあるにもかかわらず、適切な受診につながっていない健診異常値放置者、治療中断者が存在する。 | 1 | ①、②、③、④ | 生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防 生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受診や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。 |
| B | 医療費、受診行動 ・後発医薬品の使用割合は85.6%である。 | 2 | ⑤ | 医療費適正化と適正受診・適正服薬 後発医薬品(ジェネリック)の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により医療費の適正化を図る。 |
| C | 喫煙対策 ・血圧に関する質問票で「喫煙あり」の割合は20.2%である。 ・死因の割合から喫煙が影響するがん・心臓病・脳血管疾患が上位である。 | 3 | ⑥ | 健康寿命延伸と高齢者支援の充実 医療・介護データの連携を進め、フレイル予防、介護予防を行う。地域で一体となって高齢者の医療・介護・暮らしを支援する体制づくりに努める。 |



個別の保健事業については「2. 健康課題を解決するための個別の保健事業」に記載

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

| 項目 | 評価指標 | 計画策定 時実績 2022年度 (R4) | 目標値 | | | | | |
|----|--|-------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| | | | 2024年度 (R6) | 2025年度 (R7) | 2026年度 (R8) | 2027年度 (R9) | 2028年度 (R10) | 2029年度 (R11) |
| A | 特定健康診査受診率 | 60.2% | 61.0% | 61.5% | 62.0% | 62.5% | 63.0% | 63.5% |
| | 特定保健指導実施率 | 66.3% | 68.2% | 68.4% | 68.6% | 68.8% | 69.0% | 69.2% |
| | 特定保健指導による保健指導 対象者の減少率 | 14.9% | 13.0% | 13.5% | 14.0% | 14.5% | 15.0% | 15.5% |
| | 生活習慣病重症化予防 ・ 血圧の異常値者の減少 | 53.3% | 53.0% | 52.5% | 52.0% | 51.5% | 51.0% | 49.5% |
| | 糖尿病性腎症重症化予防 ・ HbA1c8.0以上の者の人数を 増やさない | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 |
| B | 後発医薬品使用割合 | 85.6% | 86.0% | 87.0% | 88.0% | 88.0% | 89.0% | 90.0% |
| C | 特定健診受診者数の喫煙率 減少 | 19.9% | 19.4% | 18.9% | 18.4% | 17.9% | 17.4% | 16.9% |

2. 健康課題を解決するための個別の保健事業

(1) 保健事業一覧

分析結果に基づく健康課題に対する対策の検討結果を踏まえ、第3期データヘルス計画にて実施する事業一覧を示したものです。

| 事業番号 | 事業名称 | 事業概要 | 区分 | 重点・優先度 |
|------|---------------|---|----|--------|
| A-① | 特定健康診査受診勧奨事業 | 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病のリスク要因がある対象者を発見し、保健指導対象者選定のため健診を実施。不定期受診者へ年2回の勧奨通知、また未受診者に対してはレセプトデータを活用し勧奨通知を送る。 | 継続 | 2 |
| A-② | 特定保健指導事業 | 厚生労働省のガイドラインに沿った特定保健指導該当者を選定。3回の支援の中で明確な目標設定をし、うち2回以上は20分以上の対面指導を行う。指導途中で測定を行い途中経過を確認する。 | 継続 | 3 |
| A-③ | 生活習慣病重症化予防事業 | 高血圧悪化による脳心血管病及び腎疾患等の発症や重症化の予防を図る。未治療者へは医療機関の受診を促す通知文書を結果に添えて返却。健康教室の開催の案内・勧誘も結果と共に通知。対象者リストを作成し勧奨後のレセプトデータも確認する。 | 継続 | 1 |
| A-④ | 糖尿病性腎症重症化予防事業 | 特定健診結果及びレセプトデータを活用し糖尿病が疑われ医療機関を受診していない者また糖尿病の治療を中断している者に対し受診勧奨を行う。また糖尿病性腎症で医療機関受診がある者のうち病期分類第3期～第4期に該当する者に対して保健指導を行う。 | 継続 | 4 |
| B-⑤ | 後発医薬品使用促進通知事業 | 委託契約によりジェネリック医薬品差額通知を複数回通知する。 | 継続 | 5 |
| C-⑥ | 喫煙対策（禁煙指導事業） | 喫煙を主な原因とする疾病の予防のため、特定保健指導対象者のうち禁煙の希望がある対象者へ指導を実施する。健診結果説明会で喫煙者に対しタバコが原因となる疾病に関するパンフレットを配布する。 | 継続 | 6 |

(2) 各事業の実施内容と評価方法

各事業における実施内容及び評価方法の詳細は以下のとおりです。

事業番号：A-① 特定健康診査受診勧奨事業【継続】

| | |
|-----------|--|
| 事業の目的 | 内臓脂肪型肥満に着目した、生活習慣病（高血圧・高血糖・脂質代謝異常）のリスク要因がある対象者を発見し、保健指導を必要とする人を選定するために健診を実施する。 |
| 対象者 | 40～74歳までの被保険者 |
| 現在までの事業結果 | 平成30年度の65.1%をピークに60.0%台へ落ち込んでいる。毎年受診率が上下変動し受診が定着していない。 |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-------------------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| | | 2022年度 (R4) | 2024年度 (R6) | 2025年度 (R7) | 2026年度 (R8) | 2027年度 (R9) | 2028年度 (R10) | 2029年度 (R11) |
| アウトカム (成果) 指標 | 特定健康診査受診率 | 60.2% | 61.0% | 61.5% | 62.0% | 62.5% | 63.0% | 63.5% |
| アウトプット (実施量・率) 指標 | 特定健康診査対象者で3年連続受診者以外へ受診勧奨実施割合 (年2回以上の実施) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

| | |
|----------------|---|
| 目標を達成するための主な戦略 | <ul style="list-style-type: none"> ・国保ヘルスアップ事業の財源を有効活用し、事業者へ委託により実施する。 ・勧奨対象者は受診状況によりグループ化し、効率的かつ効果的な勧奨業務を実施する。 |
|----------------|---|

現在までの実施方法(プロセス)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新規40歳および41歳へダイレクトメール ・過去3年において不定期受診者へ年2回勧奨通知を送付している。 |
|--|

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・不定期受診者への年2回の勧奨通知の実施 ・未受診者でレセプトありの対象者へも勧奨通知を実施。そのためにレセプトデータも活用する。 ・健診の周知方法も見直す |
|--|

現在までの実施体制(ストラクチャー)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・健診の事業計画・業務は、健康増進部門で担当している。 ・町では集団健診スタイルを主流で行い、都合が合わない人は個別健診スタイルで受診を補っている。 ・国保ヘルスアップ事業の活用など委託事業は予算編成など主管課と連携調整している。 |
|---|

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・町内を会場とする集団健診スタイルでは人員の確保が難しくなっているため、業務の委託化も活用する。 ・個別健診スタイルで受診を補っていく。 ・国保ヘルスアップ事業の活用など委託事業は予算編成など主管課と連携調整していく。 |
|---|

評価計画

| |
|--|
| アウトカム指標の特定健診受診率（特定健診受診者数/特定健診対象者数）は、法定報告確定結果を最終受診率とする。 |
|--|

事業番号：A-② 特定保健指導事業【継続】

| | |
|-----------|---|
| 事業の目的 | 特定保健指導事業 |
| 対象者 | 厚生労働省のガイドラインに沿って、特定保健指導判定値に該当する者 |
| 現在までの事業結果 | 平成30年度69.3%と令和4年度を比べると、3ポイント落ち込んでいる。国の定める目標は達成しているが、積極的支援の脱落者が多い。 |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-----------------|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| | | 2022年度(R4) | 2024年度(R6) | 2025年度(R7) | 2026年度(R8) | 2027年度(R9) | 2028年度(R10) | 2029年度(R11) |
| アウトカム(成果)指標 | 特定保健指導実施率 | 66.3% | 68.2% | 68.4% | 68.6% | 68.8% | 69.0% | 69.2% |
| | 特定保健指導対象者の減少率 | 14.9% | 13.0% | 13.5% | 14.0% | 14.5% | 15.0% | 15.5% |
| アウトプット(実施量・率)指標 | 積極的支援保健指導の実施率 | 36.0% | 37.0% | 38.0% | 39.0% | 40.0% | 41.0% | 42.0% |
| | 動機付け支援保健指導の実施率 | 77.6% | 78.0% | 79.0% | 80.0% | 80%以上 | 80%以上 | 80%以上 |

| | |
|----------------|---|
| 目標を達成するための主な戦略 | <ul style="list-style-type: none"> 結果説明会を行い、特定保健指導対象者は結果返却と同時に初回面接を実施する。 特定保健指導対象者の健診結果は郵送せず、面接で返却する。 測定会や検査などメニューを整え、取り組み効果を確認しながら目標達成へのモチベーション維持 |
|----------------|---|

現在までの実施方法(プロセス)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 初回面接では明確な目標設定をする。 3回の支援で、20分以上の対面指導を2回以上実施する。 測定を行い途中経過を確認する。 |
|---|

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 3回の支援で、20分以上の対面指導を2回以上実施する。 測定を行い途中経過を確認する。 測定会、検査など改善の指標となるメニューも導入する。 |
|--|

現在までの実施体制(ストラクチャー)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導は、健康増進部門で事業計画、事業実務を担当している。 保健師・管理栄養士5名で担当している。 |
|---|

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導は、健康増進部門で事業計画、事業実務を担当していく。 保健師・管理栄養士5名で担当していく。 測定会時、血管模型や食事診断など、病気のメカニズムがイメージしやすい教材を導入していく。 保健指導の実施内容にICTの利用も検討する。(Wi-Fi環境を整える) |
|--|

評価計画

| |
|---|
| <p>アウトカム指標の特定保健指導実施率(特定保健指導修了者数/特定保健指導対象者)、特定保健指導対象者の減少率(今年度特定保健指導ではなくなった者の数/昨年度特定保健指導利用者)は、法定報告確定結果を最終指標とする。</p> |
|---|

事業番号：A-③ 生活習慣病重症化予防事業【継続】

| | |
|-----------|--|
| 事業の目的 | 血圧を良好にコントロールすることで、高血圧悪化による脳心血管病及び腎疾患等の発症や重症化の予防を図る。 |
| 対象者 | 特定健診受診者のうち、収縮期血圧130mmHg以上、拡張期血圧85mmHg以上の方 |
| 現在までの事業結果 | 健診結果説明会で手渡しとし、高血圧の人（140以上、90以上）へ健康教室の案内・勧誘を行い1～2名の参加が得られた。レセプトなしの方の受診確認をしていなかった。 |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-------------------|--|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| | | 2022年度 (R4) | 2024年度 (R6) | 2025年度 (R7) | 2026年度 (R8) | 2027年度 (R9) | 2028年度 (R10) | 2029年度 (R11) |
| アウトカム (成果) 指標 | 収縮期血圧（130以上）の有所見者割合の減少 | 53.3% | 53.0% | 52.5% | 52.0% | 51.5% | 51.0% | 49.5% |
| アウトプット (実施量・率) 指標 | Ⅱ期高血圧以上（収縮期140以上または拡張期90以上）のレセプト無へ受診勧奨し医療へつながった者 | 0人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 |

| | |
|----------------|--|
| 目標を達成するための主な戦略 | <ul style="list-style-type: none"> ・国保ヘルスアップ事業を活用し、事業者へ委託により実施する。 ・委託業務は、対象者の選定、勧奨業務全般、効果測定とする。 ・勧奨の内容は、通知文書郵送、面談及び電話等による受診勧奨とする。 |
|----------------|--|

現在までの実施方法(プロセス)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧未治療判定の方へは、医療機関への受診を促す通知文書を結果に添えて返却している。 ・健康教室の案内・勧誘を結果に添えて通知している。 ・高血圧受診勧奨対象者リストを作成しておらず、受診勧奨後のレセプトデータを確認していなかったため受診行動につながったのか検証していなかった。 |
|--|

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧未治療判定の方へは、医療機関への受診を促す通知文書を結果に添えて返却する。 ・健康教室の案内・勧誘を結果に添えて通知する。 ・健康教育の開催（ハイリスク者・ポピュレーションアプローチを一緒に開催） ・高血圧受診勧奨対象者リストを作成し、受診勧奨後のレセプトデータを確認する。 |
|--|

現在までの実施体制(ストラクチャー)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の計画・実務は、健康増進部門が担当している。 ・国保主管課は関係機関との調整、予算編成など担当している。 |
|--|

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の計画・実務は、健康増進部門が担当する。 ・国保主管課は関係機関との調整、予算編成など担当していく。 ・健診結果から、高血圧Ⅱ（160以上・100以上）・Ⅲ（180以上・110以上）度のレベルでレセプトなしの対象者へは、保健師の直接アプローチにより強力な受診勧奨を行う。 |
|--|

評価計画

| |
|---|
| アウトカム指標「収縮期血圧（130以上）の有所見者割合」は、KDBシステム（様式5-2）健診有所見者状況の帳票で判断する。 |
|---|

事業番号：A-④ 糖尿病性腎症重症化予防事業【継続】

| | |
|-----------|---|
| 事業の目的 | 人工透析患者の減少 |
| 対象者 | 1. 糖尿病が疑われるもので医療機関を受診していない者及び糖尿病の治療を中断している者の受診勧奨 2. 糖尿病性腎症で医療機関受診がある者のうち、重症化リスクの高い糖尿病性腎症病期分類第3期～第4期に該当する者の保健指導 |
| 現在までの事業結果 | 平成31年3月に事業を実施。令和4年度未受診者・治療中断者の受診勧奨は実施率100%だが、未受診者受療率50%、治療中断者受療率0%。ハイリスク者の保健指導希望者なく、人工透析患者の減少につながっていない。 |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-----------------|-----------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| | | 2022年度(R4) | 2024年度(R6) | 2025年度(R7) | 2026年度(R8) | 2027年度(R9) | 2028年度(R10) | 2029年度(R11) |
| アウトカム(成果)指標 | 糖尿病性腎症による新規人工透析患者(糖尿病の診断がないものは除く) | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| アウトプット(実施量・率)指標 | 保健指導に係る予定人数 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 |

| | |
|----------------|---|
| 目標を達成するための主な戦略 | <ul style="list-style-type: none"> 未治療者・治療中断者の受診勧奨の継続。 保健指導は保健師・栄養士が指導する。糖尿病性腎症病期第3期でHbA1c8.0、尿たんぱく±以上の者を特に重症化予防に効果がある者として保健指導を進める。 |
|----------------|---|

現在までの実施方法(プロセス)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 特定健診の結果、レセプトデータを活用し対象者を抽出している。 受診勧奨者、保健指導対象者として適切でないものを除外した対象者リストを作成している。 受診勧奨者は健診結果説明会の面談、郵送、電話等の受診勧奨。糖尿病性腎症のリスクが高いものに対して再度訪問や電話等で強く受診勧奨を実施。 本人とかかりつけ医の同意が得られたら保健師・栄養士が保健指導を実施。 |
|---|

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 特定健診の結果、レセプトデータを活用し対象者を抽出している。 受診勧奨者、保健指導対象者として適切でないものを除外した対象者リストを作成している。 健診前に対象者に健診・医療機関の受診勧奨を実施。また健診後に結果説明会で面談、郵送、電話等で再度受診勧奨。糖尿病性腎症のリスクが高いものに対して訪問や電話等で強く勧奨を行う。 本人とかかりつけ医の同意が得られたら保健師・栄養士が保健指導の実施。特に病期第3期でHbA1c8.0以上、蛋白尿士がある者に強く保健指導を勧める。 |
|--|

現在までの実施体制(ストラクチャー)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 主管部門は住民課、連携部門は地域包括支援課とし各課より職員1名が担当している。 住民課は予算編成、関係機関との連絡調整、地域包括支援課は事業計画作成、実務支援を担当している。 |
|--|

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 主管部門は住民課、連携部門は地域包括支援課とし各課より職員1名が担当していく。 住民課は予算編成、関係機関との連絡調整、地域包括支援課は事業計画作成、実務支援を担当していく。 |
|--|

評価計画

| |
|--|
| <p>アウトカム指標「糖尿病性腎症による新規人工透析患者」は、KDBシステムを活用し3月時点の人工透析患者のうち当年度内に新規で透析移行した患者数を確認する。新規患者数が少なければ、健康寿命の延伸はもちろん、一人当たり460万程度の医療費を抑制していることを意味する。</p> |
|--|

事業番号：B-⑤ 後発医薬品使用促進通知事業【継続】

| | |
|-----------|---------------|
| 事業の目的 | 後発医薬品使用推進通知事業 |
| 対象者 | 田子町被保険者 |
| 現在までの事業結果 | - |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-----------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| | | 2022年度(R4) | 2024年度(R6) | 2025年度(R7) | 2026年度(R8) | 2027年度(R9) | 2028年度(R10) | 2029年度(R11) |
| アウトカム(成果)指標 | ジェネリック医薬品利用差額通知 | 36件 | 37件 | 38件 | 39件 | 40件 | 41件 | 42件 |
| アウトプット(実施量・率)指標 | ジェネリック医薬品普及率 | 85.6% | 86.0% | 87.0% | 88.0% | 88.0% | 89.0% | 90.0% |

| | |
|----------------|----------------------|
| 目標を達成するための主な戦略 | ジェネリック医薬品利用差額通知業務の委託 |
|----------------|----------------------|

現在までの実施方法(プロセス)

上記【目標を達成するための主な戦略】と同様、委託契約の締結。

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

ジェネリック医薬品のポスターを掲示する。

現在までの実施体制(ストラクチャー)

委託契約において、7月・1月と二回の通知を行っている。

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

窓口にてジェネリック医薬品希望カードを配布し、利用を促す。

評価計画

年度ごとのジェネリック医薬品普及率の推移を比較する。

事業番号：C-⑥ 喫煙対策（禁煙指導事業）【継続】

| | |
|-----------|--------------------------|
| 事業の目的 | 喫煙を主な原因とする病気の予防 |
| 対象者 | 質問票で喫煙ありと回答した者 |
| 現在までの事業結果 | 喫煙者で本人の禁煙希望がある者へ禁煙指導を行う。 |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| | | 2022年度 (R4) | 2024年度 (R6) | 2025年度 (R7) | 2026年度 (R8) | 2027年度 (R9) | 2028年度 (R10) | 2029年度 (R11) |
| アウトカム (成果) 指標 | 喫煙率の減少 | 19.9% | 19.4% | 18.9% | 18.4% | 17.9% | 17.4% | 16.9% |
| アウトプット (実施量・率) 指標 | 禁煙個別指導・禁煙外来の紹介 | 0人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 |

| | |
|----------------|--|
| 目標を達成するための主な戦略 | ・妊婦の禁煙指導、家族への受動喫煙の防止、公共施設での禁煙を勧め、受動喫煙防止対策の強化 |
|----------------|--|

現在までの実施方法(プロセス)

| |
|-------------------------------|
| ・特定保健指導対象者で禁煙の希望がある方へ禁煙指導を実施。 |
|-------------------------------|

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導対象者で禁煙の希望がある方へ禁煙指導を実施。 ・健診結果説明会で喫煙ありの方へ、たばこが原因となる病気のパンフレットを配布する。(がん・COPD・歯周病) |
|---|

現在までの実施体制(ストラクチャー)

| |
|---------------------------|
| ・禁煙個別指導は、健康増進担当の保健師が実施する。 |
|---------------------------|

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙個別指導は、健康増進担当の保健師が実施する。 ・地域の集会所の施設内禁煙を推進する。 |
|--|

評価計画

| |
|---|
| 健診質問票の「喫煙あり」の回答が減少することで、直接保健指導が伴わなくても被保険者の健康意識が向上していると評価する。 |
|---|

1. 計画の評価及び見直し

(1) 個別の保健事業の評価・見直し

個別の保健事業の評価は年度毎に行うことを基本として、計画策定時に設定した保健事業毎の評価指標に基づき、事業の効果や目標の達成状況を確認します。

目標の達成状況が想定に達していない場合は、ストラクチャーやプロセスが適切であったか等を確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を検討して、次年度の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させます。

(2) データヘルス計画全体の評価・見直し

① 評価の時期

最終評価のみならず、設定した評価指標に基づき、進捗確認のため令和8年度に中間評価を行い、次期計画の円滑な策定に向けて、計画の最終年度である令和11年度上半期に仮評価を行います。

② 評価方法・体制

計画は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期では評価が難しいアウトカム(成果)指標を中心とした評価指標による評価を行います。また、評価に当たっては、後期高齢者医療広域連合と連携して行うなど、必要に応じ他保険者との連携・協力体制を整備します。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図ります。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

3. 個人情報の取扱い

個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する各種法令、ガイドラインに基づき適切に管理します。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるとともに、委託先に対して必要かつ適切な管理・監督を行い、個人情報の取扱いについて万全の対策を講じるものとします。

4. 地域包括ケアに係る取り組み及びその他の留意事項

令和2年4月から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が本格施行となり、被保険者一人一人の暮らしを地域全体で支える地域共生社会の体制の構築・実現を目指す、地域包括ケアシステムの充実・強化が推進されています。地域包括ケアとは、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、介護が必要な状態になっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように支援する仕組み(システム)のことです。地域包括ケアシステムの充実に向けて、下記の取り組みを実施していきます。

① 地域で被保険者を支える連携の促進

- ・医療・介護・保健・福祉・住まい・生活支援などについての議論の場に国保保険者として参加し、地域の課題を共有し、対応策を検討するとともに、地域支援事業に国保部局として参画

② 課題を抱える被保険者層の分析と、地域で被保険者を支える事業の実施

- ・レセプトデータ、介護データ等を活用して前期高齢者等のハイリスク群・予備群等を抽出し、当該ターゲット層に対する支援や介護予防を目的とした健康教室等のプログラムの実施

③ 国民健康保険診療施設の施設・人材の活用

- ・医療提供における役割だけではなく、地域で必要とされている保健事業、訪問診療、介護サービス、生活支援等の一体的・総合的な提供の場として活用

庁内各部門及び地域における多様な専門機関、事業者、団体等の関係機関との連携により、関係者間で包括的に地域の実態把握・課題分析を共有し、地域が一体となって取り組みを推進します。

第2部
第4期特定健康診査等実施計画

第1章 特定健康診査等実施計画について

1. 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっています。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)により、医療保険者は被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされました。

田子町国民健康保険においても、法第19条に基づき特定健康診査等実施計画(第1期～第3期)を策定し、特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施に努めてきました。このたび、令和5年度に前期計画が最終年度を迎えることから、令和6年度を初年度とする第4期特定健康診査等実施計画を策定します。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第19条を踏まえるとともに、「健康増進計画」及び「データヘルス計画」等で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図るものとします。

3. 計画期間

計画期間は令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

4. データ分析期間

- 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
- 健康診査データ
- 介護データ(KDB「要介護(支援)者突合状況」を使用)

単年分析

令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)

年度分析

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月健診分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

- 国保データベース(KDB)システムデータ
平成30年度～令和4年度(5年分)

第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価

1. 取り組みの実施内容

第3期特定健康診査及び特定保健指導実施計画に係る、これまでの主な取り組みを示したものです。

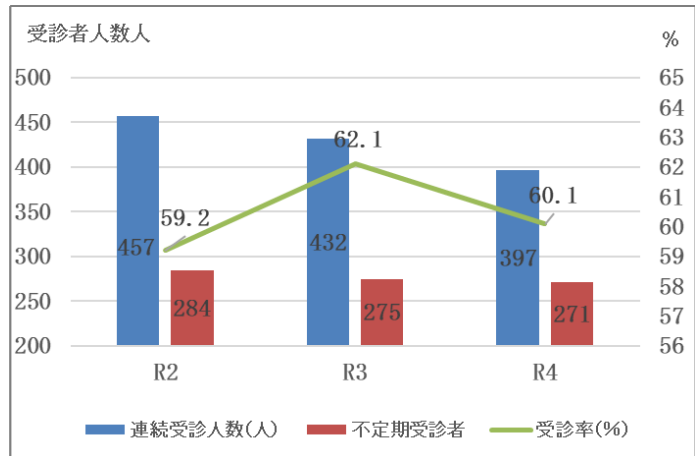
【特定健康診査】

| 事業分類 | 取り組み | 実施内容 |
|-----------|----------------|--|
| 新規受診者の増加 | 40・50歳代の受診率の向上 | 40・41歳の特定健診対象者へ2年連続ダイレクト通知を行う。 |
| | 男性受診者の増加 | 家族ぐるみの受診を啓発し、夫婦で受診を促し男性へ周知・啓発 |
| 特定健診受診の定着 | 連続受診者の増加 | 特定健診の周知・啓発を年2回繰り返し行う。 かかりつけ医からの受診勧奨 |

3年連続受診者の状況

| | R2 | R3 | R4 |
|-----------|------|------|------|
| 連続受診人数（人） | 457 | 432 | 397 |
| 不定期受診者 | 284 | 275 | 271 |
| 受診率（％） | 59.2 | 62.1 | 60.1 |

データ：三年連続受診者（FKAC167）データを比較。
 連続受診者は、当該年度から過去3年連続受診者
 不定期受診は、当該年度を含め過去1回もしくは2回受診している人数



【特定保健指導】

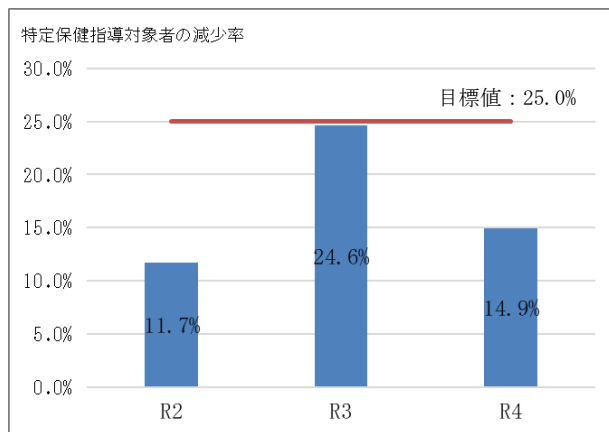
| 事業分類 | 取り組み | 実施内容 |
|-------------|----------------|---|
| 特定保健指導の実施体制 | 利用勧奨と初回面接の同時実施 | 健診結果説明会を行い、特定保健指導対象者は結果返却と同時に初回面接を実施 |
| | わかりやすい支援の提供 | 支援の中間に測定会を設け、改善目標の指標を確認し継続した改善につながるような体制で実施 |

2. 第3期計画の評価と考察

(1) 現状のまとめと目標に対する達成状況

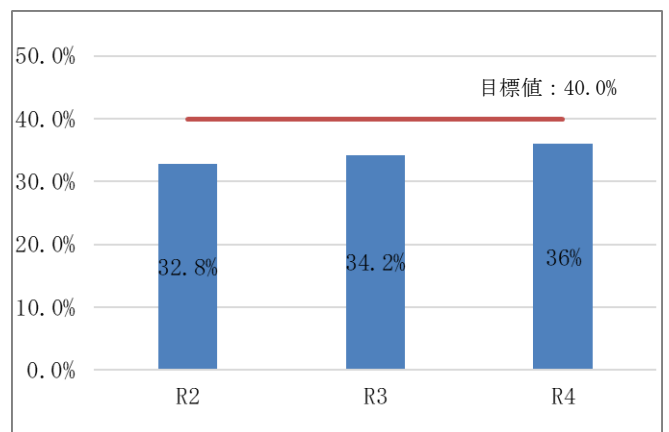
| 分類 | 指標 | 状況 |
|--------|----------------------|--|
| 特定健康診査 | 特定健診受診率 | 令和4年度の実績は60.1%で、最終評価目標としていた60.0%を達成することができた。ターゲットに合わせた勧奨通知を行った。男性の受診率は年度ごとに上下変動があり、定着率が低い。年齢別では50代の年度ごとの受診率の変動がある。 |
| | 連続受診者の増加率(定着率) | 特定健診の周知・受診啓発は町広報で年2回、さらに個人へも勧奨通知を行っているが、連続受診率は全年代で低下している。中でも、50代の連続受診者が減少している。 |
| 特定保健指導 | 特定保健指導実施率 | 令和4年度の実施率は66.3%で最終評価目標74.0%を下回っている。 |
| | メタボリック症候群該当者・予備群の減少率 | 令和4年度は36.0%で目標の40.0%を下回っている。 |

特定保健指導対象者の減少（令和4年度）



データ：特定健診・特定保健指導法定報告

メタボリック症候群該当者・予備群の減少率（令和4年度）



データ：特定健診・特定保健指導法定報告

(2) 事業実施体制の評価

| 分類 | 状況 |
|-------------|---|
| 職員体制 | 保健事業の数が増え、健診日と他事業が同日に開催されることもあるため、健診従事スタッフの確保が難しくなっている。健診従事スタッフの外部委託も含めて検討が必要である。 |
| 実施体制 | 地域医療機関の協力で個別健診の実施が可能となった。町では集団健診スタイルをメインに特定健診を実施しているが、実施日の増加・休日の実施、他検診とも同時受診ができる体制で実施している。個別健診実施期間も延長でき利便性が高まることで健診受診率の維持ができています。 |
| 関係機関・部門との連携 | かかりつけ医から受診勧奨を行ってもらうことにより、健診受診の定着化がとれている。健診を通して、認知症予備者や痩せが目立つ方を介護部門につなげたり、健診の対面の機会が早期発見につながっている。 |

3. 特定健康診査の受診状況

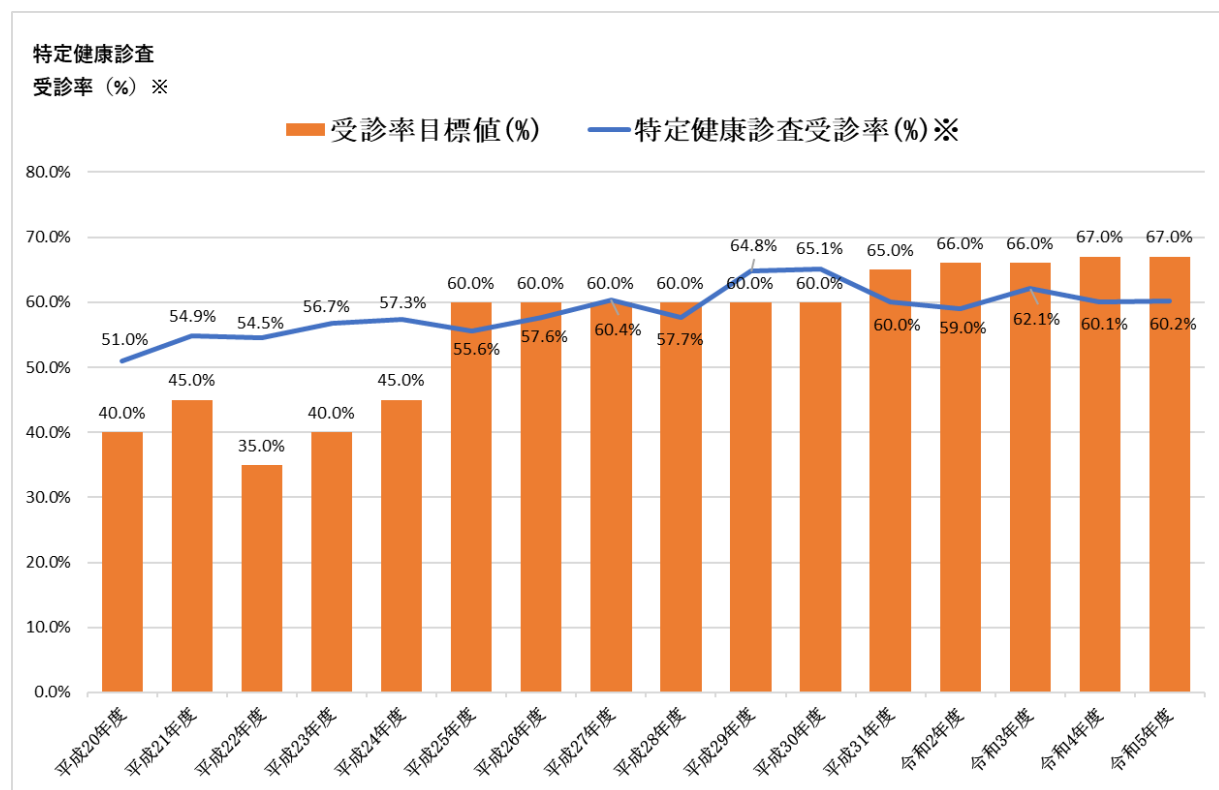
平成20年度から令和5年度(見込み値)における、特定健康診査の受診状況を示したものです。

特定健康診査受診率及び目標値

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 特定健康診査対象者数(人) | 1,968 | 1,933 | 1,869 | 1,778 | 1,666 | 1,589 | 1,509 | 1,440 |
| 特定健康診査受診者数(人) | 1,003 | 1,062 | 1,018 | 1,008 | 954 | 883 | 869 | 870 |
| 特定健康診査受診率(%)* | 51.0% | 54.9% | 54.5% | 56.7% | 57.3% | 55.6% | 57.6% | 60.4% |
| 受診率目標値(%) | 40.0% | 45.0% | 35.0% | 40.0% | 45.0% | 60.0% | 60.0% | 60.0% |
| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 (見込み値) |
| 特定健康診査対象者数(人) | 1,358 | 1,283 | 1,208 | 1,154 | 1,109 | 1,080 | 1,007 | 930 |
| 特定健康診査受診者数(人) | 783 | 831 | 787 | 692 | 657 | 671 | 605 | 560 |
| 特定健康診査受診率(%)* | 57.7% | 64.8% | 65.1% | 60.0% | 59.0% | 62.1% | 60.1% | 60.2% |
| 受診率目標値(%) | 60.0% | 60.0% | 60.0% | 65.0% | 66.0% | 66.0% | 67.0% | 67.0% |

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

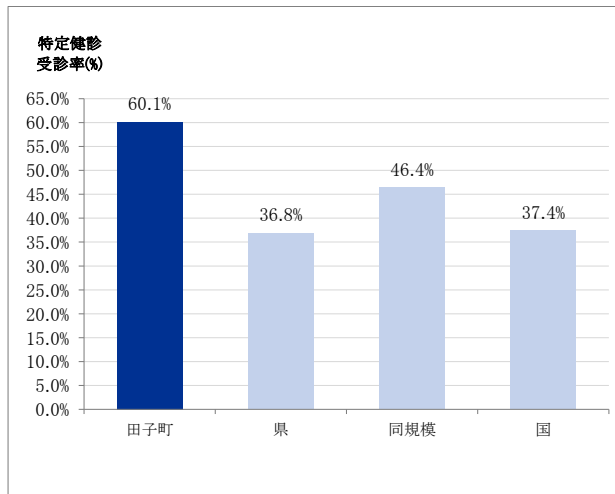
国保データベース (KDB) システムより集計した、令和4年度における、特定健康診査の受診率は以下のとおりです。

特定健康診査受診率(令和4年度)

| 区分 | 特定健診受診率 |
|-----|---------|
| 田子町 | 60.1% |
| 県 | 36.8% |
| 同規模 | 46.4% |
| 国 | 37.4% |

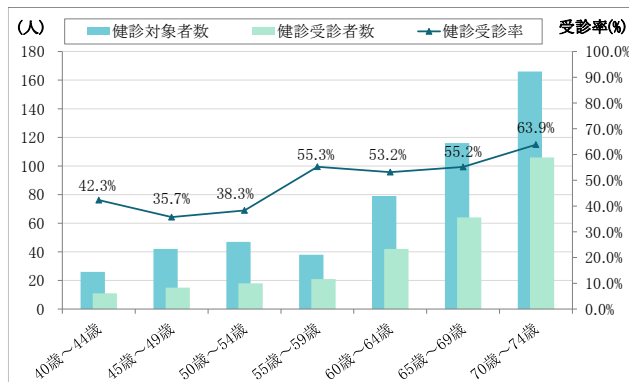
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(令和4年度)



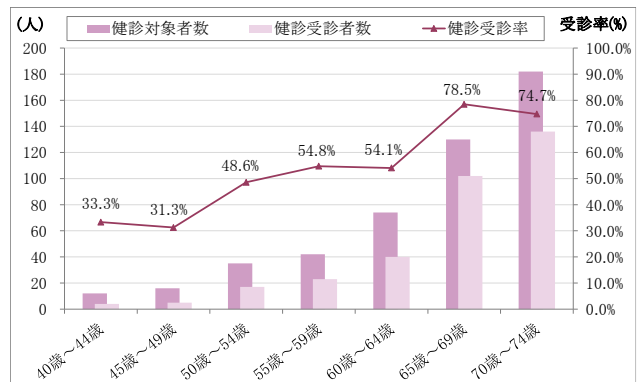
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



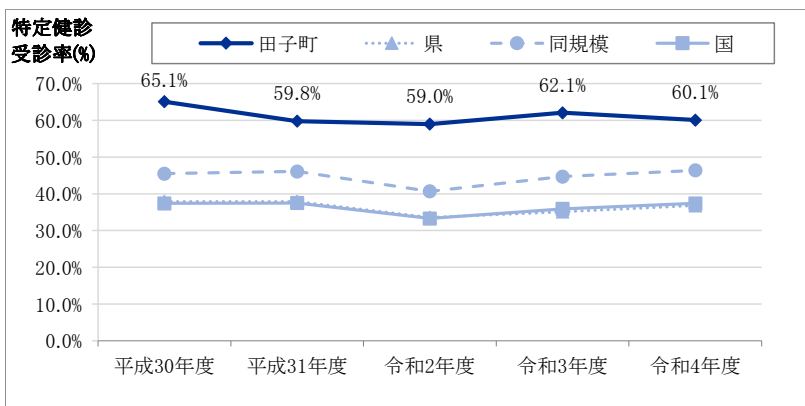
平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものです。令和4年度の特定健康診査受診率60.1%は平成30年度65.1%より5.0ポイント減少しています。

年度別 特定健康診査受診率

| 区分 | 特定健診受診率 | | | | |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 田子町 | 65.1% | 59.8% | 59.0% | 62.1% | 60.1% |
| 県 | 37.9% | 37.9% | 33.6% | 35.1% | 36.8% |
| 同規模 | 45.5% | 46.1% | 40.7% | 44.7% | 46.4% |
| 国 | 37.4% | 37.5% | 33.3% | 35.9% | 37.4% |

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

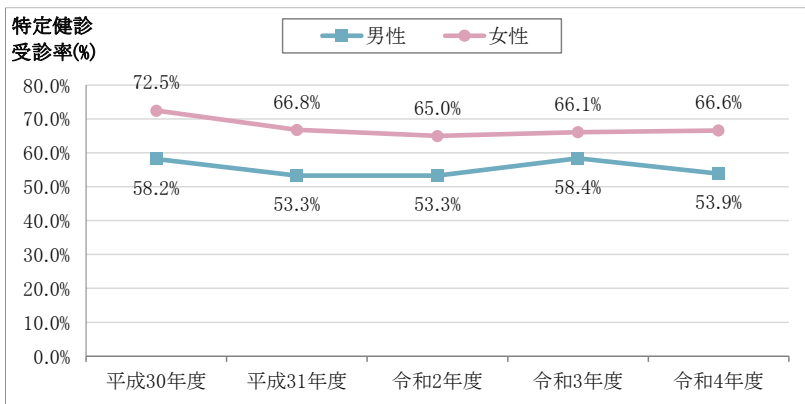
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率53.9%は平成30年度58.2%より4.3ポイント減少しており、女性の令和4年度受診率66.6%は平成30年度72.5%より5.9ポイント減少しています。

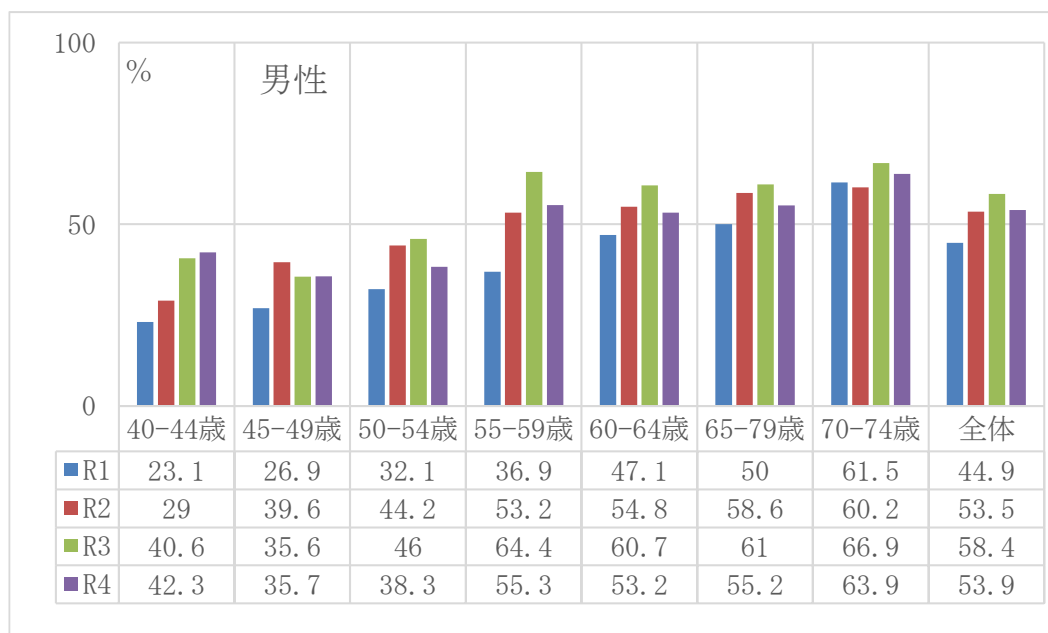
年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

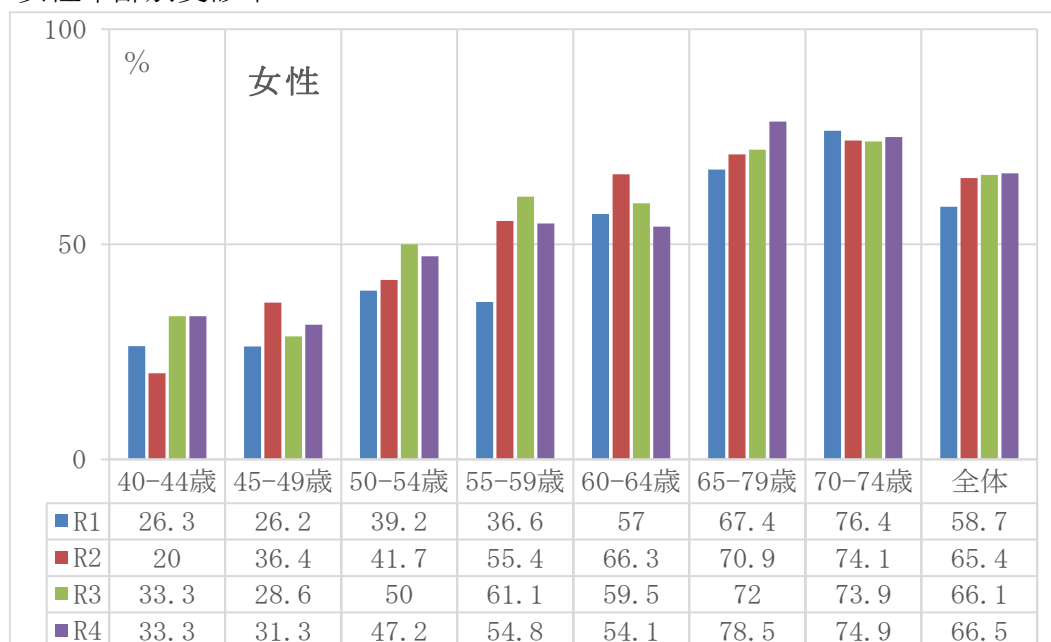
令和1年度から令和4年度における、各年齢層別の特定健康診査受診率を男女別に比較したものです。男女ともに55歳以上の年齢層で50%を超え、男性はその後横ばいとなるが、女性については65歳を超えると70%を超える受診率となっており、女性の健康への意識が年齢とともに高くなっていることが推測されます。

男性年齢別受診率



データ：特定健診・特定保健指導法定報告

女性年齢別受診率



データ：特定健診・特定保健指導法定報告

4. 特定保健指導の実施状況

平成20年度から令和5年度(見込み値)における、特定保健指導の実施状況を示したものです。

特定保健指導実施率及び目標値

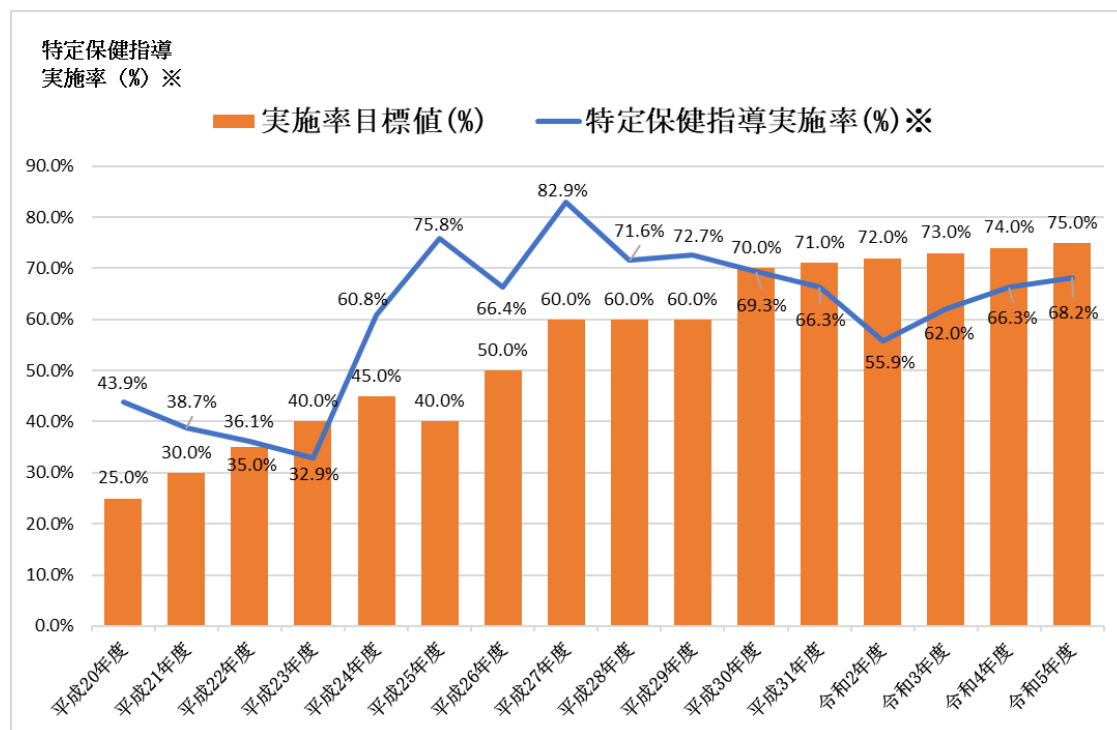
| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 特定保健指導対象者数(人) | 164 | 155 | 155 | 143 | 130 | 124 | 116 | 117 |
| 特定保健指導利用者数(人) | 72 | 60 | 56 | 47 | 79 | 94 | 77 | 97 |
| 特定保健指導実施者数(人)※ | 72 | 60 | 56 | 47 | 79 | 94 | 77 | 97 |
| 特定保健指導実施率(%)※ | 43.9% | 38.7% | 36.1% | 32.9% | 60.8% | 75.8% | 66.4% | 82.9% |
| 実施率目標値(%) | 25.0% | 30.0% | 35.0% | 40.0% | 45.0% | 40.0% | 50.0% | 60.0% |
| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 (見込み値) |
| 特定保健指導対象者数(人) | 95 | 110 | 101 | 95 | 111 | 97 | 92 | 88 |
| 特定保健指導利用者数(人) | 68 | 80 | 70 | 64 | 62 | 69 | 68 | 65 |
| 特定保健指導実施者数(人)※ | 68 | 80 | 70 | 63 | 62 | 61 | 61 | 60 |
| 特定保健指導実施率(%)※ | 71.6% | 72.7% | 69.3% | 66.3% | 55.9% | 62.9% | 66.3% | 68.2% |
| 実施率目標値(%) | 60.0% | 60.0% | 70.0% | 71.0% | 72.0% | 73.0% | 74.0% | 75.0% |

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導終了者の割合。

国保データベース (KDB) システムより集計した、令和4年度における、特定保健指導の実施状況は以下のとおりです。

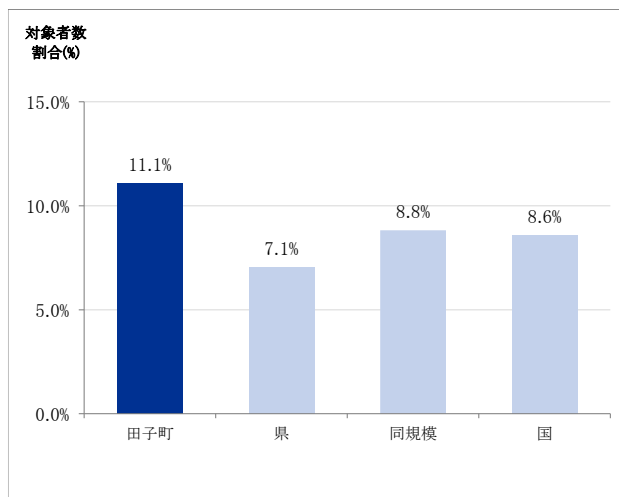
特定保健指導実施状況 (令和4年度)

| 区分 | 動機付け支援対象者数割合 | 積極的支援対象者数割合 | 支援対象者数割合 | 特定保健指導実施率 |
|-----|--------------|-------------|----------|-----------|
| 田子町 | 11.1% | 4.1% | 15.2% | 66.3% |
| 県 | 7.1% | 2.8% | 9.9% | 37.3% |
| 同規模 | 8.8% | 3.2% | 12.0% | 46.4% |
| 国 | 8.6% | 2.7% | 11.3% | 27.0% |

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
 特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。

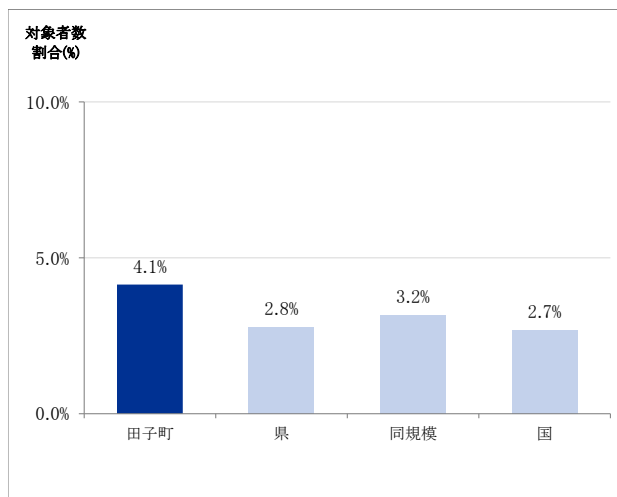
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合 (令和4年度)



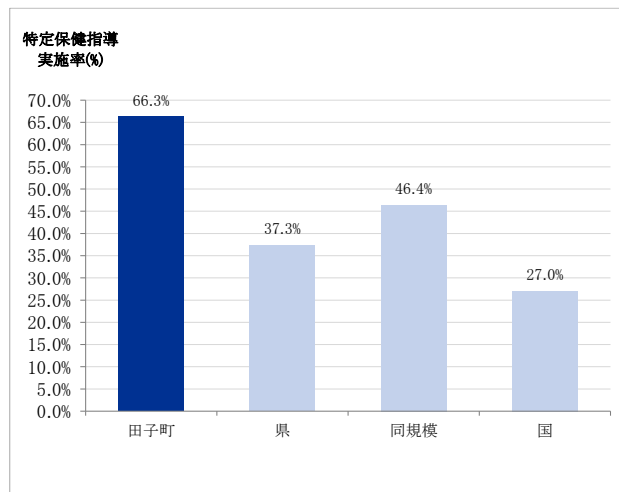
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合 (令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率 (令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

第3章 特定健康診査に係る詳細分析

1. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を示したものです。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の60.4%です。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の48.9%です。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

| | 人数(人) | 構成比(%) | 生活習慣病医療費(円) ※ | | |
|--------|-------|--------|---------------|------------|------------|
| | | | 入院 | 入院外 | 合計 |
| 健診受診者 | 609 | 54.3% | 445,691 | 31,995,788 | 32,441,479 |
| 健診未受診者 | 513 | 45.7% | 2,187,999 | 25,885,309 | 28,073,308 |
| 合計 | 1,122 | | 2,633,690 | 57,881,097 | 60,514,787 |

| | 生活習慣病患者数 ※ | | | | | | 生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※ | | |
|--------|------------|-------|--------|-------|--------|-------|----------------------|---------|---------|
| | 入院 | | 入院外 | | 合計 ※ | | 入院 | 入院外 | 合計 |
| | 患者数(人) | 割合(%) | 患者数(人) | 割合(%) | 患者数(人) | 割合(%) | | | |
| 健診受診者 | 14 | 2.3% | 368 | 60.4% | 368 | 60.4% | 31,835 | 86,945 | 88,156 |
| 健診未受診者 | 33 | 6.4% | 247 | 48.1% | 251 | 48.9% | 66,303 | 104,799 | 111,846 |
| 合計 | 47 | 4.2% | 615 | 54.8% | 619 | 55.2% | 56,036 | 94,116 | 97,762 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

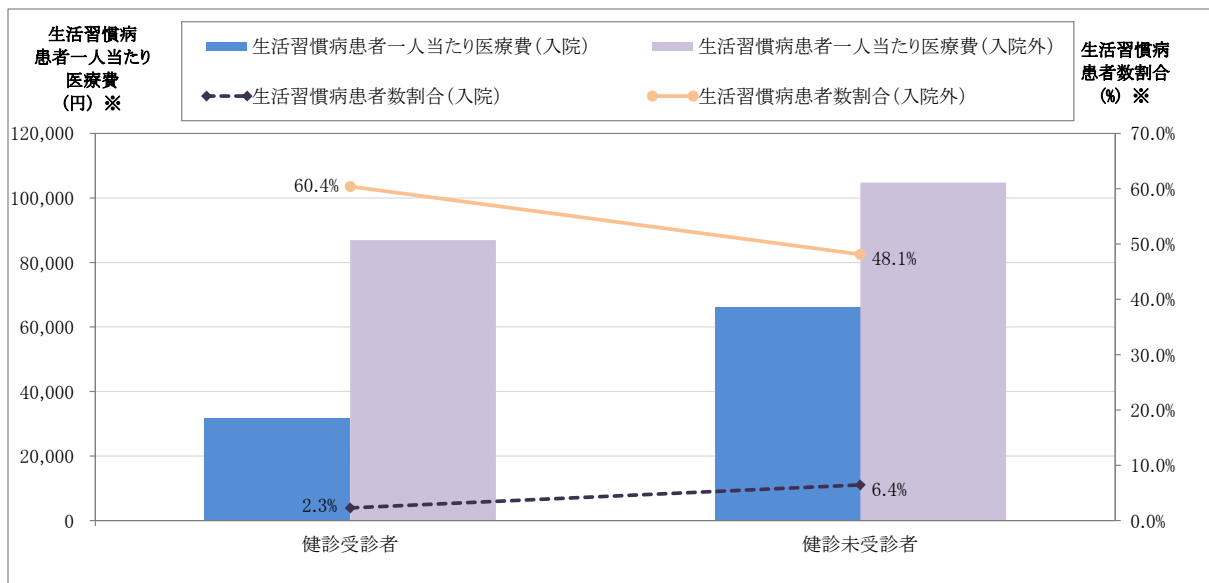
資格確認日…令和5年3月31日時点。

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合。

2. 特定保健指導対象者に係る分析

(1) 保健指導レベル該当状況

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況を示したものです。積極的支援対象者割合は5.3%、動機付け支援対象者割合は10.7%です。

保健指導レベル該当状況

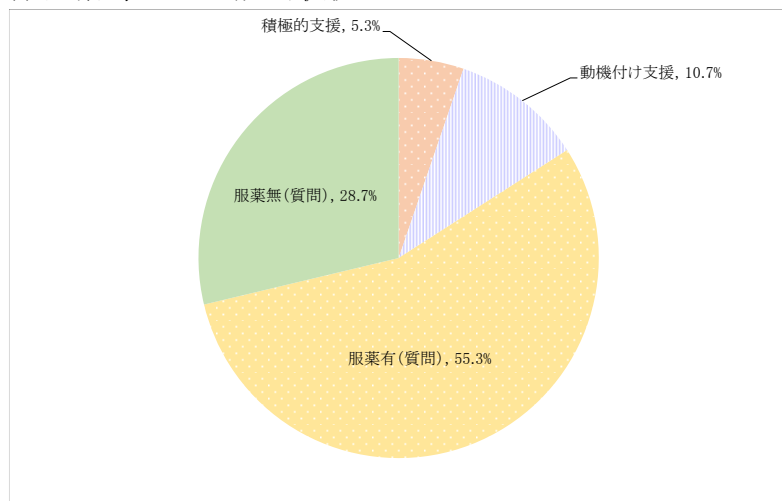
| | 健診受診者数 (人) | 該当レベル | | | | | 判定不能 |
|---------|---------------|--------------|--------|---------|---------|-------|------|
| | | 特定保健指導対象者(人) | | | 情報提供 | | |
| | | 積極的支援 | 動機付け支援 | 服薬有(質問) | 服薬無(質問) | | |
| 該当者数(人) | 609 | 97 | 32 | 65 | 337 | 175 | 0 |
| 割合(%) ※ | - | 15.9% | 5.3% | 10.7% | 55.3% | 28.7% | 0.0% |

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

| 腹囲/BMI | 追加リスク | | 喫煙歴(注) | 対象 | |
|------------------------|--------|---------|----------|---------|---------|
| | ①血糖 | ②脂質 ③血圧 | | 40歳-64歳 | 65歳-74歳 |
| ≥85cm(男性) ≥90cm(女性) | 2つ以上該当 | | / | 積極的支援 | 動機付け支援 |
| | 1つ該当 | | あり なし | | |
| 上記以外でBMI ≥25 | 3つ該当 | | / | 積極的支援 | 動機付け支援 |
| | 2つ該当 | | あり なし | | |
| | 1つ該当 | | / | | |

(注) 喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c(NGSP値)5.6%以上

(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。

(2) 特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」、それ以外の方を「非対象者」とし、更に「非対象者」について、質問票における回答内容から「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分類しました。以下は各分類の生活習慣病医療費について比較した結果を示したものです。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要です。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

| | | 人数(人) | 生活習慣病医療費(円) ※ | | | 生活習慣病患者数(人) ※ | | |
|------|-------------------|-------|---------------|------------|------------|---------------|-----|------|
| | | | 入院 | 入院外 | 合計 | 入院 | 入院外 | 合計 ※ |
| 対象者 | 積極的支援、動機付け支援 | 97 | 102,494 | 696,517 | 799,011 | 2 | 19 | 19 |
| 非対象者 | 情報提供 (服薬無(質問)) | 175 | 0 | 347,707 | 347,707 | 0 | 12 | 12 |
| | 情報提供 (服薬有(質問)) | 337 | 343,197 | 30,951,564 | 31,294,761 | 12 | 337 | 337 |

| | | 人数(人) | 生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※ | | |
|------|-------------------|-------|----------------------|--------|--------|
| | | | 入院 | 入院外 | 合計 |
| 対象者 | 積極的支援、動機付け支援 | 97 | 51,247 | 36,659 | 42,053 |
| 非対象者 | 情報提供 (服薬無(質問)) | 175 | 0 | 28,976 | 28,976 |
| | 情報提供 (服薬有(質問)) | 337 | 28,600 | 91,844 | 92,863 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

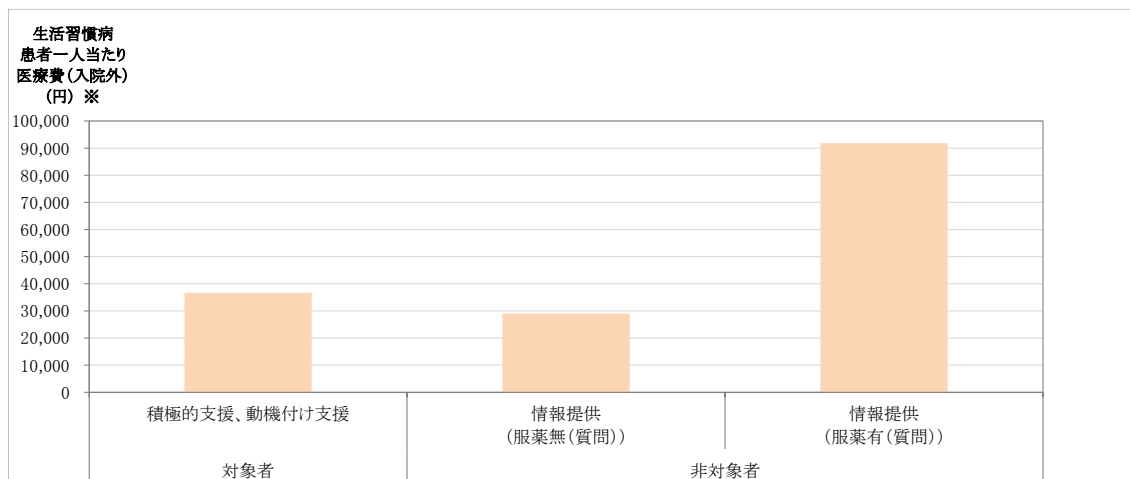
非対象者…健康診査受診における質問表の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記。

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの入院外生活習慣病医療費。

第4章 特定健康診査等実施計画

1. 目標

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である令和11年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上(平成20年度比)を達成することとしています。本町においては各年度の目標値を以下のとおり設定します。

目標値

| | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和11年度 (国基準) |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-----------------|
| 特定健康診査受診率(%) | 61.0% | 61.5% | 62.0% | 62.5% | 63.0% | 63.5% | 60.0%以上 |
| 特定保健指導実施率(%) | 68.2% | 68.4% | 68.6% | 68.8% | 69.0% | 69.2% | 60.0%以上 |
| 特定保健指導対象者の 減少率(%)※ | 13.0% | 13.5% | 14.0% | 14.5% | 15.0% | 15.5% | 25.0%以上 |

※特定保健指導対象者の減少率…平成20年度比。

2. 対象者数推計

(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

令和6年度から令和11年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示したものです。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

| | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 特定健康診査対象者数(人) | 906 | 831 | 785 | 726 | 679 | 632 |
| 特定健康診査受診率(%) (目標値) | 60.2% | 60.4% | 60.6% | 60.8% | 61.0% | 61.5% |
| 特定健康診査受診者数(人) | 545 | 502 | 476 | 441 | 414 | 389 |

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

| | | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 特定健康診査 対象者数(人) | 40歳～64歳 | 389 | 370 | 354 | 326 | 313 | 290 |
| | 65歳～74歳 | 517 | 461 | 431 | 400 | 366 | 342 |
| 特定健康診査 受診者数(人) | 40歳～64歳 | 176 | 170 | 163 | 151 | 147 | 138 |
| | 65歳～74歳 | 369 | 332 | 313 | 290 | 267 | 251 |

(2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

令和6年度から令和11年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示したものです。

特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

| | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 特定保健指導対象者数(人) | 87 | 82 | 77 | 71 | 67 | 62 |
| 特定保健指導実施率(%)(目標値) | 68.2% | 68.4% | 68.6% | 68.8% | 69.0% | 69.2% |
| 特定保健指導実施者数(人) | 59 | 56 | 53 | 49 | 46 | 43 |

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

| | | | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 |
|--------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 積極的支援 | 対象者数(人) | 40歳～64歳 | 26 | 26 | 24 | 22 | 21 | 20 |
| | 実施者数(人) | 40歳～64歳 | 18 | 17 | 17 | 15 | 15 | 13 |
| 動機付け支援 | 対象者数(人) | 40歳～64歳 | 16 | 15 | 15 | 14 | 13 | 12 |
| | | 65歳～74歳 | 45 | 41 | 38 | 35 | 33 | 30 |
| | 実施者数(人) | 40歳～64歳 | 9 | 9 | 9 | 8 | 7 | 7 |
| | | 65歳～74歳 | 32 | 30 | 27 | 26 | 24 | 23 |

3. 各事業の実施内容と評価方法

各事業における実施内容及び評価方法の詳細は以下のとおりです。

事業番号：A-① 特定健康診査受診勧奨事業【継続】

| | |
|-----------|--|
| 事業の目的 | 内臓脂肪型肥満に着目した、生活習慣病（高血圧・高血糖・脂質代謝異常）のリスク要因がある対象者を発見し、保健指導を必要とする人を選定するために健診を実施する。 |
| 対象者 | 40～74歳までの被保険者 |
| 現在までの事業結果 | 平成30年度の65.1%をピークに60.0%台へ落ち込んでいる。毎年受診率が上下変動し受診が定着していない。 |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-----------------|--|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| | | 2022年度(R4) | 2024年度(R6) | 2025年度(R7) | 2026年度(R8) | 2027年度(R9) | 2028年度(R10) | 2029年度(R11) |
| アウトカム(成果)指標 | 特定健康診査受診率 | 60.2% | 61.0% | 61.5% | 62.0% | 62.5% | 63.0% | 63.5% |
| アウトプット(実施量・率)指標 | 特定健康診査対象者で3年連続受診者以外へ受診勧奨実施割合(年2回以上の実施) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

| | |
|----------------|---|
| 目標を達成するための主な戦略 | <ul style="list-style-type: none"> ・国保ヘルスアップ事業の財源を有効活用し、事業者へ委託により実施する。 ・勧奨対象者は受診状況によりグループ化し、効率的かつ効果的な勧奨業務を実施する。 |
|----------------|---|

現在までの実施方法(プロセス)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新規40歳および41歳へダイレクトメール ・過去3年において不定期受診者へ年2回勧奨通知を送付している。 |
|--|

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・不定期受診者への年2回の勧奨通知の実施 ・未受診者でレセプトありの対象者へも勧奨通知を実施。そのためにレセプトデータも活用する。 ・健診の周知方法も見直す |
|--|

現在までの実施体制(ストラクチャー)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・健診の事業計画・業務は、健康増進担当の地域包括支援課で担当している。 ・町では集団健診スタイルを主流で行い、都合が合わない人は個別健診スタイルで受診を補っている。 ・国保ヘルスアップ事業の活用など委託事業は予算編成など主管課と連携調整している。 |
|---|

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・町内を会場とする集団健診スタイルでは人員の確保が難しくなっているため、業務の委託化も活用する。 ・個別健診スタイルで受診を補っていく。 ・国保ヘルスアップ事業の活用など委託事業は予算編成など主管課と連携調整していく。 |
|---|

評価計画

| |
|--|
| アウトカム指標の特定健診受診率（特定健診受診者数/特定健診対象者数）は、法定報告確定結果を最終受診率とする。 |
|--|

事業番号：A-② 特定保健指導事業【継続】

| | |
|-----------|---|
| 事業の目的 | 特定保健指導事業 |
| 対象者 | 厚生労働省のガイドラインに沿って、特定保健指導判定値に該当する者 |
| 現在までの事業結果 | 平成30年度69.3%と令和4年度を比べると、3ポイント落ち込んでいる。国の定める目標は達成しているが、積極的支援の脱落者が多い。 |

今後の目標

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度

| 指標 | 評価指標 | 計画策定時実績 | 目標値 | | | | | |
|-----------------|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| | | 2022年度(R4) | 2024年度(R6) | 2025年度(R7) | 2026年度(R8) | 2027年度(R9) | 2028年度(R10) | 2029年度(R11) |
| アウトカム(成果)指標 | 特定保健指導実施率 | 66.3% | 68.2% | 68.4% | 68.6% | 68.8% | 69.0% | 69.2% |
| | 特定保健指導対象者の減少率 | 14.9% | 13.0% | 13.5% | 14.0% | 14.5% | 15.0% | 15.5% |
| アウトプット(実施量・率)指標 | 積極的支援保健指導の実施率 | 36.0% | 37.0% | 38.0% | 39.0% | 40.0% | 41.0% | 42.0% |
| | 動機付け支援保健指導の実施率 | 77.6% | 78.0% | 79.0% | 80.0% | 80%以上 | 80%以上 | 80%以上 |

| | |
|----------------|---|
| 目標を達成するための主な戦略 | <ul style="list-style-type: none"> 結果説明会を行い、特定保健指導対象者は結果返却と同時に初回面接を実施する。 特定保健指導対象者の健診結果は郵送せず、面接で返却する。 測定会や検査などメニューを整え、取り組み効果を確認しながら目標達成へのモチベーション維持 |
|----------------|---|

現在までの実施方法(プロセス)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 初回面接では明確な目標設定をする。 3回の支援で、20分以上の対面指導を2回以上実施する。 測定を行い途中経過を確認する。 |
|---|

今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 3回の支援で、20分以上の対面指導を2回以上実施する。 測定を行い途中経過を確認する。 測定会、検査など改善の指標となるメニューも導入する。 |
|--|

現在までの実施体制(ストラクチャー)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導は、健康増進部門で事業計画、事業実務を担当している。 保健師・管理栄養士5名で担当している。 |
|---|

今後の実施体制(ストラクチャー)の改善案、目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導は、健康増進部門で事業計画、事業実務を担当していく。 保健師・管理栄養士5名で担当していく。 測定会時、血管模型や食事診断など、病気のメカニズムがイメージしやすい教材を導入していく。 保健指導の実施内容にICTの利用も検討する。(Wi-Fi環境を整える) |
|--|

評価計画

| |
|---|
| <p>アウトカム指標の特定保健指導実施率(特定保健指導修了者数/特定保健指導対象者)、特定保健指導対象者の減少率(今年度特定保健指導ではなくなった者の数/昨年度特定保健指導利用者)は、法定報告確定結果を最終指標とする。</p> |
|---|

4. 目標達成に向けての取り組み

第4期計画期間における目標達成に向けての取り組みを示したものです。

【特定健康診査】

| 事業分類 | 取り組み |
|------------|--|
| 健診の意識付けと広報 | <ul style="list-style-type: none"> ・町広報、ホームページ、ケーブルテレビによる情報提供 ・健診デビューとなる40・41歳へダイレクト通知 ・かかりつけ医からの受診勧奨 ・受診勧奨の工夫 |
| 健診体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団健診と個別健診の併用 ・休日の健診実施 ・時期の調整 ・健診従事スタッフの確保 |
| 未受診者対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期受診となっていない人へ、勧奨通知し定着化を図る ・医療情報なし対象者への勧奨通知 ・かかりつけ医からの受診勧奨 |

【特定保健指導】

| 事業分類 | 取り組み |
|--------------|---|
| 特定保健指導の実施体制 | 保健指導利用の整備として、結果説明会で初回面接を行い、効率的かつ効果的な指導の実施 |
| | 測定会、血液検査等メニューを整え、取り組み効果を確認しながらモチベーションの維持を促す |
| 特定保健指導未利用者対策 | 保健指導を利用しない対象者へ、指導期間中に指導はなくても測定会や検査を促す |
| | 保健指導未利用者で悪化傾向がある場合は、受診勧奨をする |

1. 個人情報保護の保護

(1) 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行います。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の契約遵守状況を管理します。

(2) データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄します。

2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあります。主に加入者(特に特定健診・特定保健指導の対象者)に対し、計画期間中の取り組み方針を示し、事業の趣旨への理解を促し積極的な協力を得るため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図ります。

3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

(1) 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導対象者の割合、特定保健指導の実施率、特定保健指導の成果(目標達成率、行動変容率)、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行います。

(2) 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況の評価し、必要に応じて見直しを行うものとします。

4. 他の健診との連携

特定健康診査の実施に当たっては、庁内連携を図り、がん検診等他の関連する検(健)診と可能な限り連携して実施するものとします。

5. 実施体制の確保及び実施方法の改善

(1) 実施体制の確保

特定保健指導に係る人材育成・確保に努めます。

(2) 特定保健指導の実施方法の改善

①アウトカム評価の導入による「見える化」

特定保健指導対象者の行動変容に係る情報等を収集し、保険者がアウトカムの達成状況等を把握、要因の検討等を行い、対象者の特性に応じた質の高い保健指導を対象者に還元していく仕組みの構築が重要であるため、特定保健指導の「見える化」を推進します。

②ICTを活用した特定保健指導の推進

在宅勤務や遠隔地勤務等の多様なニーズに対応することを促進するため、遠隔で行う保健指導については、評価水準や時間設定等は対面と同等とします。ICT活用の推進に当たっては、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」や「標準的な健診・保健指導プログラム」を参照し、ICT環境やICTリテラシーの確認・確保等、ICT活用に係る課題に留意して対応するものとします。

參考資料

1. 基礎統計

当医療費統計は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを対象とし分析したものです。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりです。被保険者数は平均1,386人、レセプト件数は平均1,706件、患者数は平均700人です。また、患者一人当たりの医療費は平均57,680円となっています。

基礎統計

| | | 令和4年4月 | 令和4年5月 | 令和4年6月 | 令和4年7月 | 令和4年8月 | 令和4年9月 | 令和4年10月 | |
|-----|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
| A | 被保険者数(人) | 1,419 | 1,395 | 1,382 | 1,382 | 1,387 | 1,390 | 1,389 | |
| B | レセプト件数(件) | 入院外 | 914 | 896 | 931 | 931 | 883 | 901 | 903 |
| | | 入院 | 22 | 28 | 29 | 23 | 25 | 29 | 25 |
| | | 調剤 | 751 | 735 | 770 | 777 | 752 | 744 | 744 |
| | | 合計 | 1,687 | 1,659 | 1,730 | 1,731 | 1,660 | 1,674 | 1,672 |
| C | 医療費(円) ※ | 36,052,440 | 41,156,850 | 42,480,050 | 39,415,090 | 40,178,430 | 38,783,510 | 44,157,040 | |
| D | 患者数(人) ※ | 711 | 681 | 681 | 713 | 680 | 687 | 690 | |
| C/A | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 25,407 | 29,503 | 30,738 | 28,520 | 28,968 | 27,902 | 31,791 | |
| C/B | レセプト一件当たりの医療費(円) | 21,371 | 24,808 | 24,555 | 22,770 | 24,204 | 23,168 | 26,410 | |
| C/D | 患者一人当たりの医療費(円) | 50,707 | 60,436 | 62,379 | 55,281 | 59,086 | 56,453 | 63,996 | |
| D/A | 有病率(%) | 50.1% | 48.8% | 49.3% | 51.6% | 49.0% | 49.4% | 49.7% | |
| 三要素 | 受診率(件/人・月) ※ | 0.66 | 0.66 | 0.69 | 0.69 | 0.65 | 0.67 | 0.67 | |
| | 一件当たりの日数(日) ※ | 1.70 | 1.73 | 1.77 | 1.75 | 1.74 | 1.75 | 1.82 | |
| | 一日当たりの医療費(円) ※ | 22,603 | 25,691 | 25,047 | 23,644 | 25,413 | 23,764 | 26,175 | |

| | | 令和4年11月 | 令和4年12月 | 令和5年1月 | 令和5年2月 | 令和5年3月 | 12カ月平均 | 12カ月合計 | |
|-----|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|--------|
| A | 被保険者数(人) | 1,386 | 1,385 | 1,376 | 1,370 | 1,371 | 1,386 | | |
| B | レセプト件数(件) | 入院外 | 961 | 956 | 888 | 887 | 987 | 920 | 11,038 |
| | | 入院 | 30 | 20 | 23 | 28 | 24 | 26 | 306 |
| | | 調剤 | 782 | 789 | 728 | 717 | 833 | 760 | 9,122 |
| | | 合計 | 1,773 | 1,765 | 1,639 | 1,632 | 1,844 | 1,706 | 20,466 |
| C | 医療費(円) ※ | 43,309,630 | 37,595,040 | 41,620,150 | 39,643,100 | 39,775,810 | 40,347,262 | 484,167,140 | |
| D | 患者数(人) ※ | 725 | 716 | 690 | 671 | 749 | 700 | 8,394 | |
| C/A | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 31,248 | 27,144 | 30,247 | 28,937 | 29,012 | 29,111 | | |
| C/B | レセプト一件当たりの医療費(円) | 24,427 | 21,300 | 25,394 | 24,291 | 21,570 | 23,657 | | |
| C/D | 患者一人当たりの医療費(円) | 59,737 | 52,507 | 60,319 | 59,081 | 53,105 | 57,680 | | |
| D/A | 有病率(%) | 52.3% | 51.7% | 50.1% | 49.0% | 54.6% | 50.5% | | |
| 三要素 | 受診率(件/人・月) ※ | 0.72 | 0.70 | 0.66 | 0.67 | 0.74 | | | |
| | 一件当たりの日数(日) ※ | 1.74 | 1.65 | 1.77 | 1.82 | 1.85 | | | |
| | 一日当たりの医療費(円) ※ | 25,092 | 23,336 | 25,867 | 23,753 | 21,270 | | | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

※受診率…被保険者一人当たり、一月当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。一月当たりのレセプト件数のため、他帳票の受診率とは一致しない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における、被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費を入院・入院外別に示したものです。

受診率が表すのは被保険者一人当たりのレセプト件数です。受診動向や感染症の流行に影響を受けやすく医療機関を受診する人が多いと受診率が高くなります。一件当たりの日数はレセプト一件当たりの診療実日数であり、通院頻度や入院日数等の影響を受けます。一日当たりの医療費は医療費の単価(一回の診療または一日の入院にかかる医療費)を表しています。

被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

| | | 入院 | 入院外 | 全体 |
|------------------|----------------|---------|---------|---------|
| 被保険者一人当たりの医療費(円) | | 129,486 | 187,585 | 317,071 |
| 三要素 | 受診率(件/人) ※ | 0.20 | 7.23 | 7.43 |
| | 一件当たりの日数(日) ※ | 16.69 | 1.34 | 1.76 |
| | 一日当たりの医療費(円) ※ | 38,724 | 19,303 | 24,275 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

本分析における被保険者一人当たりの医療費は、分析期間内の被保険者数を用いて算出している。そのため、月単位の被保険者数を用いて算出している他帳票とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別に被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等を示したものです。

年齢階層別基礎統計

| 年齢階層 | A | | B | | | | C | D |
|---------|----------|-----------|-----|-------|--------|-------------|----------|---|
| | 被保険者数(人) | レセプト件数(件) | | | | 医療費(円) ※ | 患者数(人) ※ | |
| | | 入院外 | 入院 | 調剤 | 合計 | | | |
| 0歳～4歳 | 16 | 110 | 2 | 99 | 211 | 2,087,450 | 15 | |
| 5歳～9歳 | 16 | 87 | 0 | 78 | 165 | 1,152,090 | 15 | |
| 10歳～14歳 | 36 | 207 | 0 | 164 | 371 | 2,438,880 | 35 | |
| 15歳～19歳 | 44 | 170 | 4 | 108 | 282 | 8,508,190 | 38 | |
| 20歳～24歳 | 43 | 99 | 0 | 61 | 160 | 1,520,710 | 26 | |
| 25歳～29歳 | 28 | 59 | 2 | 34 | 95 | 2,410,980 | 16 | |
| 30歳～34歳 | 42 | 129 | 3 | 95 | 227 | 3,656,880 | 27 | |
| 35歳～39歳 | 52 | 248 | 1 | 196 | 445 | 5,873,680 | 36 | |
| 40歳～44歳 | 54 | 186 | 3 | 139 | 328 | 5,666,800 | 25 | |
| 45歳～49歳 | 81 | 295 | 17 | 222 | 534 | 33,099,310 | 42 | |
| 50歳～54歳 | 111 | 563 | 14 | 425 | 1,002 | 36,760,210 | 80 | |
| 55歳～59歳 | 103 | 740 | 19 | 606 | 1,365 | 31,759,070 | 83 | |
| 60歳～64歳 | 188 | 1,359 | 78 | 1,093 | 2,530 | 99,545,920 | 151 | |
| 65歳～69歳 | 286 | 2,349 | 51 | 2,033 | 4,433 | 75,582,790 | 248 | |
| 70歳～ | 427 | 4,437 | 112 | 3,769 | 8,318 | 174,104,180 | 416 | |
| 合計 | 1,527 | 11,038 | 306 | 9,122 | 20,466 | 484,167,140 | 1,253 | |

| 年齢階層 | C/A | C/B | C/D | D/A | 医療費の三要素 | | |
|---------|------------------|------------------|----------------|--------|------------|---------------|----------------|
| | 被保険者一人当たりの医療費(円) | レセプト一件当たりの医療費(円) | 患者一人当たりの医療費(円) | 有病率(%) | 受診率(件/人) ※ | 一件当たりの日数(日) ※ | 一日当たりの医療費(円) ※ |
| 0歳～4歳 | 130,466 | 9,893 | 139,163 | 93.8% | 7.00 | 1.41 | 13,212 |
| 5歳～9歳 | 72,006 | 6,982 | 76,806 | 93.8% | 5.44 | 1.31 | 10,106 |
| 10歳～14歳 | 67,747 | 6,574 | 69,682 | 97.2% | 5.75 | 1.27 | 9,309 |
| 15歳～19歳 | 193,368 | 30,171 | 223,900 | 86.4% | 3.95 | 1.70 | 28,744 |
| 20歳～24歳 | 35,365 | 9,504 | 58,489 | 60.5% | 2.30 | 1.26 | 12,166 |
| 25歳～29歳 | 86,106 | 25,379 | 150,686 | 57.1% | 2.18 | 1.59 | 24,855 |
| 30歳～34歳 | 87,069 | 16,110 | 135,440 | 64.3% | 3.14 | 1.73 | 15,969 |
| 35歳～39歳 | 112,955 | 13,199 | 163,158 | 69.2% | 4.79 | 1.37 | 17,276 |
| 40歳～44歳 | 104,941 | 17,277 | 226,672 | 46.3% | 3.50 | 1.62 | 18,519 |
| 45歳～49歳 | 408,633 | 61,984 | 788,079 | 51.9% | 3.85 | 3.42 | 31,050 |
| 50歳～54歳 | 331,173 | 36,687 | 459,503 | 72.1% | 5.20 | 1.93 | 32,998 |
| 55歳～59歳 | 308,340 | 23,267 | 382,639 | 80.6% | 7.37 | 2.16 | 19,365 |
| 60歳～64歳 | 529,500 | 39,346 | 659,245 | 80.3% | 7.64 | 2.42 | 28,613 |
| 65歳～69歳 | 264,275 | 17,050 | 304,769 | 86.7% | 8.39 | 1.52 | 20,782 |
| 70歳～ | 407,738 | 20,931 | 418,520 | 97.4% | 10.65 | 1.56 | 24,584 |
| 合計 | 317,071 | 23,657 | 386,406 | 82.1% | 7.43 | 1.76 | 24,275 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別基礎統計は分析期間内の被保険者数、患者数を算出している。他基礎統計では被保険者数、患者数を月単位で算出しており、本統計とは一致しない。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…分析期間中に一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

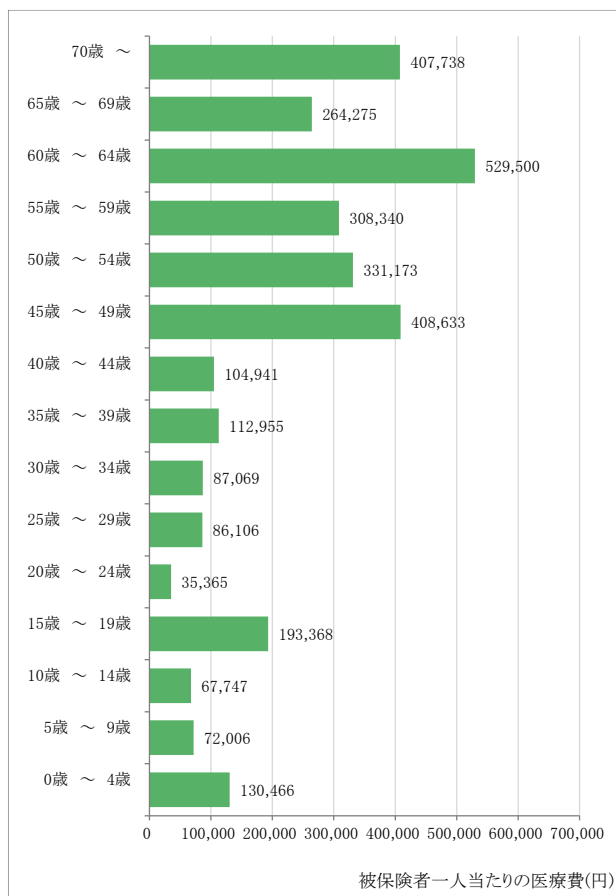
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

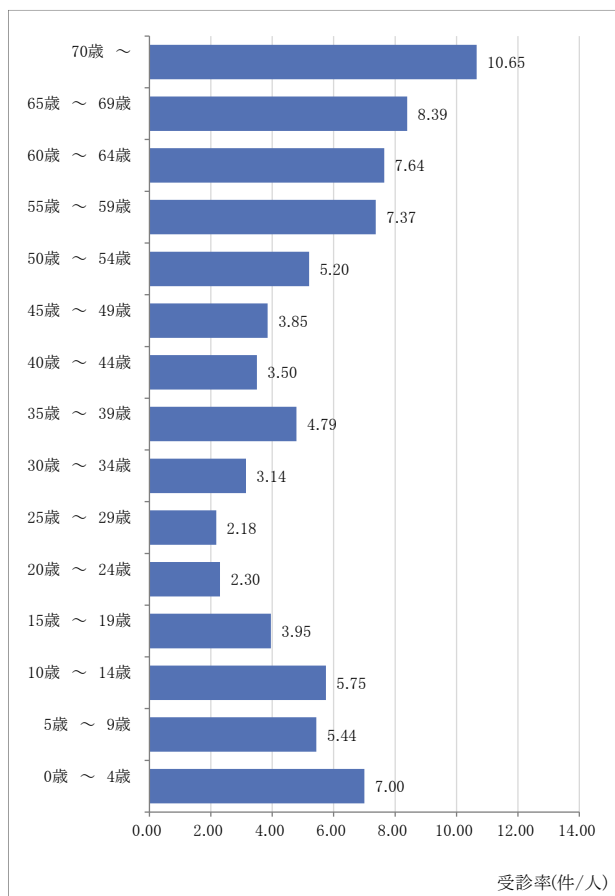
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

被保険者一人当たりの医療費、受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費の年齢階層別の状況をグラフにて示したものです。

年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費

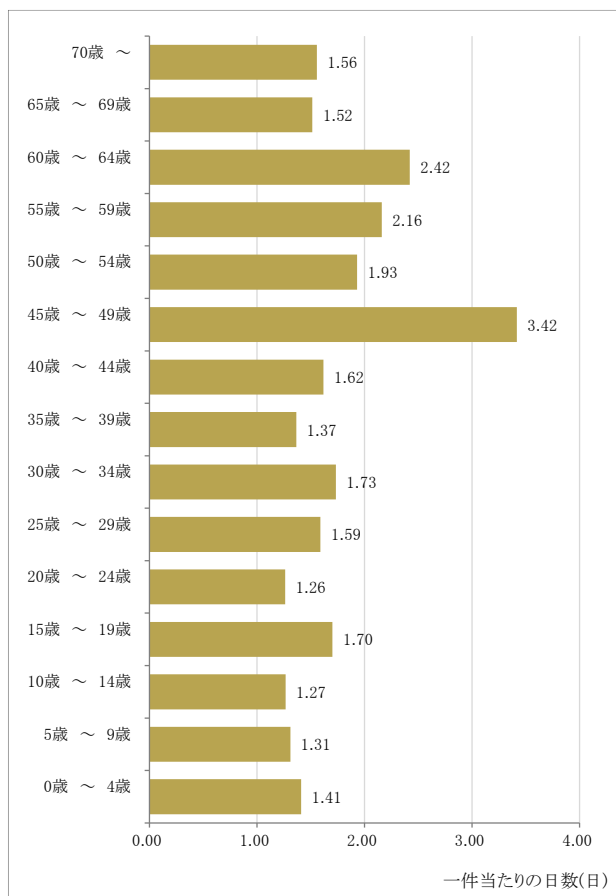


年齢階層別 受診率

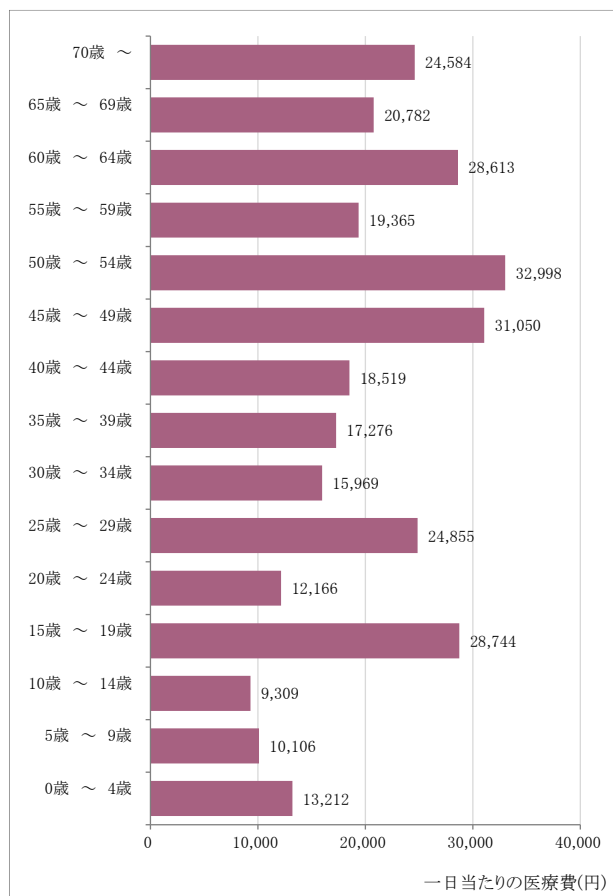


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別 一件当たりの日数



年齢階層別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

令和2年度から令和4年度におけるレセプトデータを対象とし年度別に分析します。令和4年度を令和2年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数1,386人は、令和2年度1,479人より93人減少しており、医療費4億8,417万円は令和2年度5億3,085万円より4,668万円減少しています。また、一カ月平均の患者数700人は、令和2年度730人より30人減少しています。

年度別 基礎統計

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | |
|-----|------------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| A | 一カ月平均の被保険者数(人) | 1,479 | 1,430 | 1,386 | |
| B | レセプト件数(件) | 入院外 | 11,448 | 11,261 | 11,038 |
| | | 入院 | 407 | 313 | 306 |
| | | 調剤 | 9,431 | 9,253 | 9,122 |
| | | 合計 | 21,286 | 20,827 | 20,466 |
| C | 医療費(円) ※ | 530,854,450 | 467,243,320 | 484,167,140 | |
| D | 一カ月平均の患者数(人) ※ | 730 | 713 | 700 | |
| C/A | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 358,908 | 326,763 | 349,327 | |
| C/B | レセプト一件当たりの医療費(円) | 24,939 | 22,434 | 23,657 | |
| D/A | 有病率(%) | 49.4% | 49.8% | 50.5% | |

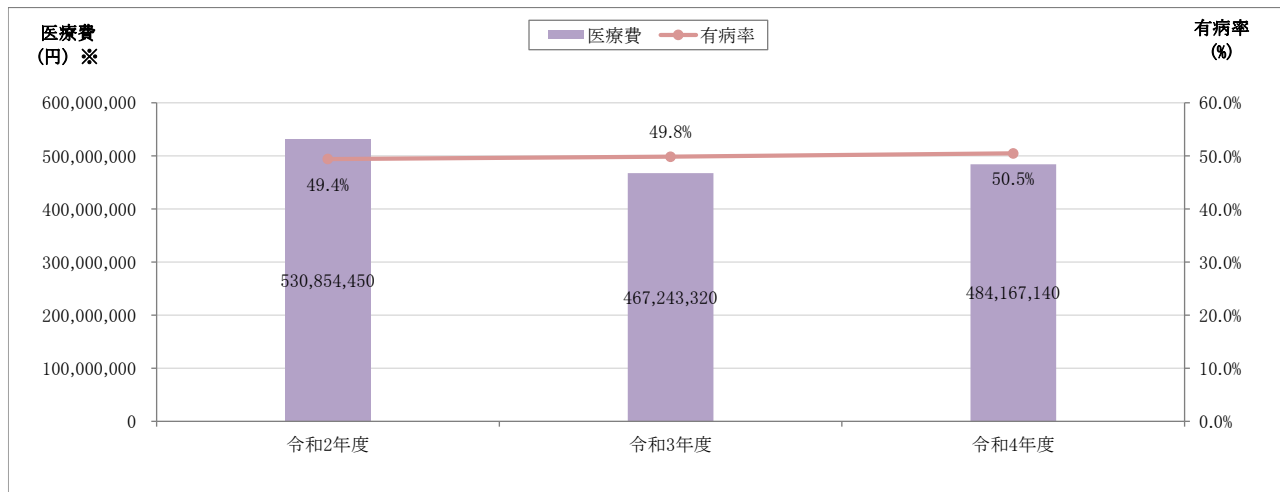
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人として集計。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

年度別の被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費について入院・入院外別に示したものです。

年度別 被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

| 年度 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | |
|-----|------------------|----------------|---------|---------|--------|
| 入院 | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 145,024 | 103,349 | 129,486 | |
| | 三要素 | 受診率(件/人) ※ | 0.25 | 0.20 | 0.20 |
| | | 一件当たりの日数(日) ※ | 16.32 | 15.58 | 16.69 |
| | | 一日当たりの医療費(円) ※ | 35,896 | 33,835 | 38,724 |
| 入院外 | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 177,880 | 189,227 | 187,585 | |
| | 三要素 | 受診率(件/人) ※ | 6.96 | 7.05 | 7.23 |
| | | 一件当たりの日数(日) ※ | 1.40 | 1.35 | 1.34 |
| | | 一日当たりの医療費(円) ※ | 18,232 | 19,935 | 19,303 |
| 全体 | 被保険者一人当たりの医療費(円) | 322,904 | 292,576 | 317,071 | |
| | 三要素 | 受診率(件/人) ※ | 7.21 | 7.25 | 7.43 |
| | | 一件当たりの日数(日) ※ | 1.91 | 1.73 | 1.76 |
| | | 一日当たりの医療費(円) ※ | 23,404 | 23,319 | 24,275 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

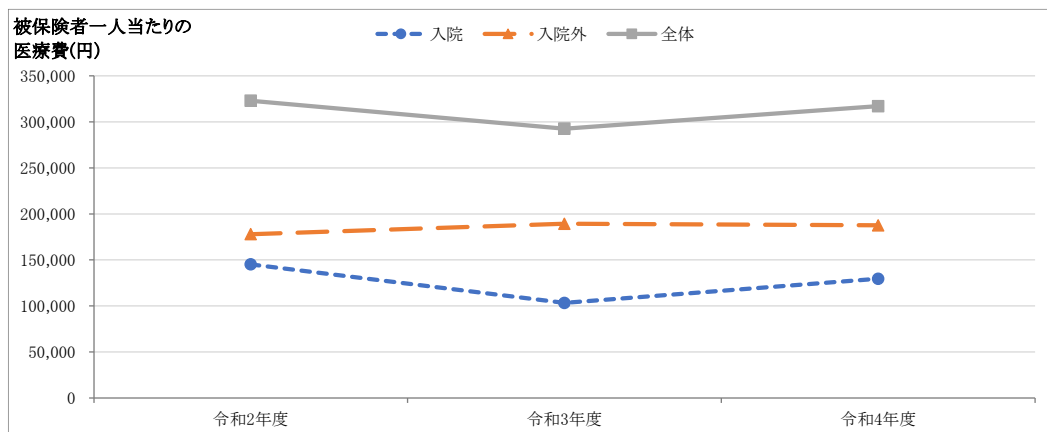
本分析における被保険者一人当たりの医療費は、各年度内の被保険者数を用いて算出している。年度別基礎統計の被保険者一人当たりの医療費は、各年度の一カ月平均の被保険者数を用いて算出しているため、本分析とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 被保険者一人当たりの医療費

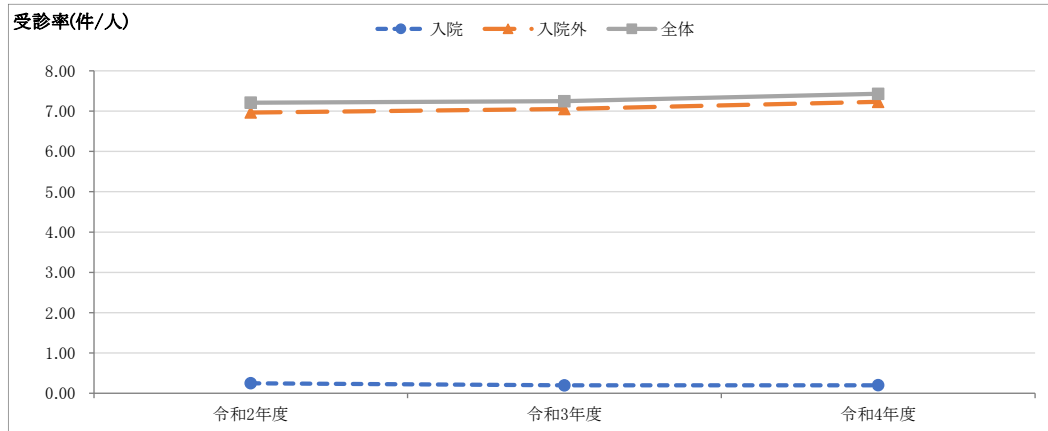


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年度別 受診率



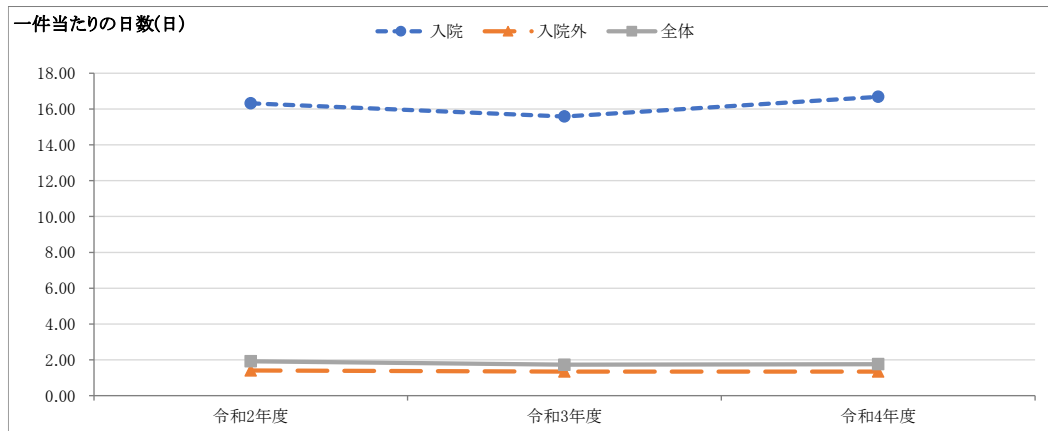
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一件当たりの日数



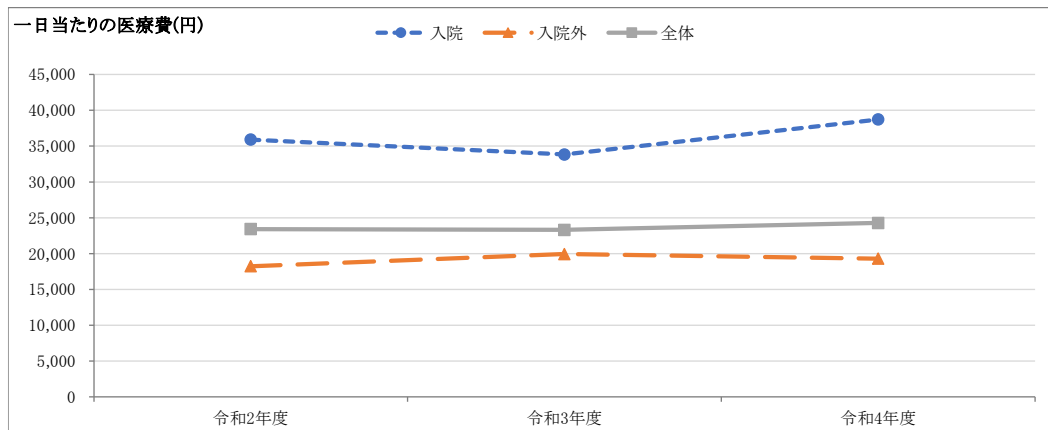
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

2. 高額レセプトに係る分析

(1) 高額レセプトの件数及び割合

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計しました。高額レセプトは175件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占めています。高額レセプトの医療費は1億8,865万円となり、医療費全体の39.0%を占めています。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

| | | 令和4年4月 | 令和4年5月 | 令和4年6月 | 令和4年7月 | 令和4年8月 | 令和4年9月 | 令和4年10月 |
|-----|-------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| A | レセプト件数(件) | 1,687 | 1,659 | 1,730 | 1,731 | 1,660 | 1,674 | 1,672 |
| B | 高額レセプト件数(件) | 10 | 12 | 17 | 16 | 14 | 15 | 18 |
| B/A | 総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%) | 0.6% | 0.7% | 1.0% | 0.9% | 0.8% | 0.9% | 1.1% |
| C | 医療費全体(円) ※ | 36,052,440 | 41,156,850 | 42,480,050 | 39,415,090 | 40,178,430 | 38,783,510 | 44,157,040 |
| D | 高額レセプトの医療費(円) ※ | 11,559,670 | 15,928,520 | 17,704,900 | 16,891,780 | 15,800,840 | 13,982,560 | 21,262,530 |
| E | その他レセプトの医療費(円) ※ | 24,492,770 | 25,228,330 | 24,775,150 | 22,523,310 | 24,377,590 | 24,800,950 | 22,894,510 |
| D/C | 総医療費に占める高額レセプトの割合(%) | 32.1% | 38.7% | 41.7% | 42.9% | 39.3% | 36.1% | 48.2% |

| | | 令和4年11月 | 令和4年12月 | 令和5年1月 | 令和5年2月 | 令和5年3月 | 12カ月平均 | 12カ月合計 |
|-----|-------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| A | レセプト件数(件) | 1,773 | 1,765 | 1,639 | 1,632 | 1,844 | 1,706 | 20,466 |
| B | 高額レセプト件数(件) | 19 | 11 | 15 | 15 | 13 | 15 | 175 |
| B/A | 総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%) | 1.1% | 0.6% | 0.9% | 0.9% | 0.7% | 0.9% | |
| C | 医療費全体(円) ※ | 43,309,630 | 37,595,040 | 41,620,150 | 39,643,100 | 39,775,810 | 40,347,262 | 484,167,140 |
| D | 高額レセプトの医療費(円) ※ | 17,130,880 | 12,362,260 | 19,008,090 | 15,041,170 | 11,978,690 | 15,720,991 | 188,651,890 |
| E | その他レセプトの医療費(円) ※ | 26,178,750 | 25,232,780 | 22,612,060 | 24,601,930 | 27,797,120 | 24,626,271 | 295,515,250 |
| D/C | 総医療費に占める高額レセプトの割合(%) | 39.6% | 32.9% | 45.7% | 37.9% | 30.1% | 39.0% | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

令和2年度から令和4年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示したものです。令和4年度高額レセプト件数175件は令和2年度179件より4件減少しており、令和4年度高額レセプトの医療費1億8,865万円は令和2年度1億8,960万円より95万円減少しています。

年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----|-------------------------|-------------|-------------|-------------|
| A | レセプト件数(件) | 21,286 | 20,827 | 20,466 |
| B | 高額レセプト件数(件) | 179 | 150 | 175 |
| B/A | 総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%) | 0.8% | 0.7% | 0.9% |
| C | 医療費全体(円) ※ | 530,854,450 | 467,243,320 | 484,167,140 |
| D | 高額レセプトの医療費(円) ※ | 189,596,140 | 155,591,260 | 188,651,890 |
| E | その他レセプトの医療費(円) ※ | 341,258,310 | 311,652,060 | 295,515,250 |
| D/C | 総医療費に占める高額レセプトの割合(%) | 35.7% | 33.3% | 39.0% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

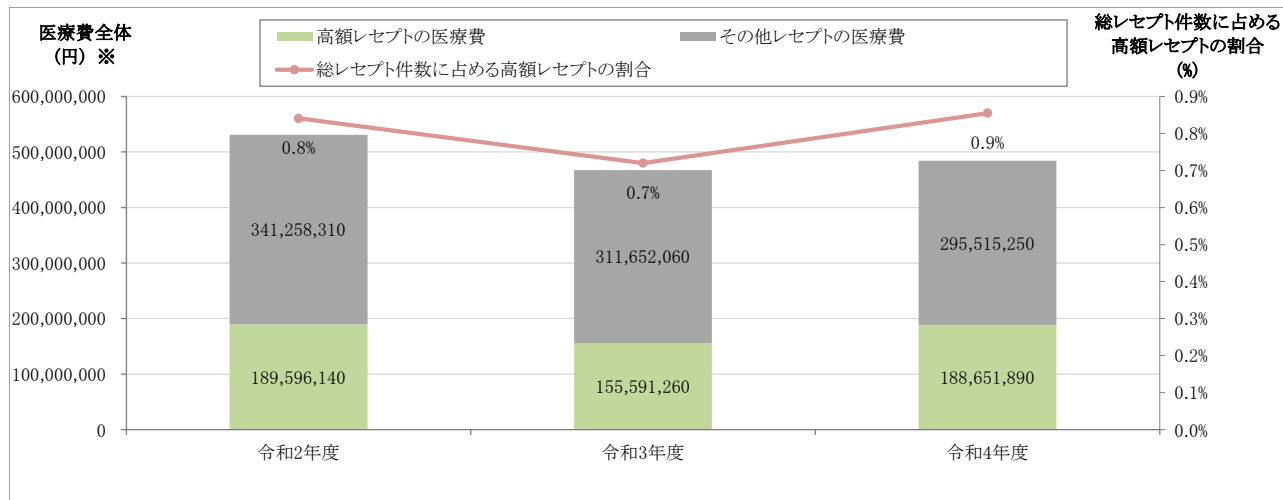
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

(2) 高額レセプト発生患者の疾病傾向

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものです。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計しました。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」「血管性及び詳細不明の認知症」「その他の神経系の疾患」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

| 順位 | 疾病分類(中分類) | 主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載) | 患者数 (人) ※ | 医療費(円) ※ | | | 患者一人当たりの 医療費(円) ※ |
|----|--------------------------|---------------------------------|--------------|------------|------------|------------|----------------------|
| | | | | 入院 | 入院外 | 合計 | |
| 1 | 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 下葉肺腺癌 | 1 | 4,169,450 | 11,942,300 | 16,111,750 | 16,111,750 |
| 2 | 0501 血管性及び詳細不明の認知症 | 認知症 | 1 | 11,130,860 | 62,990 | 11,193,850 | 11,193,850 |
| 3 | 0606 その他の神経系の疾患 | 筋強直性ジストロフィー、進行性筋ジストロフィー、神経障害性疼痛 | 4 | 24,800,670 | 1,208,760 | 26,009,430 | 6,502,358 |
| 4 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 多発性骨髄腫、前立腺癌、腎癌 | 5 | 4,622,870 | 24,777,880 | 29,400,750 | 5,880,150 |
| 5 | 0906 脳梗塞 | 心原性脳塞栓症、塞栓性脳梗塞、アテローム血栓性脳梗塞 | 3 | 15,405,170 | 242,180 | 15,647,350 | 5,215,783 |
| 6 | 0202 結腸の悪性新生物<腫瘍> | 下行結腸癌 | 1 | 2,235,260 | 2,734,000 | 4,969,260 | 4,969,260 |
| 7 | 0902 虚血性心疾患 | 急性前壁心筋梗塞 | 1 | 3,814,640 | 583,070 | 4,397,710 | 4,397,710 |
| 8 | 0602 アルツハイマー病 | アルツハイマー型認知症 | 2 | 8,686,880 | 107,250 | 8,794,130 | 4,397,065 |
| 9 | 1402 腎不全 | 慢性腎不全、腎性貧血、末期腎不全 | 5 | 9,017,130 | 10,979,060 | 19,996,190 | 3,999,238 |
| 10 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 潰瘍性大腸炎・全大腸炎型、急性汎発性腹膜炎、急性虫垂炎 | 3 | 9,948,540 | 809,550 | 10,758,090 | 3,586,030 |
| 11 | 0908 その他の脳血管疾患 | 前交通動脈瘤 | 1 | 2,971,910 | 515,700 | 3,487,610 | 3,487,610 |
| 12 | 0903 その他の心疾患 | 持続性心房細動、僧帽弁閉鎖不全症、非弁膜症性発作性心房細動 | 6 | 14,839,280 | 2,838,250 | 17,677,530 | 2,946,255 |
| 13 | 0208 悪性リンパ腫 | びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 | 1 | 2,403,670 | 427,180 | 2,830,850 | 2,830,850 |
| 14 | 1302 関節症 | 変形性膝関節症、原発性変形性股関節症、変形性股関節症 | 7 | 15,630,720 | 3,469,370 | 19,100,090 | 2,728,584 |
| 15 | 0201 胃の悪性新生物<腫瘍> | 胃進行癌、胃前庭部癌 | 2 | 3,485,810 | 1,643,660 | 5,129,470 | 2,564,735 |
| 16 | 1011 その他の呼吸器系の疾患 | 急性呼吸不全、夏型過敏性肺炎 | 2 | 4,328,270 | 741,250 | 5,069,520 | 2,534,760 |
| 17 | 1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 廃用症候群、全身性エリテマトーデス、外反母趾 | 3 | 5,857,980 | 1,609,700 | 7,467,680 | 2,489,227 |
| 18 | 1112 脾疾患 | アルコール性急性脾炎 | 1 | 2,361,500 | 112,260 | 2,473,760 | 2,473,760 |
| 19 | 0605 自律神経系の障害 | 多系統萎縮症 | 1 | 2,223,300 | 13,850 | 2,237,150 | 2,237,150 |
| 20 | 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 | 肩腱板断裂 | 1 | 1,793,420 | 353,750 | 2,147,170 | 2,147,170 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

令和2年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者一人当たりの医療費順に年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

| 年度 | 順位 | 疾病分類(中分類) | 主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載) | 患者数(人) ※ | 患者一人当たりの 医療費(円) ※ |
|-------|----|---------------------------|--------------------------------------|----------|----------------------|
| 令和2年度 | 1 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) | 腰部脊柱管狭窄症 | 1 | 9,392,890 |
| | 2 | 0208 悪性リンパ腫 | びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 | 1 | 8,294,390 |
| | 3 | 0109 その他の感染症及び寄生虫症 | 敗血症性ショック | 1 | 8,103,040 |
| | 4 | 1202 皮膚炎及び湿疹 | 湿疹 | 1 | 7,695,900 |
| | 5 | 1402 腎不全 | 慢性腎不全, 腎性貧血 | 3 | 5,836,760 |
| 令和3年度 | 1 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 非小細胞肺癌, 上葉肺癌, 肺癌 | 3 | 8,824,787 |
| | 2 | 1402 腎不全 | 末期腎不全, 腎性貧血, 慢性腎不全 | 3 | 7,668,300 |
| | 3 | 0606 その他の神経系の疾患 | 進行性筋ジストロフィー, 筋強直性ジストロフィー, ギラン・バレー症候群 | 3 | 7,538,260 |
| | 4 | 1202 皮膚炎及び湿疹 | 湿疹 | 1 | 7,085,550 |
| | 5 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 多発性骨髄腫, 前立腺癌, 転移性肺腫瘍 | 4 | 7,070,428 |
| 令和4年度 | 1 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 下葉肺癌 | 1 | 16,111,750 |
| | 2 | 0501 血管性及び詳細不明の認知症 | 認知症 | 1 | 11,193,850 |
| | 3 | 0606 その他の神経系の疾患 | 筋強直性ジストロフィー, 進行性筋ジストロフィー, 神経障害性疼痛 | 4 | 6,502,358 |
| | 4 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 多発性骨髄腫, 前立腺癌, 腎癌 | 5 | 5,880,150 |
| | 5 | 0906 脳梗塞 | 心原性脳塞栓症, 塞栓性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞 | 3 | 5,215,783 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示したものです。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「関節症」「その他の心疾患」「その他の悪性新生物<腫瘍>」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

| 順位 | 疾病分類(中分類) | | 主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載) | 患者数 (人) ※ | 医療費(円) ※ | | | 患者一人当たりの 医療費(円) ※ |
|----|-----------|----------------------|--------------------------------------|--------------|------------|------------|------------|----------------------|
| | | | | | 入院 | 入院外 | 合計 | |
| 1 | 1302 | 関節症 | 変形性膝関節症, 原発性変形性股関節症, 変形性股関節症 | 7 | 15,630,720 | 3,469,370 | 19,100,090 | 2,728,584 |
| 2 | 0903 | その他の心疾患 | 持続性心房細動, 僧帽弁閉鎖不全症, 非弁膜症性発作性心房細動 | 6 | 14,839,280 | 2,838,250 | 17,677,530 | 2,946,255 |
| 3 | 0210 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 多発性骨髄腫, 前立腺癌, 腎癌 | 5 | 4,622,870 | 24,777,880 | 29,400,750 | 5,880,150 |
| 3 | 1402 | 腎不全 | 慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全 | 5 | 9,017,130 | 10,979,060 | 19,996,190 | 3,999,238 |
| 3 | 1901 | 骨折 | 踵骨骨折, 中足骨骨折, 胸椎圧迫骨折 | 5 | 4,985,630 | 1,270,650 | 6,256,280 | 1,251,256 |
| 6 | 0606 | その他の神経系の疾患 | 筋強直性ジストロフィー, 進行性筋ジストロフィー, 神経障害性疼痛 | 4 | 24,800,670 | 1,208,760 | 26,009,430 | 6,502,358 |
| 6 | 1309 | 骨の密度及び構造の障害 | 骨粗鬆症, 骨折の危険性の高い骨粗鬆症 | 4 | 2,663,970 | 1,729,440 | 4,393,410 | 1,098,353 |
| 8 | 0906 | 脳梗塞 | 心原性脳塞栓症, 塞栓性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞 | 3 | 15,405,170 | 242,180 | 15,647,350 | 5,215,783 |
| 8 | 0912 | その他の循環器系の疾患 | 急性大動脈解離DeBakeyII, 下肢急性動脈閉塞症, 外腿骨動脈狭窄 | 3 | 3,902,590 | 762,690 | 4,665,280 | 1,555,093 |
| 8 | 1113 | その他の消化器系の疾患 | 潰瘍性大腸炎・全大腸炎型, 急性汎発性腹膜炎, 急性虫垂炎 | 3 | 9,948,540 | 809,550 | 10,758,090 | 3,586,030 |
| 8 | 1310 | その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 廃用症候群, 全身性エリテマトーデス, 外反母趾 | 3 | 5,857,980 | 1,609,700 | 7,467,680 | 2,489,227 |
| 12 | 0201 | 胃の悪性新生物<腫瘍> | 胃進行癌, 胃前庭部癌 | 2 | 3,485,810 | 1,643,660 | 5,129,470 | 2,564,735 |
| 12 | 0402 | 糖尿病 | 2型糖尿病性腎症第2期, 糖尿病 | 2 | 1,228,120 | 1,258,220 | 2,486,340 | 1,243,170 |
| 12 | 0602 | アルツハイマー病 | アルツハイマー型認知症 | 2 | 8,686,880 | 107,250 | 8,794,130 | 4,397,065 |
| 12 | 1004 | 肺炎 | 急性肺炎, 肺炎 | 2 | 1,458,570 | 214,890 | 1,673,460 | 836,730 |
| 12 | 1011 | その他の呼吸器系の疾患 | 急性呼吸不全, 夏型過敏性肺炎 | 2 | 4,328,270 | 741,250 | 5,069,520 | 2,534,760 |
| 12 | 1303 | 脊椎障害(脊椎症を含む) | 頸椎症性脊髄症, 腰部脊柱管狭窄症 | 2 | 2,843,350 | 565,900 | 3,409,250 | 1,704,625 |
| 18 | 0202 | 結腸の悪性新生物<腫瘍> | 下行結腸癌 | 1 | 2,235,260 | 2,734,000 | 4,969,260 | 4,969,260 |
| 18 | 0205 | 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 下葉肺腺癌 | 1 | 4,169,450 | 11,942,300 | 16,111,750 | 16,111,750 |
| 18 | 0208 | 悪性リンパ腫 | びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 | 1 | 2,403,670 | 427,180 | 2,830,850 | 2,830,850 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

令和2年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

| 年度 | 順位 | 疾病分類(中分類) | 主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載) | 患者数(人) ※ | 患者一人当たりの 医療費(円) ※ |
|-------|----|------------------------------|--------------------------------------|----------|----------------------|
| 令和2年度 | 1 | 1901 骨折 | 大腿骨頸部骨折, 機骨尺骨遠位端骨折, 脛骨高原骨折 | 9 | 2,142,177 |
| | 2 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 膵頭部癌, 前立腺癌, 多発性骨髄腫 | 8 | 4,349,764 |
| | 3 | 0606 その他の神経系の疾患 | 進行性筋ジストロフィー, ギラン・バレー症候群, 非交通性水頭症 | 6 | 4,793,857 |
| | 3 | 1302 関節症 | 変形性膝関節症, 変形性股関節症 | 6 | 2,613,867 |
| | 5 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 癒着性イレウス, 食道裂孔ヘルニア, 虫垂炎性腹膜炎 | 4 | 2,223,695 |
| | 5 | 1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 廃用症候群 | 4 | 1,726,878 |
| 令和3年度 | 1 | 1901 骨折 | 橈骨遠位端骨折, 踵骨骨折, 足関節脱臼骨折 | 7 | 1,676,654 |
| | 2 | 1302 関節症 | 変形性膝関節症, 変形性股関節症 | 5 | 2,828,834 |
| | 3 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 多発性骨髄腫, 前立腺癌, 転移性肺腫瘍 | 4 | 7,070,428 |
| | 3 | 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) | 腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 強直性脊椎炎 | 4 | 1,618,155 |
| | 5 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 直腸癌 | 3 | 2,349,467 |
| | 5 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 非小細胞肺癌, 上葉肺癌, 肺癌 | 3 | 8,824,787 |
| | 5 | 0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 統合失調症 | 3 | 2,221,957 |
| | 5 | 0606 その他の神経系の疾患 | 進行性筋ジストロフィー, 筋強直性ジストロフィー, ギラン・バレー症候群 | 3 | 7,538,260 |
| | 5 | 0906 脳梗塞 | 心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞, 脳梗塞 | 3 | 1,479,400 |
| | 5 | 1402 腎不全 | 末期腎不全, 腎性貧血, 慢性腎不全 | 3 | 7,668,300 |
| 令和4年度 | 1 | 1302 関節症 | 変形性膝関節症, 原発性変形性股関節症, 変形性股関節症 | 7 | 2,728,584 |
| | 2 | 0903 その他の心疾患 | 持続性心房細動, 僧帽弁閉鎖不全症, 非弁膜症性発作性心房細動 | 6 | 2,946,255 |
| | 3 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 多発性骨髄腫, 前立腺癌, 腎癌 | 5 | 5,880,150 |
| | 3 | 1402 腎不全 | 慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全 | 5 | 3,999,238 |
| | 3 | 1901 骨折 | 踵骨骨折, 中足骨骨折, 胸椎圧迫骨折 | 5 | 1,251,256 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

3. 疾病別医療費

(1) 大分類による疾病別医療費統計

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「循環器系の疾患」が医療費合計の15.9%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の13.2%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

| 疾病分類(大分類) | A | | | B | | C | | A/C | |
|---|-------------|---------|----|----------|----|----------|----|----------------|----|
| | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | レセプト件数 ※ | 順位 | 患者数(人) ※ | 順位 | 患者一人当たりの医療費(円) | 順位 |
| I. 感染症及び寄生虫症 | 7,216,865 | 1.5% | 12 | 1,572 | 12 | 374 | 7 | 19,296 | 17 |
| II. 新生物<腫瘍> | 63,692,088 | 13.2% | 2 | 1,077 | 14 | 307 | 12 | 207,466 | 1 |
| III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 4,472,688 | 0.9% | 17 | 987 | 15 | 290 | 13 | 15,423 | 20 |
| IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 46,946,580 | 9.7% | 5 | 7,367 | 2 | 683 | 3 | 68,736 | 7 |
| V. 精神及び行動の障害 | 30,568,799 | 6.3% | 8 | 2,045 | 8 | 166 | 16 | 184,149 | 2 |
| VI. 神経系の疾患 | 52,061,035 | 10.8% | 3 | 3,850 | 5 | 338 | 11 | 154,027 | 3 |
| VII. 眼及び付属器の疾患 | 16,762,771 | 3.5% | 10 | 2,597 | 7 | 449 | 6 | 37,334 | 13 |
| VIII. 耳及び乳様突起の疾患 | 2,082,005 | 0.4% | 18 | 314 | 18 | 57 | 18 | 36,526 | 14 |
| IX. 循環器系の疾患 | 76,984,055 | 15.9% | 1 | 8,447 | 1 | 710 | 1 | 108,428 | 4 |
| X. 呼吸器系の疾患 | 26,205,817 | 5.4% | 9 | 2,719 | 6 | 501 | 5 | 52,307 | 10 |
| X I. 消化器系の疾患 ※ | 35,118,860 | 7.3% | 6 | 6,289 | 3 | 689 | 2 | 50,971 | 11 |
| X II. 皮膚及び皮下組織の疾患 | 5,850,849 | 1.2% | 15 | 1,793 | 11 | 342 | 10 | 17,108 | 19 |
| X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 51,824,587 | 10.7% | 4 | 6,116 | 4 | 610 | 4 | 84,958 | 6 |
| X IV. 腎尿路生殖器系の疾患 | 30,978,661 | 6.4% | 7 | 1,876 | 10 | 348 | 9 | 89,019 | 5 |
| X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※ | 330,516 | 0.1% | 19 | 19 | 20 | 6 | 20 | 55,086 | 8 |
| X VI. 周産期に発生した病態 ※ | 18,521 | 0.0% | 22 | 3 | 22 | 2 | 21 | 9,261 | 21 |
| X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常 | 83,094 | 0.0% | 20 | 41 | 19 | 12 | 19 | 6,925 | 22 |
| X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 7,084,722 | 1.5% | 13 | 2,027 | 9 | 369 | 8 | 19,200 | 18 |
| X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 13,897,865 | 2.9% | 11 | 1,215 | 13 | 288 | 14 | 48,256 | 12 |
| X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 4,773,694 | 1.0% | 16 | 609 | 17 | 89 | 17 | 53,637 | 9 |
| X X II. 特殊目的用コード | 6,153,601 | 1.3% | 14 | 679 | 16 | 271 | 15 | 22,707 | 15 |
| 分類外 | 40,607 | 0.0% | 21 | 5 | 21 | 2 | 21 | 20,304 | 16 |
| 合計 | 483,148,280 | | | 20,344 | | 1,249 | | 386,828 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

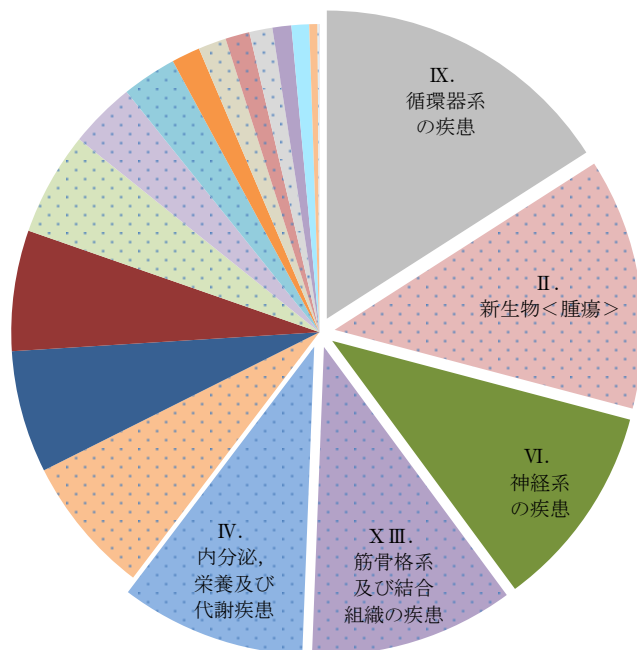
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「神経系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」の医療費で高い割合を占めています。

疾病項目別医療費割合



- IX. 循環器系の疾患
- II. 新生物<腫瘍>
- VI. 神経系の疾患
- X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- X I. 消化器系の疾患
- X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- X. 呼吸器系の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- I. 感染症及び寄生虫症
- X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- X X II. 特殊目的用コード
- X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
- X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- X V. 妊娠、分娩及び産じょく
- X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VI. 周産期に発生した病態
- 分類外

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

令和2年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものです。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各年度毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

| 疾病分類(大分類) | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | |
|---|-------------|---------|----|-------------|---------|----|-------------|---------|----|
| | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 |
| I. 感染症及び寄生虫症 | 12,891,374 | 2.4% | 13 | 7,317,766 | 1.6% | 13 | 7,216,865 | 1.5% | 12 |
| II. 新生物<腫瘍> | 70,941,964 | 13.4% | 1 | 81,478,326 | 17.5% | 1 | 63,692,088 | 13.2% | 2 |
| III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 8,599,243 | 1.6% | 14 | 4,919,588 | 1.1% | 16 | 4,472,688 | 0.9% | 17 |
| IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 50,125,860 | 9.5% | 5 | 50,649,374 | 10.9% | 3 | 46,946,580 | 9.7% | 5 |
| V. 精神及び行動の障害 | 33,200,933 | 6.3% | 8 | 31,582,876 | 6.8% | 8 | 30,568,799 | 6.3% | 8 |
| VI. 神経系の疾患 | 52,652,832 | 9.9% | 4 | 43,316,473 | 9.3% | 5 | 52,061,035 | 10.8% | 3 |
| VII. 眼及び付属器の疾患 | 17,295,124 | 3.3% | 11 | 18,589,988 | 4.0% | 9 | 16,762,771 | 3.5% | 10 |
| VIII. 耳及び乳様突起の疾患 | 1,676,344 | 0.3% | 17 | 1,374,627 | 0.3% | 18 | 2,082,005 | 0.4% | 18 |
| IX. 循環器系の疾患 | 59,213,235 | 11.2% | 3 | 53,832,039 | 11.5% | 2 | 76,984,055 | 15.9% | 1 |
| X. 呼吸器系の疾患 | 19,799,200 | 3.7% | 10 | 15,944,147 | 3.4% | 11 | 26,205,817 | 5.4% | 9 |
| X I. 消化器系の疾患 ※ | 44,623,285 | 8.4% | 7 | 34,921,693 | 7.5% | 7 | 35,118,860 | 7.3% | 6 |
| X II. 皮膚及び皮下組織の疾患 | 13,391,214 | 2.5% | 12 | 10,556,044 | 2.3% | 12 | 5,850,849 | 1.2% | 15 |
| X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 61,103,133 | 11.5% | 2 | 46,446,613 | 10.0% | 4 | 51,824,587 | 10.7% | 4 |
| X IV. 泌尿路生殖器系の疾患 | 48,210,340 | 9.1% | 6 | 34,947,430 | 7.5% | 6 | 30,978,661 | 6.4% | 7 |
| X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※ | 321,278 | 0.1% | 19 | 94,107 | 0.0% | 20 | 330,516 | 0.1% | 19 |
| X VI. 周産期に発生した病態 ※ | 416,361 | 0.1% | 18 | 7,028 | 0.0% | 21 | 18,521 | 0.0% | 22 |
| X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常 | 304,621 | 0.1% | 20 | 169,269 | 0.0% | 19 | 83,094 | 0.0% | 20 |
| X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 7,422,484 | 1.4% | 15 | 6,640,562 | 1.4% | 14 | 7,084,722 | 1.5% | 13 |
| X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 24,738,563 | 4.7% | 9 | 16,688,886 | 3.6% | 10 | 13,897,865 | 2.9% | 11 |
| X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 2,541,787 | 0.5% | 16 | 5,121,403 | 1.1% | 15 | 4,773,694 | 1.0% | 16 |
| X X II. 特殊目的用コード | 110,537 | 0.0% | 21 | 1,510,633 | 0.3% | 17 | 6,153,601 | 1.3% | 14 |
| 分類外 | 4,988 | 0.0% | 22 | 4,928 | 0.0% | 22 | 40,607 | 0.0% | 21 |
| 合計 | 529,584,700 | | | 466,113,800 | | | 483,148,280 | | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

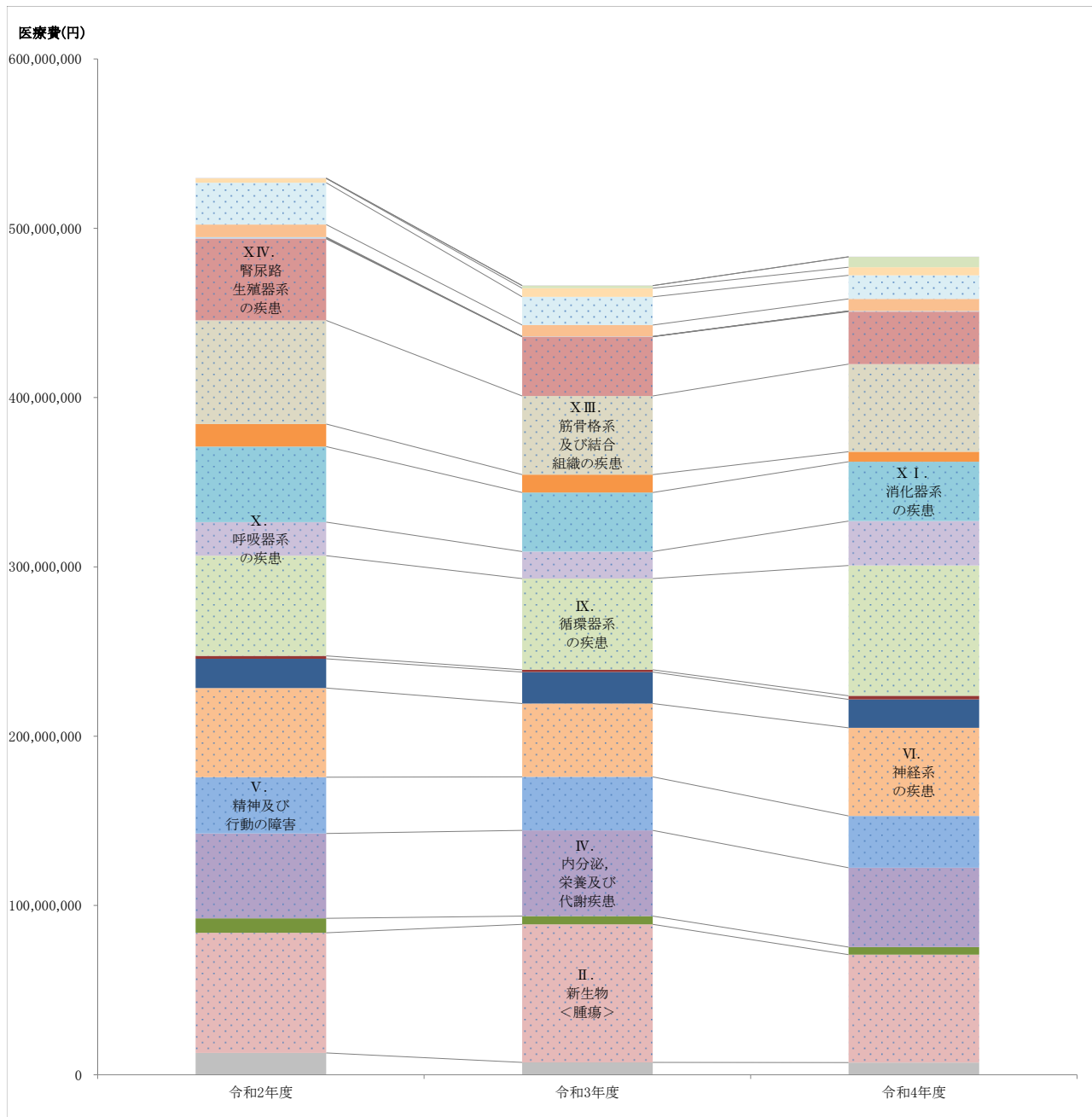
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 中分類による疾病別医療費統計

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものです。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

| 順位 | 疾病分類(中分類) | | 医療費(円) ※ | 構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合) | 患者数(人) |
|----|-----------|------------------------|------------|----------------------------------|--------|
| 1 | 0210 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,628,188 | 6.8% | 153 |
| 2 | 0606 | その他の神経系の疾患 | 31,909,432 | 6.6% | 306 |
| 3 | 0402 | 糖尿病 | 30,531,458 | 6.3% | 424 |
| 4 | 0903 | その他の心疾患 | 27,248,537 | 5.6% | 269 |
| 5 | 1402 | 腎不全 | 24,426,849 | 5.1% | 44 |
| 6 | 1113 | その他の消化器系の疾患 | 23,578,255 | 4.9% | 449 |
| 7 | 0901 | 高血圧性疾患 | 23,352,249 | 4.8% | 590 |
| 8 | 1302 | 関節症 | 17,602,501 | 3.6% | 217 |
| 9 | 0205 | 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 15,026,224 | 3.1% | 30 |
| 10 | 0503 | 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 12,863,893 | 2.7% | 70 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

| 順位 | 疾病分類(中分類) | | 医療費(円) | 患者数(人) ※ | 構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合) |
|----|-----------|----------------------------------|------------|----------|--------------------------------|
| 1 | 0901 | 高血圧性疾患 | 23,352,249 | 590 | 47.2% |
| 2 | 1113 | その他の消化器系の疾患 | 23,578,255 | 449 | 35.9% |
| 3 | 0402 | 糖尿病 | 30,531,458 | 424 | 33.9% |
| 4 | 0403 | 脂質異常症 | 12,456,695 | 420 | 33.6% |
| 5 | 0703 | 屈折及び調節の障害 | 1,504,215 | 373 | 29.9% |
| 6 | 1800 | 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 7,084,722 | 369 | 29.5% |
| 7 | 0704 | その他の眼及び付属器の疾患 | 9,211,884 | 319 | 25.5% |
| 8 | 0606 | その他の神経系の疾患 | 31,909,432 | 306 | 24.5% |
| 9 | 1105 | 胃炎及び十二指腸炎 | 3,147,192 | 300 | 24.0% |
| 10 | 2220 | その他の特殊目的用コード | 6,153,601 | 271 | 21.7% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

| 順位 | 疾病分類(中分類) | | 医療費(円) ※ | 患者数(人) | 患者一人当たりの医療費(円) |
|----|-----------|-------------------------|------------|--------|----------------|
| 1 | 0108 | 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 941,265 | 1 | 941,265 |
| 2 | 0501 | 血管性及び詳細不明の認知症 | 8,233,258 | 10 | 823,326 |
| 3 | 1402 | 腎不全 | 24,426,849 | 44 | 555,156 |
| 4 | 0205 | 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 15,026,224 | 30 | 500,874 |
| 5 | 0602 | アルツハイマー病 | 8,762,966 | 18 | 486,831 |
| 6 | 0209 | 白血病 | 447,482 | 1 | 447,482 |
| 7 | 0601 | パーキンソン病 | 4,395,312 | 15 | 293,021 |
| 8 | 0604 | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 1,118,435 | 4 | 279,609 |
| 9 | 0208 | 悪性リンパ腫 | 2,474,522 | 9 | 274,947 |
| 10 | 0203 | 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 1,843,482 | 7 | 263,355 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

令和2年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

| 年度 | 順位 | 疾病分類(中分類) | 医療費(円) ※ | 構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合) | 患者数(人) ※ |
|-------|----|-----------------------------|------------|----------------------------------|----------|
| 令和2年度 | 1 | 0606 その他の神経系の疾患 | 38,791,412 | 7.3% | 311 |
| | 2 | 1402 腎不全 | 35,222,836 | 6.7% | 39 |
| | 3 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 35,055,712 | 6.6% | 174 |
| | 4 | 0402 糖尿病 | 31,466,636 | 5.9% | 432 |
| | 5 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 28,239,409 | 5.3% | 433 |
| | 6 | 0901 高血圧性疾患 | 27,685,296 | 5.2% | 605 |
| | 7 | 0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 21,509,523 | 4.1% | 67 |
| | 8 | 0903 その他の心疾患 | 17,557,978 | 3.3% | 214 |
| | 9 | 1901 骨折 | 16,780,403 | 3.2% | 143 |
| | 10 | 1302 関節症 | 15,065,121 | 2.8% | 216 |
| 令和3年度 | 1 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,899,761 | 7.1% | 157 |
| | 2 | 0402 糖尿病 | 32,035,805 | 6.9% | 443 |
| | 3 | 0606 その他の神経系の疾患 | 31,287,828 | 6.7% | 288 |
| | 4 | 1402 腎不全 | 27,934,735 | 6.0% | 35 |
| | 5 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 26,866,034 | 5.8% | 43 |
| | 6 | 0901 高血圧性疾患 | 26,524,099 | 5.7% | 607 |
| | 7 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 21,271,210 | 4.6% | 430 |
| | 8 | 0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 18,474,651 | 4.0% | 70 |
| | 9 | 1302 関節症 | 15,166,410 | 3.3% | 216 |
| | 10 | 0403 脂質異常症 | 13,161,252 | 2.8% | 428 |
| 令和4年度 | 1 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,628,188 | 6.8% | 153 |
| | 2 | 0606 その他の神経系の疾患 | 31,909,432 | 6.6% | 306 |
| | 3 | 0402 糖尿病 | 30,531,458 | 6.3% | 424 |
| | 4 | 0903 その他の心疾患 | 27,248,537 | 5.6% | 269 |
| | 5 | 1402 腎不全 | 24,426,849 | 5.1% | 44 |
| | 6 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 23,578,255 | 4.9% | 449 |
| | 7 | 0901 高血圧性疾患 | 23,352,249 | 4.8% | 590 |
| | 8 | 1302 関節症 | 17,602,501 | 3.6% | 217 |
| | 9 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 15,026,224 | 3.1% | 30 |
| | 10 | 0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 12,863,893 | 2.7% | 70 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

| 年度 | 順位 | 疾病分類(中分類) | 医療費(円) ※ | 患者数(人) ※ | 構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合) |
|-------|----|--------------------------------------|------------|----------|--------------------------------|
| 令和2年度 | 1 | 0901 高血圧性疾患 | 27,685,296 | 605 | 47.0% |
| | 2 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 28,239,409 | 433 | 33.6% |
| | 3 | 0402 糖尿病 | 31,466,636 | 432 | 33.5% |
| | 4 | 0403 脂質異常症 | 12,602,373 | 395 | 30.7% |
| | 5 | 0703 屈折及び調節の障害 | 1,526,099 | 386 | 30.0% |
| | 6 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 7,422,484 | 383 | 29.7% |
| | 7 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 | 10,048,440 | 338 | 26.2% |
| | 8 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 | 3,704,429 | 330 | 25.6% |
| | 9 | 0606 その他の神経系の疾患 | 38,791,412 | 311 | 24.1% |
| | 10 | 1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 5,603,679 | 274 | 21.3% |
| 令和3年度 | 1 | 0901 高血圧性疾患 | 26,524,099 | 607 | 48.5% |
| | 2 | 0402 糖尿病 | 32,035,805 | 443 | 35.4% |
| | 3 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 21,271,210 | 430 | 34.3% |
| | 4 | 0403 脂質異常症 | 13,161,252 | 428 | 34.2% |
| | 5 | 0703 屈折及び調節の障害 | 1,549,110 | 374 | 29.9% |
| | 6 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 6,640,562 | 360 | 28.8% |
| | 7 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 | 9,754,007 | 333 | 26.6% |
| | 8 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 | 3,386,837 | 316 | 25.2% |
| | 9 | 0606 その他の神経系の疾患 | 31,287,828 | 288 | 23.0% |
| | 10 | 1202 皮膚炎及び湿疹 | 8,124,075 | 265 | 21.2% |
| 令和4年度 | 1 | 0901 高血圧性疾患 | 23,352,249 | 590 | 47.2% |
| | 2 | 1113 その他の消化器系の疾患 | 23,578,255 | 449 | 35.9% |
| | 3 | 0402 糖尿病 | 30,531,458 | 424 | 33.9% |
| | 4 | 0403 脂質異常症 | 12,456,695 | 420 | 33.6% |
| | 5 | 0703 屈折及び調節の障害 | 1,504,215 | 373 | 29.9% |
| | 6 | 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 7,084,722 | 369 | 29.5% |
| | 7 | 0704 その他の眼及び付属器の疾患 | 9,211,884 | 319 | 25.5% |
| | 8 | 0606 その他の神経系の疾患 | 31,909,432 | 306 | 24.5% |
| | 9 | 1105 胃炎及び十二指腸炎 | 3,147,192 | 300 | 24.0% |
| | 10 | 2220 その他の特殊目的用コード | 6,153,601 | 271 | 21.7% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

| 年度 | 順位 | 疾病分類(中分類) | 医療費(円) ※ | 患者数(人) ※ | 患者一人当たりの医療費(円) |
|-------|----|------------------------------|------------|----------|----------------|
| 令和2年度 | 1 | 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 1,192,850 | 1 | 1,192,850 |
| | 2 | 0208 悪性リンパ腫 | 7,244,646 | 8 | 905,581 |
| | 3 | 1402 腎不全 | 35,222,836 | 39 | 903,150 |
| | 4 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 6,430,588 | 11 | 584,599 |
| | 5 | 0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 21,509,523 | 67 | 321,038 |
| | 6 | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 3,052,964 | 12 | 254,414 |
| | 7 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 35,055,712 | 174 | 201,470 |
| | 8 | 0601 パーキンソン病 | 3,105,520 | 17 | 182,678 |
| | 9 | 1602 その他の周産期に発生した病態 | 151,680 | 1 | 151,680 |
| | 10 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 6,944,264 | 47 | 147,750 |
| 令和3年度 | 1 | 1402 腎不全 | 27,934,735 | 35 | 798,135 |
| | 2 | 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 780,268 | 1 | 780,268 |
| | 3 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 6,252,705 | 10 | 625,271 |
| | 4 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 26,866,034 | 43 | 624,791 |
| | 5 | 0208 悪性リンパ腫 | 5,091,004 | 10 | 509,100 |
| | 6 | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 1,916,463 | 7 | 273,780 |
| | 7 | 0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 18,474,651 | 70 | 263,924 |
| | 8 | 0602 アルツハイマー病 | 3,755,846 | 15 | 250,390 |
| | 9 | 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,899,761 | 157 | 209,553 |
| | 10 | 0601 パーキンソン病 | 2,853,490 | 17 | 167,852 |
| 令和4年度 | 1 | 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 941,265 | 1 | 941,265 |
| | 2 | 0501 血管性及び詳細不明の認知症 | 8,233,258 | 10 | 823,326 |
| | 3 | 1402 腎不全 | 24,426,849 | 44 | 555,156 |
| | 4 | 0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 15,026,224 | 30 | 500,874 |
| | 5 | 0602 アルツハイマー病 | 8,762,966 | 18 | 486,831 |
| | 6 | 0209 白血病 | 447,482 | 1 | 447,482 |
| | 7 | 0601 パーキンソン病 | 4,395,312 | 15 | 293,021 |
| | 8 | 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 1,118,435 | 4 | 279,609 |
| | 9 | 0208 悪性リンパ腫 | 2,474,522 | 9 | 274,947 |
| | 10 | 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 1,843,482 | 7 | 263,355 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

| | | | |
|-----|-------------|----------|-------|
| 総合計 | 医療費総計(円) | レセプト件数 ※ | 患者数 ※ |
| | 483,148,280 | 20,344 | 1,249 |

| 疾病分類 | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | レセプト件数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者一人当たりの医療費(円) | 順位 |
|----------------------------------|------------|---------|-----|----------|---------|-----|-------|---------|-----|----------------|-----|
| I. 感染症及び寄生虫症 | 7,216,865 | 1.5% | | 1,572 | 7.7% | | 374 | 29.9% | | 19,296 | |
| 0101 腸管感染症 | 270,959 | 0.1% | 89 | 196 | 1.0% | 61 | 72 | 5.8% | 50 | 3,763 | 114 |
| 0102 結核 | 87,867 | 0.0% | 105 | 17 | 0.1% | 105 | 11 | 0.9% | 92 | 7,988 | 99 |
| 0103 主として性的伝播様式をとる感染症 | 93,911 | 0.0% | 104 | 93 | 0.5% | 80 | 52 | 4.2% | 57 | 1,806 | 118 |
| 0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患 | 644,987 | 0.1% | 74 | 197 | 1.0% | 60 | 45 | 3.6% | 62 | 14,333 | 73 |
| 0105 ウイルス性肝炎 | 1,095,757 | 0.2% | 66 | 235 | 1.2% | 57 | 105 | 8.4% | 41 | 10,436 | 90 |
| 0106 その他のウイルス性疾患 | 494,365 | 0.1% | 79 | 89 | 0.4% | 82 | 59 | 4.7% | 54 | 8,379 | 97 |
| 0107 真菌症 | 2,925,491 | 0.6% | 42 | 726 | 3.6% | 30 | 127 | 10.2% | 37 | 23,035 | 50 |
| 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 941,265 | 0.2% | 68 | 10 | 0.0% | 108 | 1 | 0.1% | 113 | 941,265 | 1 |
| 0109 その他の感染症及び寄生虫症 | 662,263 | 0.1% | 73 | 247 | 1.2% | 55 | 79 | 6.3% | 46 | 8,383 | 96 |
| II. 新生物<腫瘍> | 63,692,088 | 13.2% | | 1,077 | 5.3% | | 307 | 24.6% | | 207,466 | |
| 0201 胃の悪性新生物<腫瘍> | 4,665,767 | 1.0% | 29 | 120 | 0.6% | 71 | 41 | 3.3% | 66 | 113,799 | 16 |
| 0202 結腸の悪性新生物<腫瘍> | 4,620,157 | 1.0% | 30 | 154 | 0.8% | 68 | 67 | 5.4% | 53 | 68,958 | 22 |
| 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 1,843,482 | 0.4% | 51 | 41 | 0.2% | 97 | 7 | 0.6% | 102 | 263,355 | 10 |
| 0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> | 183,381 | 0.0% | 97 | 59 | 0.3% | 91 | 23 | 1.8% | 77 | 7,973 | 100 |
| 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 15,026,224 | 3.1% | 9 | 91 | 0.4% | 81 | 30 | 2.4% | 72 | 500,874 | 4 |
| 0206 乳房の悪性新生物<腫瘍> | 343,905 | 0.1% | 86 | 51 | 0.3% | 94 | 18 | 1.4% | 85 | 19,106 | 62 |
| 0207 子宮の悪性新生物<腫瘍> | 133,365 | 0.0% | 101 | 32 | 0.2% | 99 | 21 | 1.7% | 81 | 6,351 | 106 |
| 0208 悪性リンパ腫 | 2,474,522 | 0.5% | 46 | 42 | 0.2% | 95 | 9 | 0.7% | 97 | 274,947 | 9 |
| 0209 白血病 | 447,482 | 0.1% | 81 | 2 | 0.0% | 114 | 1 | 0.1% | 113 | 447,482 | 6 |
| 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,628,188 | 6.8% | 1 | 548 | 2.7% | 40 | 153 | 12.2% | 30 | 213,256 | 11 |
| 0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> | 1,325,615 | 0.3% | 59 | 282 | 1.4% | 53 | 134 | 10.7% | 36 | 9,893 | 91 |
| III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 4,472,688 | 0.9% | | 987 | 4.9% | | 290 | 23.2% | | 15,423 | |
| 0301 貧血 | 1,212,099 | 0.3% | 63 | 664 | 3.3% | 33 | 209 | 16.7% | 22 | 5,800 | 110 |
| 0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 3,260,589 | 0.7% | 39 | 456 | 2.2% | 45 | 174 | 13.9% | 26 | 18,739 | 64 |
| IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 46,946,580 | 9.7% | | 7,367 | 36.2% | | 683 | 54.7% | | 68,736 | |
| 0401 甲状腺障害 | 1,344,428 | 0.3% | 58 | 353 | 1.7% | 49 | 83 | 6.6% | 43 | 16,198 | 70 |
| 0402 糖尿病 | 30,531,458 | 6.3% | 3 | 3,809 | 18.7% | 4 | 424 | 33.9% | 3 | 72,008 | 21 |
| 0403 脂質異常症 | 12,456,695 | 2.6% | 11 | 4,736 | 23.3% | 2 | 420 | 33.6% | 4 | 29,659 | 43 |
| 0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 | 2,613,999 | 0.5% | 44 | 1,285 | 6.3% | 18 | 225 | 18.0% | 17 | 11,618 | 83 |
| V. 精神及び行動の障害 | 30,568,799 | 6.3% | | 2,045 | 10.1% | | 166 | 13.3% | | 184,149 | |
| 0501 血管性及び詳細不明の認知症 | 8,233,258 | 1.7% | 17 | 26 | 0.1% | 101 | 10 | 0.8% | 94 | 823,326 | 2 |
| 0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 | 156,433 | 0.0% | 99 | 61 | 0.3% | 89 | 8 | 0.6% | 101 | 19,554 | 59 |
| 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 12,863,893 | 2.7% | 10 | 912 | 4.5% | 26 | 70 | 5.6% | 51 | 183,770 | 12 |

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

| | | | |
|-----|-------------|----------|-------|
| 総合計 | 医療費総計(円) | レセプト件数 ※ | 患者数 ※ |
| | 483,148,280 | 20,344 | 1,249 |

| 疾病分類 | | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | レセプト件数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者一人当たりの医療費(円) | 順位 |
|------------------|---------------------------|------------|---------|-----|----------|---------|-----|-------|---------|-----|----------------|-----|
| 0504 | 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) | 4,872,354 | 1.0% | 26 | 1,023 | 5.0% | 23 | 73 | 5.8% | 48 | 66,745 | 23 |
| 0505 | 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 2,501,915 | 0.5% | 45 | 1,015 | 5.0% | 24 | 81 | 6.5% | 45 | 30,888 | 42 |
| 0506 | 知的障害<精神遅滞> | 246,899 | 0.1% | 93 | 129 | 0.6% | 70 | 13 | 1.0% | 90 | 18,992 | 63 |
| 0507 | その他の精神及び行動の障害 | 1,694,047 | 0.4% | 52 | 215 | 1.1% | 59 | 27 | 2.2% | 75 | 62,742 | 25 |
| VI. 神経系の疾患 | | 52,061,035 | 10.8% | | 3,850 | 18.9% | | 338 | 27.1% | | 154,027 | |
| 0601 | パーキンソン病 | 4,395,312 | 0.9% | 31 | 181 | 0.9% | 63 | 15 | 1.2% | 88 | 293,021 | 7 |
| 0602 | アルツハイマー病 | 8,762,966 | 1.8% | 16 | 169 | 0.8% | 64 | 18 | 1.4% | 85 | 486,831 | 5 |
| 0603 | てんかん | 4,720,313 | 1.0% | 28 | 474 | 2.3% | 44 | 43 | 3.4% | 65 | 109,775 | 17 |
| 0604 | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 1,118,435 | 0.2% | 65 | 13 | 0.1% | 107 | 4 | 0.3% | 107 | 279,609 | 8 |
| 0605 | 自律神経系の障害 | 1,154,577 | 0.2% | 64 | 95 | 0.5% | 78 | 9 | 0.7% | 97 | 128,286 | 15 |
| 0606 | その他の神経系の疾患 | 31,909,432 | 6.6% | 2 | 3,457 | 17.0% | 5 | 306 | 24.5% | 8 | 104,279 | 18 |
| VII. 眼及び付属器の疾患 | | 16,762,771 | 3.5% | | 2,597 | 12.8% | | 449 | 35.9% | | 37,334 | |
| 0701 | 結膜炎 | 958,342 | 0.2% | 67 | 550 | 2.7% | 39 | 138 | 11.0% | 35 | 6,945 | 104 |
| 0702 | 白内障 | 5,088,330 | 1.1% | 25 | 1,356 | 6.7% | 15 | 212 | 17.0% | 21 | 24,002 | 49 |
| 0703 | 屈折及び調節の障害 | 1,504,215 | 0.3% | 53 | 2,025 | 10.0% | 8 | 373 | 29.9% | 5 | 4,033 | 113 |
| 0704 | その他の眼及び付属器の疾患 | 9,211,884 | 1.9% | 15 | 1,928 | 9.5% | 9 | 319 | 25.5% | 7 | 28,877 | 44 |
| VIII. 耳及び乳様突起の疾患 | | 2,082,005 | 0.4% | | 314 | 1.5% | | 57 | 4.6% | | 36,526 | |
| 0801 | 外耳炎 | 44,465 | 0.0% | 110 | 69 | 0.3% | 87 | 20 | 1.6% | 83 | 2,223 | 116 |
| 0802 | その他の外耳疾患 | 57,731 | 0.0% | 109 | 29 | 0.1% | 100 | 14 | 1.1% | 89 | 4,124 | 112 |
| 0803 | 中耳炎 | 205,434 | 0.0% | 96 | 54 | 0.3% | 93 | 9 | 0.7% | 97 | 22,826 | 52 |
| 0804 | その他の中耳及び乳様突起の疾患 | 214,331 | 0.0% | 94 | 99 | 0.5% | 75 | 22 | 1.8% | 78 | 9,742 | 93 |
| 0805 | メニエール病 | 407,329 | 0.1% | 83 | 60 | 0.3% | 90 | 10 | 0.8% | 94 | 40,733 | 38 |
| 0806 | その他の内耳疾患 | 347,038 | 0.1% | 85 | 88 | 0.4% | 83 | 10 | 0.8% | 94 | 34,704 | 40 |
| 0807 | その他の耳疾患 | 805,677 | 0.2% | 70 | 222 | 1.1% | 58 | 35 | 2.8% | 69 | 23,019 | 51 |
| IX. 循環器系の疾患 | | 76,984,055 | 15.9% | | 8,447 | 41.5% | | 710 | 56.8% | | 108,428 | |
| 0901 | 高血圧性疾患 | 23,352,249 | 4.8% | 7 | 7,541 | 37.1% | 1 | 590 | 47.2% | 1 | 39,580 | 39 |
| 0902 | 虚血性心疾患 | 6,787,696 | 1.4% | 20 | 649 | 3.2% | 34 | 119 | 9.5% | 39 | 57,039 | 29 |
| 0903 | その他の心疾患 | 27,248,537 | 5.6% | 4 | 1,681 | 8.3% | 13 | 269 | 21.5% | 11 | 101,296 | 19 |
| 0904 | くも膜下出血 | 40,188 | 0.0% | 112 | 4 | 0.0% | 112 | 3 | 0.2% | 108 | 13,396 | 76 |
| 0905 | 脳内出血 | 251,253 | 0.1% | 92 | 42 | 0.2% | 95 | 21 | 1.7% | 81 | 11,964 | 82 |
| 0906 | 脳梗塞 | 11,239,655 | 2.3% | 13 | 581 | 2.9% | 37 | 68 | 5.4% | 52 | 165,289 | 13 |
| 0907 | 脳動脈硬化(症) | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 0908 | その他の脳血管疾患 | 3,736,609 | 0.8% | 33 | 240 | 1.2% | 56 | 78 | 6.2% | 47 | 47,905 | 34 |
| 0909 | 動脈硬化(症) | 481,383 | 0.1% | 80 | 162 | 0.8% | 67 | 28 | 2.2% | 74 | 17,192 | 67 |
| 0911 | 低血圧(症) | 2,020 | 0.0% | 119 | 1 | 0.0% | 118 | 1 | 0.1% | 113 | 2,020 | 117 |
| 0912 | その他の循環器系の疾患 | 3,844,465 | 0.8% | 32 | 340 | 1.7% | 51 | 83 | 6.6% | 43 | 46,319 | 35 |
| X. 呼吸器系の疾患 | | 26,205,817 | 5.4% | | 2,719 | 13.4% | | 501 | 40.1% | | 52,307 | |
| 1001 | 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒> | 105,901 | 0.0% | 103 | 68 | 0.3% | 88 | 31 | 2.5% | 71 | 3,416 | 115 |
| 1002 | 急性咽喉炎及び急性扁桃炎 | 906,829 | 0.2% | 69 | 420 | 2.1% | 47 | 147 | 11.8% | 33 | 6,169 | 107 |
| 1003 | その他の急性上気道感染症 | 1,233,312 | 0.3% | 62 | 509 | 2.5% | 42 | 177 | 14.2% | 25 | 6,968 | 103 |

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

| | | | |
|-----|-------------|----------|-------|
| 総合計 | 医療費総計(円) | レセプト件数 ※ | 患者数 ※ |
| | 483,148,280 | 20,344 | 1,249 |

| 疾病分類 | | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | レセプト件数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者一人当たりの医療費(円) | 順位 |
|-----------------------|--------------------|------------|---------|-----|----------|---------|-----|-------|---------|-----|----------------|-----|
| 1004 | 肺炎 | 1,480,753 | 0.3% | 54 | 106 | 0.5% | 73 | 52 | 4.2% | 57 | 28,476 | 45 |
| 1005 | 急性気管支炎及び急性細気管支炎 | 1,448,371 | 0.3% | 55 | 578 | 2.8% | 38 | 151 | 12.1% | 32 | 9,592 | 94 |
| 1006 | アレルギー性鼻炎 | 2,700,149 | 0.6% | 43 | 1,248 | 6.1% | 20 | 238 | 19.1% | 15 | 11,345 | 85 |
| 1007 | 慢性副鼻腔炎 | 1,306,649 | 0.3% | 60 | 168 | 0.8% | 65 | 22 | 1.8% | 78 | 59,393 | 28 |
| 1008 | 急性又は慢性と明示されない気管支炎 | 39,492 | 0.0% | 113 | 6 | 0.0% | 109 | 3 | 0.2% | 108 | 13,164 | 77 |
| 1009 | 慢性閉塞性肺疾患 | 3,691,072 | 0.8% | 34 | 430 | 2.1% | 46 | 59 | 4.7% | 54 | 62,561 | 26 |
| 1010 | 喘息 | 1,960,541 | 0.4% | 48 | 492 | 2.4% | 43 | 73 | 5.8% | 48 | 26,857 | 46 |
| 1011 | その他の呼吸器系の疾患 | 11,332,748 | 2.3% | 12 | 635 | 3.1% | 35 | 215 | 17.2% | 20 | 52,710 | 32 |
| X I . 消化器系の疾患 | | 35,118,860 | 7.3% | | 6,289 | 30.9% | | 689 | 55.2% | | 50,971 | |
| 1101 | う蝕 ※ | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 1102 | 歯肉炎及び歯周疾患 | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 1103 | その他の歯及び歯の支持組織の障害 | 836 | 0.0% | 120 | 2 | 0.0% | 114 | 1 | 0.1% | 113 | 836 | 120 |
| 1104 | 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 3,311,468 | 0.7% | 37 | 1,319 | 6.5% | 16 | 167 | 13.4% | 27 | 19,829 | 57 |
| 1105 | 胃炎及び十二指腸炎 | 3,147,192 | 0.7% | 40 | 1,829 | 9.0% | 10 | 300 | 24.0% | 9 | 10,491 | 88 |
| 1106 | 痔核 | 287,439 | 0.1% | 88 | 82 | 0.4% | 85 | 17 | 1.4% | 87 | 16,908 | 68 |
| 1107 | アルコール性肝疾患 | 134,727 | 0.0% | 100 | 56 | 0.3% | 92 | 7 | 0.6% | 102 | 19,247 | 60 |
| 1108 | 慢性肝炎(アルコール性のものを除く) | 167,668 | 0.0% | 98 | 99 | 0.5% | 75 | 13 | 1.0% | 90 | 12,898 | 78 |
| 1109 | 肝硬変(アルコール性のものを除く) | 209,762 | 0.0% | 95 | 80 | 0.4% | 86 | 20 | 1.6% | 83 | 10,488 | 89 |
| 1110 | その他の肝疾患 | 1,445,824 | 0.3% | 56 | 868 | 4.3% | 28 | 246 | 19.7% | 14 | 5,877 | 109 |
| 1111 | 胆石症及び胆のう炎 | 526,928 | 0.1% | 76 | 104 | 0.5% | 74 | 26 | 2.1% | 76 | 20,266 | 56 |
| 1112 | 膵疾患 | 2,308,761 | 0.5% | 47 | 118 | 0.6% | 72 | 50 | 4.0% | 60 | 46,175 | 36 |
| 1113 | その他の消化器系の疾患 | 23,578,255 | 4.9% | 6 | 3,839 | 18.9% | 3 | 449 | 35.9% | 2 | 52,513 | 33 |
| X II . 皮膚及び皮下組織の疾患 | | 5,850,849 | 1.2% | | 1,793 | 8.8% | | 342 | 27.4% | | 17,108 | |
| 1201 | 皮膚及び皮下組織の感染症 | 699,739 | 0.1% | 72 | 168 | 0.8% | 65 | 55 | 4.4% | 56 | 12,723 | 80 |
| 1202 | 皮膚炎及び湿疹 | 3,274,377 | 0.7% | 38 | 1,314 | 6.5% | 17 | 254 | 20.3% | 12 | 12,891 | 79 |
| 1203 | その他の皮膚及び皮下組織の疾患 | 1,876,733 | 0.4% | 50 | 847 | 4.2% | 29 | 178 | 14.3% | 24 | 10,543 | 87 |
| X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患 | | 51,824,587 | 10.7% | | 6,116 | 30.1% | | 610 | 48.8% | | 84,958 | |
| 1301 | 炎症性多発性関節障害 | 3,613,473 | 0.7% | 35 | 1,121 | 5.5% | 21 | 162 | 13.0% | 29 | 22,305 | 54 |
| 1302 | 関節症 | 17,602,501 | 3.6% | 8 | 2,099 | 10.3% | 6 | 217 | 17.4% | 18 | 81,118 | 20 |
| 1303 | 脊椎障害(脊椎症を含む) | 6,239,459 | 1.3% | 21 | 1,255 | 6.2% | 19 | 153 | 12.2% | 30 | 40,781 | 37 |
| 1304 | 椎間板障害 | 744,822 | 0.2% | 71 | 295 | 1.5% | 52 | 38 | 3.0% | 68 | 19,601 | 58 |
| 1305 | 頸腕症候群 | 1,285,382 | 0.3% | 61 | 1,036 | 5.1% | 22 | 139 | 11.1% | 34 | 9,247 | 95 |
| 1306 | 腰痛症及び坐骨神経痛 | 3,123,008 | 0.6% | 41 | 1,805 | 8.9% | 11 | 216 | 17.3% | 19 | 14,458 | 72 |
| 1307 | その他の脊柱障害 | 520,927 | 0.1% | 78 | 274 | 1.3% | 54 | 45 | 3.6% | 62 | 11,576 | 84 |
| 1308 | 肩の傷害<損傷> | 1,897,190 | 0.4% | 49 | 908 | 4.5% | 27 | 119 | 9.5% | 39 | 15,943 | 71 |
| 1309 | 骨の密度及び構造の障害 | 10,694,616 | 2.2% | 14 | 1,697 | 8.3% | 12 | 167 | 13.4% | 27 | 64,040 | 24 |
| 1310 | その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 6,103,209 | 1.3% | 23 | 1,425 | 7.0% | 14 | 236 | 18.9% | 16 | 25,861 | 48 |

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

| | | | |
|-----|-------------|----------|-------|
| 総合計 | 医療費総計(円) | レセプト件数 ※ | 患者数 ※ |
| | 483,148,280 | 20,344 | 1,249 |

| 疾病分類 | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | レセプト件数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者一人当たりの医療費(円) | 順位 |
|--|------------|---------|-----|----------|---------|-----|-------|---------|-----|----------------|-----|
| XIV. 腎尿路生殖器系の疾患 | 30,978,661 | 6.4% | | 1,876 | 9.2% | | 348 | 27.9% | | 89,019 | |
| 1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患 | 294,931 | 0.1% | 87 | 98 | 0.5% | 77 | 30 | 2.4% | 72 | 9,831 | 92 |
| 1402 腎不全 | 24,426,849 | 5.1% | 5 | 349 | 1.7% | 50 | 44 | 3.5% | 64 | 555,156 | 3 |
| 1403 尿路結石症 | 410,400 | 0.1% | 82 | 83 | 0.4% | 84 | 22 | 1.8% | 78 | 18,655 | 65 |
| 1404 その他の腎尿路系の疾患 | 3,445,197 | 0.7% | 36 | 988 | 4.9% | 25 | 249 | 19.9% | 13 | 13,836 | 74 |
| 1405 前立腺肥大(症) | 1,347,191 | 0.3% | 57 | 409 | 2.0% | 48 | 51 | 4.1% | 59 | 26,416 | 47 |
| 1406 その他の男性生殖器の疾患 | 128,760 | 0.0% | 102 | 26 | 0.1% | 101 | 7 | 0.6% | 102 | 18,394 | 66 |
| 1407 月経障害及び閉経周辺期障害 | 523,069 | 0.1% | 77 | 195 | 1.0% | 62 | 32 | 2.6% | 70 | 16,346 | 69 |
| 1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患 | 402,264 | 0.1% | 84 | 136 | 0.7% | 69 | 50 | 4.0% | 60 | 8,045 | 98 |
| XV. 妊娠、分娩及び産じょく | 330,516 | 0.1% | | 19 | 0.1% | | 6 | 0.5% | | 55,086 | |
| 1501 流産 | 257,588 | 0.1% | 90 | 6 | 0.0% | 109 | 2 | 0.2% | 111 | 128,794 | 14 |
| 1502 妊娠高血圧症候群 | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 1503 単胎自然分娩 | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく | 72,928 | 0.0% | 108 | 16 | 0.1% | 106 | 6 | 0.5% | 105 | 12,155 | 81 |
| XVI. 周産期に発生した病態 | 18,521 | 0.0% | | 3 | 0.0% | | 2 | 0.2% | | 9,261 | |
| 1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害 | 11,120 | 0.0% | 114 | 2 | 0.0% | 114 | 1 | 0.1% | 113 | 11,120 | 86 |
| 1602 その他の周産期に発生した病態 | 7,401 | 0.0% | 115 | 1 | 0.0% | 118 | 1 | 0.1% | 113 | 7,401 | 101 |
| XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常 | 83,094 | 0.0% | | 41 | 0.2% | | 12 | 1.0% | | 6,925 | |
| 1701 心臓の先天奇形 | 4,188 | 0.0% | 118 | 1 | 0.0% | 118 | 1 | 0.1% | 113 | 4,188 | 111 |
| 1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常 | 78,906 | 0.0% | 107 | 40 | 0.2% | 98 | 11 | 0.9% | 92 | 7,173 | 102 |
| XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 7,084,722 | 1.5% | | 2,027 | 10.0% | | 369 | 29.5% | | 19,200 | |
| 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 7,084,722 | 1.5% | 18 | 2,027 | 10.0% | 7 | 369 | 29.5% | 6 | 19,200 | 61 |
| XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | 13,897,865 | 2.9% | | 1,215 | 6.0% | | 288 | 23.1% | | 48,256 | |
| 1901 骨折 | 6,934,057 | 1.4% | 19 | 511 | 2.5% | 41 | 126 | 10.1% | 38 | 55,032 | 31 |
| 1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷 | 554,304 | 0.1% | 75 | 19 | 0.1% | 103 | 9 | 0.7% | 97 | 61,589 | 27 |
| 1903 熱傷及び腐食 | 81,274 | 0.0% | 106 | 19 | 0.1% | 103 | 6 | 0.5% | 105 | 13,546 | 75 |
| 1904 中毒 | 254,546 | 0.1% | 91 | 95 | 0.5% | 78 | 40 | 3.2% | 67 | 6,364 | 105 |
| 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 | 6,073,684 | 1.3% | 24 | 704 | 3.5% | 31 | 195 | 15.6% | 23 | 31,147 | 41 |
| XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | 4,773,694 | 1.0% | | 609 | 3.0% | | 89 | 7.1% | | 53,637 | |
| 2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者 | 6,113 | 0.0% | 116 | 2 | 0.0% | 114 | 1 | 0.1% | 113 | 6,113 | 108 |
| 2102 予防接種 | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画 | 4,226 | 0.0% | 117 | 4 | 0.0% | 112 | 3 | 0.2% | 108 | 1,409 | 119 |
| 2104 歯の補てつ | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

| | | | |
|-----|-------------|----------|-------|
| 総合計 | 医療費総計(円) | レセプト件数 ※ | 患者数 ※ |
| | 483,148,280 | 20,344 | 1,249 |

| 疾病分類 | 医療費(円) ※ | 構成比 (%) | 順位 | レセプト件数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者数 ※ | 構成比 (%) | 順位 | 患者一人当たりの医療費(円) | 順位 |
|--|-----------|---------|-----|----------|---------|-----|-------|---------|-----|----------------|----|
| 2105 特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者 | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 2106 その他の理由による保健サービスの 利用者 | 4,763,355 | 1.0% | 27 | 603 | 3.0% | 36 | 85 | 6.8% | 42 | 56,039 | 30 |
| XXII. 特殊目的用コード | 6,153,601 | 1.3% | | 679 | 3.3% | | 271 | 21.7% | | 22,707 | |
| 2210 重症急性呼吸器症候群[SARS] | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | 0.0% | | 0 | |
| 2220 その他の特殊目的用コード | 6,153,601 | 1.3% | 22 | 679 | 3.3% | 32 | 271 | 21.7% | 10 | 22,707 | 53 |
| 分類外 | 40,607 | 0.0% | | 5 | 0.0% | | 2 | 0.2% | | 20,304 | |
| 9999 分類外 | 40,607 | 0.0% | 111 | 5 | 0.0% | 111 | 2 | 0.2% | 111 | 20,304 | 55 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

4. 生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計したものです。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に係る重症化疾患を生活習慣病とし集計しました。生活習慣病の医療費は1億957万円で、医療費全体の22.7%を占めています。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

| | 入院(円) | 構成比(%) | 入院外(円) | 構成比(%) | 合計(円) | 構成比(%) |
|---------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
| 生活習慣病 | 24,290,410 | 12.3% | 85,277,016 | 29.9% | 109,567,426 | 22.7% |
| 生活習慣病以外 | 173,434,680 | 87.7% | 200,146,174 | 70.1% | 373,580,854 | 77.3% |
| 合計(円) | 197,725,090 | | 285,423,190 | | 483,148,280 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

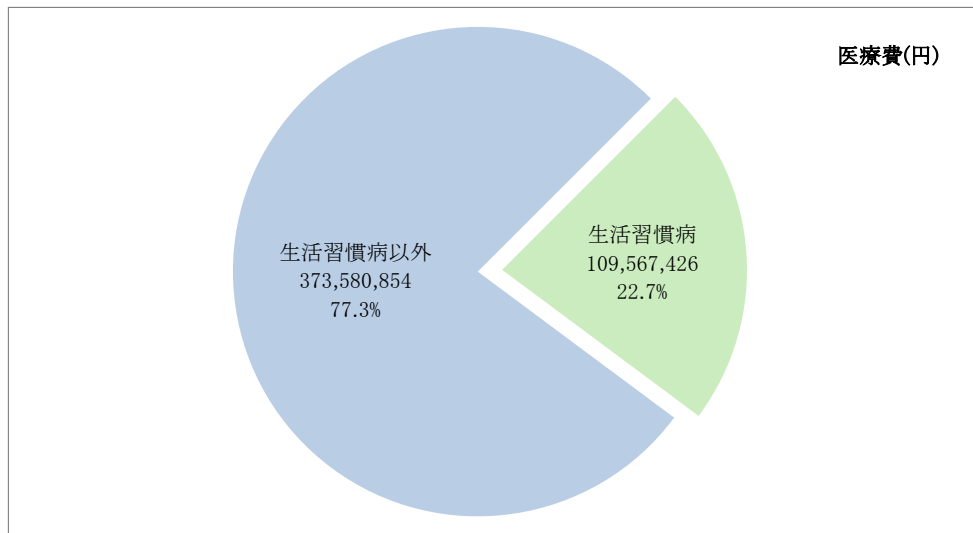
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、

0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

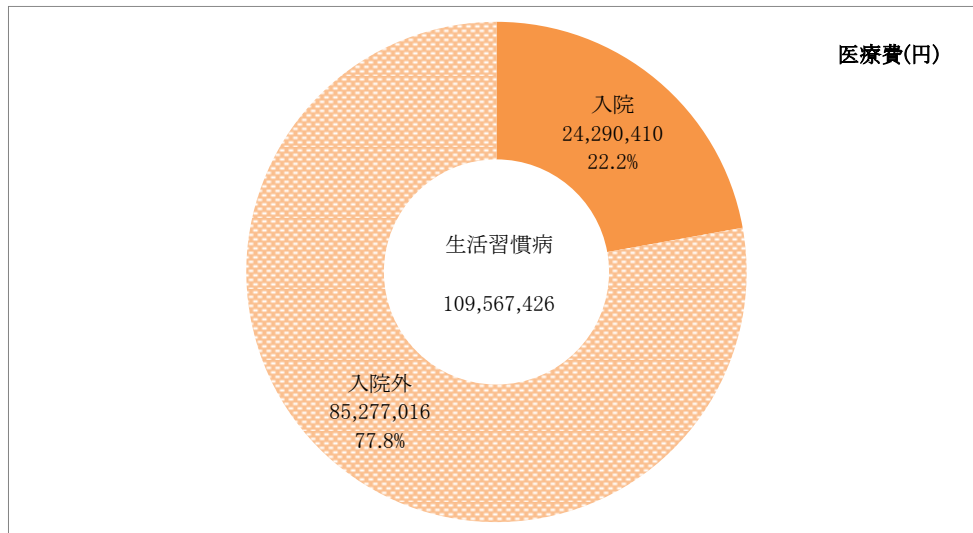
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、

0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病医療費に占める入院、入院外医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病で医療機関を受診している患者数は813人で、被保険者全体に占めるその割合は53.2%です。

医療機関受診状況及び生活習慣病罹患状況

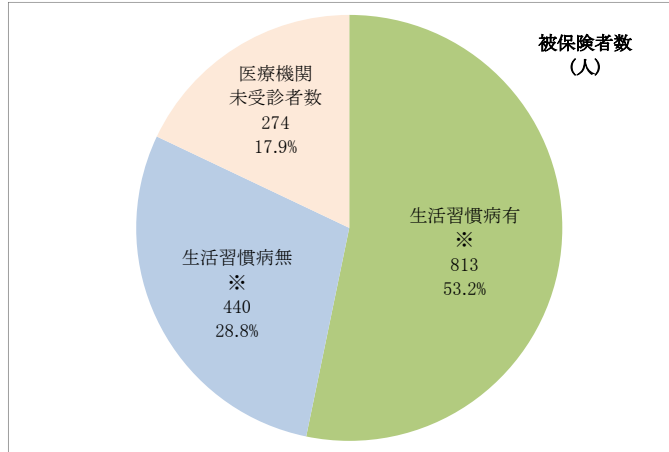
| | | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|---------------|-------|-------|
| A | 被保険者数 | 1,527 | |
| B | 医療機関受診者数(患者数) | 1,253 | 82.1% |
| C | 生活習慣病有 ※ | 813 | 53.2% |
| B-C | 生活習慣病無 ※ | 440 | 28.8% |
| A-B | 医療機関未受診者数 | 274 | 17.9% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

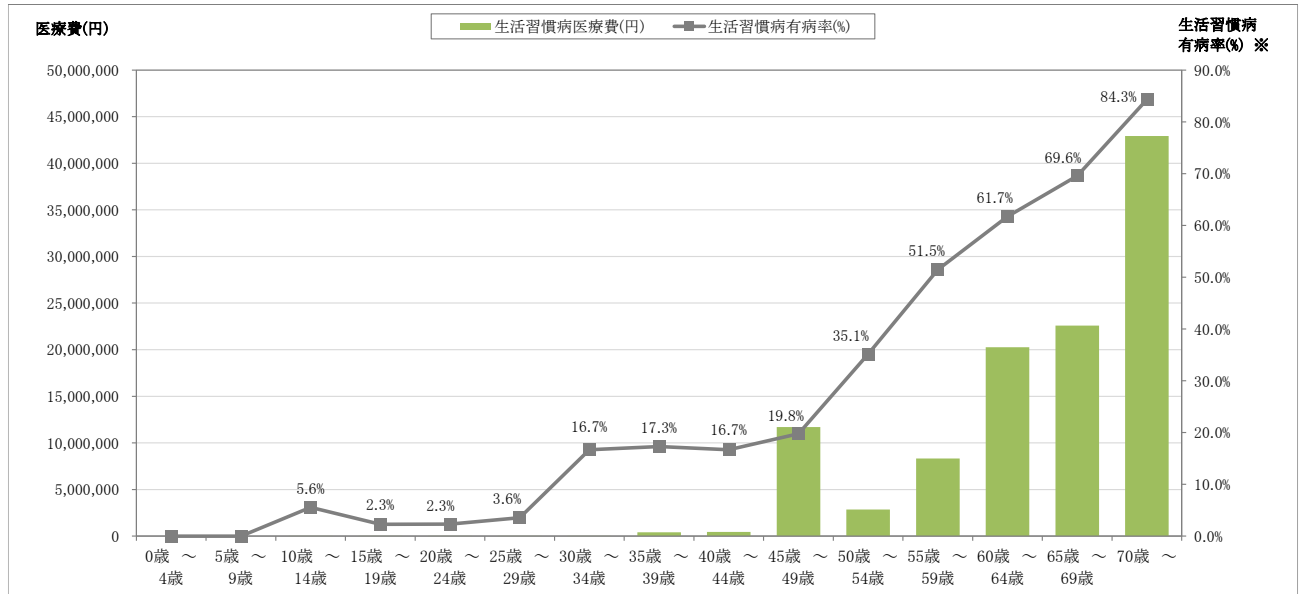
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を示したものです。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にあります。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

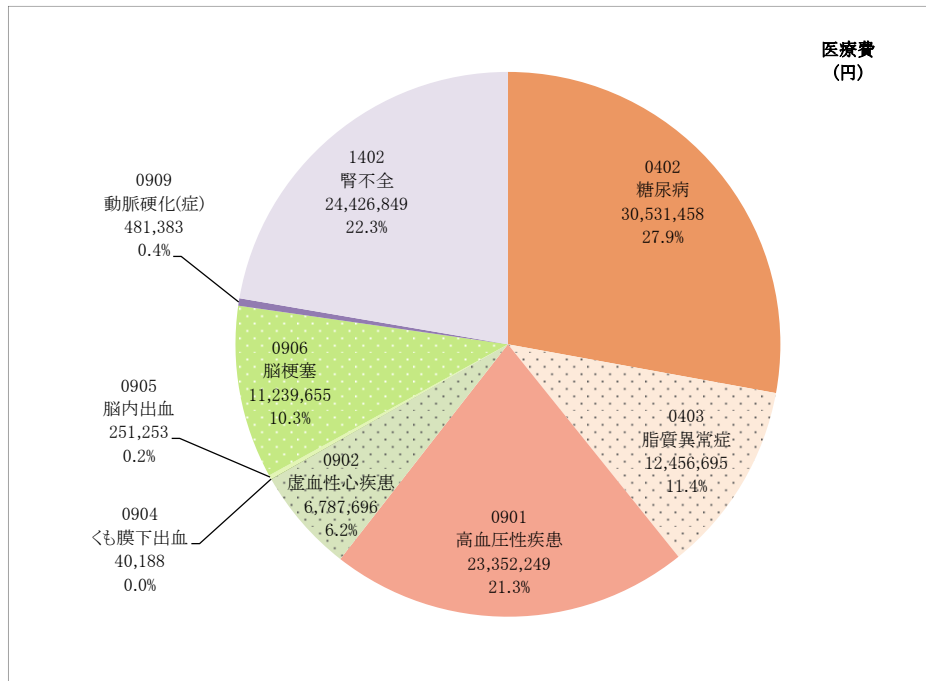
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率を示したものです。

生活習慣病疾病別 医療費統計

| 疾病分類(中分類) | 医療費(円) | 構成比(%) | 順位 | 患者数(人) | 有病率(%) ※ | 順位 | 患者一人当たりの医療費(円) | 順位 |
|---------------|-------------|--------|----|--------|----------|----|----------------|----|
| 0402 糖尿病 | 30,531,458 | 27.9% | 1 | 424 | 27.8% | 2 | 72,008 | 3 |
| 0403 脂質異常症 | 12,456,695 | 11.4% | 4 | 420 | 27.5% | 3 | 29,659 | 6 |
| 0901 高血圧性疾患 | 23,352,249 | 21.3% | 3 | 590 | 38.6% | 1 | 39,580 | 5 |
| 0902 虚血性心疾患 | 6,787,696 | 6.2% | 6 | 119 | 7.8% | 4 | 57,039 | 4 |
| 0904 くも膜下出血 | 40,188 | 0.0% | 9 | 3 | 0.2% | 9 | 13,396 | 8 |
| 0905 脳内出血 | 251,253 | 0.2% | 8 | 21 | 1.4% | 8 | 11,964 | 9 |
| 0906 脳梗塞 | 11,239,655 | 10.3% | 5 | 68 | 4.5% | 5 | 165,289 | 2 |
| 0907 脳動脈硬化(症) | 0 | 0.0% | 10 | 0 | 0.0% | 10 | 0 | 10 |
| 0909 動脈硬化(症) | 481,383 | 0.4% | 7 | 28 | 1.8% | 7 | 17,192 | 7 |
| 1402 腎不全 | 24,426,849 | 22.3% | 2 | 44 | 2.9% | 6 | 555,156 | 1 |
| 合計 | 109,567,426 | | | 813 | 53.2% | | 134,769 | |

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

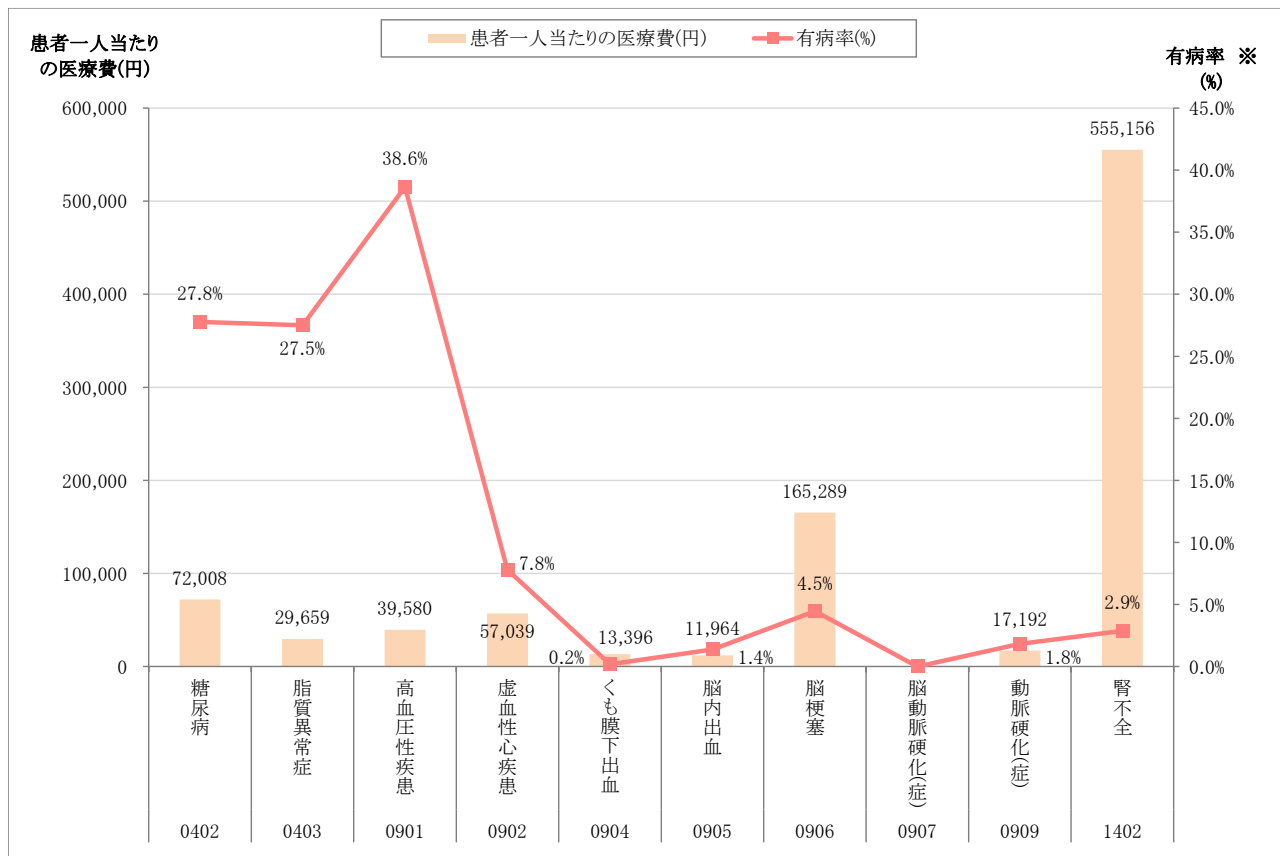
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

令和2年度から令和4年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものです。令和4年度を令和2年度と比較すると、糖尿病医療費3,053万円は、令和2年度3,147万円より94万円減少しています。また、脂質異常症医療費1,246万円は、令和2年度1,260万円より14万円減少しています。高血圧性疾患医療費2,335万円は、令和2年度2,769万円より434万円減少しています。

年度別 生活習慣病医療費

| 疾病分類(中分類) | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | |
|-----------|----------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
| | | 医療費(円) ※ | 構成比(%) | 医療費(円) ※ | 構成比(%) | 医療費(円) ※ | 構成比(%) |
| 0402 | 糖尿病 | 31,466,636 | 27.1% | 32,035,805 | 28.4% | 30,531,458 | 27.9% |
| 0403 | 脂質異常症 | 12,602,373 | 10.9% | 13,161,252 | 11.6% | 12,456,695 | 11.4% |
| 0901 | 高血圧性疾患 | 27,685,296 | 23.9% | 26,524,099 | 23.5% | 23,352,249 | 21.3% |
| 0902 | 虚血性心疾患 | 2,486,917 | 2.1% | 6,372,946 | 5.6% | 6,787,696 | 6.2% |
| 0904 | くも膜下出血 | 53,688 | 0.0% | 25,084 | 0.0% | 40,188 | 0.0% |
| 0905 | 脳内出血 | 3,038,928 | 2.6% | 744,491 | 0.7% | 251,253 | 0.2% |
| 0906 | 脳梗塞 | 2,976,522 | 2.6% | 5,818,099 | 5.1% | 11,239,655 | 10.3% |
| 0907 | 脳動脈硬化(症) | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 0909 | 動脈硬化(症) | 506,780 | 0.4% | 373,710 | 0.3% | 481,383 | 0.4% |
| 1402 | 腎不全 | 35,222,836 | 30.4% | 27,934,735 | 24.7% | 24,426,849 | 22.3% |
| 合計 | | 116,039,976 | | 112,990,221 | | 109,567,426 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

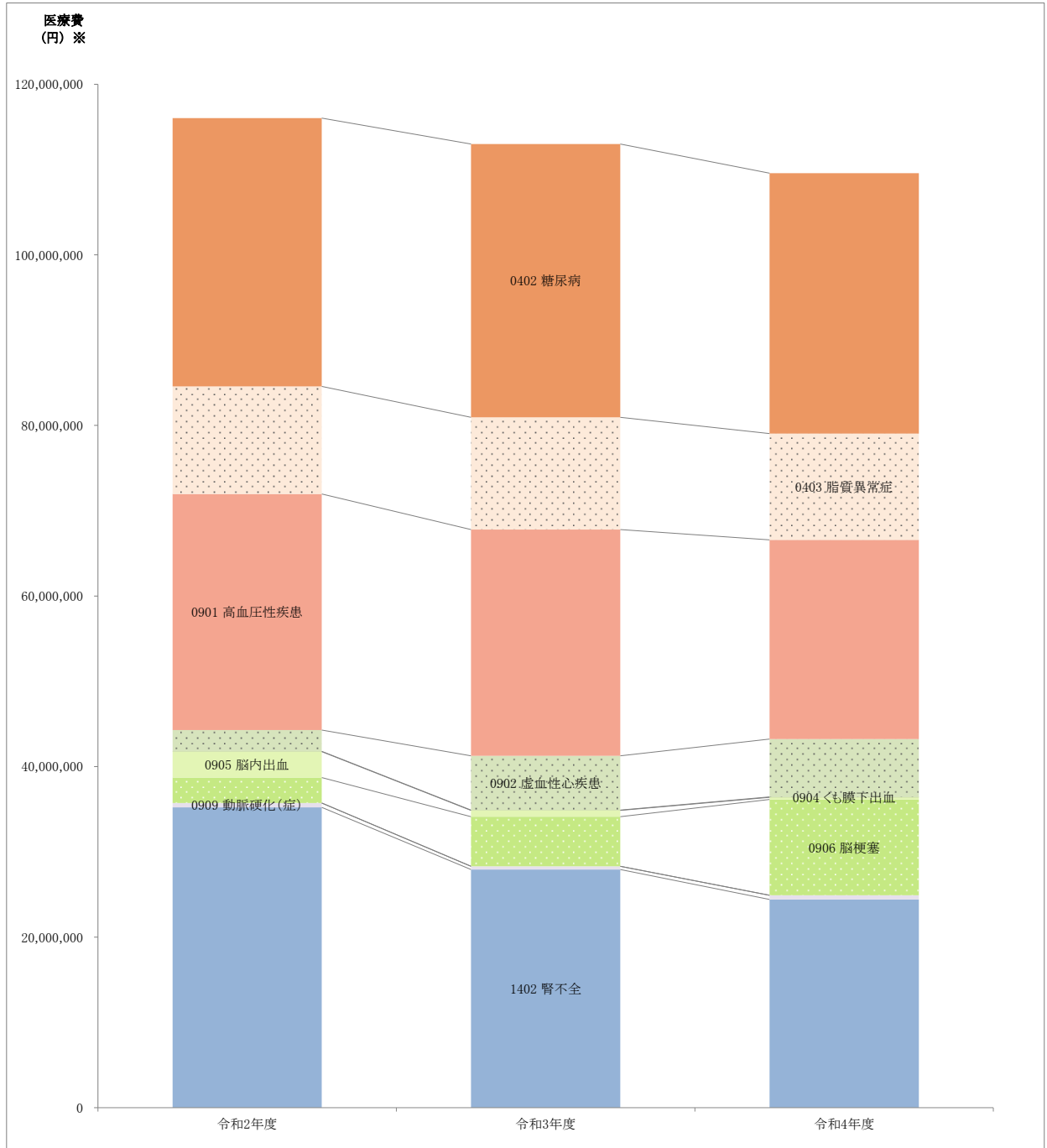
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

5. 特定健康診査に係る分析結果

(1) メタボリックシンドローム該当状況

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を示したものです。基準該当は22.5%、予備群該当は15.6%です。

メタボリックシンドローム該当状況

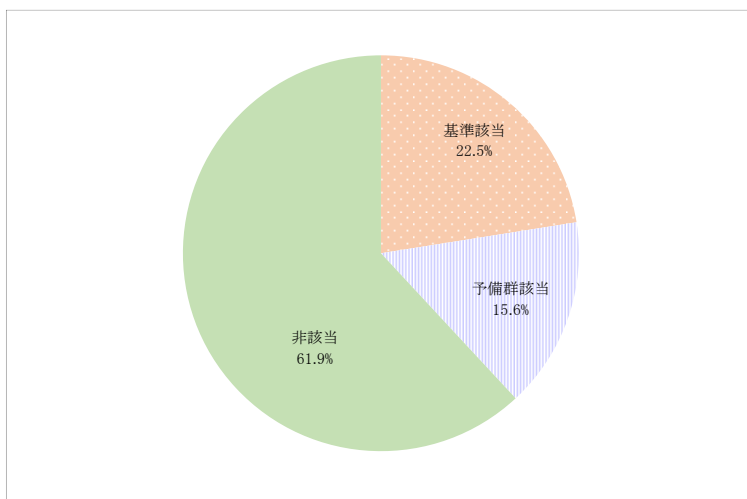
| | 健診受診者数 | 基準該当 | 予備群該当 | 非該当 | 判定不能 |
|---------|--------|-------|-------|-------|------|
| 該当者数(人) | 609 | 137 | 95 | 377 | 0 |
| 割合(%) ※ | - | 22.5% | 15.6% | 61.9% | 0.0% |

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定基準

| 腹囲 | 追加リスク(①血糖②脂質③血圧) | 該当状況 |
|-----------|------------------|--------------------|
| ≥85cm(男性) | 2つ以上該当 | メタボリックシンドローム基準該当者 |
| ≥90cm(女性) | 1つ該当 | メタボリックシンドローム予備群該当者 |

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

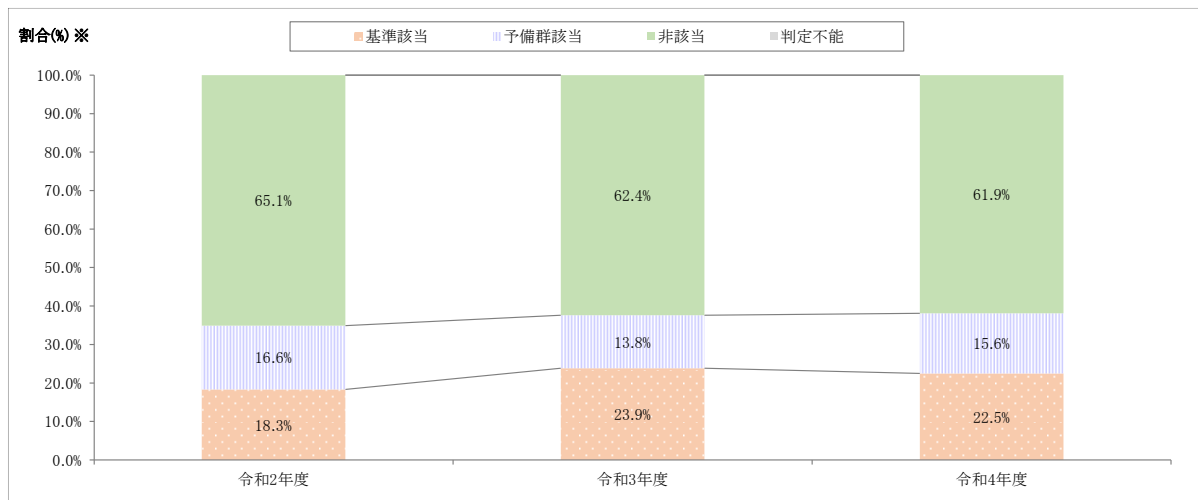
令和2年度から令和4年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものです。令和4年度を令和2年度と比較すると、基準該当22.5%は令和2年度18.3%より4.2ポイント増加しており、予備群該当15.6%は令和2年度16.6%より1.0ポイント減少しています。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

| 年度 | 健診受診者数(人) |
|-------|-----------|
| 令和2年度 | 633 |
| 令和3年度 | 654 |
| 令和4年度 | 609 |

| 年度 | 基準該当 | | 予備群該当 | | 非該当 | | 判定不能 | |
|-------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
| | 人数(人) | 割合(%) ※ | 人数(人) | 割合(%) ※ | 人数(人) | 割合(%) ※ | 人数(人) | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 116 | 18.3% | 105 | 16.6% | 412 | 65.1% | 0 | 0.0% |
| 令和3年度 | 156 | 23.9% | 90 | 13.8% | 408 | 62.4% | 0 | 0.0% |
| 令和4年度 | 137 | 22.5% | 95 | 15.6% | 377 | 61.9% | 0 | 0.0% |

年度別 メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

令和4年度健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況を示したものです。健診受診者全体では、予備群は14.7%、該当者は23.2%です。また、血糖、血圧、脂質の3項目全ての追加リスクを持っている該当者は7.1%です。

メタボリックシンドローム該当状況(令和4年度)

| 年齢階層 | 健診受診者 | | 腹囲のみ | | 予備群 | | 血糖 | | 血圧 | | 脂質 | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) |
| 40歳～64歳 | 196 | 47.2% | 12 | 6.1% | 31 | 15.8% | 0 | 0.0% | 18 | 9.2% | 13 | 6.6% |
| 65歳～74歳 | 408 | 68.5% | 9 | 2.2% | 58 | 14.2% | 4 | 1.0% | 46 | 11.3% | 8 | 2.0% |
| 全体(40歳～74歳) | 604 | 59.7% | 21 | 3.5% | 89 | 14.7% | 4 | 0.7% | 64 | 10.6% | 21 | 3.5% |

| 年齢階層 | 該当者 | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 人数(人) | | 割合(%) | | 血糖+血圧 | | 血糖+脂質 | | 血圧+脂質 | | 3項目全て | |
| | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) |
| 40歳～64歳 | 43 | 21.9% | 5 | 2.6% | 3 | 1.5% | 20 | 10.2% | 15 | 7.7% | | |
| 65歳～74歳 | 97 | 23.8% | 35 | 8.6% | 1 | 0.2% | 33 | 8.1% | 28 | 6.9% | | |
| 全体(40歳～74歳) | 140 | 23.2% | 40 | 6.6% | 4 | 0.7% | 53 | 8.8% | 43 | 7.1% | | |

出典:国保データベース(KDB)システム「メタボリックシンドローム該当者・予備群」

※メタボリックシンドローム判定基準

| 腹囲 | 追加リスク (①血糖 ②血圧 ③脂質) | 該当状況 |
|------------|---------------------|--------------------|
| ≥85cm (男性) | 2つ以上該当 | メタボリックシンドローム基準該当者 |
| ≥90cm (女性) | 1つ該当 | メタボリックシンドローム予備群該当者 |

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上
- ②血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

(2) 有所見者割合

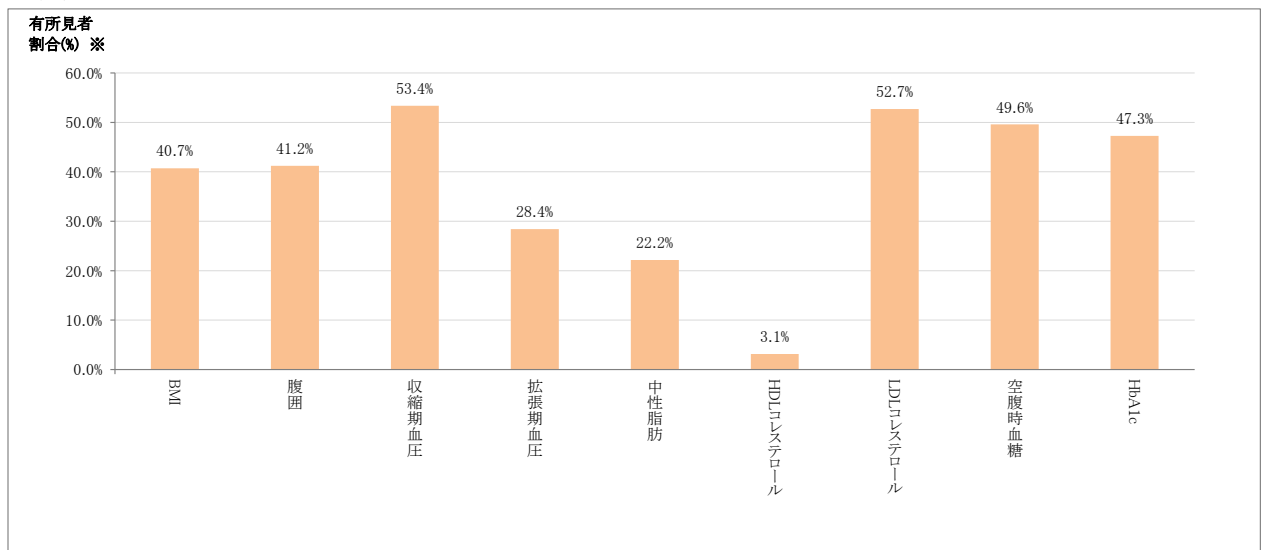
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合を示したものです。

有所見者割合

| | BMI | 腹囲 | 収縮期血圧 | 拡張期血圧 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 対象者数(人) ※ | 609 | 609 | 609 | 609 |
| 有所見者数(人) ※ | 248 | 251 | 325 | 173 |
| 有所見者割合(%) ※ | 40.7% | 41.2% | 53.4% | 28.4% |

| | 中性脂肪 | HDLコレステロール | LDLコレステロール | 空腹時血糖 | HbA1c |
|-------------|-------|------------|------------|-------|-------|
| 対象者数(人) ※ | 609 | 609 | 609 | 603 | 590 |
| 有所見者数(人) ※ | 135 | 19 | 321 | 299 | 279 |
| 有所見者割合(%) ※ | 22.2% | 3.1% | 52.7% | 49.6% | 47.3% |

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

令和2年度から令和4年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示したものです。

年度別 有所見者割合

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------------|-------------|-------|-------|-------|
| BMI | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 263 | 265 | 248 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 41.5% | 40.5% | 40.7% |
| 腹囲 | 対象者数(人) ※ | 633 | 653 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 246 | 277 | 251 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 38.9% | 42.4% | 41.2% |
| 収縮期血圧 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 297 | 338 | 325 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 46.9% | 51.7% | 53.4% |
| 拡張期血圧 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 170 | 171 | 173 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 26.9% | 26.1% | 28.4% |
| 中性脂肪 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 120 | 151 | 135 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 19.0% | 23.1% | 22.2% |
| HDLコレステロール | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 33 | 25 | 19 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 5.2% | 3.8% | 3.1% |
| LDLコレステロール | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 339 | 396 | 321 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 53.6% | 60.6% | 52.7% |
| 空腹時血糖 | 対象者数(人) ※ | 624 | 647 | 603 |
| | 有所見者数(人) ※ | 273 | 275 | 299 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 43.8% | 42.5% | 49.6% |
| HbA1c | 対象者数(人) ※ | 611 | 637 | 590 |
| | 有所見者数(人) ※ | 322 | 309 | 279 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 52.7% | 48.5% | 47.3% |

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

6. 健康診査データによる分析

令和4年度健康診査データによる、検査項目別の有所見者の状況を示したものです。健診受診者全体では、収縮期血圧の有所見者割合が最も高く、健診受診者の53.3%を占めています。年齢階層別にみると、40歳～64歳ではLDLコレステロール、65歳～74歳では収縮期血圧の有所見者割合が最も高くなっています。

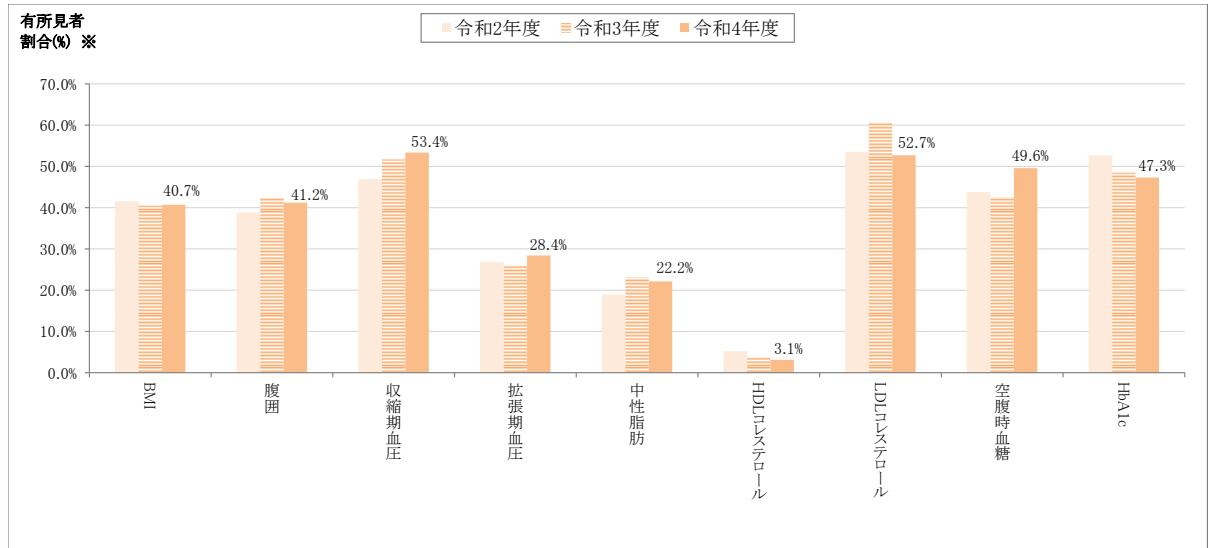
検査項目別有所見者の状況(令和4年度)

| 区分 | | BMI | 腹囲 | 中性脂肪 | ALT | HDL | 血糖 | HbA1c | 尿酸 | |
|-----|-----------------|-------|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | 25以上 | 男性85以上 女性90以上 | 150以上 | 31以上 | 40未満 | 100以上 | 5.6以上 | 7.0以上 | |
| 田子町 | 40歳～64歳 | 人数(人) | 81 | 86 | 50 | 50 | 11 | 69 | 57 | 0 |
| | | 割合(%) | 41.3% | 43.9% | 25.5% | 25.5% | 5.6% | 35.2% | 29.1% | 0.0% |
| | 65歳～74歳 | 人数(人) | 163 | 164 | 84 | 75 | 8 | 228 | 220 | 0 |
| | | 割合(%) | 40.0% | 40.2% | 20.6% | 18.4% | 2.0% | 55.9% | 53.9% | 0.0% |
| | 全体 (40歳～74歳) | 人数(人) | 244 | 250 | 134 | 125 | 19 | 297 | 277 | 0 |
| | | 割合(%) | 40.4% | 41.4% | 22.2% | 20.7% | 3.1% | 49.2% | 45.9% | 0.0% |
| 県 | | 割合(%) | 31.2% | 34.3% | 18.3% | 17.3% | 2.5% | 42.9% | 57.0% | 4.9% |
| 国 | | 割合(%) | 27.0% | 35.0% | 21.2% | 14.5% | 3.9% | 24.6% | 57.2% | 6.5% |

| 区分 | | 収縮期血圧 | 拡張期血圧 | LDL | クレアチニン | 心電図 | 眼底検査 | non-HDL | eGFR | |
|-----|-----------------|-------|-------|-------|--------|------|-------|---------|------|-------|
| | | 130以上 | 85以上 | 120以上 | 1.3以上 | 所見あり | 検査あり | 150以上 | 60未満 | |
| 田子町 | 40歳～64歳 | 人数(人) | 74 | 63 | 119 | 0 | 9 | 45 | 0 | 8 |
| | | 割合(%) | 37.8% | 32.1% | 60.7% | 0.0% | 4.6% | 23.0% | 0.0% | 4.1% |
| | 65歳～74歳 | 人数(人) | 248 | 107 | 197 | 1 | 49 | 110 | 0 | 49 |
| | | 割合(%) | 60.8% | 26.2% | 48.3% | 0.2% | 12.0% | 27.0% | 0.0% | 12.0% |
| | 全体 (40歳～74歳) | 人数(人) | 322 | 170 | 316 | 1 | 58 | 155 | 0 | 57 |
| | | 割合(%) | 53.3% | 28.1% | 52.3% | 0.2% | 9.6% | 25.7% | 0.0% | 9.4% |
| 県 | | 割合(%) | 47.9% | 25.1% | 49.4% | 1.2% | 32.0% | 26.2% | 6.6% | 19.4% |
| 国 | | 割合(%) | 47.5% | 21.1% | 50.1% | 1.3% | 21.3% | 18.4% | 5.6% | 20.7% |

出典:国保データベース(KDB)システム「健診有所見者状況(男女別・年代別)」

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

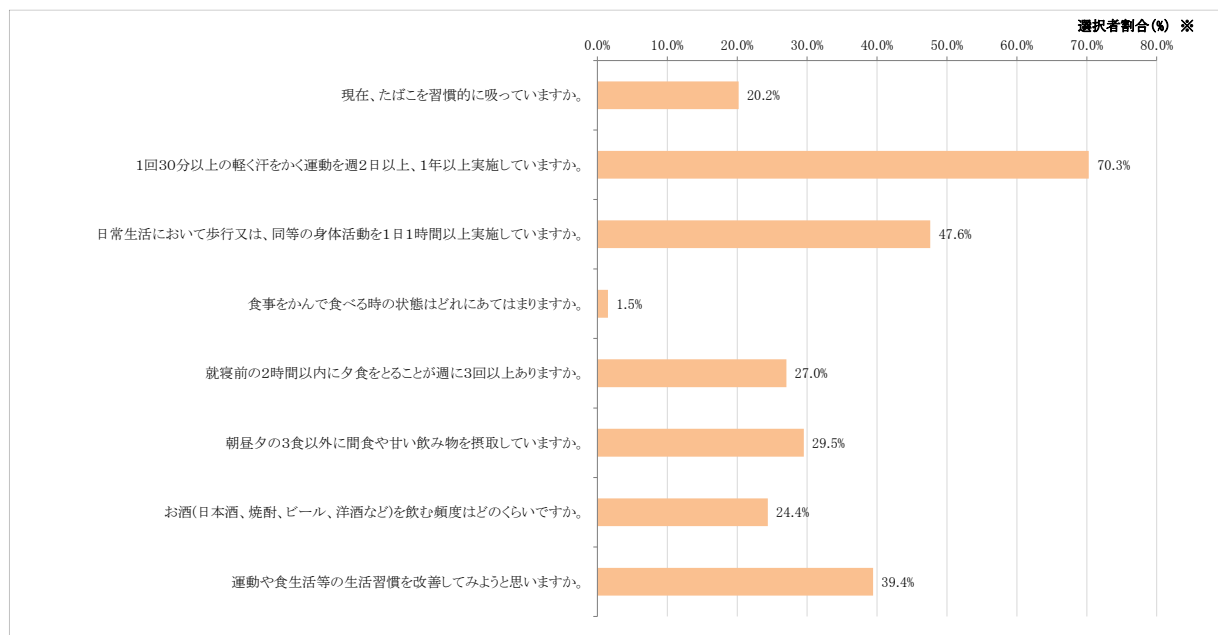
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を示したものです。

対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

| | 喫煙 | 運動 | | 口腔機能 |
|-------------|---------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------|
| | 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。 | 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。 | 日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。 | 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。 |
| 質問の選択肢 | 「はい」 | 「いいえ」 | 「いいえ」 | 「ほとんどかめない」 |
| 質問回答者数(人) ※ | 609 | 525 | 525 | 525 |
| 選択者数(人) ※ | 123 | 369 | 250 | 8 |
| 選択者割合(%) ※ | 20.2% | 70.3% | 47.6% | 1.5% |

| | 食習慣 | 飲酒 | 生活習慣の改善 | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|--------------|
| | 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。 | 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。 | お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。 | |
| 質問の選択肢 | 「はい」 | 「毎日」 | 「毎日」 | 「改善するつもりはない」 |
| 質問回答者数(人) ※ | 525 | 525 | 525 | 525 |
| 選択者数(人) ※ | 142 | 155 | 128 | 207 |
| 選択者割合(%) ※ | 27.0% | 29.5% | 24.4% | 39.4% |

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

令和2年度から令和4年度における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を年度別に示したものです。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

| 類型名 | 質問文 | 質問の選択肢 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|---------------------------------------|--------------|-------------|-------|-------|-------|
| 喫煙 | 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。 | 「はい」 | 質問回答者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 116 | 139 | 123 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 18.3% | 21.3% | 20.2% |
| 運動 | 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。 | 「いいえ」 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 412 | 421 | 369 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 74.6% | 72.3% | 70.3% |
| | 日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。 | 「いいえ」 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 240 | 290 | 250 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 43.5% | 49.8% | 47.6% |
| 口腔機能 | 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。 | 「ほとんどかめない」 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 1 | 3 | 8 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 0.2% | 0.5% | 1.5% |
| 食習慣 | 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。 | 「はい」 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 137 | 177 | 142 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 24.8% | 30.4% | 27.0% |
| | 朝食夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。 | 「毎日」 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 159 | 166 | 155 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 28.8% | 28.5% | 29.5% |
| 飲酒 | お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。 | 「毎日」 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 126 | 139 | 128 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 22.8% | 23.9% | 24.4% |
| 生活習慣の改善 | 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思えますか。 | 「改善するつもりはない」 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | | | 選択者数(人) ※ | 228 | 225 | 207 |
| | | | 選択者割合(%) ※ | 41.3% | 38.7% | 39.4% |

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

- ・ 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。
- ・ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。
- ・ 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。
- ・ 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
- ・ 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。
- ・ 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。
- ・ お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。
- ・ 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。

- …「はい」の選択者数を集計。
- …「いいえ」の選択者数を集計。
- …「いいえ」の選択者数を集計。
- …「ほとんどかめない」の選択者数を集計。
- …「はい」の選択者数を集計。
- …「毎日」の選択者数を集計。
- …「毎日」の選択者数を集計。
- …「毎日」の選択者数を集計。
- …「改善するつもりはない」の選択者数を集計。

7. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析

厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」によると、「骨折・転倒」は要介護になった主な要因において「認知症」「脳血管疾患(脳卒中)」「高齢による衰弱」に次ぐ第4位であり、全体の12.5%を占めています。骨折及び骨折のリスクを高める要因となる骨粗鬆症は健康寿命を阻害する危険因子の一つです。ここでは骨折予防・骨粗鬆症重症化予防の取り組みに向けての基礎調査として、骨折及び骨粗鬆症の医療費等の状況について分析します。

(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況

以下は、40歳以上の被保険者を対象として、骨折医療費の状況について示したものです。骨折医療費は688万円で、医療費総計の1.5%を占めています。骨折医療費のうち、入院医療費は543万円、入院外医療費は145万円であり、入院の患者一人当たりの骨折医療費は32万円と高額になっています。

骨折医療費の状況

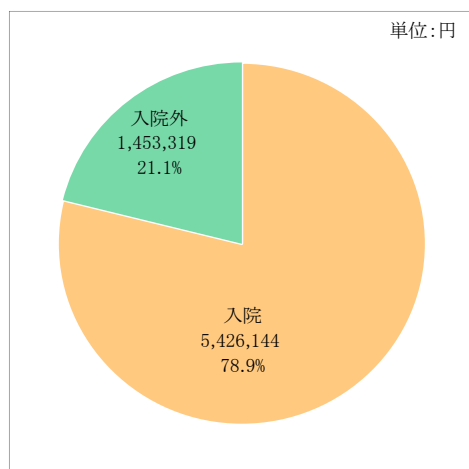
| | A | B | B/A | C | B/C |
|-----|-------------|-----------|----------------------|----------|------------------|
| | 医療費総計(円) | 骨折医療費(円) | 医療費総計に占める骨折医療費の割合(%) | 骨折患者数(人) | 患者一人当たりの骨折医療費(円) |
| 合計 | 455,606,500 | 6,879,463 | 1.5% | 109 | 63,114 |
| 入院 | 188,692,200 | 5,426,144 | 2.9% | 17 | 319,185 |
| 入院外 | 266,914,300 | 1,453,319 | 0.5% | 108 | 13,457 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

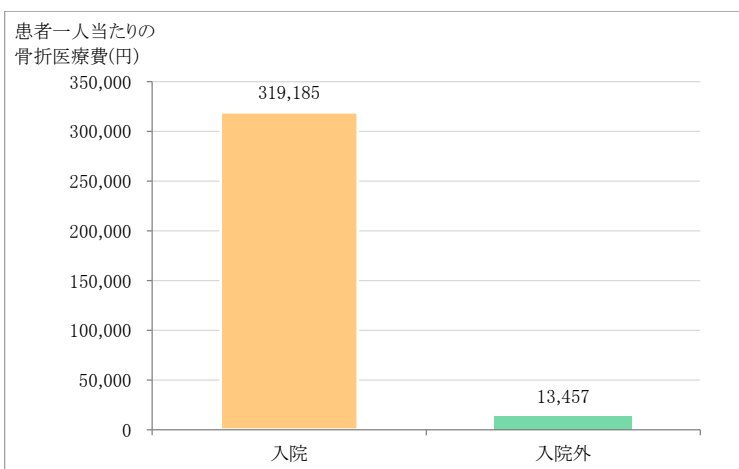
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折医療費の内訳(入院・入院外)



患者一人当たりの骨折医療費の比較(入院・入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

次に示すのは、男女別の状況です。

骨折医療費688万円のうち、男性の医療費は179万円、女性の医療費は509万円であり、その構成比は男性26.0%、女性74.0%です。また、骨折の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では8.7%、男性6.9%、女性10.6%となっています。

男女別 骨折医療費の状況

| | 医療費(円) | 構成比(%) | 患者数(人) | 患者一人当たりの医療費(円) | 有病率(%) |
|----|-----------|--------|--------|----------------|--------|
| | | | | | |
| 合計 | 6,879,463 | | 109 | 63,114 | 8.7% |
| 男性 | 1,786,795 | 26.0% | 44 | 40,609 | 6.9% |
| 女性 | 5,092,668 | 74.0% | 65 | 78,349 | 10.6% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

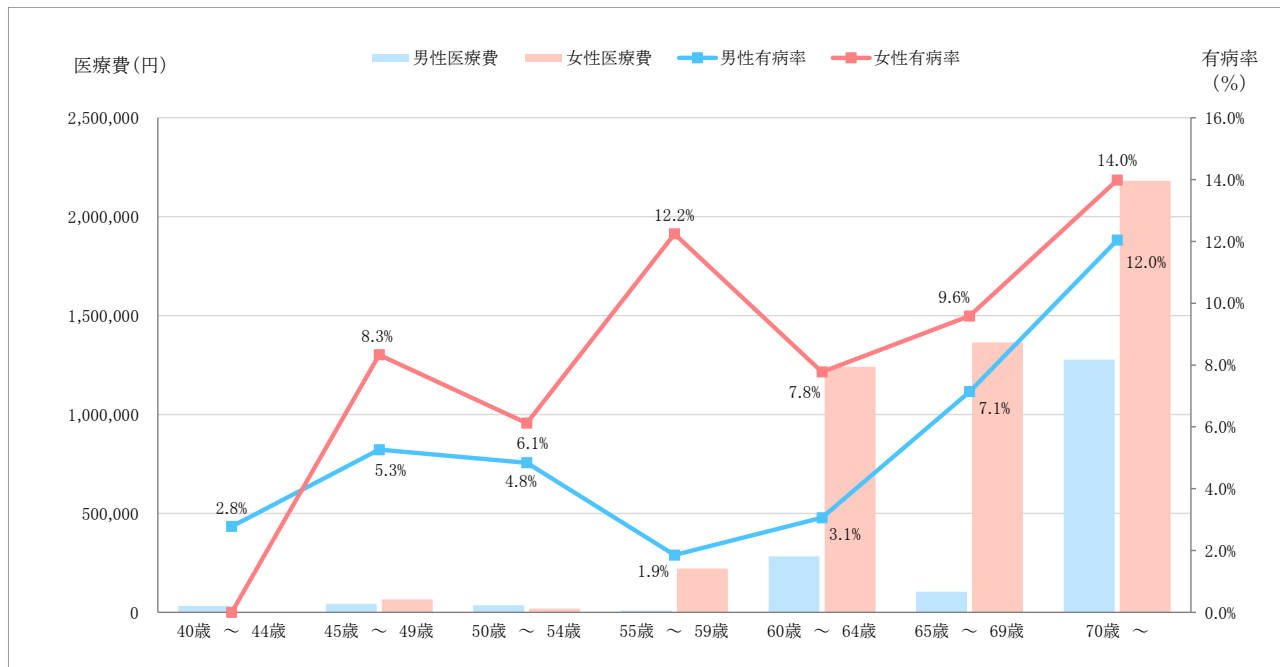
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女年齢階層別の状況は以下のとおりです。

男女年齢階層別 骨折の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

高齢者に骨折が多い理由は、運動機能・筋力の低下で転倒しやすいことに加えて、骨粗鬆症による骨の脆弱化により軽微な外力であっても骨折しやすいことによるとされています。骨粗鬆症は「骨折の最大の危険因子」(「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」)です。

骨粗鬆症の医療費の状況について示したものです。骨粗鬆症医療費は男女計で1,064万円、男性68万円、女性996万円であり、その構成比は男性6.4%、女性93.6%です。また、骨粗鬆症の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では13.1%、男性3.3%、女性23.4%となっています。

男女別 骨粗鬆症医療費の状況

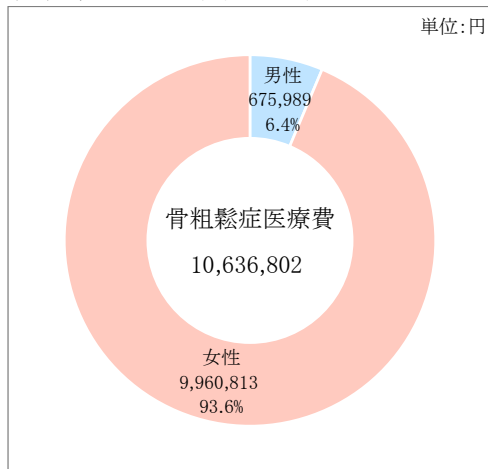
| | 医療費(円) | | 患者数(人) | 患者一人当たりの医療費(円) | 有病率(%) |
|----|------------|--------|--------|----------------|--------|
| | | 構成比(%) | | | |
| 合計 | 10,636,802 | | 164 | 64,859 | 13.1% |
| 男性 | 675,989 | 6.4% | 21 | 32,190 | 3.3% |
| 女性 | 9,960,813 | 93.6% | 143 | 69,656 | 23.4% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症医療費の内訳(男性・女性)



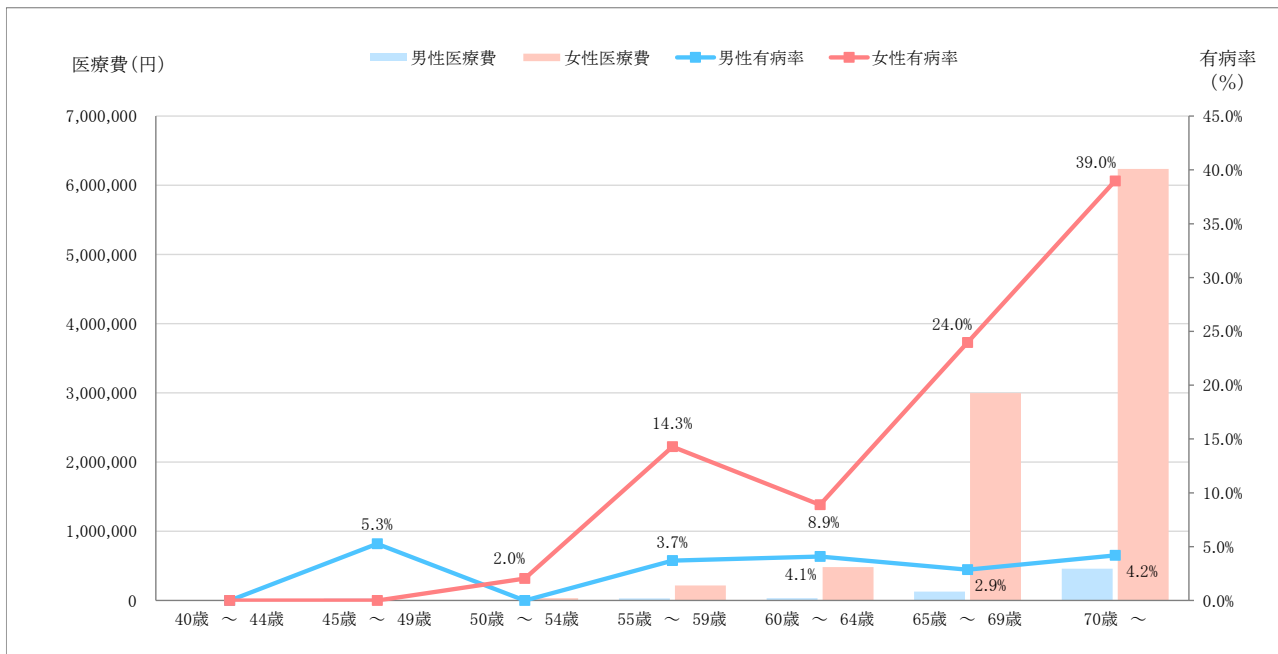
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女年齢階層別の状況は以下のとおりです。

男女年齢階層別 骨粗鬆症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

脆弱性骨折(骨の強度が低下し、軽微な外力によって生じる非外傷性骨折)は、椎体(背骨を構成する骨(椎骨)の円柱状の部分)、大腿骨近位部(足の付け根)、下腿骨(膝と足首の間の骨)、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位端(手首)、肋骨等において発生頻度が高くなっています。骨粗鬆症患者がこれらの部位に骨折を生じた場合、骨折の要因として骨粗鬆症の影響が強く疑われます。骨粗鬆症患者において脆弱性骨折の好発部位に生じた骨折をここでは骨粗鬆症関連骨折と定義して、その発生状況をレセプトデータから確認しました。

骨粗鬆症患者のうち、分析期間に骨粗鬆症関連骨折が発生している患者数は39人であり、患者全体の23.8%を占めています。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折発生状況

| | 患者数(人) | 構成比(%) |
|------------|--------|--------|
| 骨粗鬆症患者全体 | 164 | |
| 骨粗鬆症関連骨折あり | 39 | 23.8% |
| 骨粗鬆症関連骨折なし | 125 | 76.2% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況について示したものです。医療費が最も高いのは「椎体骨折」、患者数が最も多いのは「椎体骨折」、患者一人当たりの医療費が最も高いのは「椎体骨折」となっています。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況

| | 医療費(円) | 構成比(%) | 患者数(人) | 患者一人当たりの医療費(円) |
|----------|-----------|-----------|--------|----------------|
| | 骨粗鬆症関連骨折 | 2,993,601 | | 39 |
| 椎体骨折 | 2,689,527 | 89.8% | 27 | 99,612 |
| 上腕骨近位部骨折 | 0 | 0.0% | 0 | 0 |
| 骨盤骨折 | 16,638 | 0.6% | 4 | 4,160 |
| 肋骨骨折 | 74,927 | 2.5% | 8 | 9,366 |
| 橈骨遠位端骨折 | 12,398 | 0.4% | 1 | 12,398 |
| 大腿骨近位部骨折 | 8,306 | 0.3% | 4 | 2,077 |
| 下腿骨骨折 | 191,805 | 6.4% | 6 | 31,968 |
| 脆弱性骨折 | 0 | 0.0% | 0 | 0 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

集計対象範囲を骨粗鬆症患者に限定しているため、他統計と一致しない。

(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況

骨粗鬆症の治療と予防の目的は、骨折を予防し、生活機能及びQOLの維持・改善を図ることです。骨粗鬆症の薬物治療は長期的な継続が必要ですが、一般的に服薬継続率が低く、それに伴う骨折の抑制率の低下が問題となっています。ここでは令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータから、骨粗鬆症患者の治療状況について分析しました。分析期間に骨粗鬆症治療薬の処方がある患者(治療薬服用中患者)のうち、男女計では6.4%、男性16.7%、女性5.3%が、治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない治療中断患者に該当します。

骨粗鬆症患者の治療状況

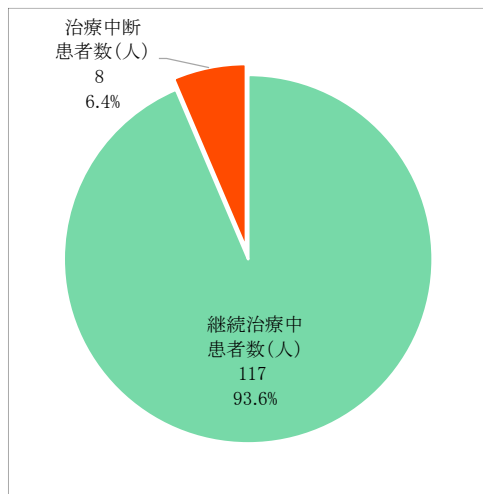
| | A | B | B1 | B2 | B2/B |
|----|------------|--------------|-------------|------------|--------------------------|
| | 骨粗鬆症患者数(人) | 治療薬服用中患者数(人) | | | 治療薬服用中患者に占める治療中断患者の割合(%) |
| | | | 継続治療中患者数(人) | 治療中断患者数(人) | |
| 合計 | 164 | 125 | 117 | 8 | 6.4% |
| 男性 | 21 | 12 | 10 | 2 | 16.7% |
| 女性 | 143 | 113 | 107 | 6 | 5.3% |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

骨粗鬆症治療薬服用中患者の治療継続状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

治療中断患者の判定について

治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない場合に当該治療薬について中断とする。分析期間内に複数の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者については、処方されている全ての骨粗鬆症治療薬について中断に該当する場合のみ、治療中断患者として判定している。

(3) 骨折有無別要介護認定状況

要介護状態と疾病の有病状況との関連について、高齢者が寝たきりや要介護状態になるきっかけの一つであるとされる骨折に着目して分析しました。

骨折に係る医療費が発生している場合に「骨折あり」、そうでない場合に「骨折なし」として、各集団における要介護認定状況を比較しました。「骨折あり」の集団における要介護認定者の割合は5.71%、「骨折なし」の集団における要介護認定者の割合は2.18%です。

骨折有無別 要介護認定状況

単位:人

| 骨折の有無 | 非該当 | 要介護認定 | | | | | | | | 不明 | 合計 |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 要支援 | | 要介護 | | | | | | | |
| | | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | | | |
| 骨折あり | 99 | 6 | 0 | 1 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 105 |
| | 94.29% | 5.71% | 0.00% | 0.95% | 0.95% | 3.81% | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% | |
| 骨折なし | 1,120 | 25 | 1 | 2 | 1 | 6 | 2 | 7 | 6 | 0 | 1,145 |
| | 97.82% | 2.18% | 0.09% | 0.17% | 0.09% | 0.52% | 0.17% | 0.61% | 0.52% | 0.00% | |
| 合計 | 1,219 | 31 | 1 | 3 | 2 | 10 | 2 | 7 | 6 | 0 | 1,250 |
| | 97.52% | 2.48% | 0.08% | 0.24% | 0.16% | 0.80% | 0.16% | 0.56% | 0.48% | 0.00% | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

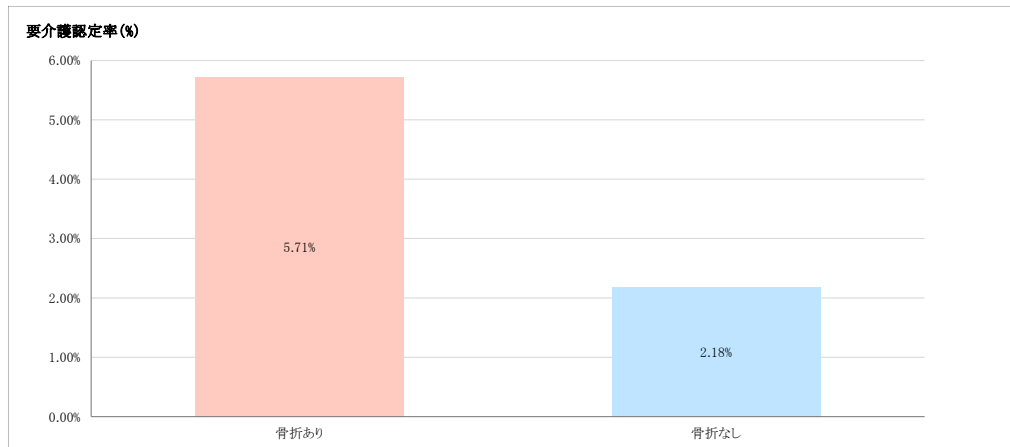
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している(介護データの期間内で資格が確認できた最終年月において、要介護認定者ではない被保険者は「非該当」とする。)。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折有無別 要介護認定者の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護認定状況で集計している。

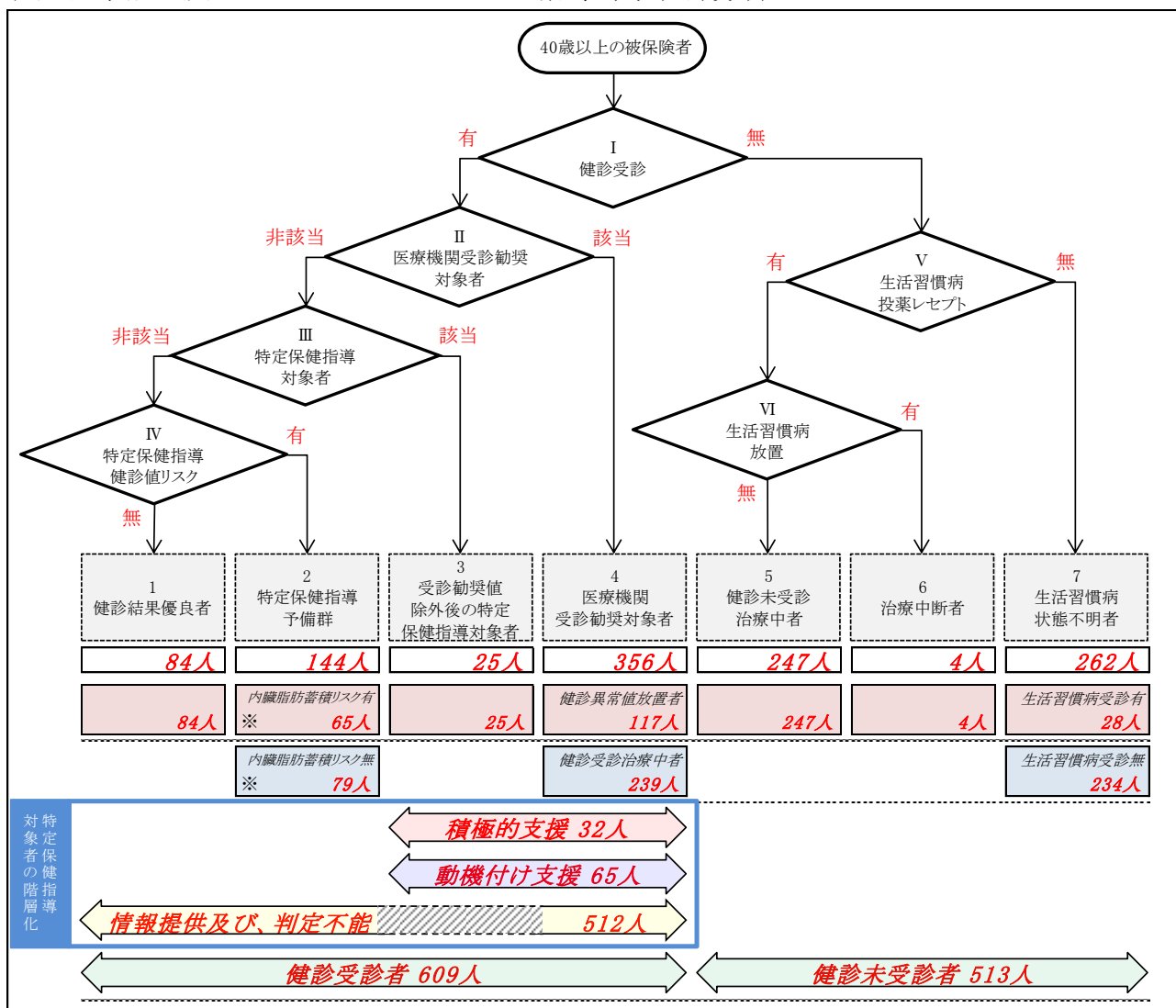
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

1. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行います。以下は、40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類した結果を示したものです。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(1) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めています。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人が存在します。これらの対象者をレセプトにより見極めます。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおける「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する117人が健診異常値放置受診勧奨対象者となります。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

条件設定により対象となった候補者数

117 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察されます。また、指導が困難な可能性も考えられます。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外します。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定

| | | |
|--------------|--------------------------|---------|
| | | 除外理由別人数 |
| 除外 | がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析 | 13 人 |
| 除外患者を除いた候補者数 | | 104 人 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者104人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めることを目的としています。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を健診異常値放置受診勧奨対象者とします。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定しました。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではありますが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択します。

優先順位(健診異常値放置)

| Ⅲ.優先順位 | | | |
|------------------------|------------------------|-----------------|-----------------|
| ↑ 高 効果 ↓ 低 | 医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ | 候補者A 0人 | 候補者C 2人 |
| | 医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ | 候補者B 8人 | 候補者D 20人 |
| | 医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ | 候補者E 25人 | 候補者F 49人 |
| | 喫煙 | 非喫煙 | |
| ←高 リスク 低→ | | | |
| 効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数 | | | 104人 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(2)生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがあります。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性があります。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいては、「6.治療中断者」と健診受診者のうち治療中断が発生している患者を合わせた6人が対象となります。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

| I.条件設定による指導対象者の特定 | | |
|---|-----------|-------|
| ・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者 | | |
| | | 候補者人数 |
| 指導対象者群 分析結果 | 6 治療中断者 | 4 人 |
| | 上記以外のグループ | 2 人 |
| 条件設定により対象となった候補者数 (合計) | | 6 人 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいて、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

- ①「1 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者
- ②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察されます。また、指導が困難な可能性も考えられます。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外します。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

| II.除外設定 | | |
|--------------------|--------------------------|---------|
| | | 除外理由別人数 |
| 除外 | がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析 | 0 人 |
| 除外患者を除き、候補者となった患者数 | | 6 人 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者6人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めることを目的としています。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を生活習慣病治療中断者とします。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先としています。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

| Ⅲ.優先順位 | | | | |
|---------------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|
| ↑高 効果 ↓低 | 生活習慣病有病数 3つ | 候補者A1 0人 | 候補者A2 0人 | 候補者A3 0人 |
| | 生活習慣病有病数 2つ | 候補者B1 0人 | 候補者B2 0人 | 候補者B3 0人 |
| | 生活習慣病有病数 1つ | 候補者C1 0人 | 候補者C2 2人 | 候補者C3 4人 |
| | | 毎月受診 | 2~3カ月に1度受診 | 4カ月以上の定期受診 |
| 効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数 | | | | 6人 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月~令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

2. 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

国は、健康日本21(第二次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取り組みの強化を進めています。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的です。

(1) 人工透析患者の実態

人工透析患者の分析結果を以下に示します。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、66.7%が生活習慣を起因とするものであり、50.0%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

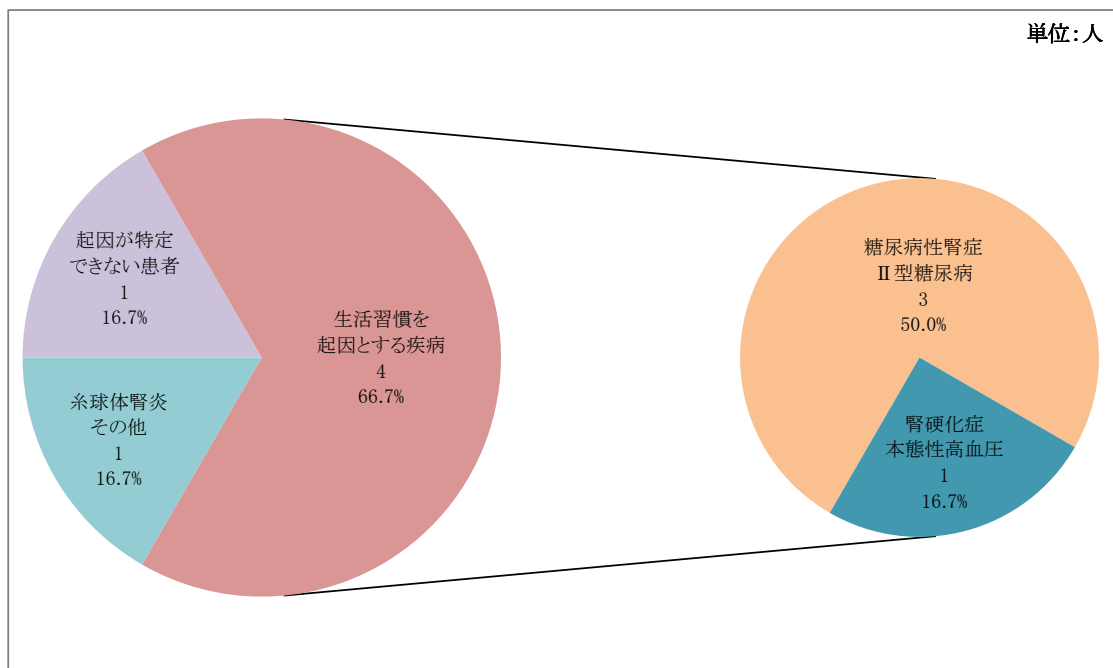
| 透析療法の種類 | 透析患者数 (人) |
|------------|--------------|
| 血液透析のみ | 6 |
| 腹膜透析のみ | 0 |
| 血液透析及び腹膜透析 | 0 |
| 透析患者合計 | 6 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、令和3年4月～令和4年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者と、令和4年4月～令和5年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者を比較し、後者の期間の新規透析患者数を集計しました。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における新規透析患者数は2人です。

新規透析患者数

単位:人

| 透析に至った起因 | A | | B | | Aにおいて透析患者ではなく Bにおいて透析患者となった人数 新規透析患者 ※1 ※2 |
|-----------------|-----------------------------|-----------|-----------------------------|-----------|---|
| | 令和3年4月～令和4年3月 診療分(12カ月分) | 割合 (%) | 令和4年4月～令和5年3月 診療分(12カ月分) | 割合 (%) | |
| ① 糖尿病性腎症 I型糖尿病 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 |
| ② 糖尿病性腎症 II型糖尿病 | 4 | 80.0% | 3 | 50.0% | 0 |
| ③ 糸球体腎炎 IgA腎症 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 |
| ④ 糸球体腎炎 その他 | 1 | 20.0% | 1 | 16.7% | 0 |
| ⑤ 腎硬化症 本態性高血圧 | 0 | 0.0% | 1 | 16.7% | 1 |
| ⑥ 腎硬化症 その他 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 |
| ⑦ 痛風腎 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 |
| ⑧ 起因が特定できない患者 ※ | 0 | 0.0% | 1 | 16.7% | 1 |
| 透析患者合計 | 5 | | 6 | | 2 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

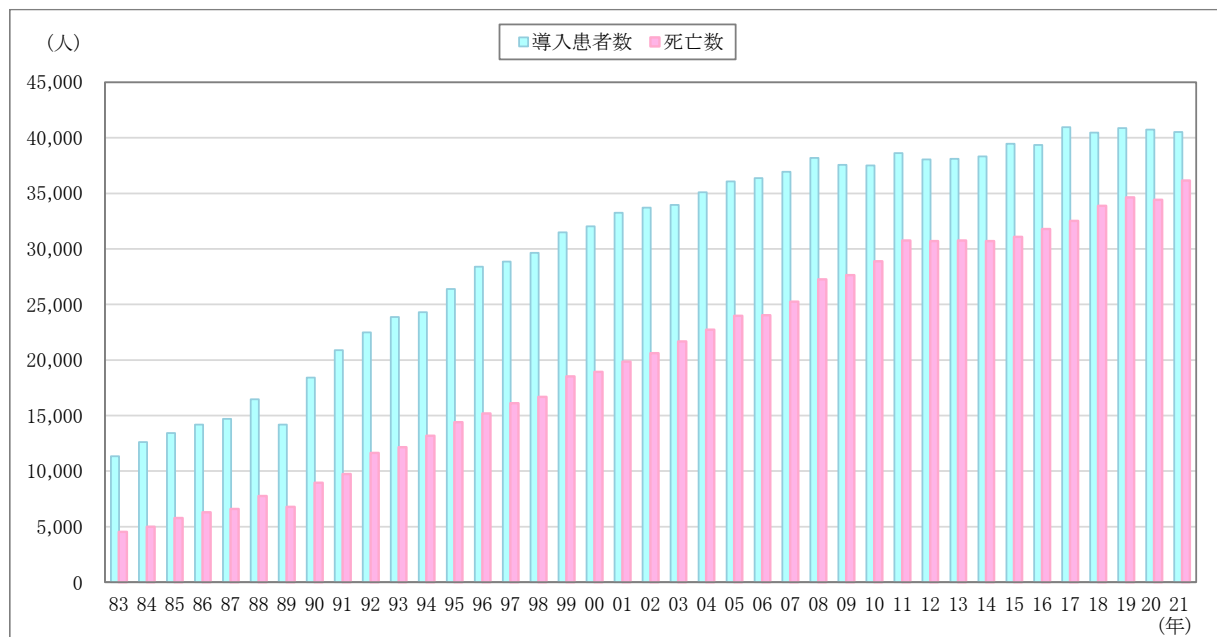
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※1 新規透析患者の定義…Aの期間に透析患者ではなく、Bの期間に透析患者となった患者。

※2 Aの期間とBの期間で起因となる傷病名が違う場合、該当の欄に集計される。そのため、B-Aは一致しない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

[参考資料] 日本の透析導入患者数と死亡数の推移



出典:一般社団法人 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況(2021年12月31日現在)」 施設調査による集計

※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響。

(2) 指導対象者集団の特定

「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。

以下は、腎症患者の全体像を示したものです。

腎症患者の全体像

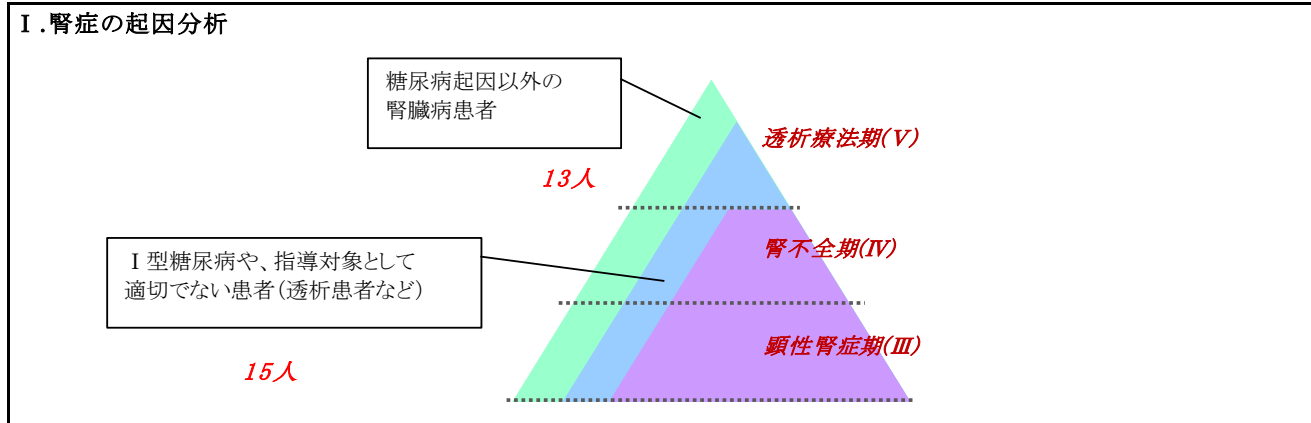
| 病期 | | 臨床的特徴 | 治療内容 |
|-----|-------|--|---------------------------------|
| V | 透析療法期 | 透析療法中。 | 透析療法、腎移植。 |
| IV | 腎不全期 | 蛋白尿。血清Crが上昇し、腎機能は著明低下する。尿毒症等の自覚症状あり。 | 食事療法(低蛋白食)、透析療法導入、厳格な降圧治療。 |
| III | 顕性腎症期 | 蛋白尿。腎機能は高度に低下。尿毒症等の自覚症状あり。 | 厳格な血糖コントロール、食事療法(低蛋白食)、厳格な降圧治療。 |
| II | 早期腎症期 | 微量アルブミン尿、血清Crが正常、時に高値。 ※尿蛋白、血清Cr共に正常だが糖尿病と診断されて10年以上の場合を含む。 | 血糖コントロール、降圧治療。 |
| I | 腎症前期 | 尿蛋白は正常。血清Crが正常、時に高値。 | 血糖コントロール。 |

| | |
|------------|--------|
| III期以降腎症患者 | 合計 60人 |
|------------|--------|

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

はじめに、「腎症の起因分析」を行います。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、13人の患者が存在します。また、青色部分は糖尿病患者ですが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、15人の患者が存在します。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となります。

腎症の起因分析

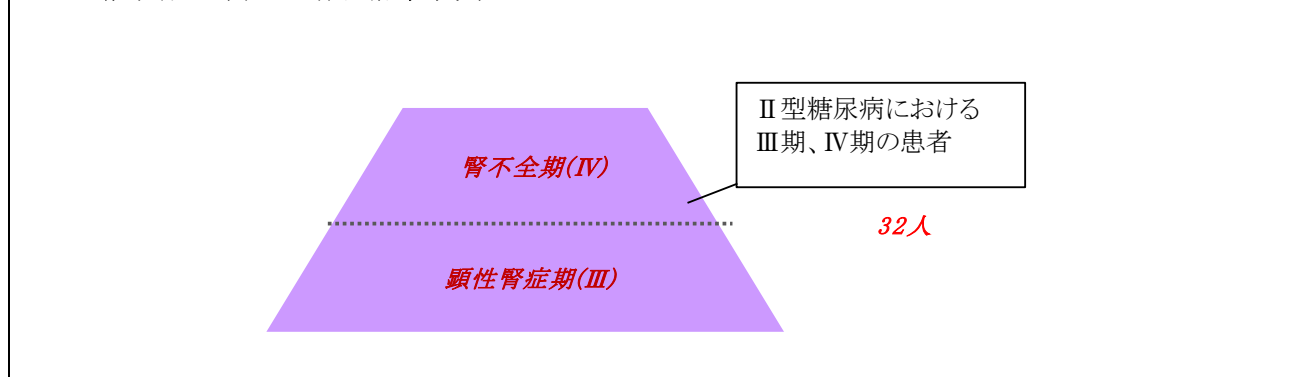


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に示すのは、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」です。重症化予防を実施するに当たり適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期です。該当する病期の患者は合わせて32人となっています。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ.Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



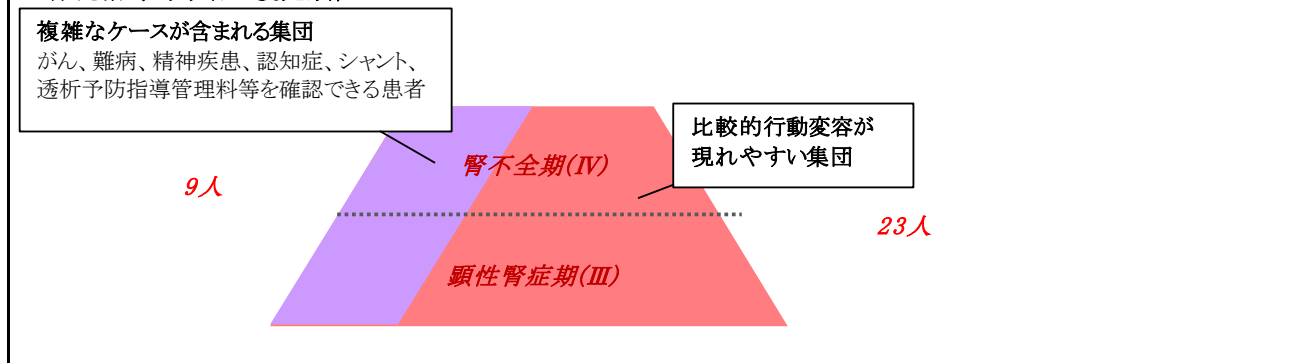
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。32人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、9人存在します。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、23人存在します。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがありません。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

保健指導対象者の優先順位

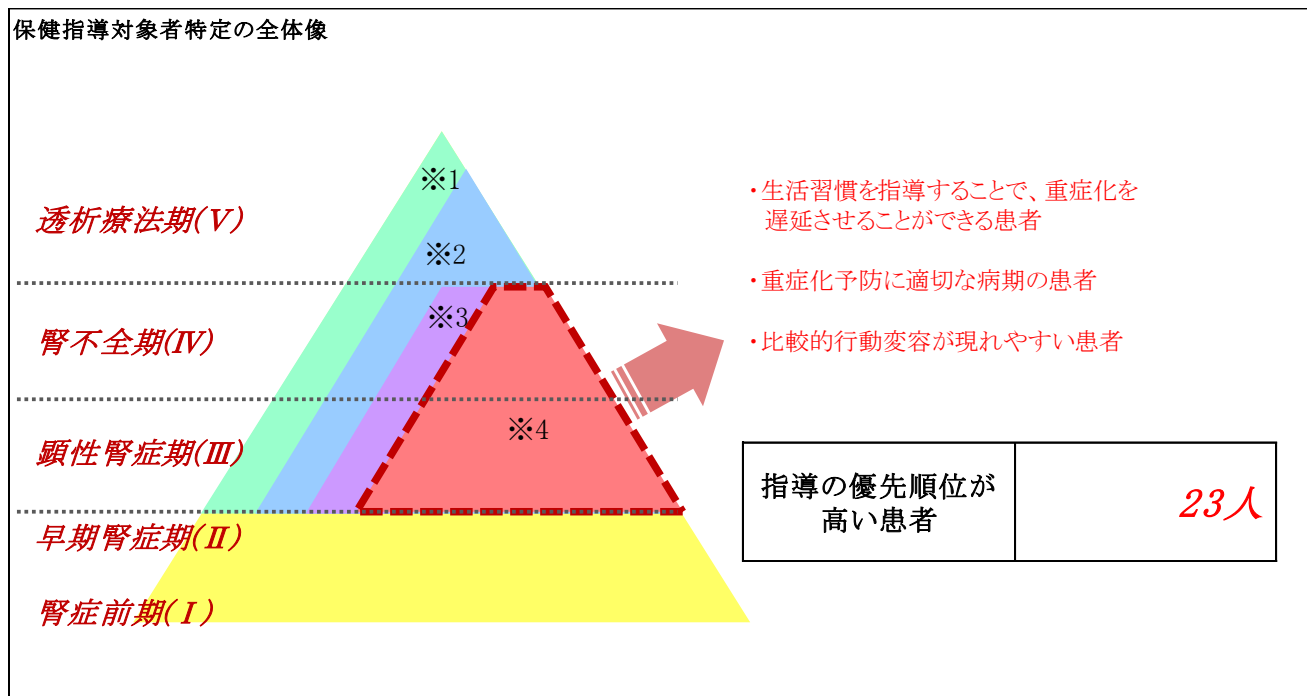
Ⅲ.保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起病因分析」「Ⅱ型糖尿病を起病因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、23人となりました。以下は、この分析の全体像を示したものです。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※1…糖尿病起病因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

3. 受診行動適正化指導対象者に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要となります。以下は、指導対象者数の分析結果を示したものです。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

重複受診者数

| | 令和4年4月 | 令和4年5月 | 令和4年6月 | 令和4年7月 | 令和4年8月 | 令和4年9月 | 令和4年10月 | 令和4年11月 | 令和4年12月 | 令和5年1月 | 令和5年2月 | 令和5年3月 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 重複受診者数(人) ※ | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| 12カ月間の延べ人数 | | | | | | | | | | | 10人 | |
| 12カ月間の実人数 | | | | | | | | | | | 9人 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

| | 令和4年4月 | 令和4年5月 | 令和4年6月 | 令和4年7月 | 令和4年8月 | 令和4年9月 | 令和4年10月 | 令和4年11月 | 令和4年12月 | 令和5年1月 | 令和5年2月 | 令和5年3月 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 頻回受診者数(人) ※ | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 |
| 12カ月間の延べ人数 | | | | | | | | | | | 17人 | |
| 12カ月間の実人数 | | | | | | | | | | | 5人 | |

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

| | 令和4年4月 | 令和4年5月 | 令和4年6月 | 令和4年7月 | 令和4年8月 | 令和4年9月 | 令和4年10月 | 令和4年11月 | 令和4年12月 | 令和5年1月 | 令和5年2月 | 令和5年3月 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 重複服薬者数(人) ※ | 1 | 2 | 1 | 3 | 3 | 1 | 2 | 4 | 4 | 2 | 0 | 3 |
| 12カ月間の延べ人数 | | | | | | | | | | | 26人 | |
| 12カ月間の実人数 | | | | | | | | | | | 19人 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は9人、頻回受診者は5人、重複服薬者は19人存在しています。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることです。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要があります。ここでは、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析しました。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行います。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少します。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

| I. 条件設定による指導対象者の特定 | |
|---|------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 | |
| 条件設定により候補者となった患者数 | 32人 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性があります。また、指導が困難な可能性も考えられます。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外します。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

| II. 除外設定 | | |
|--------------------|--------------------------|------------|
| | | 除外理由別人数 |
| 除外 | がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析 | 24人 |
| ↓ | | |
| 除外患者を除き、候補者となった患者数 | | 8人 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者8人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定します。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めることを目的としています。効果については、レセプト期間最終月から6カ月間遡ったレセプトのうち、5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先します。効率については、指導のポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とします。以下のとおり、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは0人となりました。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

| Ⅲ.優先順位 | | | | |
|-------------------------|---|------------|------------|-------------|
| ↑高 効果 ↓低 | 最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 | 候補者A 0人 | 候補者C 0人 | 候補者 としない |
| | 最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 | 候補者B 0人 | 候補者D 0人 | |
| | 最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当) | 候補者E 0人 | 候補者F 0人 | |
| | その他の 重複・頻回・重複服薬患者 | | | 8人 |
| | 60歳以上 | 50～59歳 | 50歳未満 | |
| ←良 効率 悪→ | | | | |
| 効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数 | | | 0人 | |

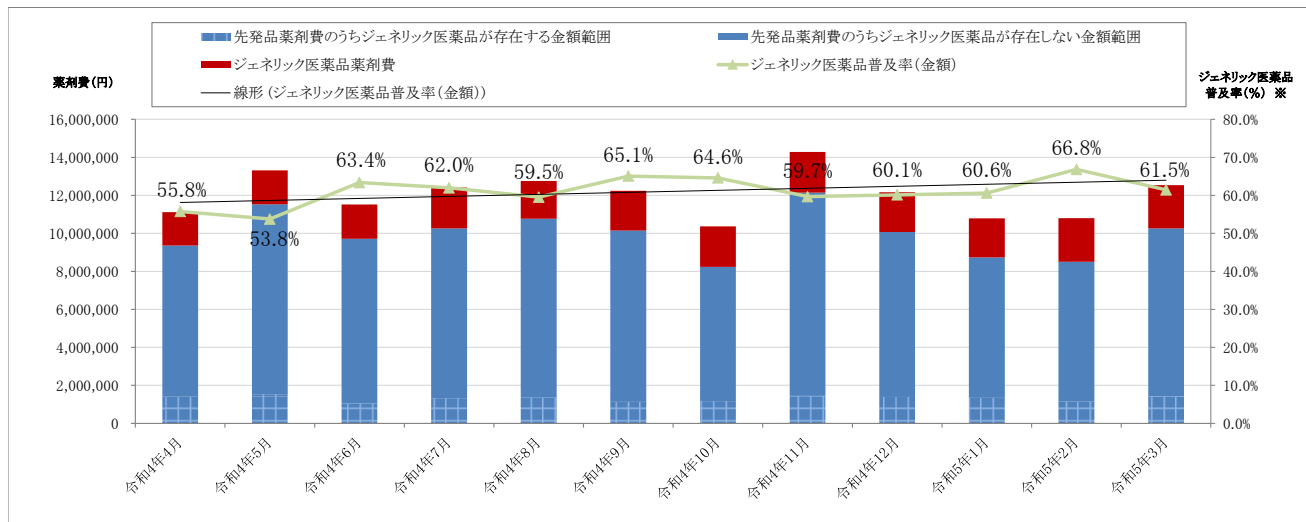
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

4. ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

以下は、診療年月毎の状況について示したものです。令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率は、金額ベースでは61.1%、数量ベースでは85.6%となっています。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

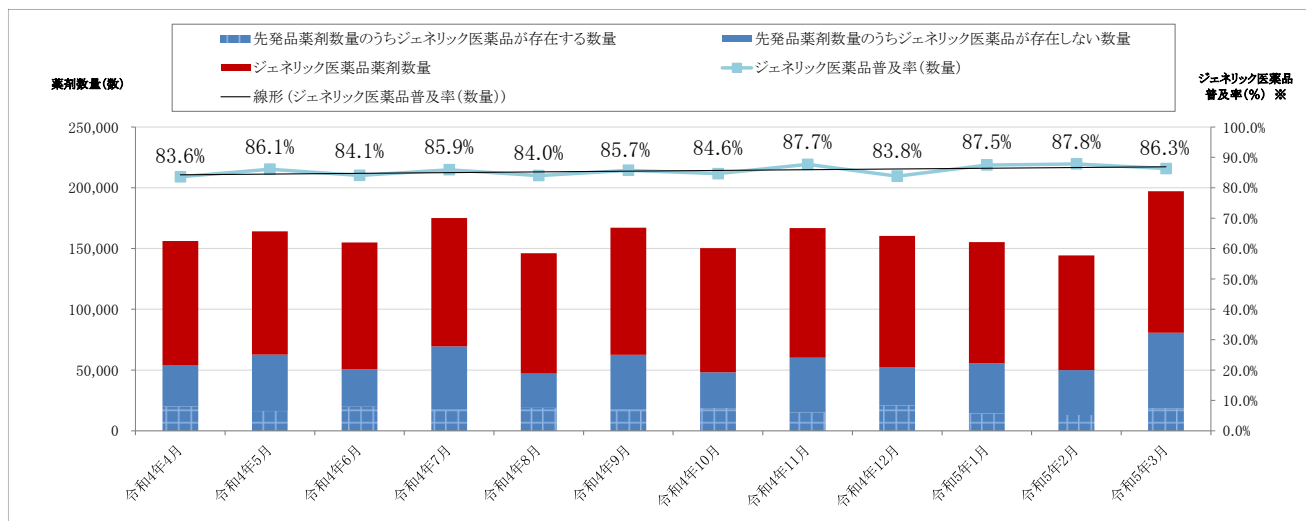


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



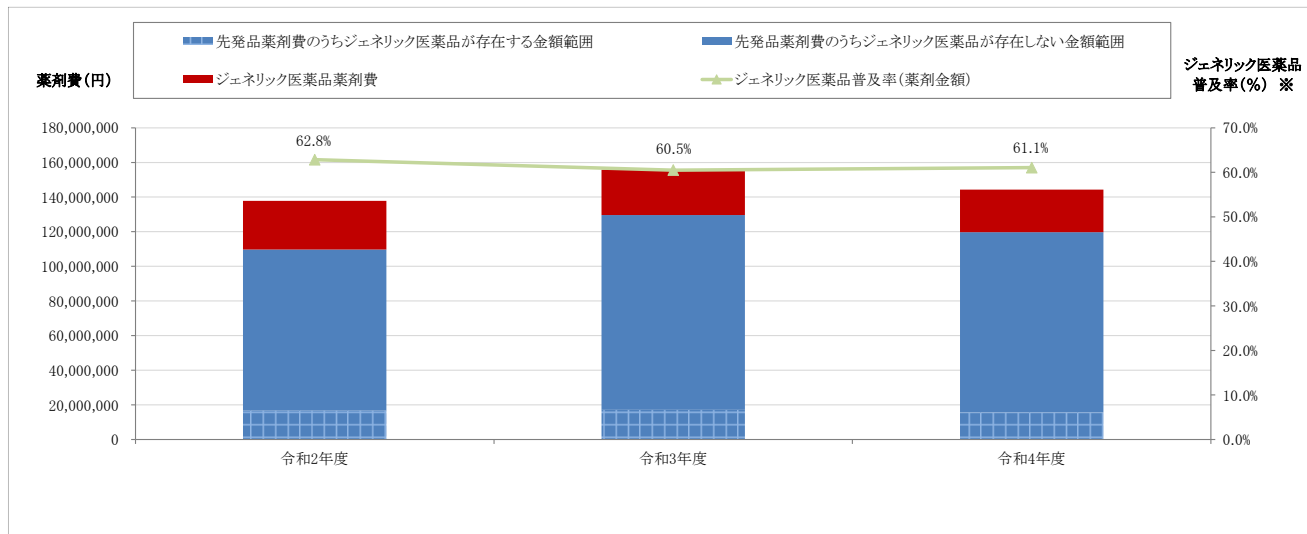
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

令和2年度から令和4年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものです。令和4年度を令和2年度と比較すると、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)61.1%は、令和2年度62.8%より1.7ポイント減少しており、ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)85.6%は、令和2年度86.2%より0.6ポイント減少しています。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

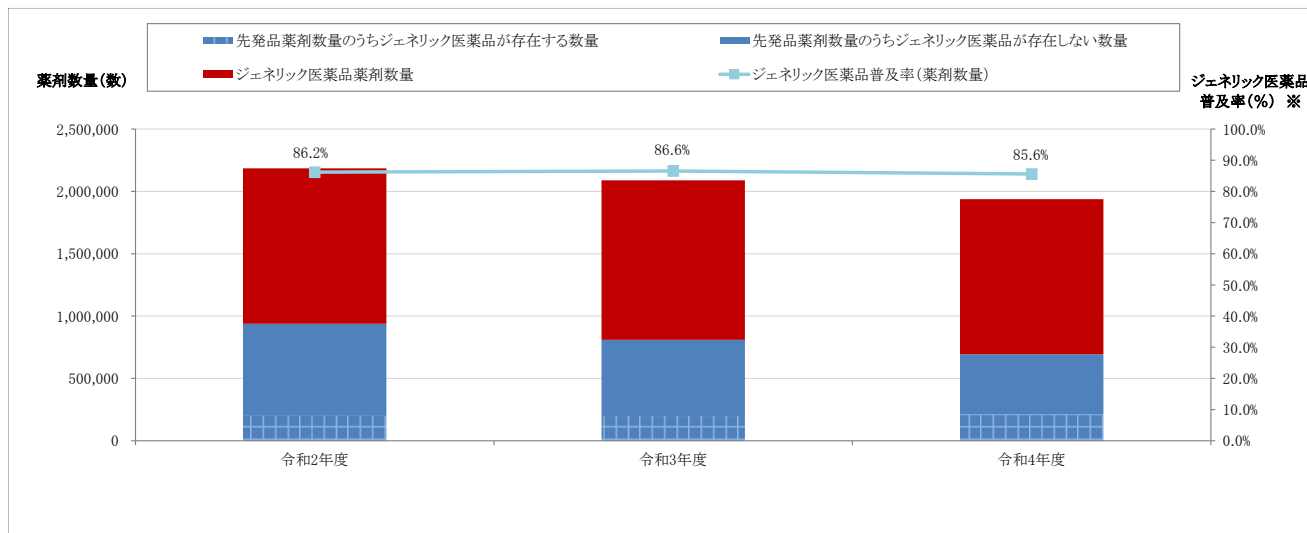


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



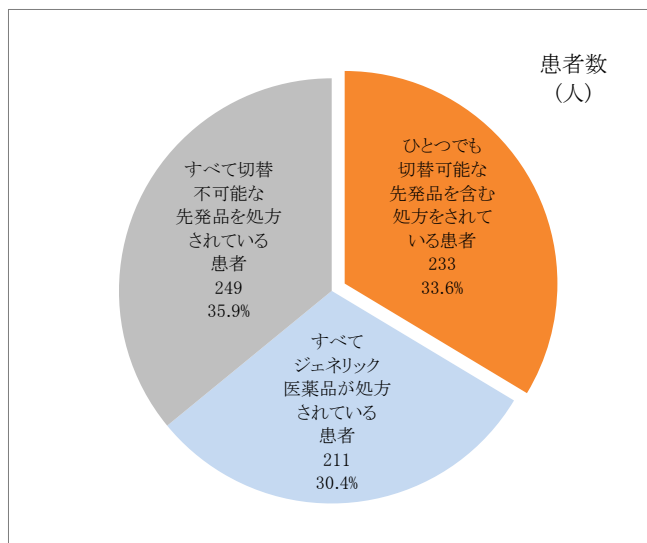
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

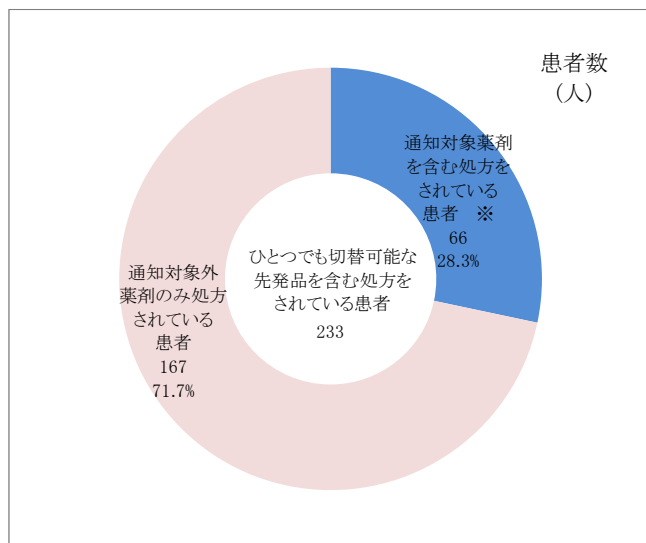
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

令和5年3月診療分のレセプトデータから、薬剤処方状況別の患者数を示したものです。患者数は693人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は233人で患者数全体の33.6%を占めています。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、66人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の28.3%を占めています。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方されている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性があります。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認しますが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、既に処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性があります。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)において、薬剤併用禁忌が発生した延べ人数は30人、実人数は19人となっています。

薬剤併用禁忌対象者数

| | 令和4年4月 | 令和4年5月 | 令和4年6月 | 令和4年7月 | 令和4年8月 | 令和4年9月 | 令和4年10月 | 令和4年11月 | 令和4年12月 | 令和5年1月 | 令和5年2月 | 令和5年3月 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 薬剤併用禁忌対象者数(人)※ | 0 | 2 | 2 | 3 | 3 | 5 | 2 | 1 | 2 | 4 | 3 | 3 |
| 12カ月間の延べ人数 | | | | | | | | | | | 30人 | |
| 12カ月間の実人数 | | | | | | | | | | | 19人 | |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを示したものです。

| | |
|---------|----|
| 実人数(人) | 19 |
| 件数合計(件) | 36 |

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

| No. | (X) 剤型名 | (X) 医薬品 コード | (X) 医薬品名 | (Y) 剤型名 | (Y) 医薬品 コード | (Y) 医薬品名 | 件数 |
|-----|------------|-------------------|----------------------|------------|-------------------|---------------------|----|
| 1 | 内服 | 620002023 | カロナール錠200 200mg | 内服 | 622648703 | トアラセット配合錠「VTRS」 | 7 |
| 2 | 内服 | 620002023 | カロナール錠200 200mg | 内服 | 622652301 | トアラセット配合錠「日医工」 | 7 |
| 3 | 内服 | 622381201 | カロナール錠500 500mg | 内服 | 620160501 | PL配合顆粒 | 6 |
| 4 | 内服 | 622381201 | カロナール錠500 500mg | 内服 | 620160801 | トローチーム配合顆粒 | 6 |
| 5 | 内服 | 622657001 | エトレリブタン錠20mg「トローワ」 | 内服 | 621499601 | クリアミン配合錠A1.0 | 1 |
| 6 | 内服 | 622381201 | カロナール錠500 500mg | 内服 | 620160601 | サラザック配合顆粒 | 1 |
| 7 | 内服 | 622381201 | カロナール錠500 500mg | 内服 | 622648703 | トアラセット配合錠「VTRS」 | 1 |
| 8 | 内服 | 622381201 | カロナール錠500 500mg | 内服 | 622652301 | トアラセット配合錠「日医工」 | 1 |
| 9 | 内服 | 622081101 | トラムセット配合錠 | 内服 | 622381201 | カロナール錠500 500mg | 1 |
| 10 | 内服 | 612140561 | ナトリックス錠2 2mg | 内服 | 622688201 | ミニリンメルトOD錠50μg | 1 |
| 11 | 内服 | 620002804 | フルコナゾールカプセル50mg「アメル」 | 内服 | 620006783 | ロナセン錠4mg | 1 |
| 12 | 内服 | 622374301 | ベルソムラ錠20mg | 内服 | 622909201 | クラリスロマイシン錠200mg「大正」 | 1 |
| 13 | 外用 | 620518102 | ボスミン外用液0.1% | 外用 | 620004231 | ツロブテロールテープ1mg「サワイ」 | 1 |
| 14 | 外用 | 620518102 | ボスミン外用液0.1% | 外用 | 620004835 | メブチン吸入液0.01% | 1 |

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

6. 長期多剤服薬者に係る分析

医薬品の多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながるおそれがあります。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等があります。複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要です。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行います。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている対象者のうち、基準月(令和5年3月)に6種類以上の内服薬を服用している長期多剤服薬者は105人となっています。

薬剤種類数別長期服薬者数

| 年齢階層 | 対象者数(人) | | | | | | | | |
|----------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|-------|
| | ～ 39歳 | 40歳～ 44歳 | 45歳～ 49歳 | 50歳～ 54歳 | 55歳～ 59歳 | 60歳～ 64歳 | 65歳～ 69歳 | 70歳～ | 合計 |
| 被保険者数(人) | 226 | 44 | 74 | 97 | 95 | 179 | 265 | 368 | 1,348 |
| 薬剤種類数 | 2種類 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 5 | 13 |
| | 3種類 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 | 13 |
| | 4種類 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 5 | 15 |
| | 5種類 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 | 5 | 18 |
| | 6種類 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 | 3 | 6 | 27 |
| | 7種類 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 8 | 24 |
| | 8種類 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 4 | 16 |
| | 9種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 3 | 9 |
| | 10種類 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| | 11種類 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 9 |
| | 12種類 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 6 |
| | 13種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| | 14種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 15種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 16種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 17種類 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 18種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 19種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 20種類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 21種類以上 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 7 | 4 | 2 | 9 | 10 | 24 | 44 | 64 |



| | |
|--------------|-----|
| 長期多剤服薬者数(人)※ | 105 |
|--------------|-----|

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(15日以上)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料:日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

また、長期多剤服薬者105人が被保険者全体に占める割合は7.8%、長期服薬者全体に占める割合は64.0%となっています。

長期多剤服薬者の状況

| | | ～ 39歳 | 40歳～ 44歳 | 45歳～ 49歳 | 50歳～ 54歳 | 55歳～ 59歳 | 60歳～ 64歳 | 65歳～ 69歳 | 70歳～ | 合計 |
|-----|----------------------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| A | 被保険者数(人) | 226 | 44 | 74 | 97 | 95 | 179 | 265 | 368 | 1,348 |
| B | 長期服薬者数(人)※ | 7 | 4 | 2 | 9 | 10 | 24 | 44 | 64 | 164 |
| C | 長期多剤服薬者数(人)※ | 2 | 4 | 2 | 6 | 8 | 16 | 26 | 41 | 105 |
| C/A | 被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%) | 0.9% | 9.1% | 2.7% | 6.2% | 8.4% | 8.9% | 9.8% | 11.1% | 7.8% |
| C/B | 長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%) | 28.6% | 100.0% | 100.0% | 66.7% | 80.0% | 66.7% | 59.1% | 64.1% | 64.0% |

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(15日)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

■単年分析

【基礎統計】

| | |
|-----|--------------|
| 医療費 | 484,167,140円 |
|-----|--------------|

【高額(5万点以上)レセプト分析】

| | |
|-------------|-------|
| 高額レセプト件数 | 175件 |
| 高額レセプト件数割合 | 0.9% |
| 高額レセプト医療費割合 | 39.0% |

【大分類による疾病別医療費統計】

| 医療費が高額な疾病 | | 医療費 | 構成比 |
|-----------|---------|-------------|-------|
| 1位 | 循環器系の疾患 | 76,984,055円 | 15.9% |
| 2位 | 新生物<腫瘍> | 63,692,088円 | 13.2% |
| 3位 | 神経系の疾患 | 52,061,035円 | 10.8% |

| 患者数が多い疾病 | | 患者数 |
|----------|---------------|------|
| 1位 | 循環器系の疾患 | 710人 |
| 2位 | 消化器系の疾患 | 689人 |
| 3位 | 内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 683人 |

| 患者一人当たりの医療費が高額な疾病 | | 患者一人当たりの医療費 |
|-------------------|-----------|-------------|
| 1位 | 新生物<腫瘍> | 207,466円 |
| 2位 | 精神及び行動の障害 | 184,149円 |
| 3位 | 神経系の疾患 | 154,027円 |

【中分類による疾病別医療費統計】

| 医療費が高額な疾病 | | 医療費 | 構成比 |
|-----------|---------------|-------------|------|
| 1位 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,628,188円 | 6.8% |
| 2位 | その他の神経系の疾患 | 31,909,432円 | 6.6% |
| 3位 | 糖尿病 | 30,531,458円 | 6.3% |

| 患者数が多い疾病 | | 患者数 |
|----------|-------------|------|
| 1位 | 高血圧性疾患 | 590人 |
| 2位 | その他の消化器系の疾患 | 449人 |
| 3位 | 糖尿病 | 424人 |

| 患者一人当たりの医療費が高額な疾病 | | 患者一人当たりの医療費 |
|-------------------|------------------|-------------|
| 1位 | 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 941,265円 |
| 2位 | 血管性及び詳細不明の認知症 | 823,326円 |
| 3位 | 腎不全 | 555,156円 |

【生活習慣病医療費の状況】

| | |
|----------|--------------|
| 生活習慣病医療費 | 109,567,426円 |
|----------|--------------|

【特定健康診査結果分析】

| メタボリックシンドローム該当状況 | | 該当割合 |
|------------------|--|-------|
| 基準該当 | | 22.5% |
| 予備群該当 | | 15.6% |

| 有所見者割合が高い検査項目 | | 有所見者割合 |
|---------------|------------|--------|
| 1位 | 収縮期血圧 | 53.4% |
| 2位 | LDLコレステロール | 52.7% |
| 3位 | 空腹時血糖 | 49.6% |

【健診異常値放置者の状況】

| | |
|----------|------|
| 健診異常値放置者 | 117人 |
|----------|------|

【生活習慣病治療中断者の状況】

| | |
|------------|----|
| 生活習慣病治療中断者 | 6人 |
|------------|----|

【人工透析患者の状況】

| | |
|-------------|----|
| 人工透析患者 | 6人 |
| (Ⅱ型糖尿病起因患者) | 3人 |

【医療機関受診状況】

| | |
|-------|-----|
| 重複受診者 | 9人 |
| 頻回受診者 | 5人 |
| 重複服薬者 | 19人 |

※令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

| | |
|--------------|-------|
| ジェネリック医薬品普及率 | 85.6% |
|--------------|-------|

【薬剤併用禁忌の発生状況】

| | |
|-----------|-----|
| 薬剤併用禁忌対象者 | 19人 |
|-----------|-----|

【服薬状況】

| | |
|---------|------|
| 長期多剤服薬者 | 105人 |
|---------|------|

【骨折医療費及び骨粗鬆症患者の状況】

| | 男女合計 | 男性 | 女性 |
|---------------|------------|------------|------------|
| 骨折医療費 | 6,879,463円 | 1,786,795円 | 5,092,668円 |
| 骨折患者数 | 109人 | 44人 | 65人 |
| 患者一人当たりの骨折医療費 | 63,114円 | 40,609円 | 78,349円 |

| | 男女合計 | 男性 | 女性 |
|--------------------------|------|-------|------|
| 骨粗鬆症患者数 | 164人 | 21人 | 143人 |
| 骨粗鬆症治療薬服用中患者数 | 125人 | 12人 | 113人 |
| 骨粗鬆症治療中断患者数 | 8人 | 2人 | 6人 |
| 治療薬服用中患者に占める 治療中断患者割合 | 6.4% | 16.7% | 5.3% |

【要介護認定状況】

| | 男女合計 | 男性 | 女性 |
|-----------|------|------|------|
| 要介護認定者の割合 | 2.5% | 3.1% | 1.8% |

■年度分析

【基礎統計】

| 年度 | 医療費 |
|-------|--------------|
| 令和2年度 | 530,854,450円 |
| 令和3年度 | 467,243,320円 |
| 令和4年度 | 484,167,140円 |

【高額(5万点以上)レセプト分析】

| 年度 | 高額レセプト件数 | 高額レセプト件数割合 | 高額レセプト医療費割合 |
|-------|----------|------------|-------------|
| 令和2年度 | 179件 | 0.8% | 35.7% |
| 令和3年度 | 150件 | 0.7% | 33.3% |
| 令和4年度 | 175件 | 0.9% | 39.0% |

【大分類による疾病別医療費統計】

| 医療費が高額な疾病 | | | 医療費 | 構成比 |
|-----------|----|---------------|-------------|-------|
| 令和2年度 | 1位 | 新生物<腫瘍> | 70,941,964円 | 13.4% |
| | 2位 | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 61,103,133円 | 11.5% |
| | 3位 | 循環器系の疾患 | 59,213,235円 | 11.2% |
| 令和3年度 | 1位 | 新生物<腫瘍> | 81,478,326円 | 17.5% |
| | 2位 | 循環器系の疾患 | 53,832,039円 | 11.5% |
| | 3位 | 内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 50,649,374円 | 10.9% |
| 令和4年度 | 1位 | 循環器系の疾患 | 76,984,055円 | 15.9% |
| | 2位 | 新生物<腫瘍> | 63,692,088円 | 13.2% |
| | 3位 | 神経系の疾患 | 52,061,035円 | 10.8% |

【中分類による疾病別医療費統計】

| 医療費が高額な疾病 | | | 医療費 | 構成比 |
|-----------|----|---------------|-------------|------|
| 令和2年度 | 1位 | その他の神経系の疾患 | 38,791,412円 | 7.3% |
| | 2位 | 腎不全 | 35,222,836円 | 6.7% |
| | 3位 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 35,055,712円 | 6.6% |
| 令和3年度 | 1位 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,899,761円 | 7.1% |
| | 2位 | 糖尿病 | 32,035,805円 | 6.9% |
| | 3位 | その他の神経系の疾患 | 31,287,828円 | 6.7% |
| 令和4年度 | 1位 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 32,628,188円 | 6.8% |
| | 2位 | その他の神経系の疾患 | 31,909,432円 | 6.6% |
| | 3位 | 糖尿病 | 30,531,458円 | 6.3% |

【生活習慣病医療費の状況】

| 年度 | 生活習慣病医療費 |
|-------|--------------|
| 令和2年度 | 116,039,976円 |
| 令和3年度 | 112,990,221円 |
| 令和4年度 | 109,567,426円 |

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|--------------|-------|-------|-------|
| ジェネリック医薬品普及率 | 86.2% | 86.6% | 85.6% |

【要介護認定状況】

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 要介護認定者数 | 31人 | 34人 | 31人 |

【特定健康診査結果分析】

| 有所見者割合が高い検査項目 | | | 有所見者割合 |
|---------------|----|------------|--------|
| 令和2年度 | 1位 | LDLコレステロール | 53.6% |
| | 2位 | HbA1c | 52.7% |
| | 3位 | 収縮期血圧 | 46.9% |
| 令和3年度 | 1位 | LDLコレステロール | 60.6% |
| | 2位 | 収縮期血圧 | 51.7% |
| | 3位 | HbA1c | 48.5% |
| 令和4年度 | 1位 | 収縮期血圧 | 53.4% |
| | 2位 | LDLコレステロール | 52.7% |
| | 3位 | 空腹時血糖 | 49.6% |

| メタボリックシンドローム該当状況 | | |
|------------------|--------|---------|
| 年度 | 基準該当割合 | 予備群該当割合 |
| 令和2年度 | 18.3% | 16.6% |
| 令和3年度 | 23.9% | 13.8% |
| 令和4年度 | 22.5% | 15.6% |

参考資料 年度別 特定健康診査結果等分析

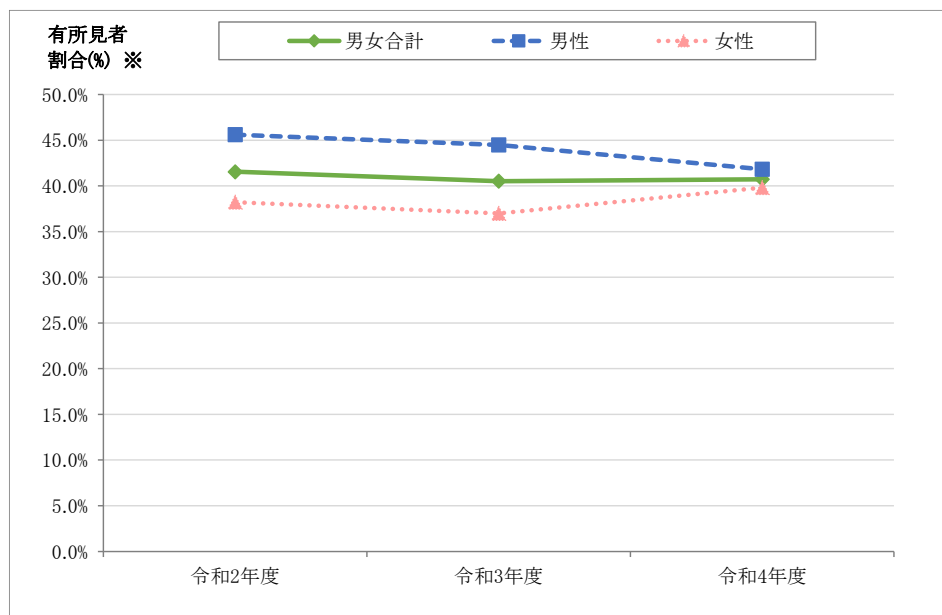
1. 有所見者割合

令和2年度から令和4年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示したものです。

年度別 有所見者割合 (BMI)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 263 | 265 | 248 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 41.5% | 40.5% | 40.7% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 285 | 308 | 275 |
| | 有所見者数(人) ※ | 130 | 137 | 115 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 45.6% | 44.5% | 41.8% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 有所見者数(人) ※ | 133 | 128 | 133 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 38.2% | 37.0% | 39.8% |

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

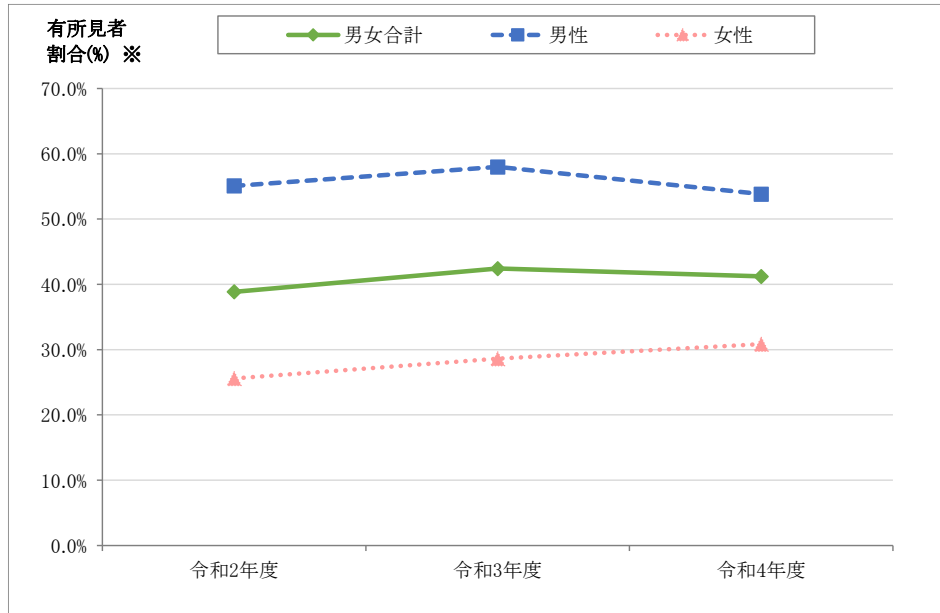
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 633 | 653 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 246 | 277 | 251 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 38.9% | 42.4% | 41.2% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 285 | 307 | 275 |
| | 有所見者数(人) ※ | 157 | 178 | 148 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 55.1% | 58.0% | 53.8% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 有所見者数(人) ※ | 89 | 99 | 103 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 25.6% | 28.6% | 30.8% |

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

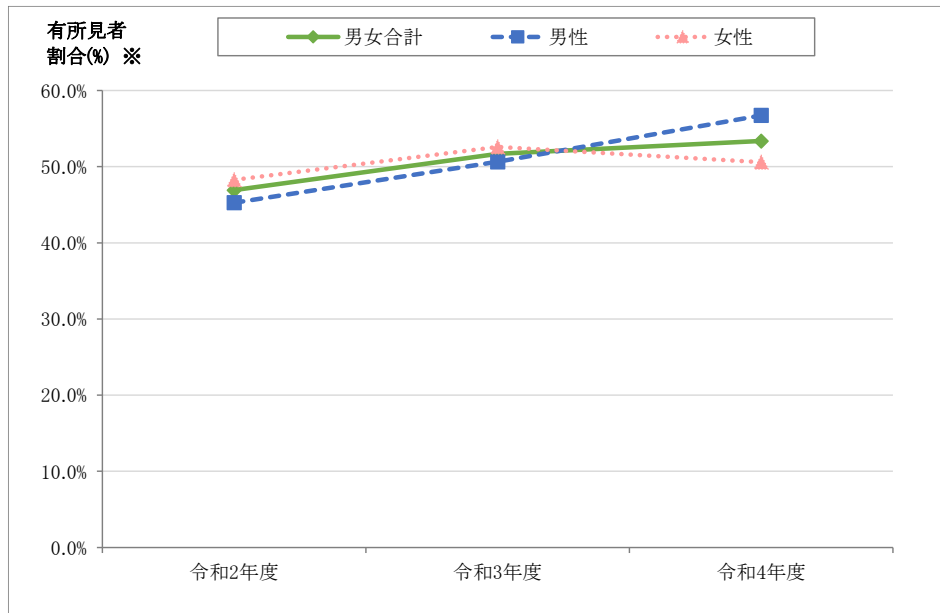
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 297 | 338 | 325 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 46.9% | 51.7% | 53.4% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 285 | 308 | 275 |
| | 有所見者数(人) ※ | 129 | 156 | 156 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 45.3% | 50.6% | 56.7% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 有所見者数(人) ※ | 168 | 182 | 169 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 48.3% | 52.6% | 50.6% |

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

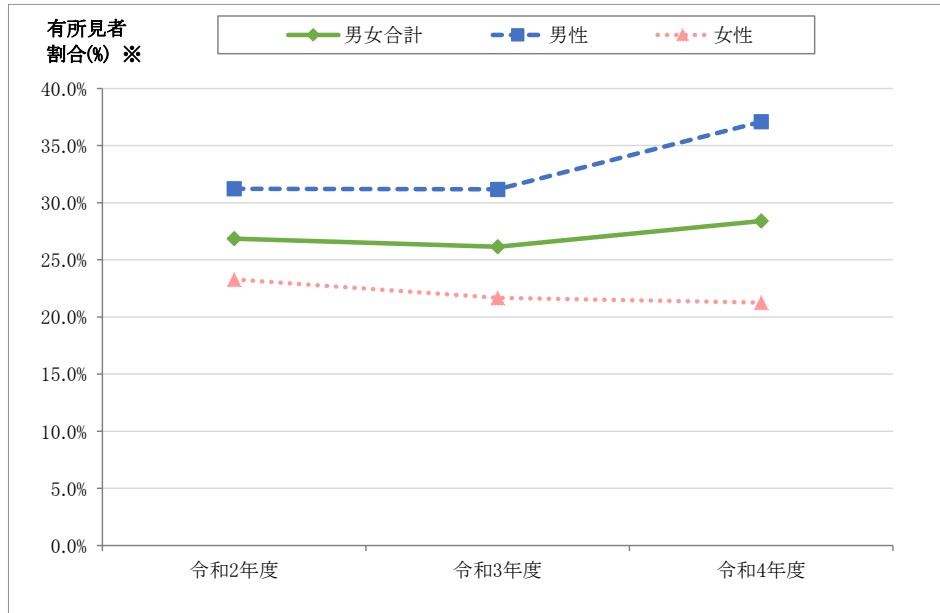
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合 (拡張期血圧)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 170 | 171 | 173 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 26.9% | 26.1% | 28.4% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 285 | 308 | 275 |
| | 有所見者数(人) ※ | 89 | 96 | 102 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 31.2% | 31.2% | 37.1% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 有所見者数(人) ※ | 81 | 75 | 71 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 23.3% | 21.7% | 21.3% |

年度別 有所見者割合 (拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

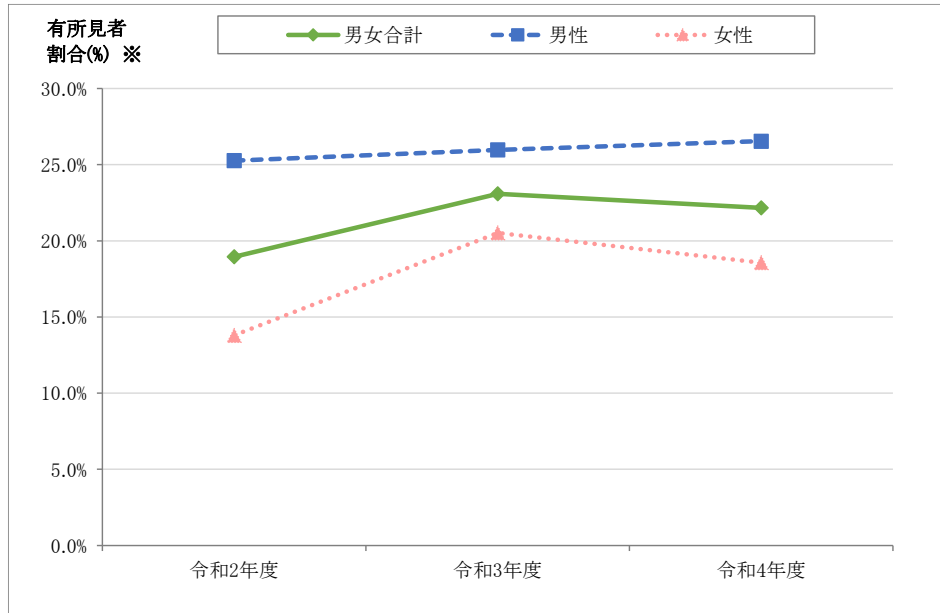
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合 (中性脂肪)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 120 | 151 | 135 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 19.0% | 23.1% | 22.2% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 285 | 308 | 275 |
| | 有所見者数(人) ※ | 72 | 80 | 73 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 25.3% | 26.0% | 26.5% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 有所見者数(人) ※ | 48 | 71 | 62 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 13.8% | 20.5% | 18.6% |

年度別 有所見者割合 (中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

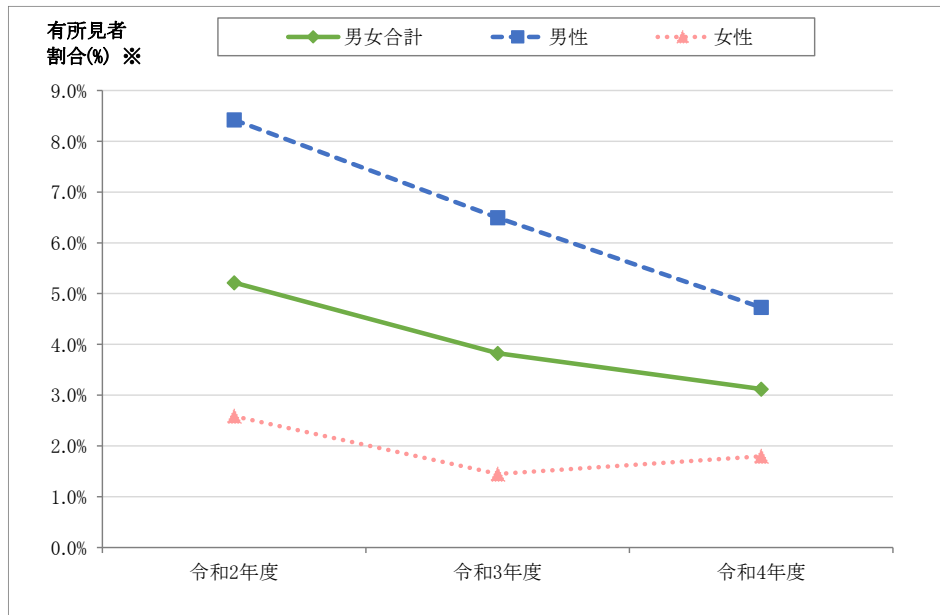
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 33 | 25 | 19 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 5.2% | 3.8% | 3.1% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 285 | 308 | 275 |
| | 有所見者数(人) ※ | 24 | 20 | 13 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 8.4% | 6.5% | 4.7% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 有所見者数(人) ※ | 9 | 5 | 6 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 2.6% | 1.4% | 1.8% |

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

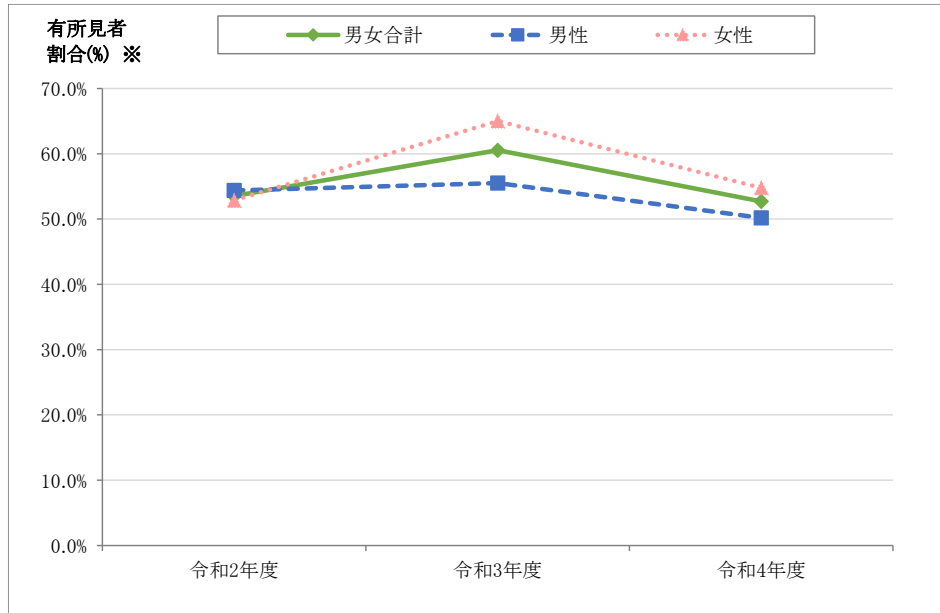
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 有所見者数(人) ※ | 339 | 396 | 321 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 53.6% | 60.6% | 52.7% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 285 | 308 | 275 |
| | 有所見者数(人) ※ | 155 | 171 | 138 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 54.4% | 55.5% | 50.2% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 有所見者数(人) ※ | 184 | 225 | 183 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 52.9% | 65.0% | 54.8% |

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

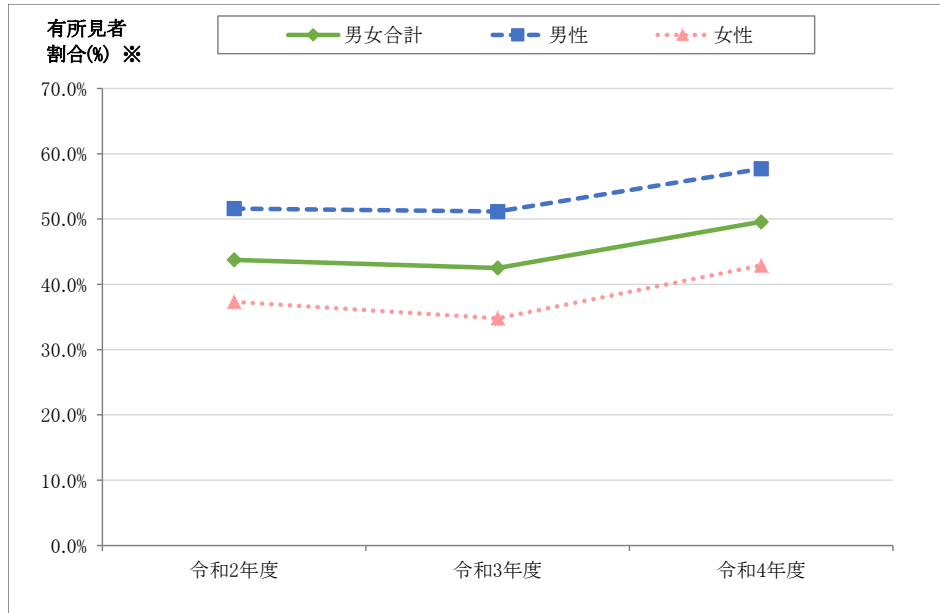
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 624 | 647 | 603 |
| | 有所見者数(人) ※ | 273 | 275 | 299 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 43.8% | 42.5% | 49.6% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 281 | 305 | 272 |
| | 有所見者数(人) ※ | 145 | 156 | 157 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 51.6% | 51.1% | 57.7% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 343 | 342 | 331 |
| | 有所見者数(人) ※ | 128 | 119 | 142 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 37.3% | 34.8% | 42.9% |

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

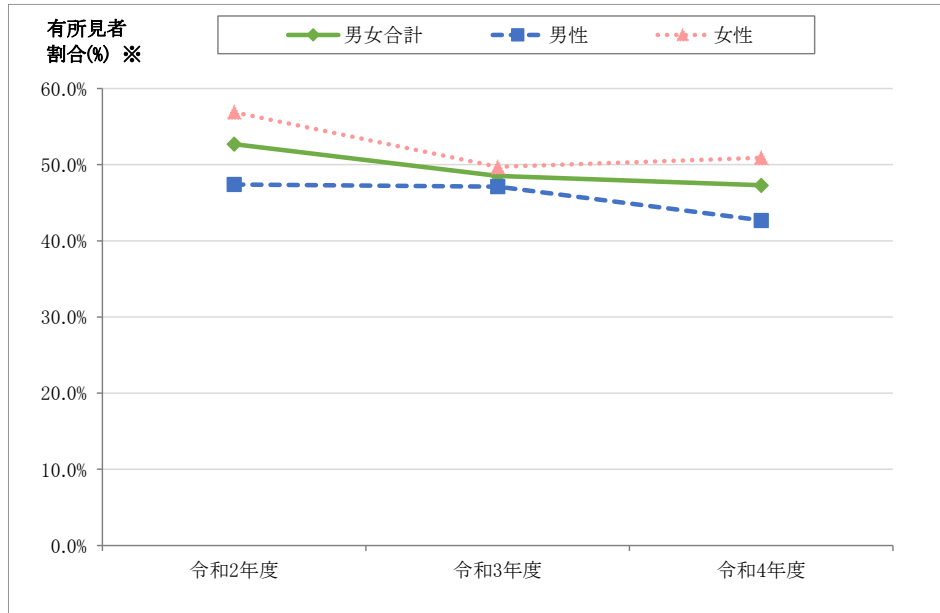
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 対象者数(人) ※ | 611 | 637 | 590 |
| | 有所見者数(人) ※ | 322 | 309 | 279 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 52.7% | 48.5% | 47.3% |
| 男性 | 対象者数(人) ※ | 270 | 295 | 260 |
| | 有所見者数(人) ※ | 128 | 139 | 111 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 47.4% | 47.1% | 42.7% |
| 女性 | 対象者数(人) ※ | 341 | 342 | 330 |
| | 有所見者数(人) ※ | 194 | 170 | 168 |
| | 有所見者割合(%) ※ | 56.9% | 49.7% | 50.9% |

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c (NGSP) : 5.6%以上

2. 質問別回答状況

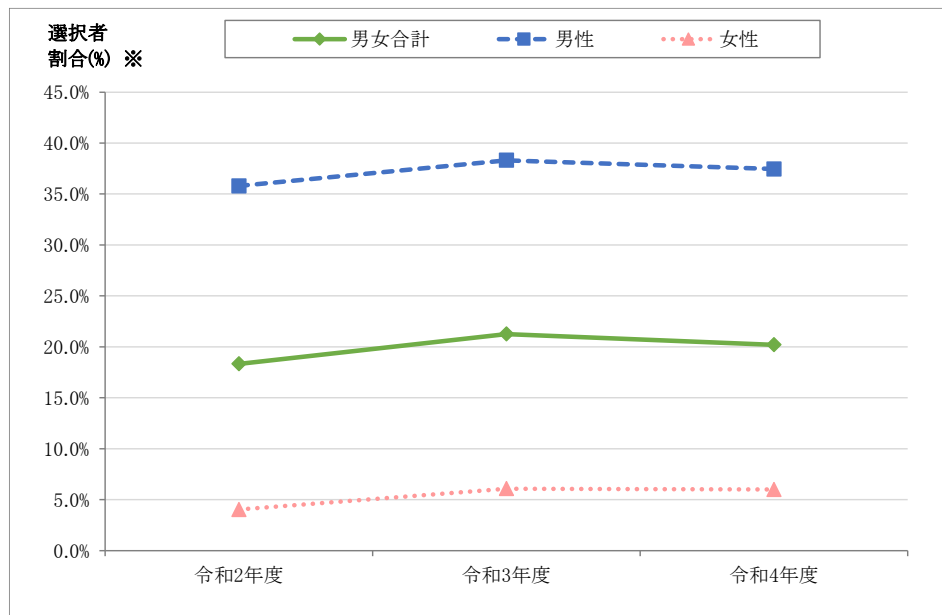
令和2年度から令和4年度の特定健康診査の質問票における喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する集計結果を年度別に示したものです。

(1) 喫煙

年度別「喫煙あり」の回答状況

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数(人) ※ | 633 | 654 | 609 |
| | 選択者数(人) ※ | 116 | 139 | 123 |
| | 選択者割合(%) ※ | 18.3% | 21.3% | 20.2% |
| 男性 | 質問回答者数(人) ※ | 285 | 308 | 275 |
| | 選択者数(人) ※ | 102 | 118 | 103 |
| | 選択者割合(%) ※ | 35.8% | 38.3% | 37.5% |
| 女性 | 質問回答者数(人) ※ | 348 | 346 | 334 |
| | 選択者数(人) ※ | 14 | 21 | 20 |
| | 選択者割合(%) ※ | 4.0% | 6.1% | 6.0% |

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「現在、たばこを習慣的に吸っていますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「はい」を選択した人数。

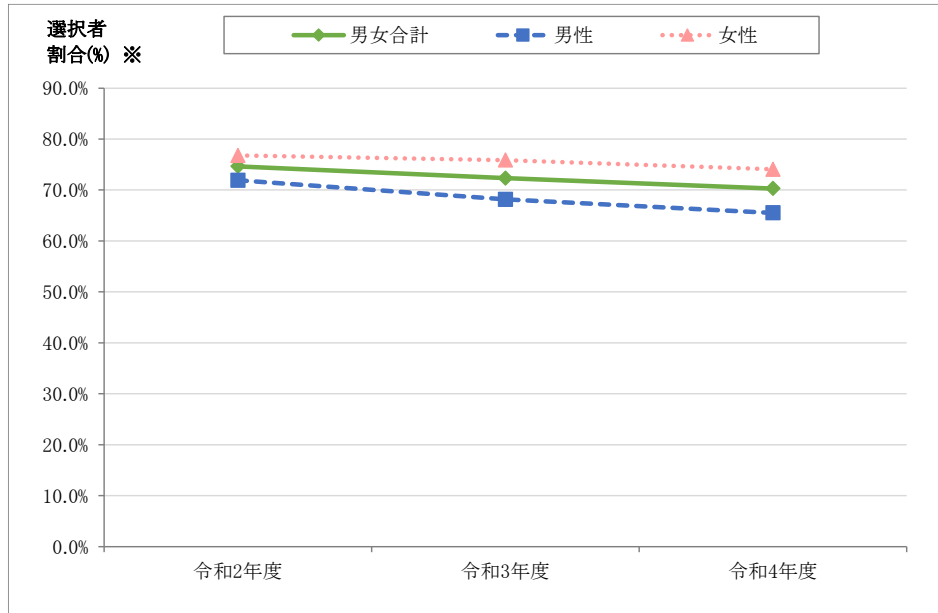
※選択者割合 …質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

(2) 運動

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | 選択者数(人) ※ | 412 | 421 | 369 |
| | 選択者割合(%) ※ | 74.6% | 72.3% | 70.3% |
| 男性 | 質問回答者数(人) ※ | 242 | 267 | 232 |
| | 選択者数(人) ※ | 174 | 182 | 152 |
| | 選択者割合(%) ※ | 71.9% | 68.2% | 65.5% |
| 女性 | 質問回答者数(人) ※ | 310 | 315 | 293 |
| | 選択者数(人) ※ | 238 | 239 | 217 |
| | 選択者割合(%) ※ | 76.8% | 75.9% | 74.1% |

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

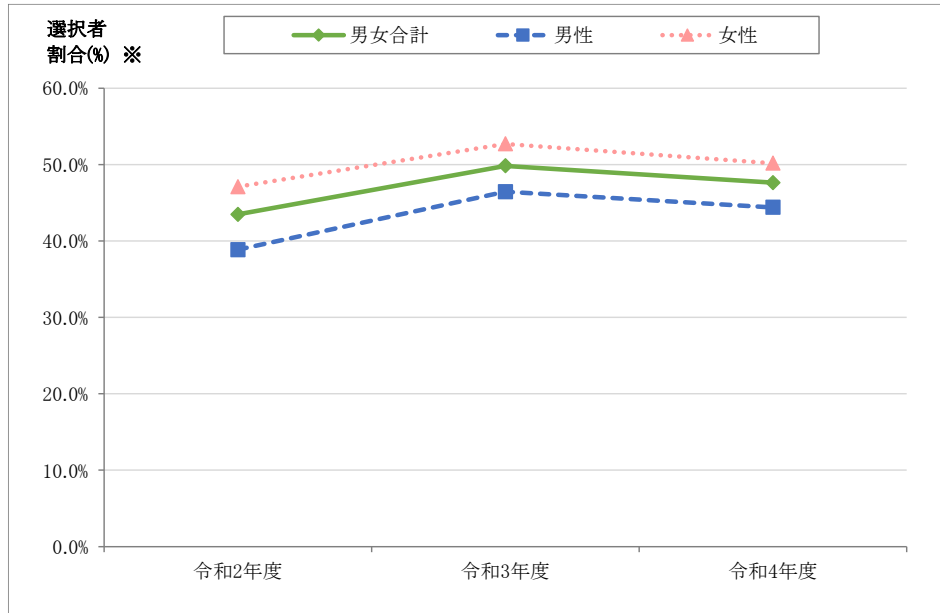
※選択者数 …質問に対し「いいえ」を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | 選択者数(人) ※ | 240 | 290 | 250 |
| | 選択者割合(%) ※ | 43.5% | 49.8% | 47.6% |
| 男性 | 質問回答者数(人) ※ | 242 | 267 | 232 |
| | 選択者数(人) ※ | 94 | 124 | 103 |
| | 選択者割合(%) ※ | 38.8% | 46.4% | 44.4% |
| 女性 | 質問回答者数(人) ※ | 310 | 315 | 293 |
| | 選択者数(人) ※ | 146 | 166 | 147 |
| | 選択者割合(%) ※ | 47.1% | 52.7% | 50.2% |

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「いいえ」を選択した人数。

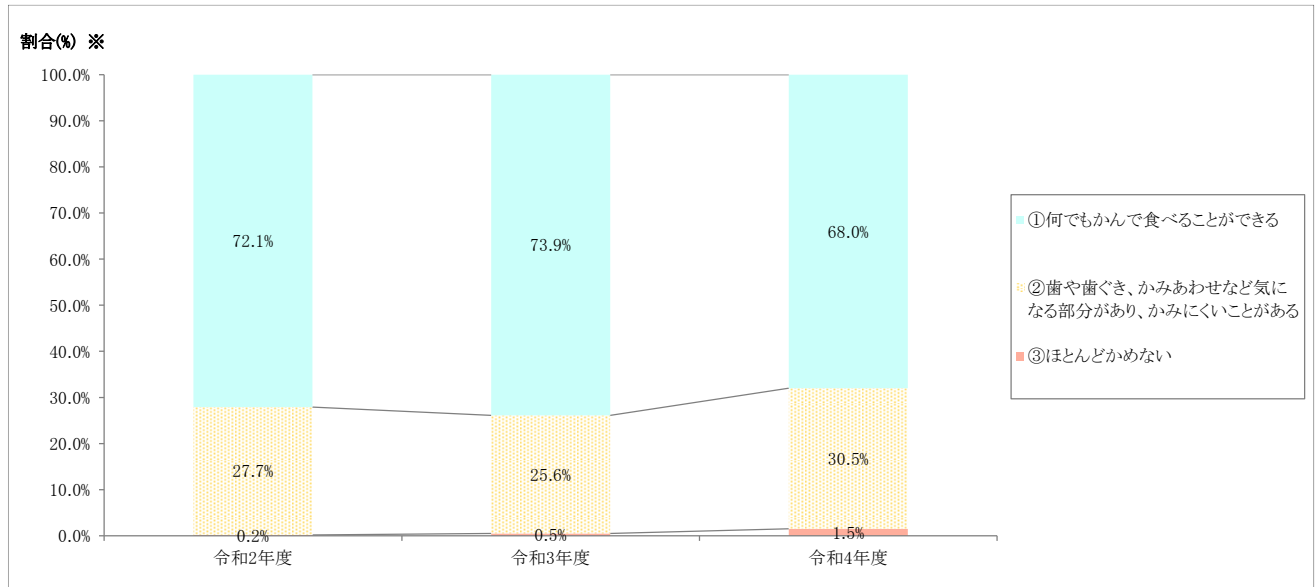
※選択者割合 …質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

(3) 口腔機能

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①何でもかんで食べることができる | | ②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある | | ③ほとんどかめない | |
|-------|-------------|------------------|---------|------------------------------------|---------|-----------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 552 | 398 | 72.1% | 153 | 27.7% | 1 | 0.2% |
| 令和3年度 | 582 | 430 | 73.9% | 149 | 25.6% | 3 | 0.5% |
| 令和4年度 | 525 | 357 | 68.0% | 160 | 30.5% | 8 | 1.5% |

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

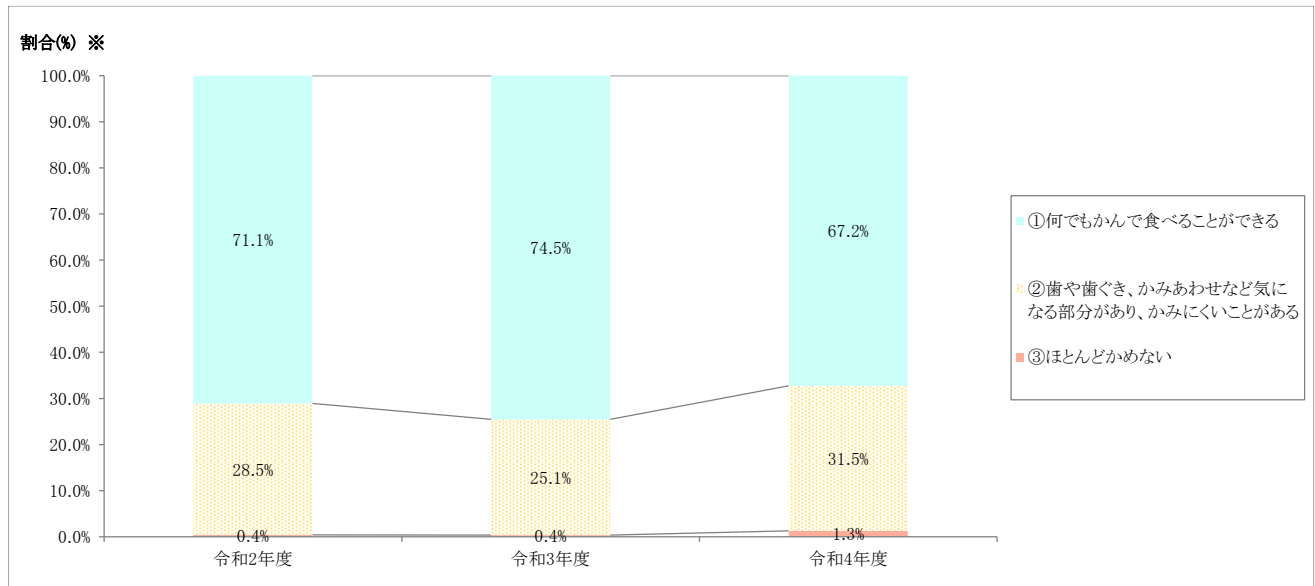
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①何でもかんで食べることができる | | ②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある | | ③ほとんどかめない | |
|-------|-------------|------------------|---------|------------------------------------|---------|-----------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 242 | 172 | 71.1% | 69 | 28.5% | 1 | 0.4% |
| 令和3年度 | 267 | 199 | 74.5% | 67 | 25.1% | 1 | 0.4% |
| 令和4年度 | 232 | 156 | 67.2% | 73 | 31.5% | 3 | 1.3% |

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

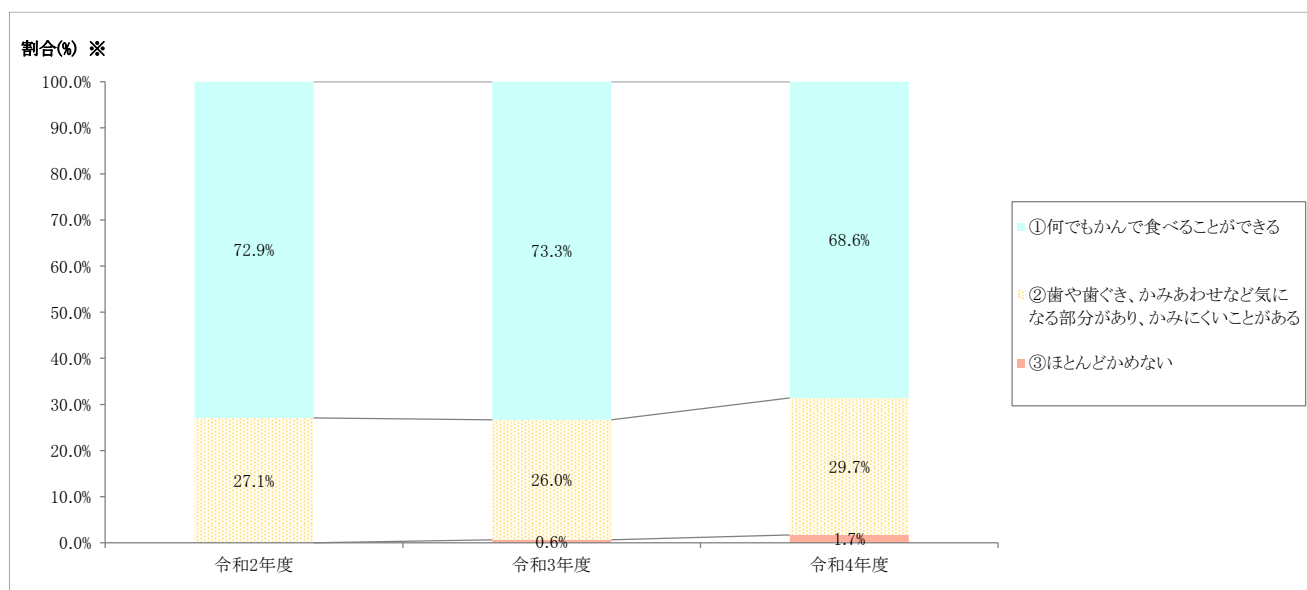
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①何でもかんで食べることができる | | ②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある | | ③ほとんどかめない | |
|-------|-------------|------------------|---------|------------------------------------|---------|-----------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 310 | 226 | 72.9% | 84 | 27.1% | 0 | 0.0% |
| 令和3年度 | 315 | 231 | 73.3% | 82 | 26.0% | 2 | 0.6% |
| 令和4年度 | 293 | 201 | 68.6% | 87 | 29.7% | 5 | 1.7% |

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

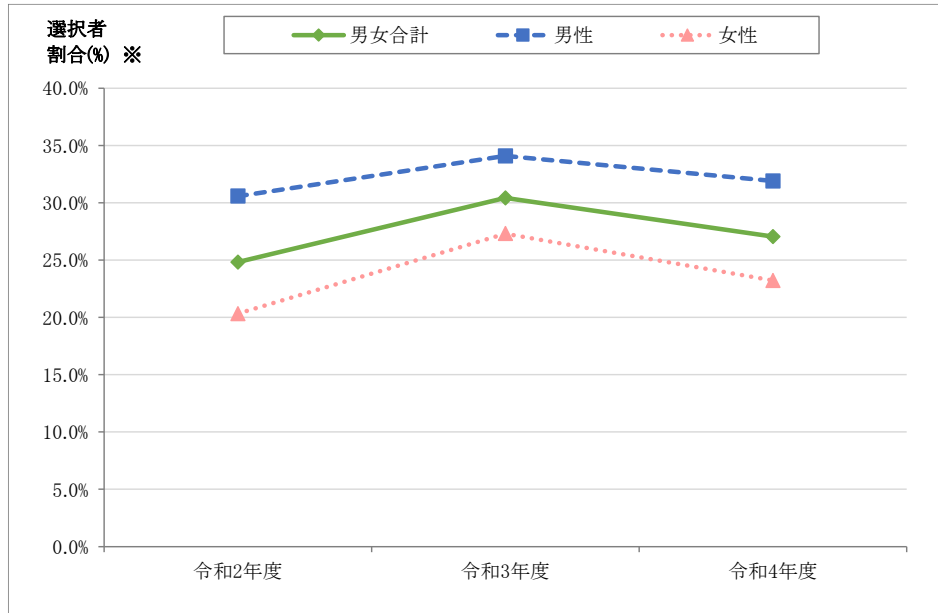
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(4) 食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------------|-------|-------|-------|
| 男女合計 | 質問回答者数(人) ※ | 552 | 582 | 525 |
| | 選択者数(人) ※ | 137 | 177 | 142 |
| | 選択者割合(%) ※ | 24.8% | 30.4% | 27.0% |
| 男性 | 質問回答者数(人) ※ | 242 | 267 | 232 |
| | 選択者数(人) ※ | 74 | 91 | 74 |
| | 選択者割合(%) ※ | 30.6% | 34.1% | 31.9% |
| 女性 | 質問回答者数(人) ※ | 310 | 315 | 293 |
| | 選択者数(人) ※ | 63 | 86 | 68 |
| | 選択者割合(%) ※ | 20.3% | 27.3% | 23.2% |

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

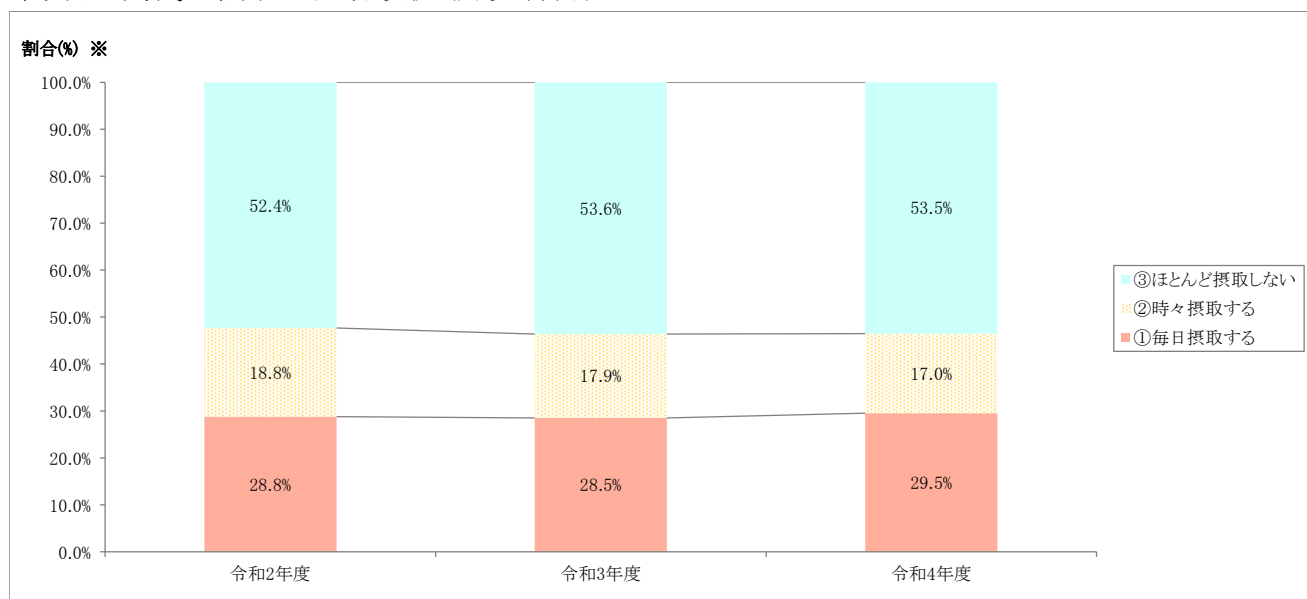
※選択者数 …質問に対し「はい」を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①毎日摂取する | | ②時々摂取する | | ③ほとんど摂取しない | |
|-------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 552 | 159 | 28.8% | 104 | 18.8% | 289 | 52.4% |
| 令和3年度 | 582 | 166 | 28.5% | 104 | 17.9% | 312 | 53.6% |
| 令和4年度 | 525 | 155 | 29.5% | 89 | 17.0% | 281 | 53.5% |

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

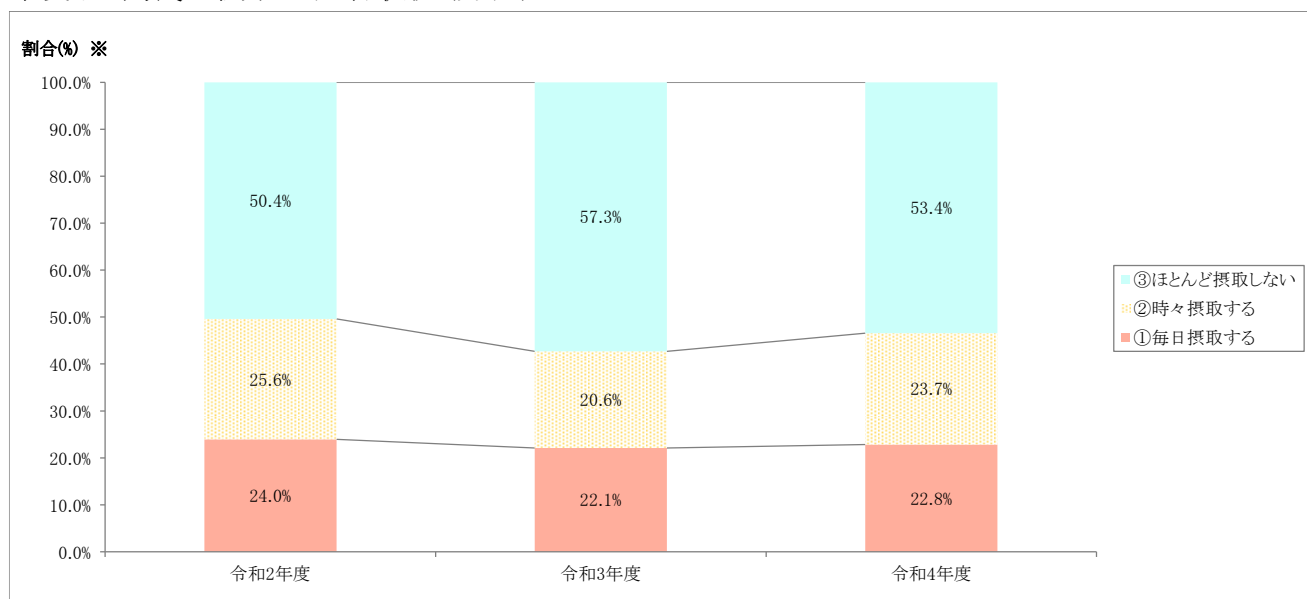
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①毎日摂取する | | ②時々摂取する | | ③ほとんど摂取しない | |
|-------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 242 | 58 | 24.0% | 62 | 25.6% | 122 | 50.4% |
| 令和3年度 | 267 | 59 | 22.1% | 55 | 20.6% | 153 | 57.3% |
| 令和4年度 | 232 | 53 | 22.8% | 55 | 23.7% | 124 | 53.4% |

年度別 間食に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

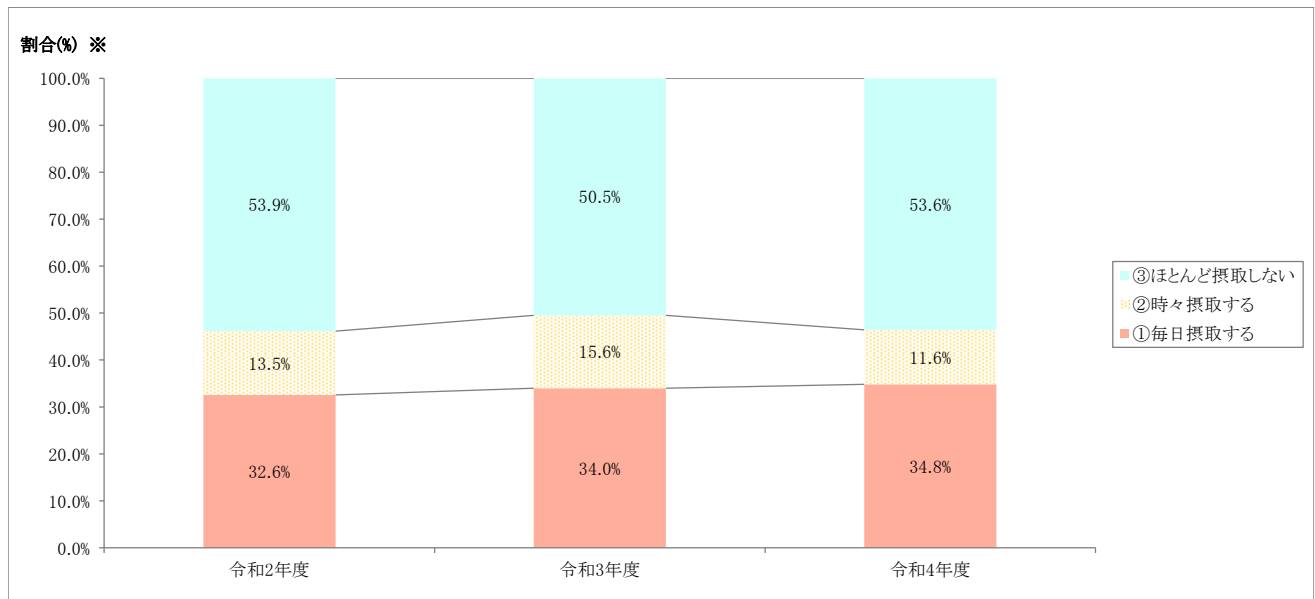
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(女性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①毎日摂取する | | ②時々摂取する | | ③ほとんど摂取しない | |
|-------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 310 | 101 | 32.6% | 42 | 13.5% | 167 | 53.9% |
| 令和3年度 | 315 | 107 | 34.0% | 49 | 15.6% | 159 | 50.5% |
| 令和4年度 | 293 | 102 | 34.8% | 34 | 11.6% | 157 | 53.6% |

年度別 間食に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

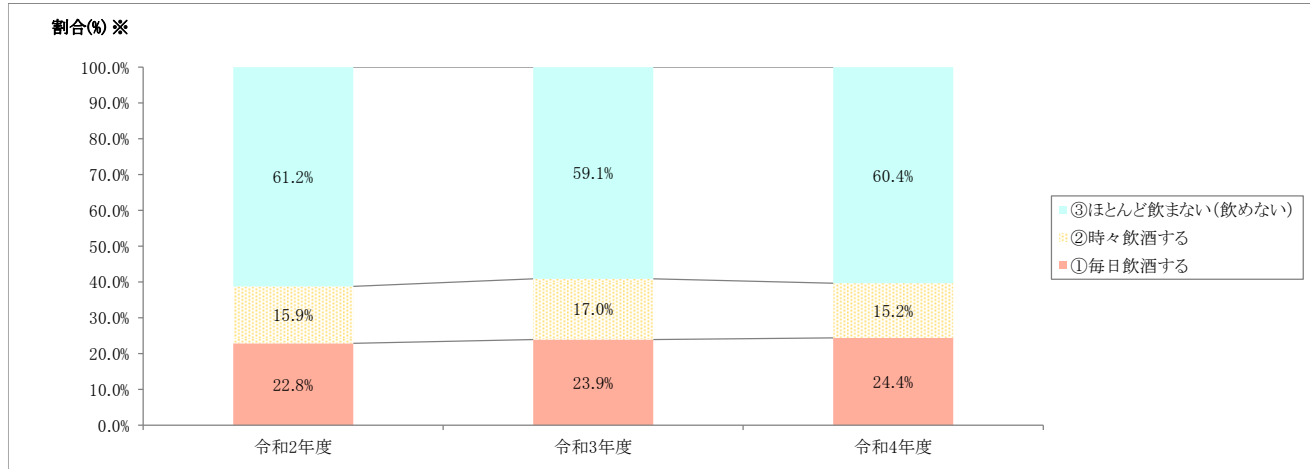
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(5) 飲酒

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①毎日飲酒する | | ②時々飲酒する | | ③ほとんど飲まない(飲めない) | |
|-------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|-----------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 552 | 126 | 22.8% | 88 | 15.9% | 338 | 61.2% |
| 令和3年度 | 582 | 139 | 23.9% | 99 | 17.0% | 344 | 59.1% |
| 令和4年度 | 525 | 128 | 24.4% | 80 | 15.2% | 317 | 60.4% |

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

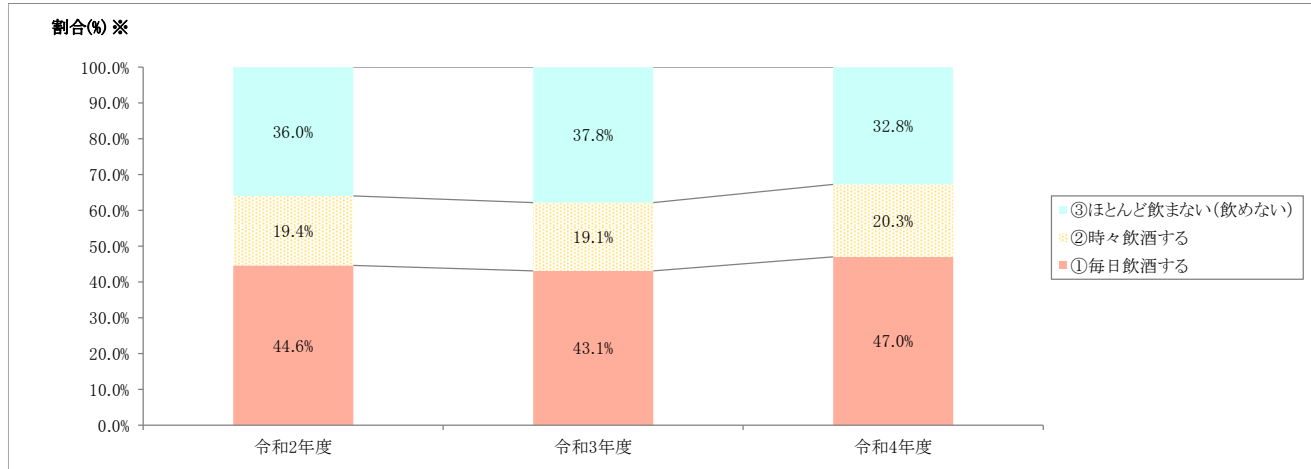
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①毎日飲酒する | | ②時々飲酒する | | ③ほとんど飲まない(飲めない) | |
|-------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|-----------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 242 | 108 | 44.6% | 47 | 19.4% | 87 | 36.0% |
| 令和3年度 | 267 | 115 | 43.1% | 51 | 19.1% | 101 | 37.8% |
| 令和4年度 | 232 | 109 | 47.0% | 47 | 20.3% | 76 | 32.8% |

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

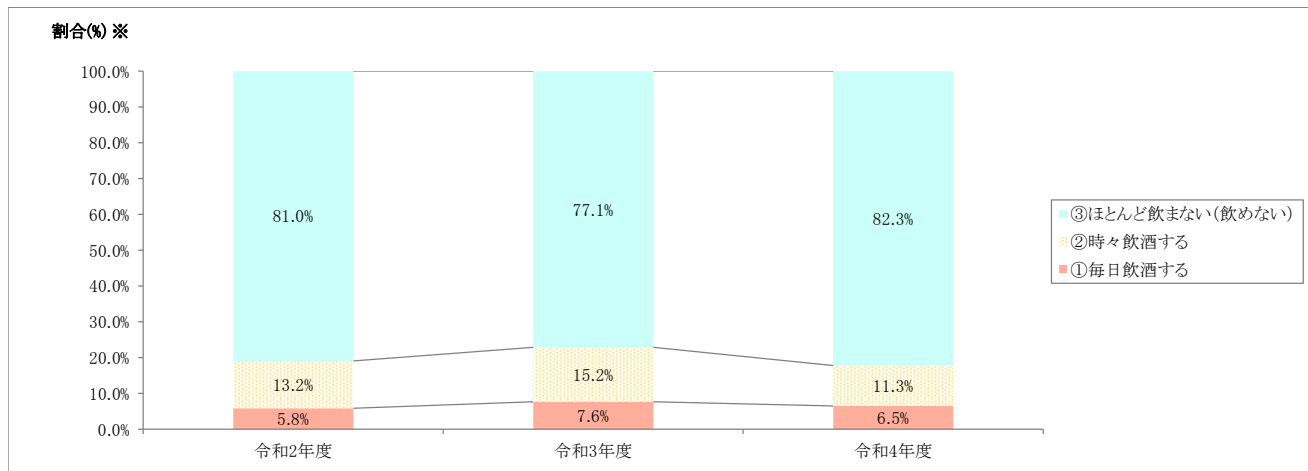
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①毎日飲酒する | | ②時々飲酒する | | ③ほとんど飲まない(飲めない) | |
|-------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|-----------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 310 | 18 | 5.8% | 41 | 13.2% | 251 | 81.0% |
| 令和3年度 | 315 | 24 | 7.6% | 48 | 15.2% | 243 | 77.1% |
| 令和4年度 | 293 | 19 | 6.5% | 33 | 11.3% | 241 | 82.3% |

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

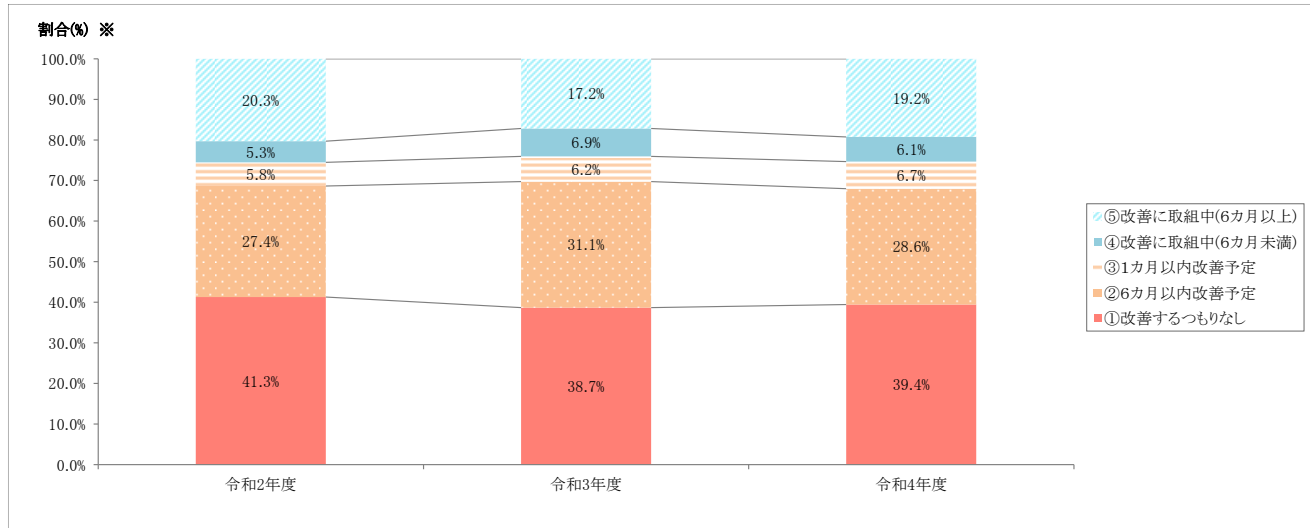
(6) 生活習慣の改善

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①改善するつもりなし | | ②6カ月以内改善予定 | | ③1カ月以内改善予定 | |
|-------|-------------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 552 | 228 | 41.3% | 151 | 27.4% | 32 | 5.8% |
| 令和3年度 | 582 | 225 | 38.7% | 181 | 31.1% | 36 | 6.2% |
| 令和4年度 | 525 | 207 | 39.4% | 150 | 28.6% | 35 | 6.7% |

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ④改善に取組中(6カ月未満) | | ⑤改善に取組中(6カ月以上) | |
|-------|-------------|----------------|---------|----------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 552 | 29 | 5.3% | 112 | 20.3% |
| 令和3年度 | 582 | 40 | 6.9% | 100 | 17.2% |
| 令和4年度 | 525 | 32 | 6.1% | 101 | 19.2% |

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

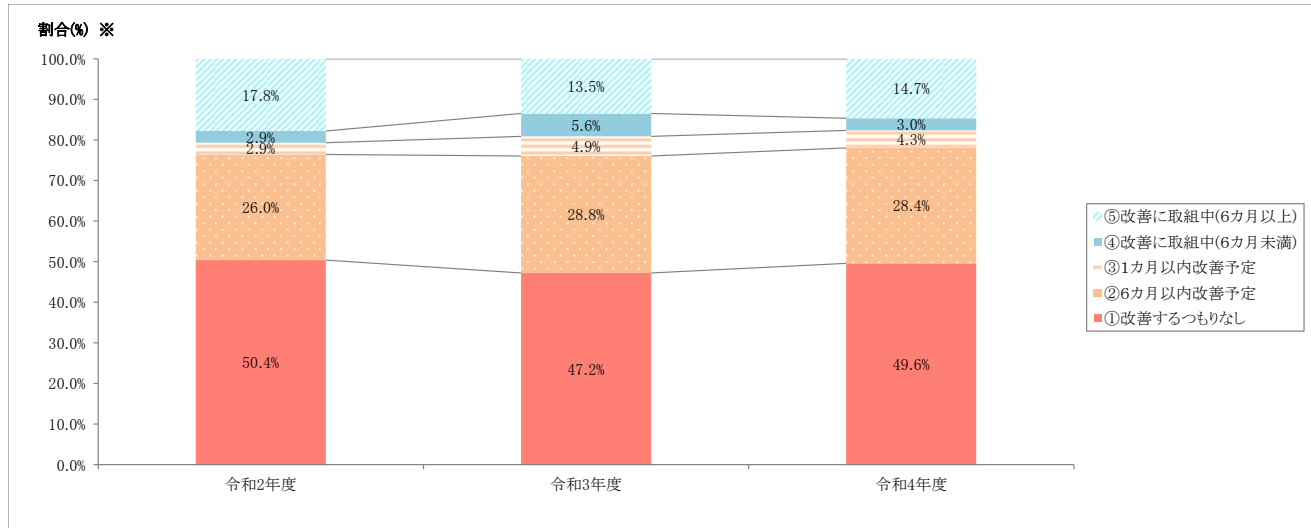
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①改善するつもりなし | | ②6カ月以内改善予定 | | ③1カ月以内改善予定 | |
|-------|-------------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 242 | 122 | 50.4% | 63 | 26.0% | 7 | 2.9% |
| 令和3年度 | 267 | 126 | 47.2% | 77 | 28.8% | 13 | 4.9% |
| 令和4年度 | 232 | 115 | 49.6% | 66 | 28.4% | 10 | 4.3% |

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ④改善に取り組中(6カ月未満) | | ⑤改善に取り組中(6カ月以上) | |
|-------|-------------|-----------------|---------|-----------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 242 | 7 | 2.9% | 43 | 17.8% |
| 令和3年度 | 267 | 15 | 5.6% | 36 | 13.5% |
| 令和4年度 | 232 | 7 | 3.0% | 34 | 14.7% |

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

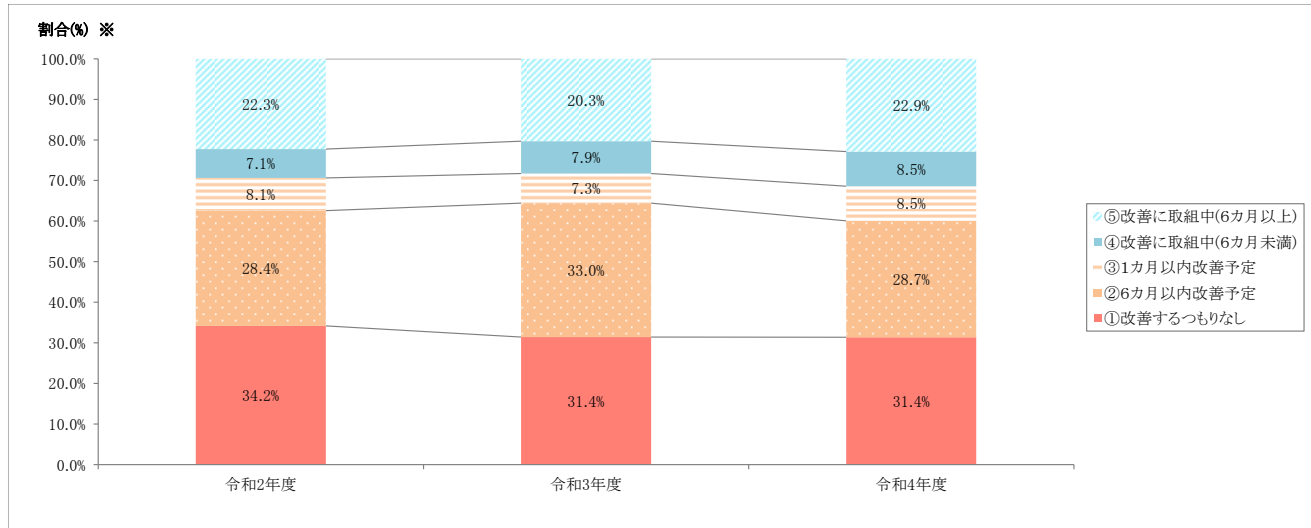
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ①改善するつもりなし | | ②6カ月以内改善予定 | | ③1カ月以内改善予定 | |
|-------|-------------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 310 | 106 | 34.2% | 88 | 28.4% | 25 | 8.1% |
| 令和3年度 | 315 | 99 | 31.4% | 104 | 33.0% | 23 | 7.3% |
| 令和4年度 | 293 | 92 | 31.4% | 84 | 28.7% | 25 | 8.5% |

| 年度 | 質問回答者数(人) ※ | ④改善に取り組中(6カ月未満) | | ⑤改善に取り組中(6カ月以上) | |
|-------|-------------|-----------------|---------|-----------------|---------|
| | | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ | 選択者数(人) ※ | 割合(%) ※ |
| 令和2年度 | 310 | 22 | 7.1% | 69 | 22.3% |
| 令和3年度 | 315 | 25 | 7.9% | 64 | 20.3% |
| 令和4年度 | 293 | 25 | 8.5% | 67 | 22.9% |

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

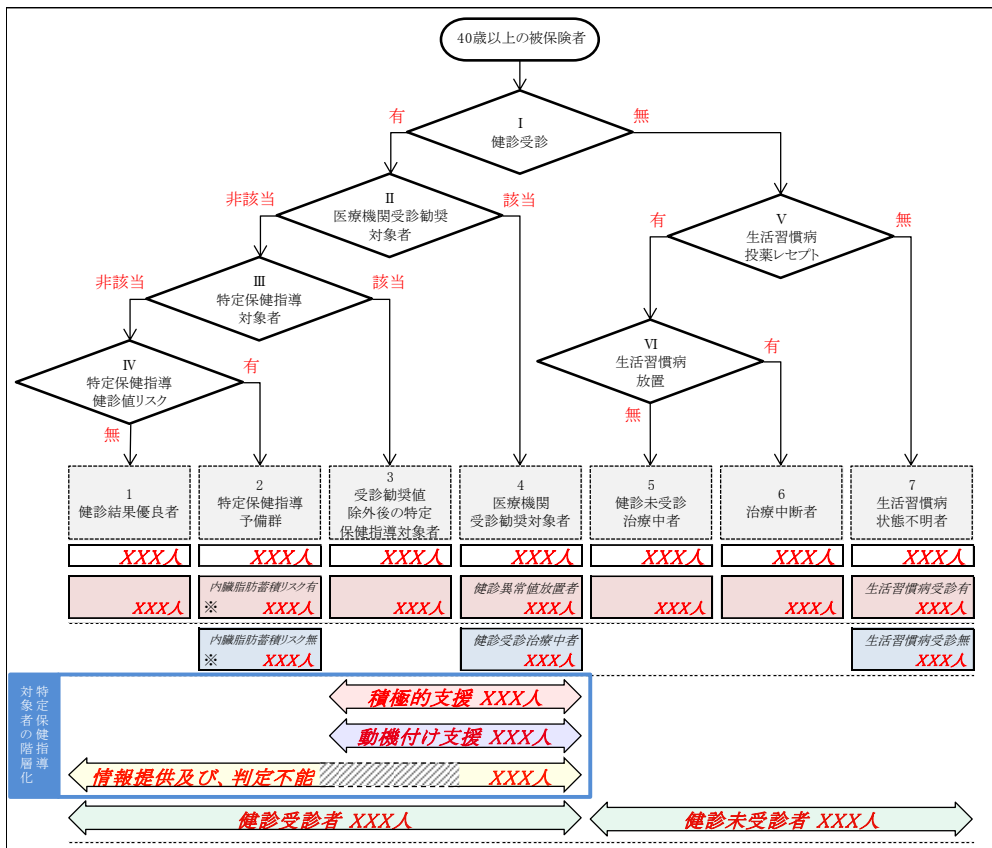
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

卷末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり**
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 健診異常値放置者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし**
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

| | 用語 | 説明 |
|----|----------------------|--|
| か行 | 眼底検査 | 目の奥の状態を調べる検査。通常眼底写真にて検査する。 動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べるもの。 |
| | クレアチニン | アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。 血清クレアチニンの値が高いと、老廃物の排泄機能としての腎臓の機能が低下していることを意味する。 |
| | 血圧(収縮期・拡張期) | 血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。 |
| | 血糖 | 血液内のブドウ糖の濃度。 食前・食後で変動する。低すぎると低血糖、高すぎると高血糖を引き起こす。 |
| | 健康寿命 | 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。 |
| | 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 | 高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するもの。 |
| さ行 | ジェネリック医薬品 | 後発医薬品のこと。先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。 |
| | 疾病分類 | 「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。 |
| | 人工透析 | 機能が著しく低下した腎臓に代わり機械で老廃物を取り除くこと。1回につき4～5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があり、身体的にも時間的にも、大きな負担がかかる。 |
| | 心電図 | 心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査。電流の流れ具合に異常がないかわかる。 また1分間に電気が発生する回数である心拍数も測定される。 |
| | 生活習慣病 | 食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。重篤な疾患の要因となる。 |
| | 積極的支援 | 特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。 |
| た行 | 中性脂肪 | 肉や魚・食用油など食品中の脂質や、体脂肪の大部分を占める物質。単に脂肪とも呼ばれる。 |
| | 動機付け支援 | 特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。 |
| | 特定健康診査 | 平成20年4月から開始された、生活習慣病予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。 |
| | 特定保健指導 | 特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。 |
| な行 | 尿酸 | 食べ物に含まれるプリン体という物質が肝臓で分解されてできる、体には必要のない老廃物。主に腎臓からの尿に交じって体外に排出される。 |
| は行 | 標準化死亡比 | 標準化死亡比は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が高いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。 |

| 用語 | | 説明 |
|-----|----------------|--|
| | 腹囲 | へその高さで計る腰回りの大きさ。内臓脂肪の蓄積の目安とされ、メタボリックシンドロームを診断する指標のひとつ。 |
| | フレイル | フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階をさす。年齢を重ねていくと、心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復できる力が低下し、これによって健康に過ごせていた状態から、生活を送るために支援を受けなければならない要介護状態に変化していく。 |
| ま行 | メタボリックシンドローム | 内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。 |
| や行 | 有所見 | 検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。 |
| ら行 | レセプト | 診療報酬明細書の通称。 |
| A～Z | AST/ALT | AST(GOTともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素である。ALT(GPTともいう)は、肝臓に多く存在する酵素である。数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われる。 |
| | BMI | [体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で、Body Mass Indexの略。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる体格指数のこと。 |
| | eGFR | 腎臓機能を示す指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出する。腎臓の中にある毛細血管の集合体である「糸球体」が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作れるかを示す値。数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。 |
| | HbA1c | ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。 |
| | HDLコレステロール | 余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。 |
| | ICT | Information and Communications Technology(インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー/情報通信技術)の略。コンピュータやデータ通信に関する技術をまとめた呼び方。特定保健指導においてもその活用が推進されており、代表的なツールとしては、Web会議システムやスマートフォンアプリ、Webアプリ等が挙げられる。 |
| | KDB | 「国保データベース(KDB)システム」とは、国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、健診・保健指導、医療、介護の各種データを併せて分析できるシステムのこと。 |
| | LDLコレステロール | 肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。 |
| | non-HDLコレステロール | 総コレステロールからHDLコレステロールを減じたもの。数値が高いと、動脈硬化、脂質代謝異常、甲状腺機能低下症、家族性高脂血症などが疑われる。低い場合は、栄養吸収障害、低βリポたんぱく血症、肝硬変などが疑われる。 |

3. 疾病分類

疾病分類表 (2013年版)

| コード | 疾病分類 | 主な疾病 | | |
|----------------------------------|---------------------------|----------------|------------|------------------|
| I. 感染症及び寄生虫症 | | | | |
| 0101 | 腸管感染症 | 下痢症 | 急性胃腸炎 | 感染性胃腸炎 |
| 0102 | 結核 | 肺結核 | 結核性胸膜炎 | 潜在性結核感染症 |
| 0103 | 主として性的伝播様式をとる感染症 | 梅毒 | クラミジア頸管炎 | 淋病 |
| 0104 | 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患 | 尋常性疣贅 | 帯状疱疹 | 単純ヘルペス |
| 0105 | ウイルス性肝炎 | B型肝炎 | C型肝炎 | C型慢性肝炎 |
| 0106 | その他のウイルス性疾患 | アデノウイルス感染症 | 流行性角結膜炎 | RSウイルス感染症 |
| 0107 | 真菌症 | 足白癬 | 皮膚カンジダ症 | 爪白癬 |
| 0108 | 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 | 陳旧性肺結核 | 肺結核後遺症 | 小児麻疹後遺症 |
| 0109 | その他の感染症及び寄生虫症 | ヘリコバクター・ピロリ感染症 | 溶連菌感染症 | 敗血症 |
| II. 新生物<腫瘍> | | | | |
| 0201 | 胃の悪性新生物<腫瘍> | 胃癌 | 早期胃癌 | 胃体部癌 |
| 0202 | 結腸の悪性新生物<腫瘍> | 大腸癌 | S状結腸癌 | 上行結腸癌 |
| 0203 | 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> | 直腸癌 | 直腸S状部結腸癌 | 直腸癌術後再発 |
| 0204 | 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> | 肝癌 | 肝細胞癌 | 原発性肝癌 |
| 0205 | 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | 肺癌 | 上葉肺癌 | 下葉肺癌 |
| 0206 | 乳房の悪性新生物<腫瘍> | 乳癌 | 乳房上外側部乳癌 | 乳癌再発 |
| 0207 | 子宮の悪性新生物<腫瘍> | 子宮体癌 | 子宮頸癌 | 子宮癌 |
| 0208 | 悪性リンパ腫 | 悪性リンパ腫 | 非ホジキンリンパ腫 | びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 |
| 0209 | 白血病 | 成人T細胞白血病リンパ腫 | 白血病 | 慢性骨髄性白血病 |
| 0210 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 前立腺癌 | 睪癌 | 膀胱癌 |
| 0211 | 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> | 子宮筋腫 | 脳腫瘍 | 肺腫瘍 |
| III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | | | | |
| 0301 | 貧血 | 鉄欠乏性貧血 | 貧血 | 巨赤芽球形貧血 |
| 0302 | その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 播種性血管内凝固 | 血液凝固異常 | 血小板減少症 |
| IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患 | | | | |
| 0401 | 甲状腺障害 | 甲状腺機能低下症 | 甲状腺機能亢進症 | 甲状腺腫 |
| 0402 | 糖尿病 | 糖尿病 | 2型糖尿病 | 糖尿病網膜症 |
| 0403 | 脂質異常症 | 高脂血症 | 高コレステロール血症 | 脂質異常症 |
| 0404 | その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 脱水症 | 高尿酸血症 | 卵巣機能不全 |
| V. 精神及び行動の障害 | | | | |
| 0501 | 血管性及び詳細不明の認知症 | 認知症 | 血管性認知症 | 老年精神病 |
| 0502 | 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 | ニコチン依存症 | アルコール依存症 | 急性アルコール中毒 |
| 0503 | 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 | 統合失調症 | 統合失調症様状態 | 幻覚妄想状態 |
| 0504 | 気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む) | うつ病 | うつ状態 | 躁うつ病 |
| 0505 | 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害 | 不安神経症 | 神経症 | 心身症 |
| 0506 | 知的障害<精神遅滞> | 知的障害 | 軽度知的障害 | 重度知的障害 |
| 0507 | その他の精神及び行動の障害 | 摂食障害 | 器質性精神障害 | せん妄 |

| コード | 疾病分類 | 主な疾病 | | |
|-------------------------|------------------|-------------|-------------|------------------|
| VI. 神経系の疾患 | | | | |
| 0601 | パーキンソン病 | パーキンソン症候群 | パーキンソン病 | パーキンソン病Y a h r 3 |
| 0602 | アルツハイマー病 | アルツハイマー型認知症 | アルツハイマー病 | アルツハイマー型老年認知症 |
| 0603 | てんかん | てんかん | 症候性てんかん | 精神運動発作 |
| 0604 | 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 | 片麻痺 | 脳性麻痺 | 不全麻痺 |
| 0605 | 自律神経系の障害 | 自律神経失調症 | 神経調節性失神 | 自律神経障害 |
| 0606 | その他の神経系の疾患 | 不眠症 | 片頭痛 | 睡眠時無呼吸症候群 |
| VII. 眼及び付属器の疾患 | | | | |
| 0701 | 結膜炎 | アレルギー性結膜炎 | 結膜炎 | 慢性結膜炎 |
| 0702 | 白内障 | 白内障 | 加齢性白内障 | 後発白内障 |
| 0703 | 屈折及び調節の障害 | 近視性乱視 | 遠視性乱視 | 老視 |
| 0704 | その他の眼及び付属器の疾患 | ドライアイ | 緑内障 | 眼精疲労 |
| VIII. 耳及び乳様突起の疾患 | | | | |
| 0801 | 外耳炎 | 外耳炎 | 外耳湿疹 | 急性外耳炎 |
| 0802 | その他の外耳疾患 | 耳垢栓塞 | 耳介軟骨膜炎 | 耳瘻孔 |
| 0803 | 中耳炎 | 滲出性中耳炎 | 急性中耳炎 | 中耳炎 |
| 0804 | その他の中耳及び乳様突起の疾患 | 耳管狭窄症 | 耳管機能低下 | 真珠腫性中耳炎 |
| 0805 | メニエール病 | メニエール病 | メニエール症候群 | 内耳性めまい |
| 0806 | その他の内耳疾患 | 良性発作性頭位めまい症 | 末梢性めまい症 | 耳性めまい |
| 0807 | その他の耳疾患 | 感音難聴 | 難聴 | 耳鳴症 |
| IX. 循環器系の疾患 | | | | |
| 0901 | 高血圧性疾患 | 高血圧症 | 本態性高血圧症 | 高血圧性心疾患 |
| 0902 | 虚血性心疾患 | 狭心症 | 急性心筋梗塞 | 心筋梗塞 |
| 0903 | その他の心疾患 | 心不全 | 不整脈 | 慢性心不全 |
| 0904 | くも膜下出血 | くも膜下出血 | くも膜下出血後遺症 | 脳動脈瘤破裂 |
| 0905 | 脳内出血 | 脳出血 | 脳出血後遺症 | 視床出血 |
| 0906 | 脳梗塞 | 脳梗塞 | 脳梗塞後遺症 | 多発性脳梗塞 |
| 0907 | 脳動脈硬化（症） | 脳動脈硬化症 | 動脈硬化性脳症 | |
| 0908 | その他の脳血管疾患 | 内頸動脈狭窄症 | 頸動脈硬化症 | 脳血管障害 |
| 0909 | 動脈硬化（症） | 閉塞性動脈硬化症 | 動脈硬化症 | 動脈硬化性網膜症 |
| 0911 | 低血圧（症） | 起立性低血圧症 | 低血圧症 | 起立性調節障害 |
| 0912 | その他の循環器系の疾患 | 深部静脈血栓症 | 末梢循環障害 | 慢性動脈閉塞症 |
| X. 呼吸器系の疾患 | | | | |
| 1001 | 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> | 感冒 | 急性鼻炎 | 急性鼻咽頭炎 |
| 1002 | 急性咽頭炎及び急性扁桃炎 | 咽頭炎 | 急性咽頭炎 | 扁桃炎 |
| 1003 | その他の急性上気道感染症 | 急性上気道炎 | 急性咽頭喉頭炎 | 急性副鼻腔炎 |
| 1004 | 肺炎 | 肺炎 | 急性肺炎 | マイコプラズマ肺炎 |
| 1005 | 急性気管支炎及び急性細気管支炎 | 急性気管支炎 | マイコプラズマ気管支炎 | クループ性気管支炎 |

| コード | 疾病分類 | 主な疾病 | | |
|----------------------|--------------------|-----------|-----------|-------------|
| 1006 | アレルギー性鼻炎 | アレルギー性鼻炎 | 花粉症 | 季節性アレルギー性鼻炎 |
| 1007 | 慢性副鼻腔炎 | 慢性副鼻腔炎 | 副鼻腔炎 | 慢性副鼻腔炎急性増悪 |
| 1008 | 急性又は慢性と明示されない気管支炎 | 気管支炎 | 気管気管支炎 | びまん性気管支炎 |
| 1009 | 慢性閉塞性肺疾患 | 慢性気管支炎 | 肺気腫 | 慢性閉塞性肺疾患 |
| 1010 | 喘息 | 気管支喘息 | 喘息性気管支炎 | 気管支喘息発作 |
| 1011 | その他の呼吸器系の疾患 | インフルエンザ | 呼吸不全 | 誤嚥性肺炎 |
| X I. 消化器系の疾患 | | | | |
| 1101 | う蝕 | う蝕 | 二次う蝕 | う蝕第2度 |
| 1102 | 歯肉炎及び歯周疾患 | 歯周炎 | 歯肉炎 | 歯冠周囲炎 |
| 1103 | その他の歯及び歯の支持組織の障害 | 顎関節症 | 歯痛 | 顎関節炎 |
| 1104 | 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 胃潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 出血性胃潰瘍 |
| 1105 | 胃炎及び十二指腸炎 | 慢性胃炎 | 胃炎 | 急性胃炎 |
| 1106 | 痔核 | 内痔核 | 痔核 | 外痔核 |
| 1107 | アルコール性肝疾患 | アルコール性肝障害 | アルコール性肝炎 | アルコール性肝硬変 |
| 1108 | 慢性肝炎（アルコール性のものを除く） | 慢性肝炎 | 活動性慢性肝炎 | 慢性肝炎増悪 |
| 1109 | 肝硬変（アルコール性のものを除く） | 肝硬変症 | 原発性胆汁性肝硬変 | 非代償性肝硬変 |
| 1110 | その他の肝疾患 | 肝機能障害 | 脂肪肝 | 肝障害 |
| 1111 | 胆石症及び胆のう炎 | 胆のう結石症 | 胆のう炎 | 総胆管結石 |
| 1112 | 膵疾患 | 膵炎 | 急性膵炎 | 慢性膵炎 |
| 1113 | その他の消化器系の疾患 | 便秘症 | 逆流性食道炎 | 口内炎 |
| X II. 皮膚及び皮下組織の疾患 | | | | |
| 1201 | 皮膚及び皮下組織の感染症 | 皮膚感染症 | 蜂窩織炎 | 膿痂疹性湿疹 |
| 1202 | 皮膚炎及び湿疹 | 湿疹 | 皮膚炎 | アトピー性皮膚炎 |
| 1203 | その他の皮膚及び皮下組織の疾患 | 皮脂欠乏症 | 皮脂欠乏性湿疹 | じんま疹 |
| X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患 | | | | |
| 1301 | 炎症性多発性関節障害 | 関節リウマチ | 痛風 | 関節炎 |
| 1302 | 関節症 | 変形性膝関節症 | 変形性関節症 | 変形性股関節症 |
| 1303 | 脊椎障害（脊椎症を含む） | 腰部脊柱管狭窄症 | 変形性腰椎症 | 頸椎症 |
| 1304 | 椎間板障害 | 腰椎椎間板症 | 腰椎椎間板ヘルニア | 頸椎椎間板ヘルニア |
| 1305 | 頸腕症候群 | 頸肩腕症候群 | 頸肩腕障害 | |
| 1306 | 腰痛症及び坐骨神経痛 | 腰痛症 | 坐骨神経痛 | 筋筋膜性腰痛症 |
| 1307 | その他の脊柱障害 | 腰椎すべり症 | 背部痛 | 頸部痛 |
| 1308 | 肩の傷害<損傷> | 肩関節周囲炎 | 肩関節腱板炎 | 肩石灰性腱炎 |
| 1309 | 骨の密度及び構造の障害 | 骨粗鬆症 | 閉経後骨粗鬆症 | 脊椎骨粗鬆症 |
| 1310 | その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 | 筋肉痛 | 神経痛 | 関節痛 |
| X IV. 腎尿路生殖器系の疾患 | | | | |
| 1401 | 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患 | 腎炎 | 腎盂腎炎 | 水腎症 |
| 1402 | 腎不全 | 慢性腎不全 | 腎性貧血 | 腎不全 |

| コード | 疾病分類 | 主な疾病 | | |
|--|-------------------------------------|----------------------|--------------|-------------|
| 1403 | 尿路結石症 | 腎結石症 | 尿管結石症 | 尿路結石症 |
| 1404 | その他の腎尿路系の疾患 | 膀胱炎 | 腎機能低下 | 尿路感染症 |
| 1405 | 前立腺肥大（症） | 前立腺肥大症 | 前立腺症 | |
| 1406 | その他の男性生殖器の疾患 | 慢性前立腺炎 | 前立腺炎 | 亀頭包皮炎 |
| 1407 | 月経障害及び閉経周辺期障害 | 更年期症候群 | 月経困難症 | 萎縮性陰炎 |
| 1408 | 乳房及びその他の女性生殖器の疾患 | 子宮腔部びらん | 細菌性陰炎 | 陰炎 |
| X V. 妊娠, 分娩及び産じょく | | | | |
| 1501 | 流産 | 稽留流産 | 異所性妊娠 | 絨毛性疾患 |
| 1502 | 妊娠高血圧症候群 | 妊娠高血圧症候群 | 重症妊娠高血圧症候群 | 子癇 |
| 1503 | 単胎自然分娩 | 自然頭位分娩 | 自然分娩 | 単胎自然分娩 |
| 1504 | その他の妊娠, 分娩及び産じょく | 切迫流産 | 子宮内感染症 | 血液型不適合 |
| X VI. 周産期に発生した病態 | | | | |
| 1601 | 妊娠及び胎児発育に関連する障害 | 子宮内胎児発育遅延 | 低出生体重児 | 早産児 |
| 1602 | その他の周産期に発生した病態 | 新生児黄疸 | 胎児ジストレス | A B O 因子不適合 |
| X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常 | | | | |
| 1701 | 心臓の先天奇形 | 心房中隔欠損症 | 心室中隔欠損症 | 先天性心疾患 |
| 1702 | その他の先天奇形, 変形及び染色体異常 | 足底角化症 | 角皮症 | 毛孔性苔癬 |
| X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | | | | |
| 1800 | 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 頭痛 | 嘔吐症 | めまい症 |
| X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響 | | | | |
| 1901 | 骨折 | 腰椎圧迫骨折 | 肋骨骨折 | 大腿骨頸部骨折 |
| 1902 | 頭蓋内損傷及び内臓の損傷 | 脳挫傷 | 外傷性脳出血 | 硬膜下血腫 |
| 1903 | 熱傷及び腐食 | 熱傷 | 第2度熱傷 | 手熱傷 |
| 1904 | 中毒 | 刺虫症 | 蜂刺症 | 食中毒 |
| 1905 | その他の損傷及びその他の外因の影響 | 打撲傷 | 結膜異物 | 捻挫 |
| X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 | | | | |
| 2101 | 検査及び診査のための保健サービスの利用者 | 検診 | 健康診断 | 胃癌検診 |
| 2102 | 予防接種 | 予防接種 | | |
| 2103 | 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画 | 妊娠 | 正常妊娠 | 多産婦 |
| 2104 | 歯の補てつ | | | |
| 2105 | 特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者 | 抜釘 | 気管切開口に対する手当て | 骨髄移植ドナー |
| 2106 | その他の理由による保健サービスの利用者 | 白内障術後 | ペースメーカー植え込み後 | 人工股関節置換術後 |
| X X II. 特殊目的用コード | | | | |
| 2210 | 重症急性呼吸器症候群 [SARS] | 重症急性呼吸器症候群 | | |
| 2220 | その他の特殊目的用コード | | | |
| 分類外 | | | | |
| 9999 | 分類外 | ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病 | | |

4. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用います。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出します。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されています。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題があります。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できます。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化します。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があり、現状10%程度の未コード化傷病名が含まれています。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らします。

医科レセプト

| | | | | | | | | |
|-------|----------------|---|-----|------------------|----|----|----------|----------|
| 傷病名 | (1) 本態性高血圧(主) | 調剤レセプト | No. | 医薬品名・規格・用量・剤形・用法 | 単位 | 薬価 | 調剤 点数 | 調剤 単価 |
| | (2) 狭心症 | | | | | | | |
| | (3) うつ病 | | | | | | | |
| | (4) 高コレステロール血症 | | | | | | | |
| | (5) 2型糖尿病 | | | | | | | |
| | (6) 急性上気道炎 | | | | | | | |
| | (7) アレルギー性鼻炎 | | | | | | | |
| 12 再診 | 1 | アラビックス錠75mg | 1錠 | 66 | 28 | | | |
| 13 特診 | 1 | カルネート錠2.5mg | 1錠 | | | | | |
| 60 糖診 | | カデュエット配合錠4番 | 1錠 | | | | | |
| | | トラゼンタ錠5mg | 1錠 | | | | | |
| | | グリメリド錠1mg「NP」 | 1錠 | | | | | |
| | | 【内服】1日1回朝食後服用 | | | | | | |
| 80 処方 | 2 | ニコランマト錠5mg | 3錠 | 2 | 28 | | | |
| | | 【内服】1日3回食後服用 | | | | | | |
| | 3 | エチガム錠0.5mg | 2錠 | 1 | 28 | | | |
| | 【内服】1日1回就寝前服用 | | | | | | | |
| 80 処方 | 4 | スルピリド錠50mg「アムレ」 | 2錠 | 27 | 28 | | | |
| | | エマデールS900 900mg 安全性のため別包 【内服】1日2回朝夕食後服用 | 2包 | | | | | |
| 決定点数 | | | | | | | 2,688 | |

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化します。

| 医科レセプトの記載 | コード化 |
|----------------|-------------------------------|
| (1) 本態性高血圧(主) | 未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症 |
| (2) 狭心症 | 4139007 狭心症 |
| (3) うつ病 | 2961003 うつ病 |
| (4) 高コレステロール血症 | 2720004 高コレステロール血症 |
| (5) 2型糖尿病 | 2500015 2型糖尿病 |
| (6) 急性上気道炎 | 4659007 急性上気道炎 |
| (7) アレルギー性鼻炎 | 4779004 アレルギー性鼻炎 |

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングします。

| 医科レセプトの記載 | 薬品 | 検査 | 診療行為 | 合計点数 |
|----------------|-------|-------|-------|---------|
| (1) 本態性高血圧症(主) | 184.3 | 25.2 | 266.5 | 476.0 |
| (2) 狭心症 | 963.6 | 4.7 | 61.0 | 1,029.3 |
| (3) うつ病 | 63.7 | 0.3 | 11.0 | 75.0 |
| (4) 高コレステロール血症 | 858.1 | 4.1 | 57.2 | 919.4 |
| (5) 2型糖尿病 | 618.3 | 356.7 | 61.3 | 1,036.3 |
| (6) 急性上気道炎 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| (7) アレルギー性鼻炎 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 合計 | | | | 3,536.0 |

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定します。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となります。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定します。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別します。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれています。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要があります。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できました。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難でしたが、当特許技術で解決しました。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム(特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められています。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となります。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保ちます。